

11 ボデー

【SRSエアバッグ・プリテンショナー装着車のご注意】

このセクションには、SRSエアバッグ・プリテンショナーに影響する整備作業があります。該当する整備作業については目次および本文中のタイトルの前に★印が付いていますので、作業前に本書のSRSエアバッグ・プリテンショナーの注意事項をご一読の上確実な作業を行ってください。

バンパー	11-4	回路図	11-21
準備品	11-4	機能点検	11-22
フロントバンパー	11-5	パワーウィンドウ点検	11-22
脱着分解構成図	11-5	運転席パワーウィンドウモーターのリセット方法	11-24
分解作業上の留意点	11-5	トラブルシューティング	11-25
組み付け作業上の留意点	11-6	トラブルシューティングの進め方	11-25
リヤバンパー	11-7	現象別チャート	11-25
脱着分解構成図	11-7	単体点検	11-33
取りはずし作業上の留意点	11-8	パワーメインリレー	11-33
取り付け作業上の留意点	11-8	パワーウィンドウレギュレーター	
組み付け作業上の留意点	11-8	マスタースイッチ	11-33
ルーフレール	11-9	パワーウィンドウレギュレータースイッチ	11-34
準備品	11-9	ドアコントロールスイッチ (キー連動用)	11-34
ルーフレール	11-9	パワーウィンドウモーター	11-35
脱着構成図	11-9	インテグレーションリレー	11-37
ルーフレール ASSY 取りはずし	11-9	車速感応オートドアロック	11-38
リヤスポイラー	11-10	準備品	11-38
脱着分解構成図	11-10	部品配置図	11-38
取りはずし作業上の留意点	11-10	回路図	11-39
フロント & リヤドア	11-11	機能点検	11-40
準備品	11-11	電気式ドアロック点検	11-40
注意事項	11-11	単体点検	11-41
フロントドア	11-12	ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用)	11-41
分解構成図	11-12	ドアコントロールスイッチ (キー連動用)	11-41
フロントドア分解	11-13	ドアロック (ドアコントロールモーター)	11-42
組み付け作業上の留意点	11-14	スピードセンサー	
リヤドア	11-15	(コンビネーションメーター内)	11-42
分解構成図	11-15	アンロックウォーニングスイッチ	11-42
リヤドア分解	11-16	カーテシランプスイッチ	11-42
組み付け作業上の留意点	11-17	インテグレーションリレー	11-43
バックドア	11-18	衝撃感知ドアロック解除	
準備品	11-18	システム	11-44
バックドア	11-18	準備品	11-44
分解構成図	11-18	部品配置図	11-44
バックドア分解	11-19	回路図	11-45
バックドアアスター取りはずし	11-19	トラブルシューティング	11-46
バックドアアスター取り付け作業上の留意点	11-19	トラブルシューティングの進め方	11-46
パワーウィンドウ	11-20	現象別チャート	11-46
準備品	11-20	クラッシュディテクションセンサー	11-48
部品配置図	11-20	クラッシュディテクションセンサー取りはずし	11-48

取り付け作業上の留意点	11 - 48	ウインドシールドガラス関連部品取りはずし	11 - 79
単体点検	11 - 49	ウインドシールドガラス &	
クラッシュディテクションセンサー	11 - 49	モールディング取りはずし	11 - 79
インテグレーションリレー	11 - 49	取り付け作業上の留意点	11 - 80
ワイヤレスドアロック		クォーターウインドウガラス	11 - 83
リモートコントロール	11 - 50	脱着構成図	11 - 83
準備品	11 - 50	クォーターウインドウガラス関連部品取りはずし	11 - 84
注意事項	11 - 50	クォーターウインドウガラス取りはずし	11 - 84
部品配置図	11 - 51	取り付け作業上の留意点	11 - 85
回路図	11 - 52	バックドアガラス	11 - 86
機能点検	11 - 53	脱着構成図	11 - 86
ワイヤレスドアロックリモートコントロール点検	11 - 53	バックドアガラス関連部品取りはずし	11 - 86
トラブルシューティング	11 - 55	バックドアガラス & モールディング	
トラブルシューティングの進め方	11 - 55	取りはずし	11 - 87
現象別チャート	11 - 55	バックドアガラス取り付け	11 - 87
ドアコントロールレシーバー &		スライディングルーフ	11 - 89
トランスミッター	11 - 59	準備品	11 - 89
トランスミッターバッテリー		部品配置図	11 - 89
(リチウム電池) 交換	11 - 59	回路図	11 - 90
ドアコントロールレシーバー &		スライディングルーフ	11 - 91
トランスミッター交換	11 - 60	脱着分解構成図	11 - 91
単体点検	11 - 64	スライディングルーフハウジング取りはずし	11 - 92
ドアコントロールトランスミッター	11 - 64	スライディングルーフハウジング分解	11 - 92
ドアコントロールレシーバー	11 - 65	スライディングルーフガラス ASSY 分解	11 - 93
フードサポート	11 - 66	組み付け作業上の留意点	11 - 93
準備品	11 - 66	スライディングルーフ調整	11 - 94
フードサポート	11 - 66	単体点検	11 - 95
脱着構成図	11 - 66	スライディングルーフドライブギヤ ASSY	11 - 95
フードサポート廃却方法	11 - 66	スライディングルーフフリミットスイッチ	11 - 95
ネームプレート	11 - 67	スライディングルーフコントロールリレー	11 - 96
準備品	11 - 67	★インストルメントパネル	11 - 97
ネームプレート	11 - 67	準備品	11 - 97
貼り付け基準位置	11 - 67	使用ボルト、スクリュー、ナット一覧表	11 - 97
モールディング	11 - 68	★インストルメントパネル	11 - 98
準備品	11 - 68	★脱着構成図	11 - 98
ドアベルトモールディング	11 - 69	★インストルメントパネル	
脱着構成図	11 - 69	セーフティパッド ASSY 取りはずし	11 - 99
ドアベルトモールディング取りはずし	11 - 69	分解構成図	11 - 103
ドアウインドウフレームモールディング	11 - 71	インストルメントセーフティパッド分解	11 - 104
脱着構成図	11 - 71	ルーフヘッドライニング	11 - 105
ドアウインドウフレームモールディング		準備品	11 - 105
取りはずし	11 - 72	ルーフヘッドライニング	11 - 106
取り付け作業上の留意点	11 - 73	脱着分解構成図	11 - 106
アウトサイドモールディング	11 - 74	ルーフヘッドライニング取りはずし	11 - 107
アウトサイドモールディング取りはずし	11 - 74	フットレスト	11 - 113
アウトサイドモールディング取り付け	11 - 74	フットレスト取りはずし	11 - 113
ガラス	11 - 77	取り付け上の留意点	11 - 113
準備品	11 - 77	★シート	11 - 114
ウインドシールドガラス &		準備品	11 - 114
モールディング	11 - 78	★フロントシート	11 - 115
脱着分解構成図	11 - 78	★脱着分解構成図	11 - 115

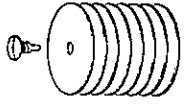
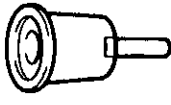
★フロントシート ASSY 取りはずし	11-117
フロントシート分解	11-117
★組み付け作業上の留意点	11-118
取り付け作業上の留意点	11-119
部品配置図	11-120
回路図	11-120
単体点検	11-121
パワーシートスイッチ	11-121
パワーシートモーター	11-121
リヤシート	11-122
脱着分解構成図	11-122
リヤシート取りはずし	11-123
リヤシートクッション ASSY 分解	11-123
リヤシートバック ASSY 分解	11-124
組み付け作業上の留意点	11-124
取り付け作業上の留意点	11-124
★シートベルト	11-125
準備品	11-125
★フロントシートベルト	11-125
★脱着構成図	11-125
★フロントシートアウターベルト取りはずし	11-126
フロントシートインナーベルト取りはずし	11-127
リトラクター点検	11-127
組み付け作業上の留意点	11-127
リヤシートベルト	11-128
脱着構成図	11-128
リヤシートアウターベルト取りはずし	11-129
リヤシートインナーベルト取りはずし	11-129
リトラクター点検	11-129
組み付け作業上の留意点	11-129
電気式テンションリデューサー	11-131
準備品	11-131
部品配置図	11-131
回路図	11-132
単体点検	11-132
フロントシートインナーベルト	11-132
フロントシートアウターベルト	11-132
アウターリヤビューミラー	11-133
準備品	11-133
部品配置図	11-133
回路図	11-134
機能点検	11-135
電動格納ドアミラー機能点検	11-135
アウターリヤビューミラー	11-136
脱着作業上の留意点	11-136
分解組み付け作業上の留意点	11-136
単体点検	11-137
アウターミラースイッチ	11-137
アウターリヤビューミラー	11-137
リヤウインドウデフォグスイッチ	11-138

キー抜き忘れウォーニング	
システム	11-139
準備品	11-139
部品配置図	11-139
回路図	11-140
単体点検	11-141
アンロックウォーニングスイッチ	11-141
カーテシランプスイッチ	11-141
インテグレーションリレー	11-141
建付け調整	11-142
準備品	11-142
ボデー建付け調整	11-143
建付け参考値	11-145

バンパー

準備品

工具

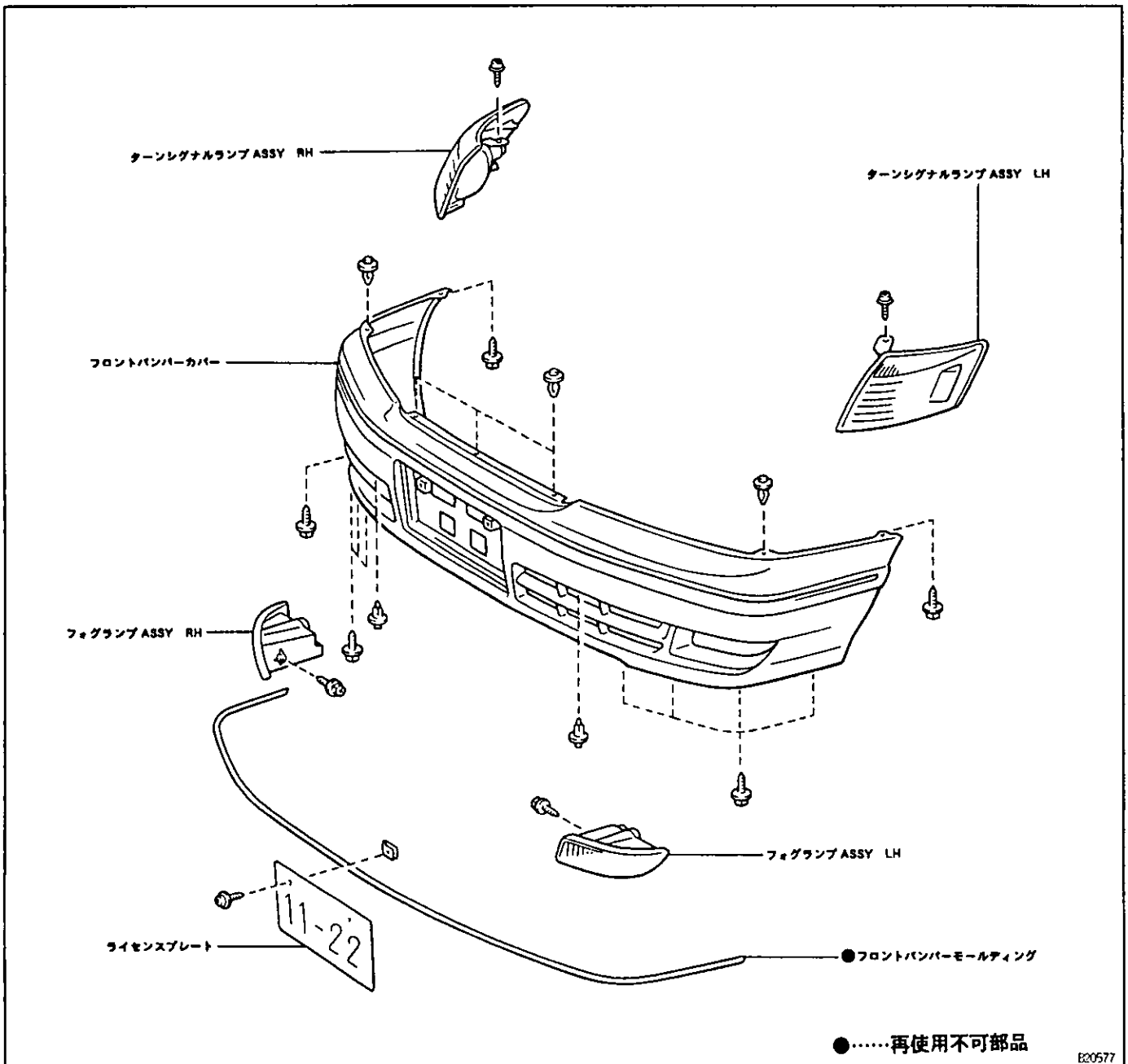
	0S030-00010 テープリムーバブルディスク	バンパーモールディング清掃用
	(OK090-00030) ホルダー	バンパーモールディング清掃用

油脂・その他

白ガソリン	32701	各部清掃用
赤外線ランプ	53201	モールディング脱着用
保護テープ	53501	傷つき防止用
保護めがね	55201	バンパーモールディング清掃用

フロントバンパー

脱着分解構成図



11

分解作業上の留意点

1 バンパーモールディング取りはずし

- (1) モールディング外周に保護テープを貼り付ける。
- (2) 保護テープを貼ったスクレーパーを使用して、片側から接着を徐々にはがしてバンパーモールディングを取りはずす。

組み付け作業上の留意点

1 バンパー清掃

ウエスによる清掃

- (1) 赤外線ランプなどでバンパーに残ったアクリルフォームテープを暖める。

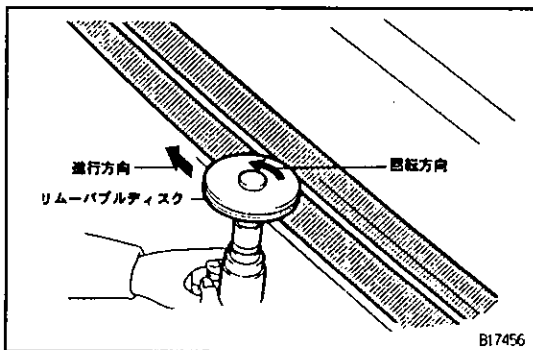
〈参考〉 40~60℃で1~2分間

- (2) 赤外線ランプなどで暖めた状態で、バンパーに残ったアクリルフォームテープをウエスなどでこすり除去する。

注意 ・アクリルフォームテープが残った状態でモルディングを取り付けると接着不良の原因となるため、十分に除去できるまで行う。

・ドライバーなどで除去を行うとバンパー溝部に傷がつき、接着不良の原因となるため、ウエスなどでこすり除去する。

- (3) 白ガソリンで接着面の清掃を行う。



リムーバブルディスクによる清掃

注意 バンパーモルディング外周に保護テープを貼り付ける。

- (1) ディスク5枚をホルダーにセットし、リムーバブルディスクをエアドリルまたは電気ドリルに取り付ける。

注意 電気ドリルは無負荷回転数2000~3000r/minのものを使用する。

- (2) 保護メガネをつけ、アクリルフォームテープを削り取る。

注意 ・ディスクの回転方向と作業進行方向に気を付ける。

・削り過ぎてバンパーカバーを損傷しないよう、切削部を目視で確認しながら行う。

- (3) 白ガソリンで接着面の清掃を行う。

2 バンパーモルディング取り付け

- (1) バンパーのかけ溝に沿ってバンパーモルディングを貼り付ける。

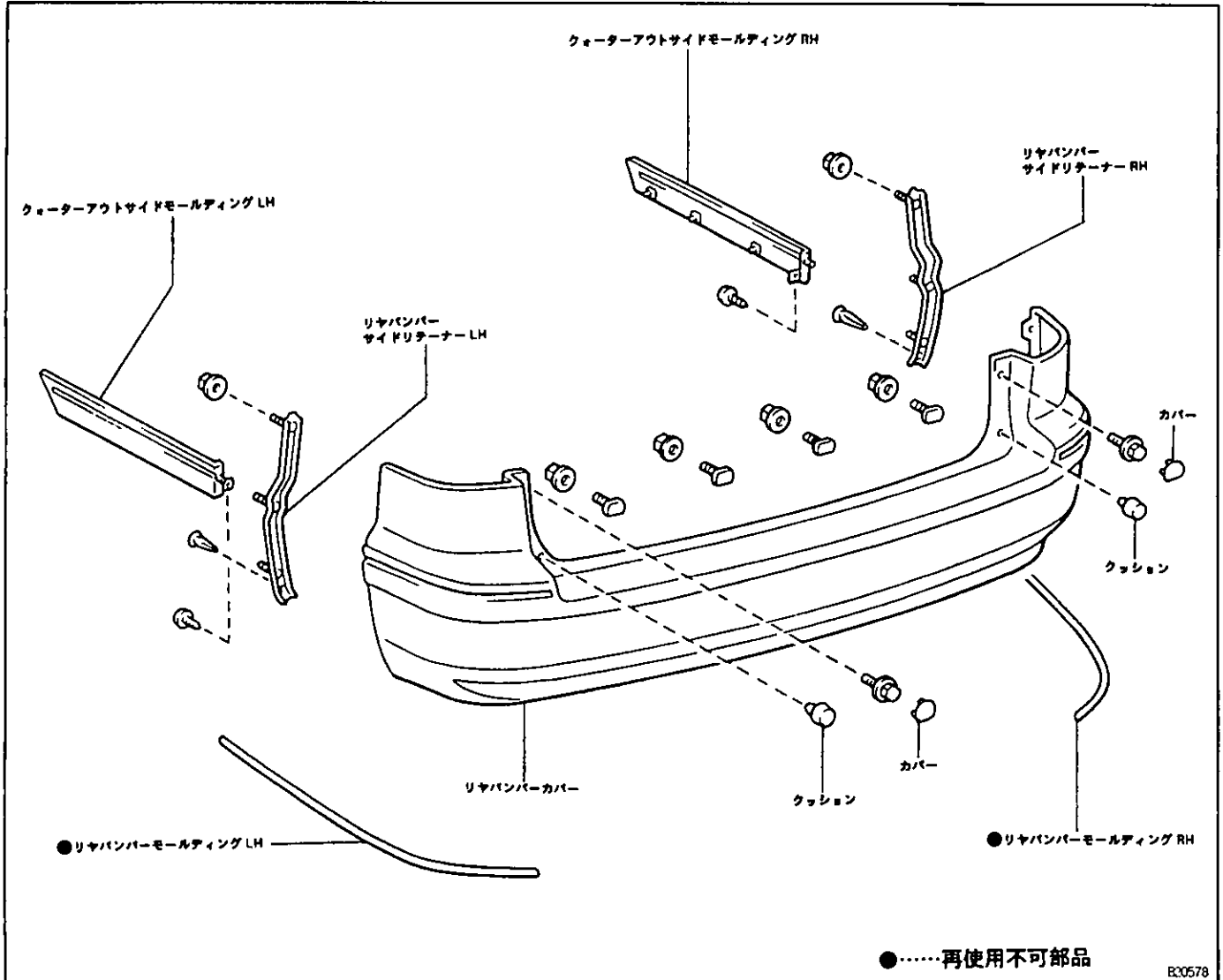
注意 ・バンパーモルディング貼り付け作業は、雰囲気温度20℃以上で行う。雰囲気温度20℃未満の場合は、バンパー溝部およびバンパーモルディングを赤外線ランプなどで20~30℃に暖めてからバンパーモルディングを貼り付ける。

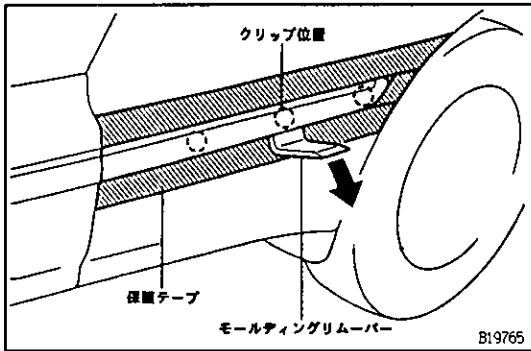
・アクリルフォームテープの離型紙を、接着面に触れないようにはがしてから貼っていく。

リヤバンパー

脱着分解構成図

- リヤバンパーの脱着にはデッキトリムサイドパネル RH および LH の脱着をとまう。
(「ルーフヘッドライニング」-「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)





取りはずし作業上の留意点

1 リヤバンパーカバー取りはずし

- (1) バンパーカバーおよびクォーターアウトサイドモールディング脱着時、ボデー側への傷つき防止のためクォーターパネルに保護テープを貼り付ける。
- (2) モールディングリムーバーを使用して、クォーターアウトサイドモールディングのクリップのかん合をボデーから切り離す。

取り付け作業上の留意点

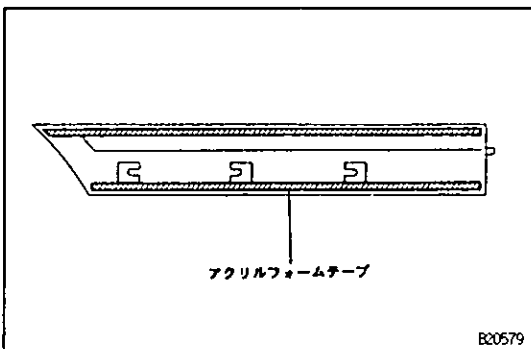
1 車両側取り付け面清掃

2 アウトサイドモールディング清掃 (モールディング再使用时)

(1, 2は「モールディング」-「アウトサイドモールディング取り付け」参照)

3 クォーターアウトサイドモールディング取り付け

- (1) モールディングの表面に、アクリルフォームテープを取り付ける。(モールディング再使用时)
- (2) モールディングをバンパーに取り付ける。
- (3) モールディングおよびボデー面を暖める。
(参考) ボデー 40~60℃
モールディング 20~30℃
- (4) バンパーを車両にセットし、アクリルフォームテープの離型紙を接着面に触れないようにしてはがす。
- (5) モールディングのクリップ位置を合わせ、手で押して圧着する。
- (6) モールディングをローラーで十分に圧着する。



組み付け作業上の留意点

1 バンパーモールディング取り付け

(「フロントバンパー」-「組み付け作業上の留意点」参照)

ルーフレール

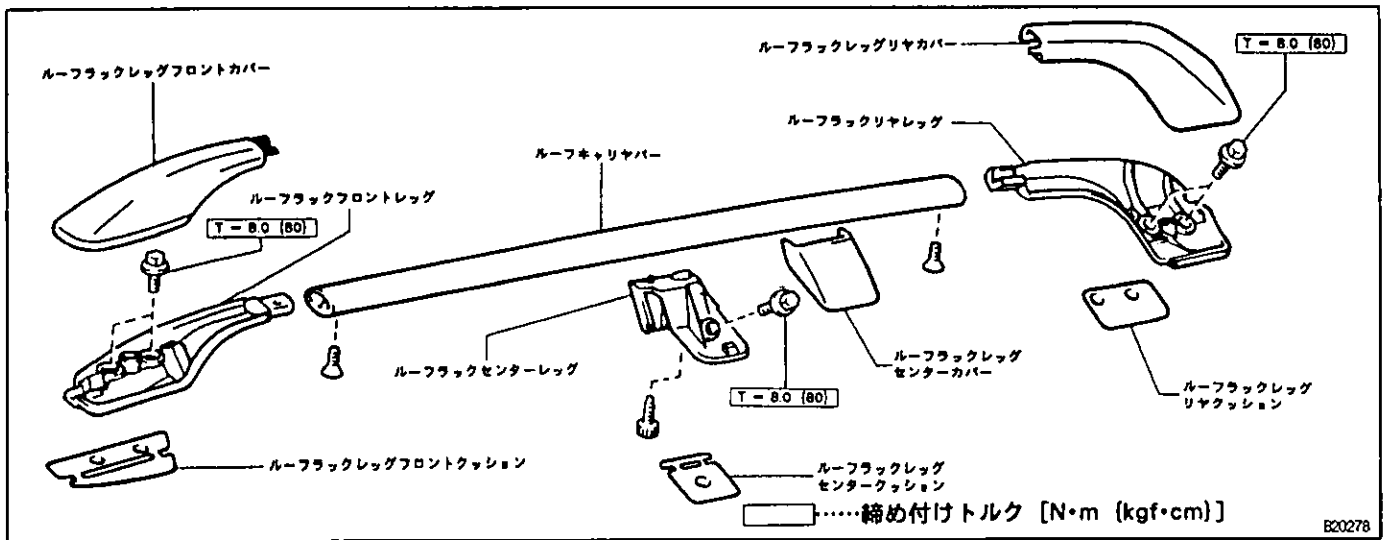
準備品

油脂・その他

保護テープ	53501	傷つき防止用
-------	-------	--------

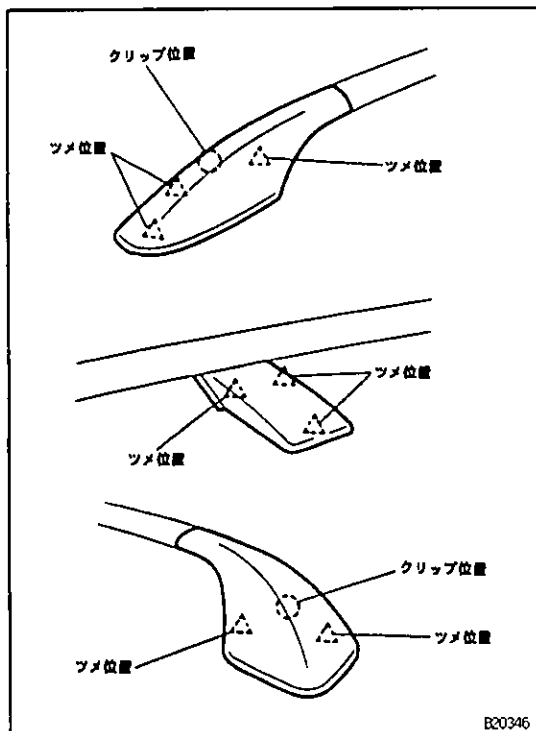
ルーフレール

脱着構成図



11

B20278



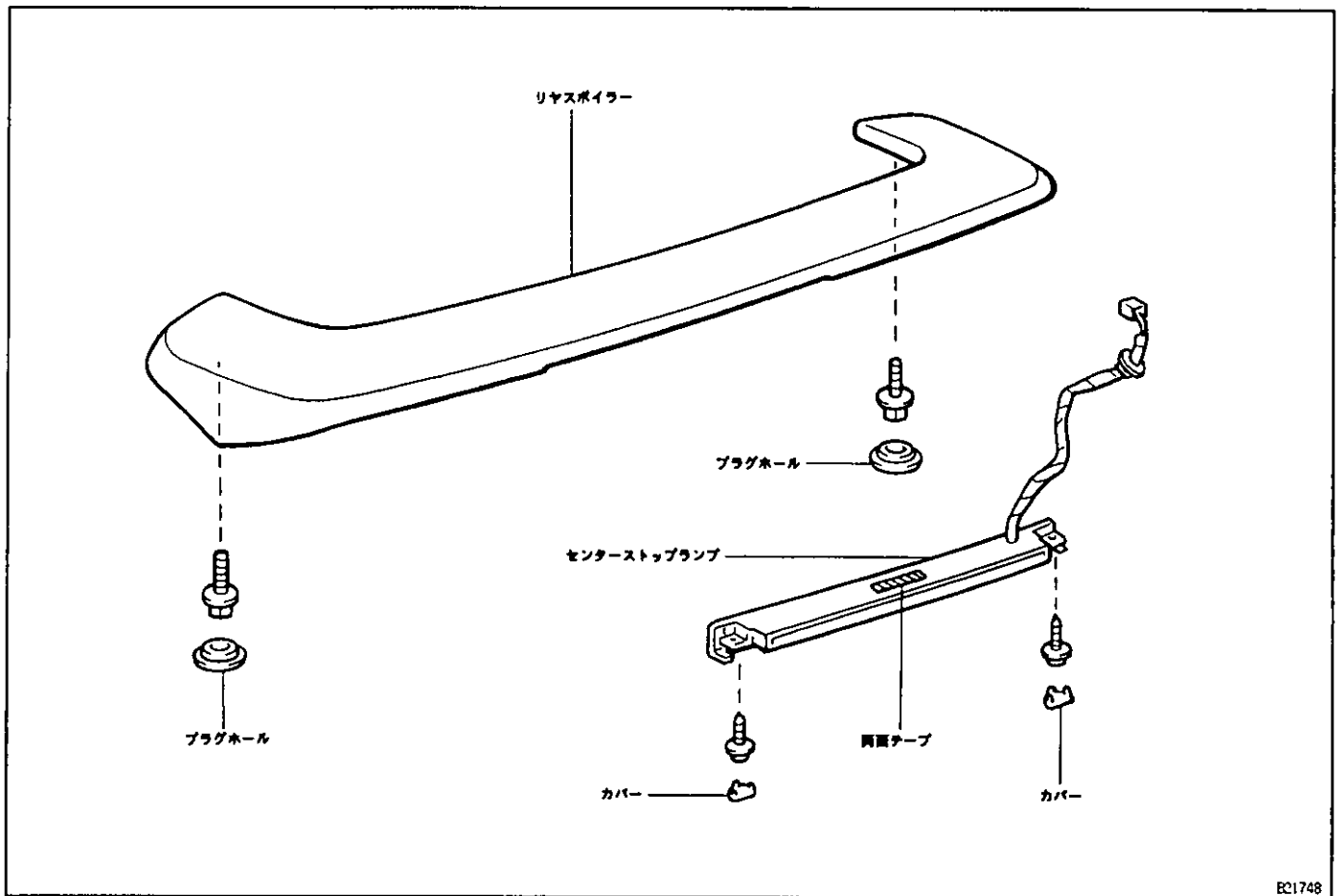
B20346

ルーフレール ASSY 取りはずし

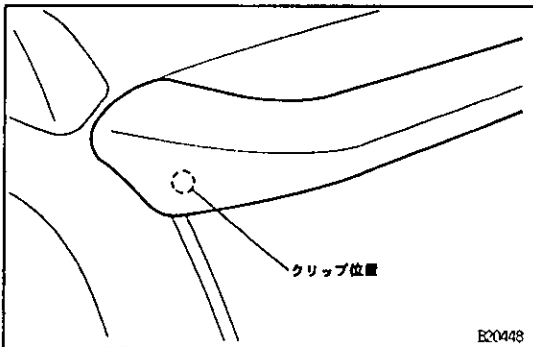
- 1 ルーフラックレグフロントカバー取りはずし
 - (1) ルーフパネルに保護テープを貼る。
 - (2) クリップおよびツメのかん合をはずし、フロントカバーを取りはずす。
- 2 ルーフラックレグセンターカバー取りはずし
 - (1) ルーフパネルに保護テープを貼る。
 - (2) ツメのかん合をはずし、センターカバーを取りはずす。
- 3 ルーフラックレグリヤカバー取りはずし
 - (1) ルーフパネルに保護テープを貼る。
 - (2) クリップおよびツメのかん合をはずし、リヤカバーを取りはずす。
- 4 ルーフレール ASSY 取りはずし
 - (1) ボルト 5 本をはずし、ルーフレール ASSY を取りはずす。

リヤスポイラー

脱着分解構成図



E21748



E20448

取りはずし作業上の留意点

1 リヤスポイラー ASSY 取りはずし

- (1) プラグホール2個をはずし、ボルト2本を取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、リヤスポイラー ASSY を後方へスライドさせて取りはずす。
- (3) ワイヤハーネスを切り離す。

フロント & リヤドア

準備品

工具

トルクスドライバー (T25) 09041-00020	70016	パワーウィンドゥモーター脱着用
トルクスドライバー (T30) 09041-00030	70017	ドアロック脱着用
油脂・その他		
トヨタ純正 ボデーグリース	31003	各部摺動部塗布用
保護テープ	53501	傷付き防止用

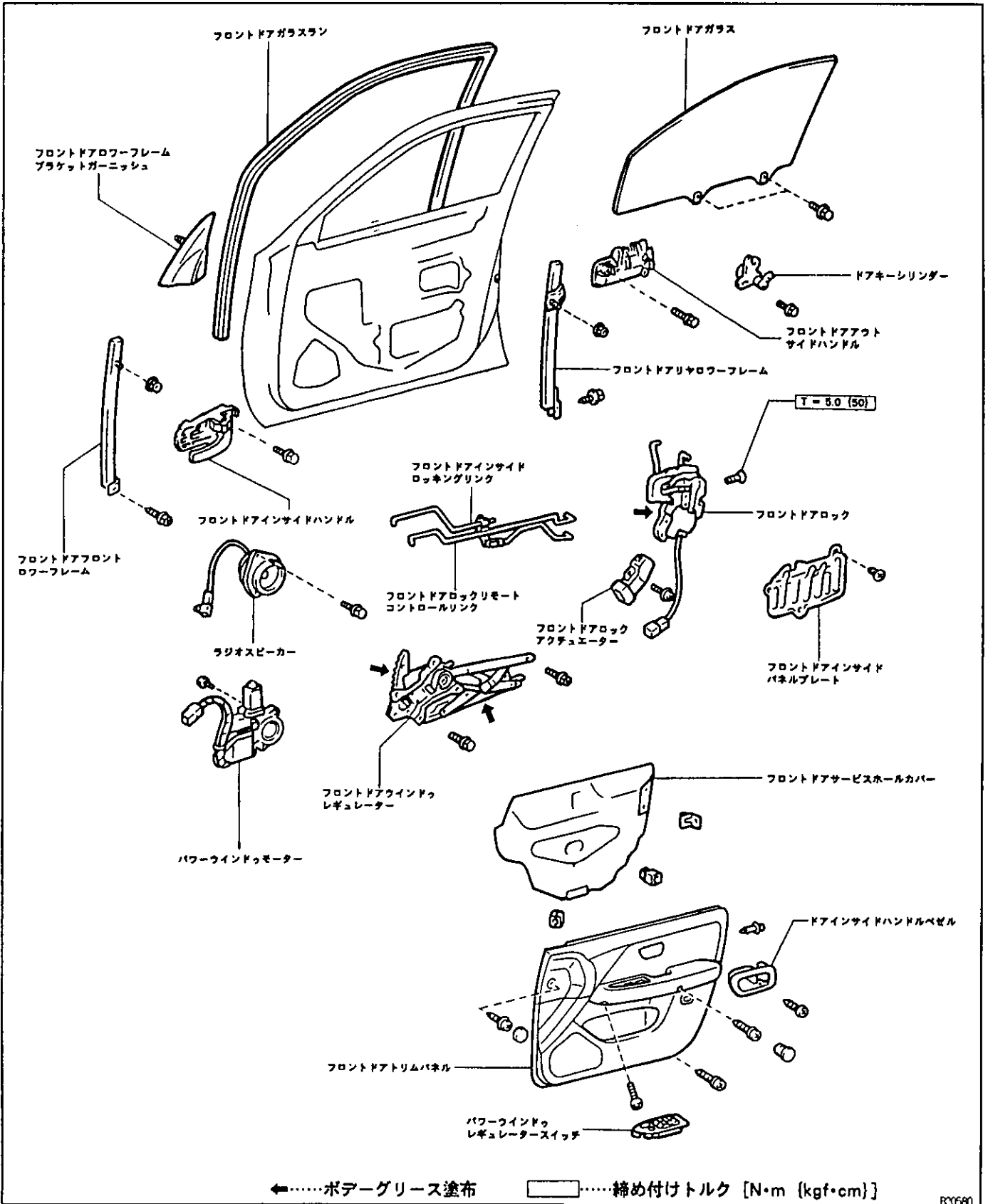
注意事項

- 1 運転席用フロントドアロックおよびドアキーシリンダー関係の脱着を伴う作業を行う場合は、必ずバッテリー端子を切り離した状態で作業を行う。

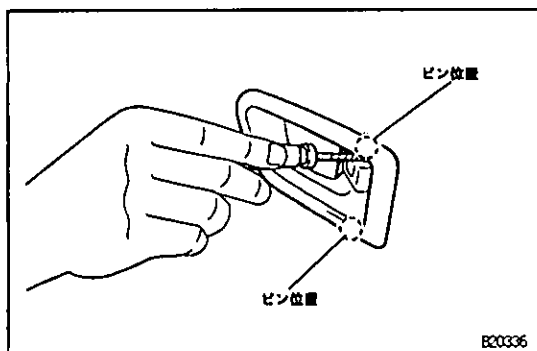
(参考) ドアロック内のドアコントロールスイッチ (キー連動用) が ON するとパワーウィンドゥが作動しけがをする恐れがある。

フロントドア

分解構成図



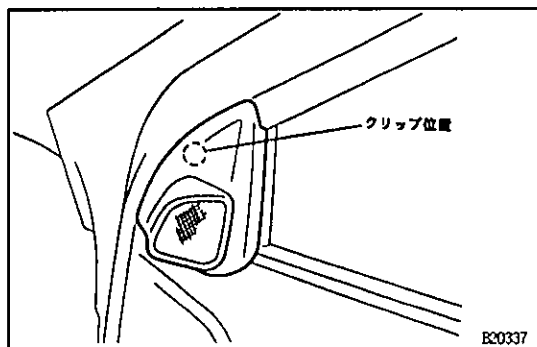
11



フロントドア分解

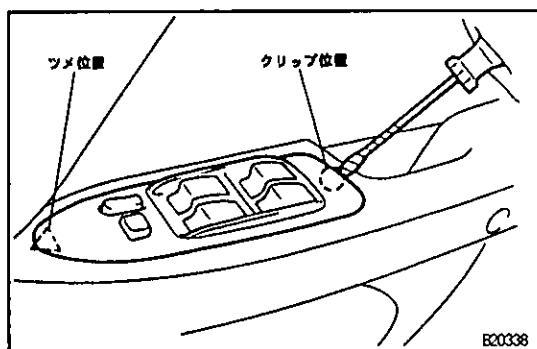
1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし

- (1) ドアロックノブを LOCK 位置にする。
- (2) ドアインサイドハンドルベゼルのプラグを開け、スクリューをはずす。
- (3) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、ベゼルの上側および下側をこじ、インサイドハンドルのピンのかん合をはずす。
- (4) インサイドハンドルを引きながら、ベゼルの後方へ引いてツメのかん合をはずし、インサイドハンドルベゼルを取りはずす。



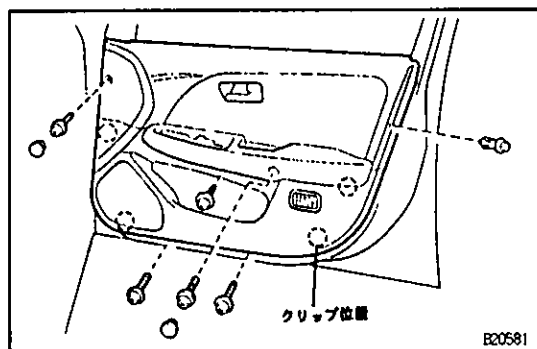
2 フロントドアローフレームブラケットガーニッシュ取りはずし

- (1) クリップのかん合をはずし、フロントドアローフレームブラケットガーニッシュを取りはずす。



3 パワーウィンドウレギュレータースイッチ取りはずし

- (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、クリップのかん合をはずす。
- (2) コネクターを切り離して、レギュレータースイッチを取りはずす。



4 フロントドアトリムパネル取りはずし

- (1) キャップ2個、スクリュー5本およびクリップを取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、コネクターを切り離してトリムパネルを上方に引き上げて取りはずす。

5 フロントドアインサイドハンドル取りはずし

6 フロントドアインサイドパネルプレート取りはずし

7 フロントドアサービスホールカバー取りはずし

8 ラジオスピーカー取りはずし

9 フロントドアガラスラン取りはずし

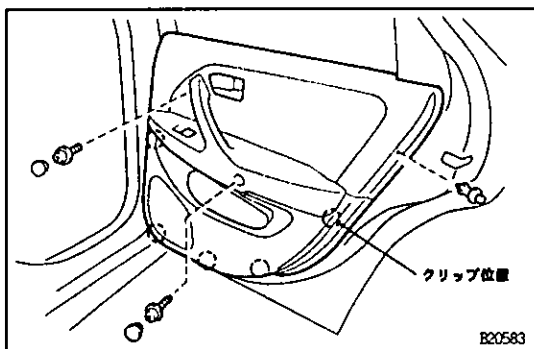
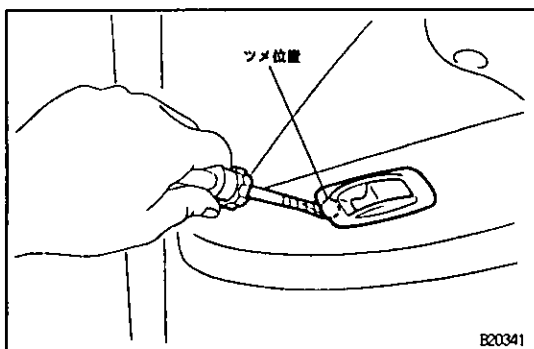
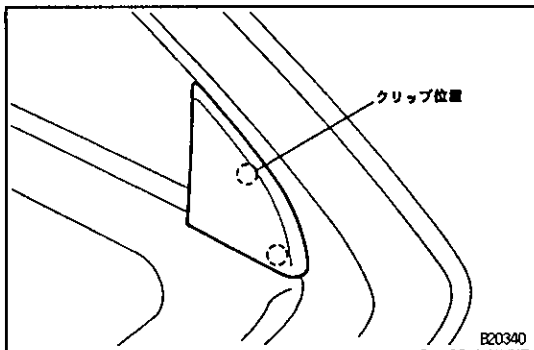
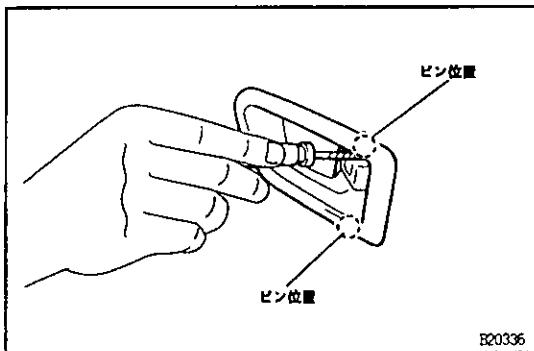
10 フロントドアフロントローフレーム取りはずし

- 11 フロントドアガラス取りはずし
 - (1) レギュレータースイッチを接続し、ドアガラスを取り付けボルトが見える位置に動かす。
 - (2) ボルト2本をはずし、ドアガラスを取りはずす。
- 12 フロントドアウィンドウレギュレーター ASSY 取りはずし
 - (1) コネクターを切り離す。
 - (2) ボルト6本をはずし、レギュレーターを取りはずす。
- 13 パワーウィンドウモーター取りはずし
 - (1) トルクスドライバー T25 を使用して、スクリュー3本をはずし、モーターを取りはずす。
- 14 フロントドアインサイドロックリンクおよびフロントドアロックリモートコントロールリンク取りはずし
- 15 フロントドアリヤローフレーム取りはずし
- 16 フロントドアロック ASSY 取りはずし
 - (1) コネクターを切り離す。
 - (2) アウトサイドハンドルおよびドアキーシリンダーからリンクを切り離す。
 - (3) ボルトをはずす。
 - (4) トルクソケットレンチ T30 を使用してスクリュー3本をはずし、ドアロック ASSY を取りはずす。
- 17 フロントドアロックアクチュエーター取りはずし
- 18 フロントドアアウトサイドハンドル取りはずし
- 19 ドアキーシリンダー取りはずし

組み付け作業上の留意点

- 1 ボデーグリース塗布
 - (1) ボデーグリースはウィンドウレギュレーターおよびドアロックの各摺動部に塗布する。
- 2 パワーウィンドウモーター取り付け
 - (1) パワーウィンドウモーターをリセットする。(RHのみ)
(「パワーウィンドウ」 - 「機能点検」参照)
 - (2) ウィンドウレギュレーターへの取り付けは、トルクスドライバー T25 を使用して、スクリュー3本で締め付ける。
 〈参考〉 新品のモーターはネジ加工されていないが、セルフタッピング方式を採用しており、ネジを締め込むことでネジ加工される。
- 3 パワーウィンドウ機能点検
(「パワーウィンドウ」 - 「機能点検」参照)

注意 運転席の分解組み付けを行った場合、特に挟み込み防止機能が正常に作動するか確認する。



リヤドア分解

1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし

- (1) ドアロックノブを LOCK 位置にする。
- (2) ドアインサイドハンドルベゼルのプラグを開け、スクリューをはずす。
- (3) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、ベゼルの上側および下側をこじ、インサイドハンドルのピンのかん合をはずす。
- (4) インサイドハンドルを引ながら、ベゼルの後方へ引いてツメのかん合をはずし、インサイドハンドルベゼルを取りはずす。

2 リヤドアローフレームブラケットガーニッシュ取りはずし

- (1) クリップのかん合をはずし、リヤドアローフレームブラケットガーニッシュを取りはずす。

3 パワーウインドレギュレータースイッチ取りはずし

- (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、ツメのかん合をはずす。
- (2) コネクターを切り離して、レギュレータースイッチを取りはずす。

4 リヤドアトリムパネル取りはずし

- (1) キャップ2個、スクリュー2本およびクリップを取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、トリムパネルを上方に引き上げて取りはずす。

5 リヤドアインサイドハンドル取りはずし

6 リヤドアサービスホールカバー取りはずし

7 リヤドアガラスランナー部取りはずし

8 リヤドアローフレーム取りはずし

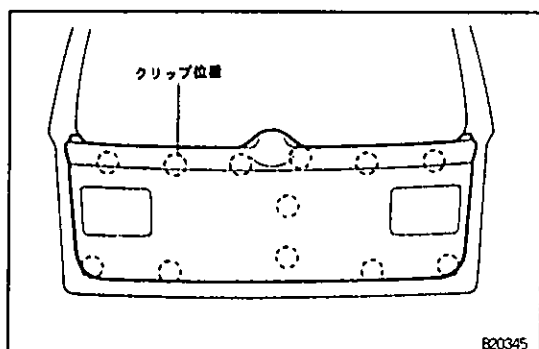
9 リヤドアガラス取りはずし

- (1) レギュレータースイッチを接続し、ドアガラスを取り付けボルトが見える位置に動かす。
- (2) ボルト2本をはずし、ドアガラスを取りはずす。

- 10 リヤドアウインドゥレギュレーター ASSY 取りはずし
 - (1) コネクターおよびクランプを切り離す。
 - (2) ボルト 6 本をはずし、レギュレーターを取りはずす。
- 11 パワーウインドゥモーター取りはずし
 - (1) トルクスドライバー T25 を使用して、スクリュー 3 本をはずし、モーターを取りはずす。
- 12 リヤドアインサイドロックリングおよびリヤドアロックリモートコントロールリンク取りはずし
- 13 リヤドアロック ASSY 取りはずし
 - (1) コネクターおよびクランプを切り離す。
 - (2) チャイルドプロテクターロックレバーカバーを取りはずす。
 - (3) ボルトをはずす。
 - (4) トルクソケットレンチ T30 を使用してスクリュー 3 本をはずし、ドアロック ASSY を取りはずす。
- 14 リヤドアロックカバー取りはずし
- 15 リヤドアロックアクチュエーター取りはずし
- 16 リヤドアアウトサイドハンドル取りはずし

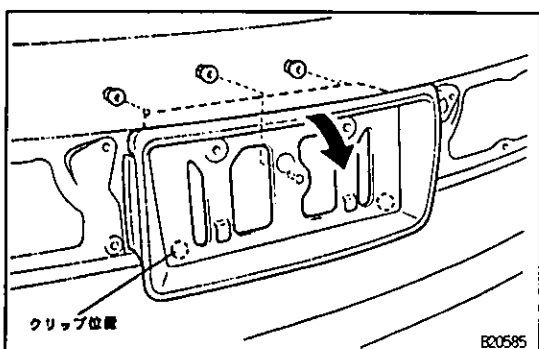
組み付け作業上の留意点

- 1 ボデーグリース塗布
 - (1) ボデーグリースはウインドゥレギュレーターおよびドアロックの各摺動部に塗布する。
- 2 パワーウインドゥモーター取り付け
 - (1) ウインドゥレギュレーターへの取り付けは、トルクスドライバー T25 を使用して、スクリュー 3 本で締め付ける。
(参考) 新品のモーターはネジ加工されていないが、セルフタッピング方式を採用しており、ネジを締め込むことでネジ加工される。



バックドア分解

- 1 バックドアトリムパネル取りはずし
 - (1) クリップのかん合をはずし、バックドアトリムパネルを取りはずす。
- 2 バックドアロック ASSY 取りはずし
 - (1) バックドアロックアクチュエーターおよびドアキーシリンダーからリンクを切り離す。
 - (2) ボルト3本をはずし、バックドアロック ASSY を取りはずす。
- 3 バックドアロックアクチュエーター取りはずし
 - (1) ボルト2本をはずし、バックドアロックアクチュエーターを取りはずす。
- 4 リヤワイパーアーム & ブレードおよびリヤワイパーモーター取りはずし
 (「電気リカル」-「ワイパー & ウォッシャー」参照)
- 5 リヤランプ ASSY RH および LH 取りはずし
 (「電気リカル」-「リヤランプ ASSY」参照)
- 6 バックドアアウトサイドハンドル取りはずし
- 7 バックドアアウトサイドガーニッシュ取りはずし
 - (1) ナット3個をはずし、クリップのかん合をはずしてバックドアアウトサイドガーニッシュを取りはずす。
- 8 バックドアキーシリンダー取りはずし



バックドアステア取りはずし

注意 ステア脱着時には、バックドアを保持して行う。

- 1 バックドアステア取りはずし
 - (1) ボルト3本をはずし、バックドアステアを取りはずす。

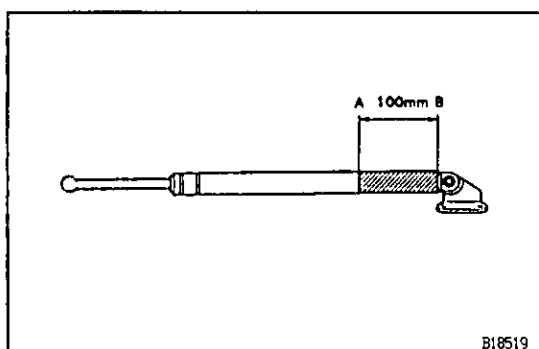
注意 ピストンロッドに異物を付着させない。

11

2 バックドアステア廃却方法

- (1) ピストンロッドを伸ばした状態で水平に置き、図の A-B 間を金ノコで切り、ガスを抜く。

注意 封入されているガスは無色、無臭、無害であるが切り粉が飛ぶ恐れがあるため、ウエスなどをかぶせて作業する。



バックドアステア取り付け作業上の留意点

- (1) ボルトおよびボデー側のネジ部を白ガンリンで清掃する。
- (2) ボルトのネジ部に、アドヘシブ 1324 を塗布する。

パワーウィンドゥ

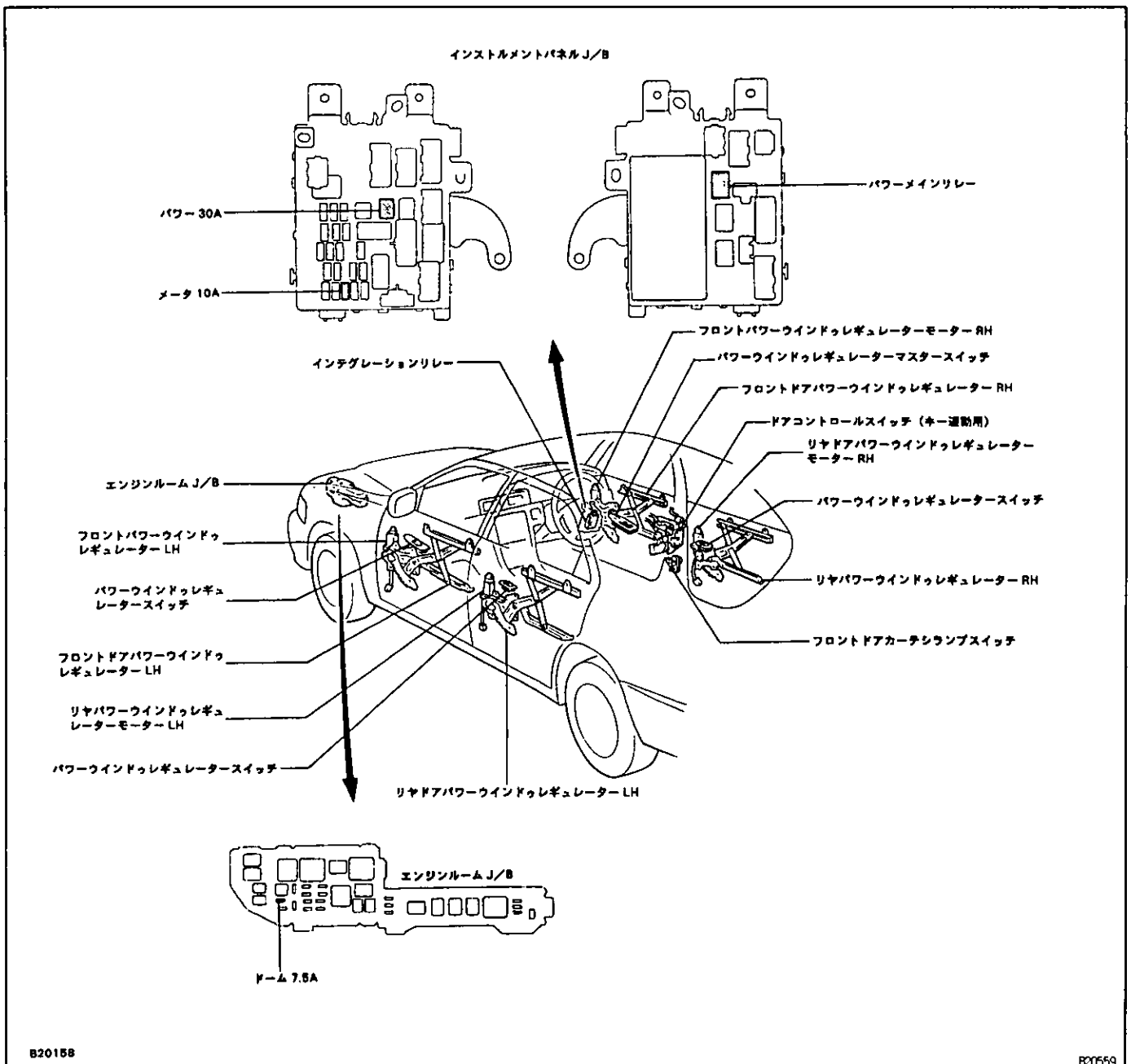
準備品

計器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用
AC/DC400Aプローブ 09083-00300	70204	パワーウィンドゥモーター点検用

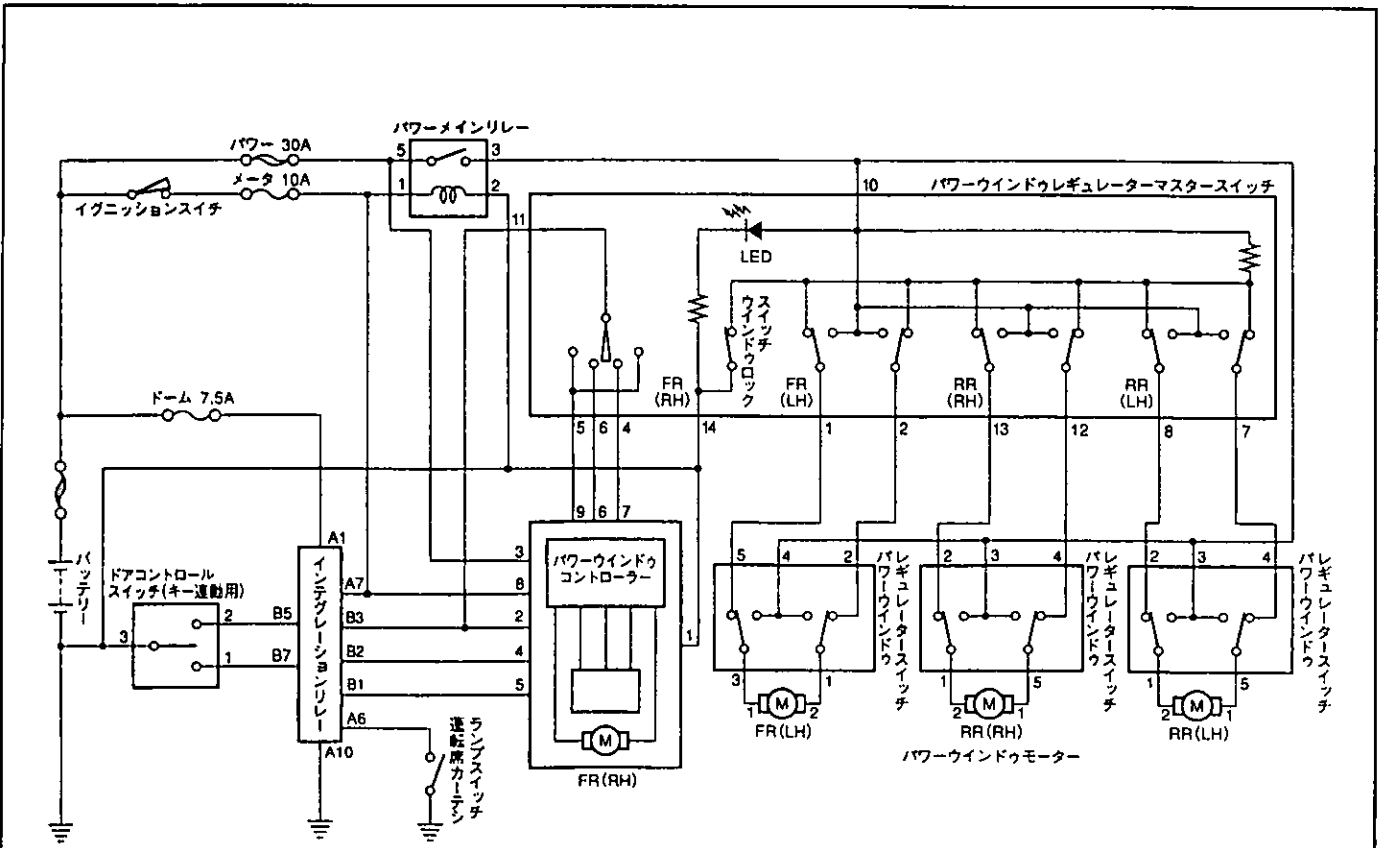
部品配置図

70062633

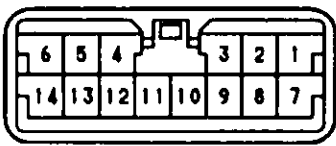


11

回路図



パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチ



e-14-2-F

パワーウィンドウレギュレータースイッチ

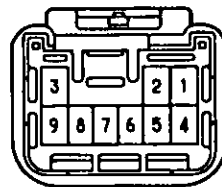


e-5-2



s-5-2-C

フロントパワーウィンドウ
モーター RH



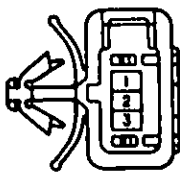
e-9-2

フロントパワーウィンドウ
モーター LH
リアパワーウィンドウ
モーター RH, LH



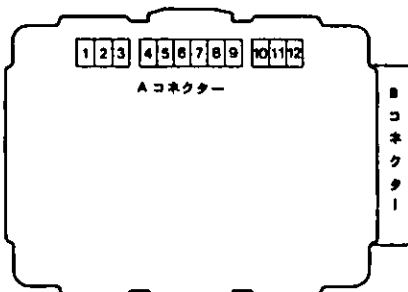
e-2-2-L

ドアコントロール
スイッチ
(キー運転用)



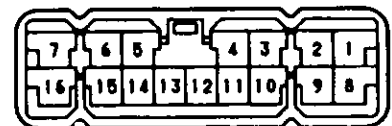
h-3-2-C

インテグレーションリレー



B19354

Bコネクタ



e-16-2-A

機能点検

パワーウィンドウ点検

(参考) 運転席パワーウィンドウの UP, DOWN 操作は、パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチ、運転席ドアキーシリンダーのキー操作による方法がある。これらの入力が同時にあった場合は、パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチの入力を優先する。

1 基本機能（マニュアル作動機能）点検

- (1) イグニッションスイッチを ON にする。
- (2) パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチをアップ側に操作すると、ドアガラスが上昇し、ダウン側に操作すると下降することを点検する。
- (3) 各ドアのパワーウィンドウレギュレータースイッチをアップ側に操作すると、ドアガラスが上昇し、ダウン側に操作すると下降することを点検する。
- (4) ウィンドウロックスイッチを LOCK にすると、運転席以外のドアガラスが作動しないことを点検する。

2 AUTO 作動機能点検

- (1) イグニッションスイッチを ON にする。
- (2) 運転席用パワーウィンドウスイッチを DOWN 側に 2 段操作すると、AUTO DOWN 作動を行い、ドアガラスが全開状態となることを点検する。
- (3) 運転席用パワーウィンドウスイッチを UP 側に 2 段操作すると、AUTO UP 作動を行い、ドアガラスが全閉状態となることを点検する。
- (4) AUTO DOWN 作動中に、パワーウィンドウスイッチを UP 側に操作すると、ドアガラスが停止することを点検する。
- (5) AUTO UP 作動中に、パワーウィンドウスイッチを DOWN 側に操作すると、ドアガラスが停止することを点検する。(但し、UP 側または DOWN 側に操作し続けると、マニュアル作動に移行する。)

3 キー OFF 作動機能点検

- (1) イグニッションスイッチを ON から OFF にして運転席のドアを開くと、パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチにより、運転席のドアガラスが操作できることを点検する。
また、運転席のドアを一度閉めると、操作できなくなることを点検する。
- (2) 運転席のドアを開いて、イグニッションスイッチを ON から OFF にすると、パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチにより運転席のドアガラスが操作できることを点検する。
また、運転席のドアを一度閉めると、操作できなくなることを点検する。
- (3) 運転席のドアを開いて、イグニッションスイッチを ON から OFF 後、約 43 秒経過後に運転席のドアガラスが操作できなくなることを点検する。

- (4) (1)または(2)の状態では運転席のドアが開いているときに、オートアップまたはオートダウン操作をして、ウィンドゥガラスが上昇または下降作動中に運転席のドアを閉めても、全閉または全開までオート作動を継続することを点検する。

また、作動終了後再びドアを開いても、パワーウィンドゥの操作ができないことを点検する。

4 運転席ドアキー操作による作動機能点検

(キー運動作動)

- (1) キー操作により、ドアキーシリンダーを UNLOCK 側に約 1.5 秒以上保持し続けたとき、運転席ドアガラスが下降することを点検する。またキー操作を中立に戻したときドアガラスが停止することを点検する。
- (2) キー操作によりドアキーシリンダーを LOCK 側に約 1.5 秒以上保持し続けたとき、運転席ドアガラスが上昇することを点検する。またキー操作を中立に戻したときドアガラスが停止することを点検する。

5 挟み込み防止機能点検

(運転席ドアガラス)

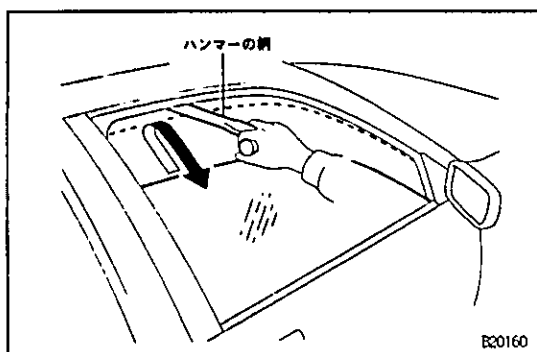
注意 絶対に手など身体の一部を挟ませて点検しない。また挟み込まれないように十分注意して作業する。

- (1) 挟み込み防止機能作動状態で点検を行う。
- ① イグニッションスイッチ ON で AUTO UP 作動
 - ② キー操作による UP 作動
 - ③ キー OFF 作動時の AUTO UP および UP 作動
- (2) ドアガラスを全開状態にする。

- (3) ハンマーの柄の部分を開閉付近に設置する。
- (4) 挟み込み防止機能作動状態でドアガラスを全閉したとき、ハンマーの柄を挟み込まず DOWN 作動し、約 200mm 程度下降後停止することを点検する。

〈参考〉 下降は約 50mm ただし開口量が 200mm に満たない場合は 200mm まで下降後停止する。

- (5) 下降作動中、マスタースイッチ、キー操作、ドアコントロールトランスミッターのいずれの入力でも UP 作動しないことを点検する。ただし、UP 入力中は DOWN 作動を停止する。



運転席パワーウィンドゥモーターのリセット方法

〈参考〉 運転席パワーウィンドゥについて次の作業を行った場合、パワーウィンドゥモーターのリセット（リミットスイッチの初期位置設定）が必要になる。

- ① ウィンドゥレギュレーターとパワーウィンドゥモーターを切り離した場合。
- ② ドアガラスが組み付いていない状態でウィンドゥレギュレーターを作動させた場合。

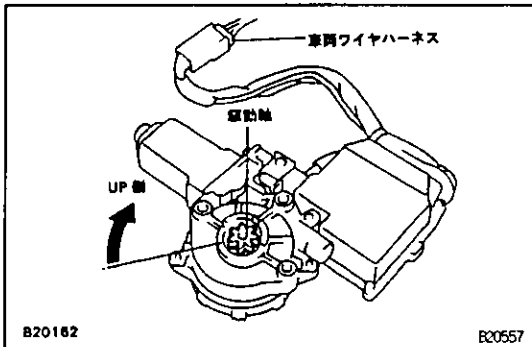
1 運転席パワーウィンドゥモーターのリセット

- (1) パワーウィンドゥモーターを取りはずす。
（「フロント & リヤドア」－「フロントドア」参照）
- (2) パワーウィンドゥモーターおよびマスタースイッチを車両のワイヤハーネスに接続する。
- (3) マスタースイッチを操作してパワーウィンドゥモーターをUP側に6回転以上（4秒以上）空回りさせた後、レギュレーターに組み付ける。
- (4) 運転席ドアを組み付ける。

2 パワーウィンドゥ機能点検

（「機能点検」－「パワーウィンドゥ点検」参照）

- **注意** リセット直後は挟み込み防止機能が作動しないため数回 AUTO UP↔AUTO DOWN 操作を繰り返した後機能点検を行う。



トラブルシューティング

トラブルシューティングの進め方

1 トラブルシューティングの進め方

- (1) バッテリー電圧を点検する。
基準値 10~14V (エンジン停止時)
- (2) ヒューズ切れ, ワイヤハーネス断線, 短絡, コネクタ—の接続不良など目視で確認できる箇所の点検を行う。
- (3) 不具合箇所現象に該当するチャートに従って点検する。

現象別チャート

注意 不具合現象を把握し, 該当するフローチャートに従って点検する。

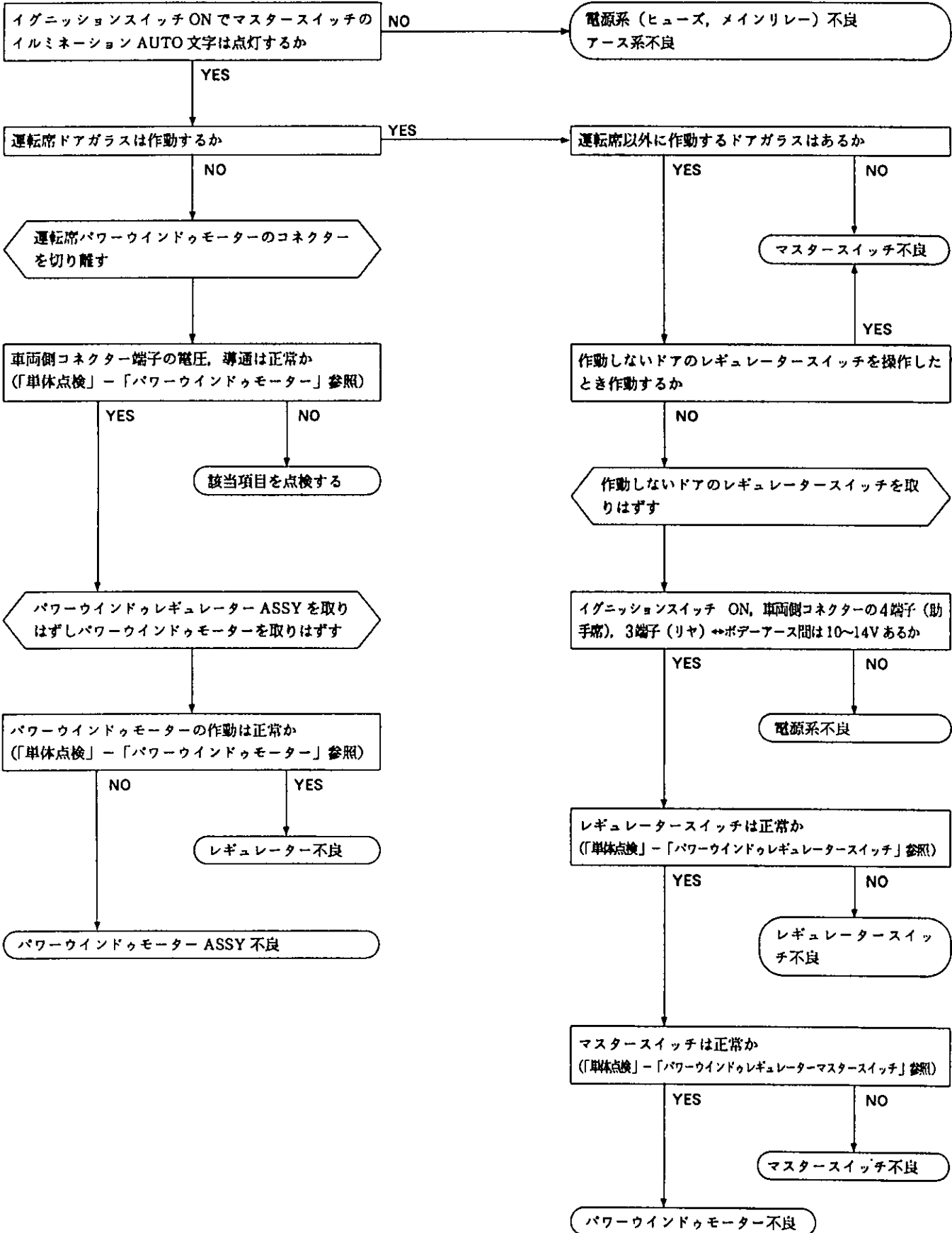
1 フローチャートの見方

- ◇ ……作業する項目
- ……点検する項目
- ……不具合要因・ワイヤハーネス系も含む。

2 不具合チャート

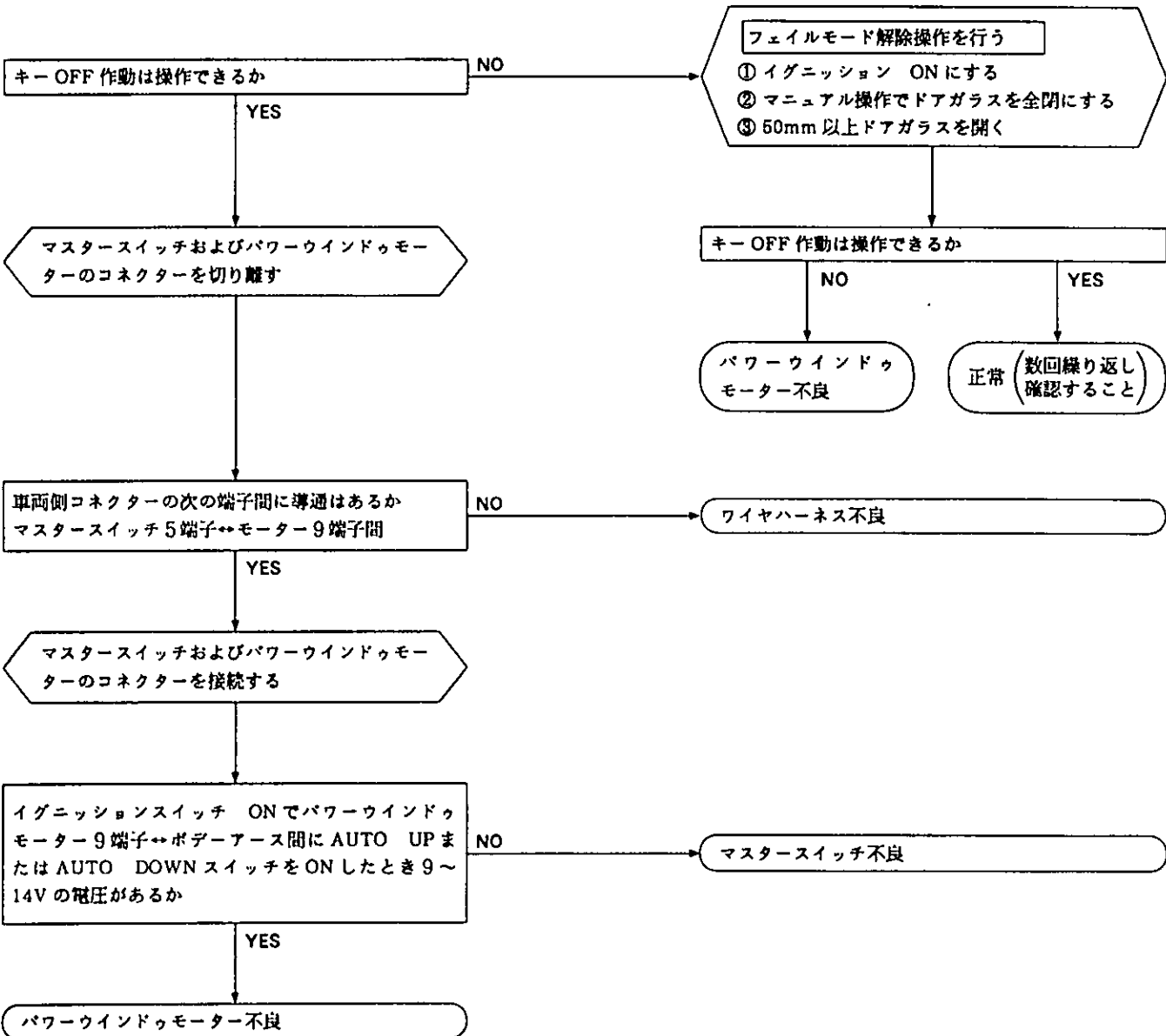
不 具 合 現 象		該当チャート
パワーウィンドゥが動かない	パワーウィンドゥマスタースイッチによる操作ができない	1
	運転席ドアの AUTO 操作ができない	2
	キー操作で運転席ドアが操作できない	3
	キー OFF 作動ができない	4
UP 作動中 DOWN 作動する	運転席ドアガラス UP 作動中に DOWN 作動する	5
異物を挟み込んでも DOWN 作動しない		6

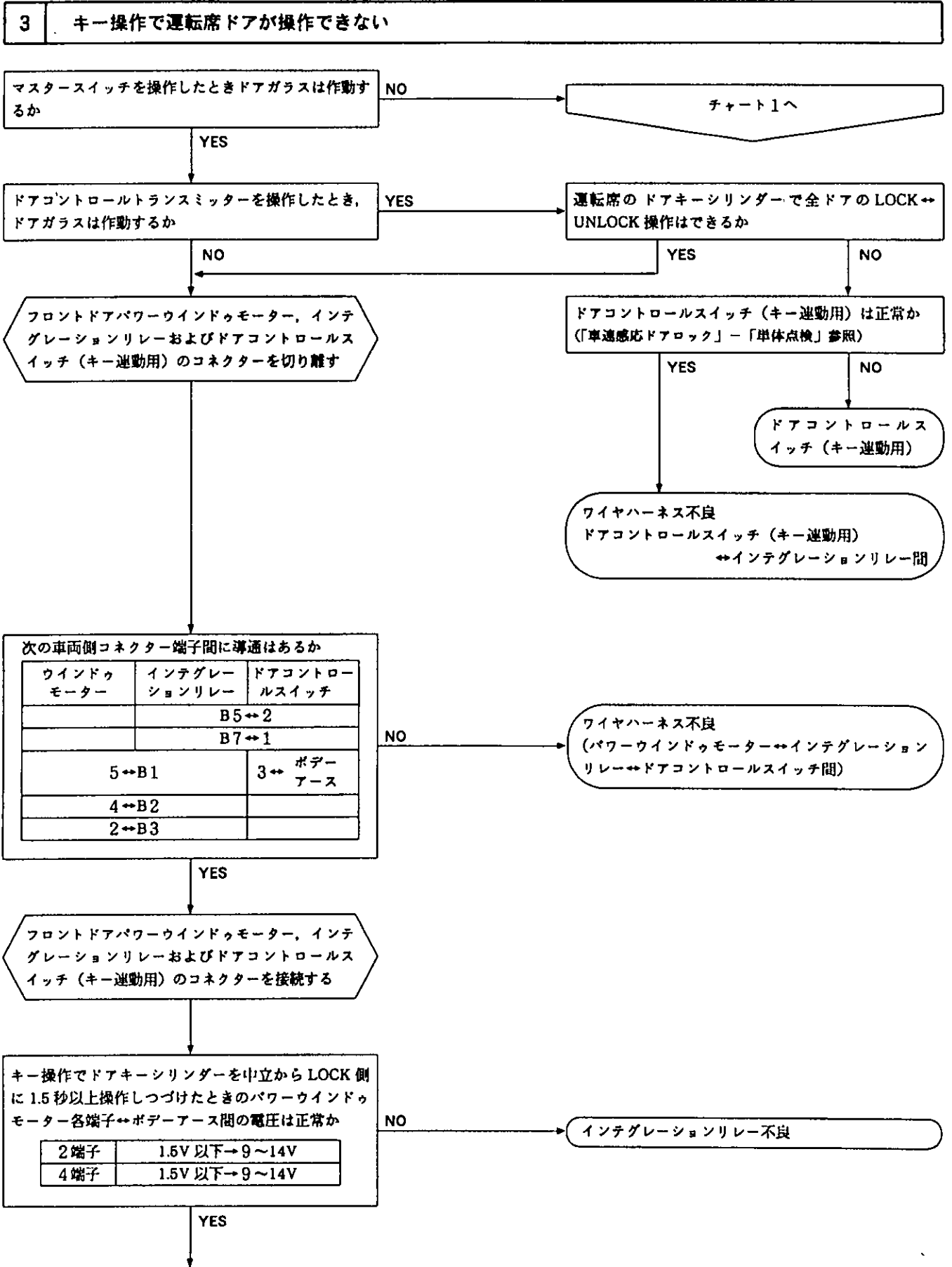
1 パワーウィンドウマスタースイッチによる操作ができない

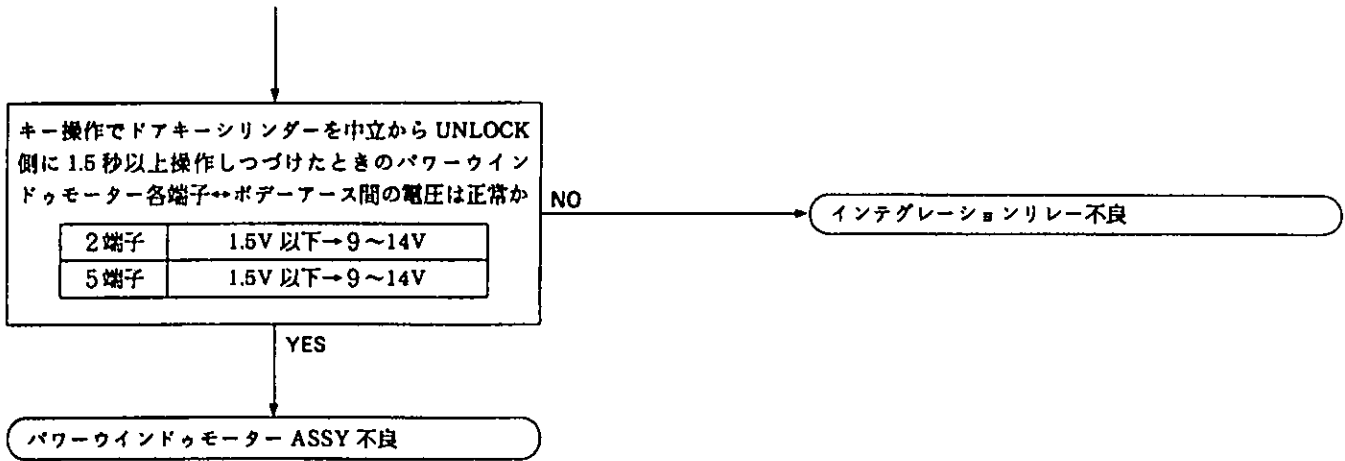


11

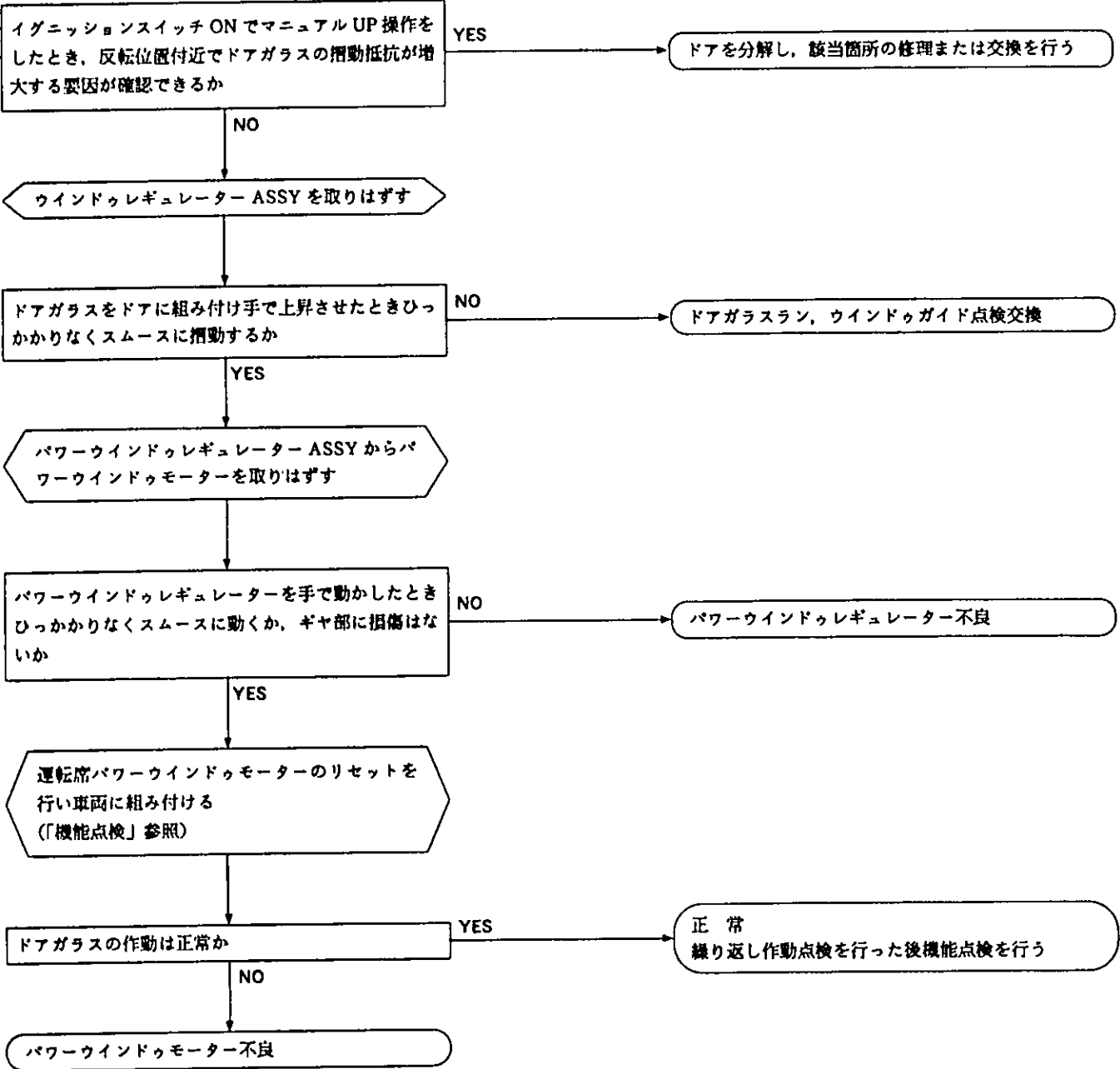
2 運転席ドアの AUTO 操作ができない





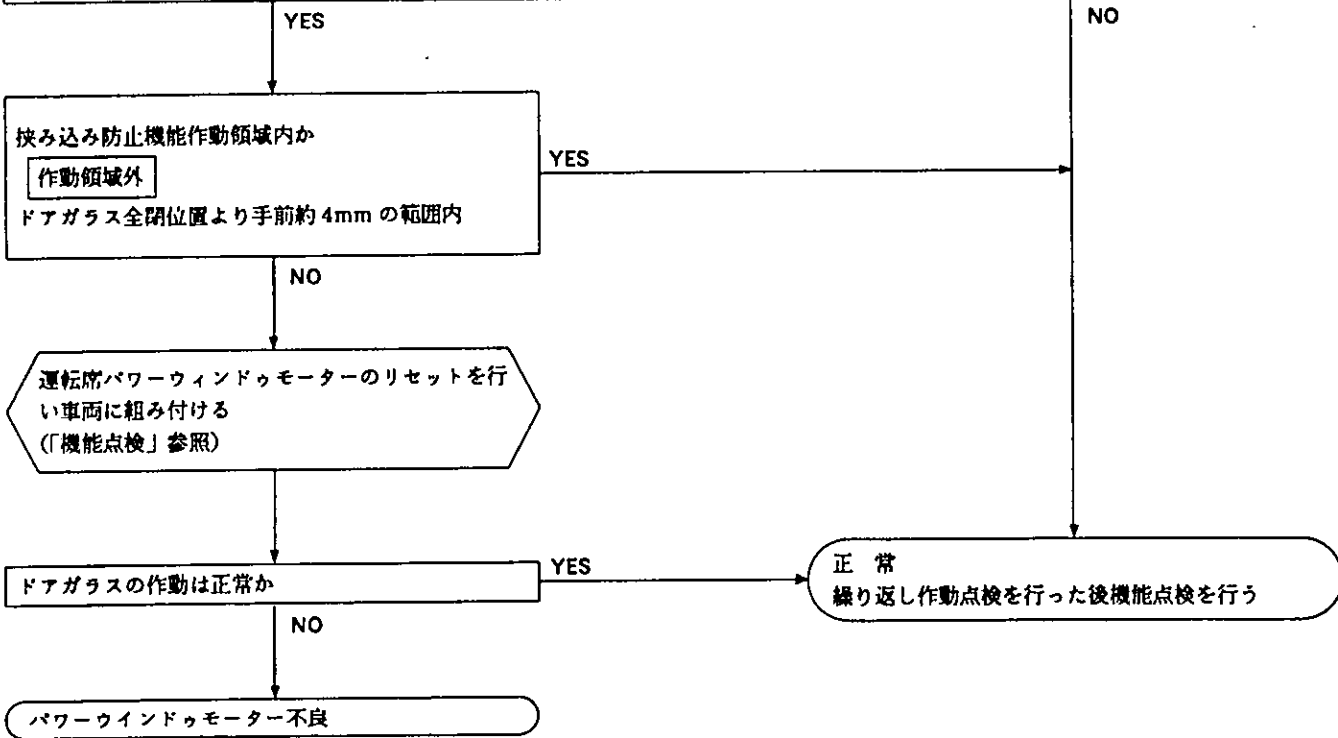


5 運転席ドア UP 作動中 DOWN 作動する



6 異物を挟み込んでも DOWN 作動しない

- 挟み込み防止機能作動状態か
- ① イグニッションスイッチ ON で AUTO UP 作動 (ワンタッチ操作)
 - ② キー操作による UP 作動
 - ③ ドアコントロールトランスミッターによる UP 作動 (ワイヤレス操作)
 - ④ キー OFF 作動時の AUTO UP および UP 作動



11

T0062637

単体点検

パワーメインリレー

1 導通点検

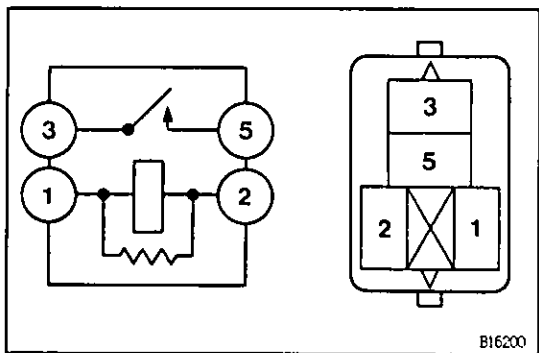
(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基準 1端子↔2端子間……導通あり

3端子↔5端子間……導通なし

(2) コネクターの1端子↔2端子間にバッテリー電圧を加えたとき、3端子↔5端子間の導通を点検する。

基準 導通あり



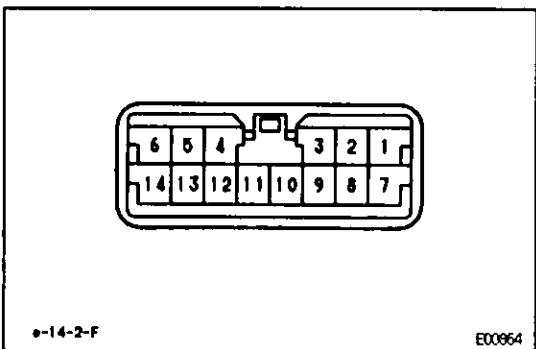
B16200

パワーウィンドウレギュレーターマスタースイッチ

1 導通点検

(1) スイッチを操作しながら、コネクター各端子間の導通を点検する。

基準 ○—○導通あり



9-14-2-F

EC0964

スイッチ端子番号	フロント RH			
	11	6	4	5
スイッチ操作				
UP AUTO	○—○	○—○		○—○
UP MANUAL	○—○	○—○		
OFF				
DOWN MANUAL	○—○		○—○	
DOWN AUTO	○—○		○—○	○—○

JB4139

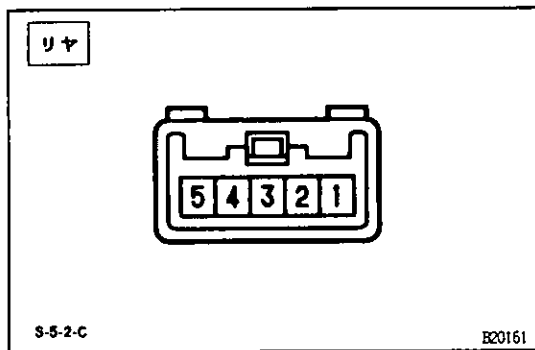
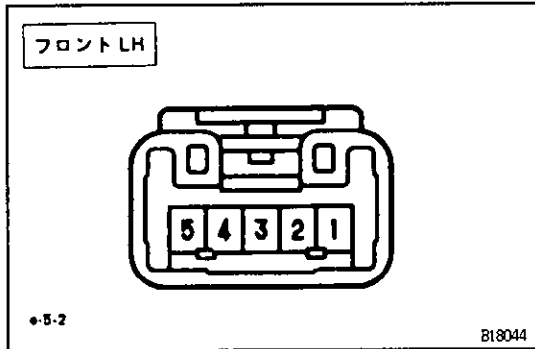
11

切り替え	スイッチ端子番号	フロント LH				リヤ RH				リヤ LH			
		10	1	2	14	10	13	12	14	10	8	7	14
ウインドウロックスイッチ NORMAL	UP	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○
	OFF		○—○	○—○	○—○		○—○	○—○			○—○	○—○	○—○
	DOWN	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○	○—○
ウインドウロックスイッチ LOCK	UP	○—○	○—○			○—○	○—○			○—○	○—○		
	OFF		○—○	○—○			○—○	○—○			○—○	○—○	
	DOWN	○—○	○—○	○—○		○—○	○—○	○—○		○—○	○—○	○—○	

JB4140

2 イルミネーション点検

- (1) コネクターの11端子にバッテリー⊕, 14端子にバッテリー⊖を接続したとき, パワーウィンドウスイッチのイルミネーション(発光ダイオード) AUTO文字が点灯することを点検する。



パワーウィンドウレギュレータースイッチ

1 導通点検

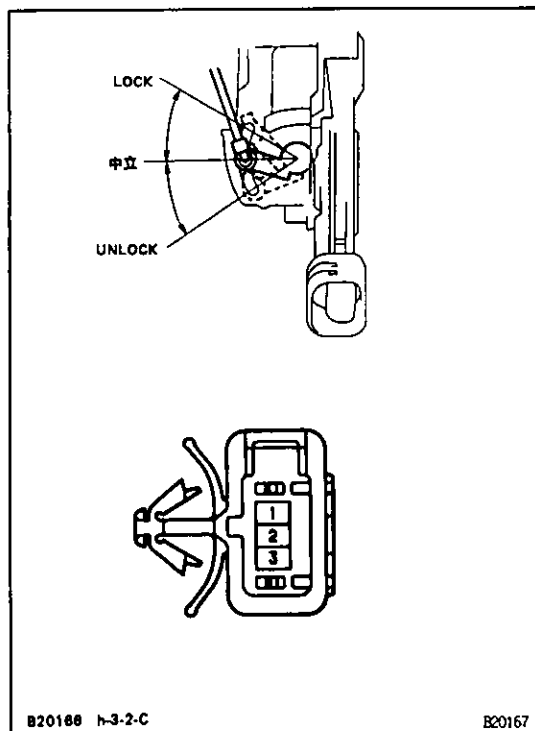
- (1) スイッチを操作しながら, コネクター各端子間の導通を点検する。

基準 ○—○導通あり

端子番号	フロント LH	5	4	3	2	1
切り替え	リ ヤ	2	3	1	4	5
UP			○—○		○—○	
OFF		○—		○—	○—	○—
DOWN		○—	○—			○—

JM141

11



ドアコントロールスイッチ (キー連動用)

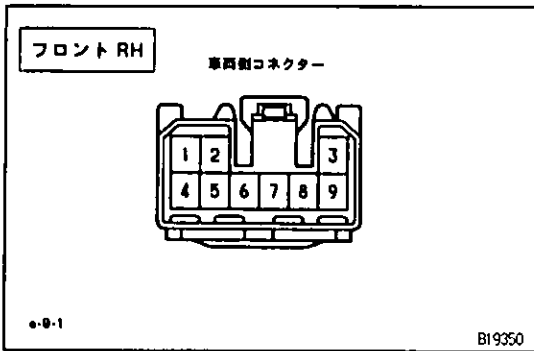
1 導通点検

- (1) スイッチレバー各位置における各端子間の導通を点検する。

基準 ○—○導通あり

端子番号	2	3	1
スイッチ			
LOCK	○—	○—	
中立位置			
UNLOCK		○—	○—

J48244



パワーウィンドゥモーター

1 パワーウィンドゥモーター作動点検

- **注意** ・運転席ドアパワーウィンドゥモーターのコネクタに直接バッテリー電圧を加えても作動しない。また直接バッテリー電圧を加えるとコントローラー故障の要因となるため絶対しない。
- ・運転席パワーウィンドゥモーターのレギュレーターへの組み付け時、運転席パワーウィンドゥモーターのリセット（リミットスイッチの初期位置設定）を必ず行う。

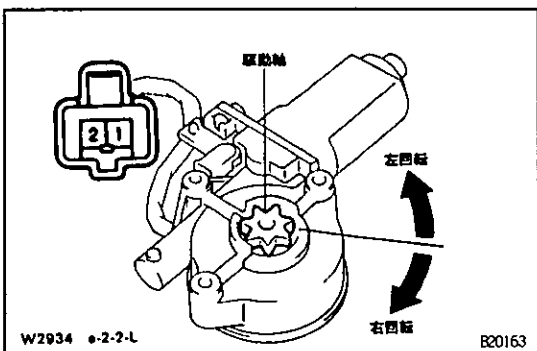
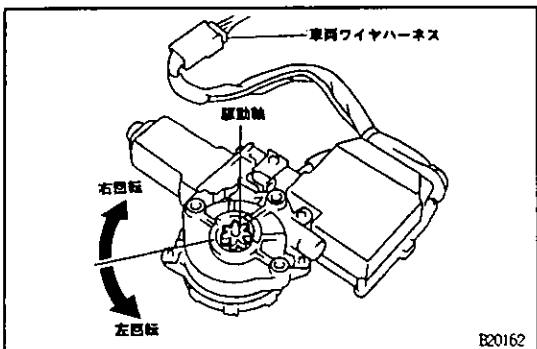
（「機能点検」参照）

フロント RH

- (1) パワーウィンドゥレギュレーターマスタースイッチを車両ワイヤハーネスに取り付け、切り離れた車両側コネクタ各端子の導通および電圧を点検する。

基準

測定コネクタ 条件	端子番号		項目	測定条件	基準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター ⊕	テスター ↔ ⊖				
接続切り車両側	1	ボデーアース	導通	常時	導通あり	ワイヤハーネスアース系
	2	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON	1.5V以下 →9~14V	インテグレーションリレー
				イグニッションスイッチ ON→OFF →運転席カーテシランプスイッチ ON→OFF	9~14V→1.5V以下 →9~14V →1.5V以下	
	3	ボデーアース	電圧	常時	10~14V	ワイヤハーネス電源系
	4	ボデーアース	電圧	キー操作で運転席ドアキーシリンダー中立→ロック側 (1.5秒以上)	1.5V以下 →6~14V	インテグレーションリレー
	5	ボデーアース	電圧	キー操作で運転席ドアキーシリンダー中立→アンロック側 (1.5秒以上)	1.5V以下 →6~14V	
	6	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, マスタースイッチの運転席用スイッチ OFF→UP	1.5V以下 →9~14V	マスタースイッチおよびインテグレーションリレー
	7	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, マスタースイッチの運転席用スイッチ OFF→DOWN	1.5V以下 →9~14V	
	8	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON	1.5V以下 →9~14V	ワイヤハーネスIG系
9	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, マスタースイッチの運転席用スイッチマニュアル UP→AUTO UPまたはマニュアル DOWN→AUTO DOWN	1.5V以下 →9~14V	マスタースイッチ、インテグレーションリレー	



- (2) パワーウィンドゥモーターを車両ワイヤハーネスに接続し、マスタースイッチを操作してマニュアルおよびオート操作で、モーターがスムーズに作動することを確認する。

基準

スイッチ操作	作動方向
UP	駆動軸に対して右回転
DOWN	駆動軸に対して左回転

フロント LH, リヤ

- (1) 各端子にバッテリー電圧を加えたとき、モーターがスムーズに作動することを点検する。

基準

フロント LH, リヤ RH

測定条件	作動方向
バッテリー⊕→1端子 バッテリー⊖→2端子	駆動軸に対して右回転
バッテリー⊕→2端子 バッテリー⊖→1端子	駆動軸に対して左回転

リヤ LH

測定条件	作動方向
バッテリー⊕→2端子 バッテリー⊖→1端子	駆動軸に対して右回転
バッテリー⊕→1端子 バッテリー⊖→2端子	駆動軸に対して左回転

2 パワーウィンドゥモーター内 PTC 作動点検

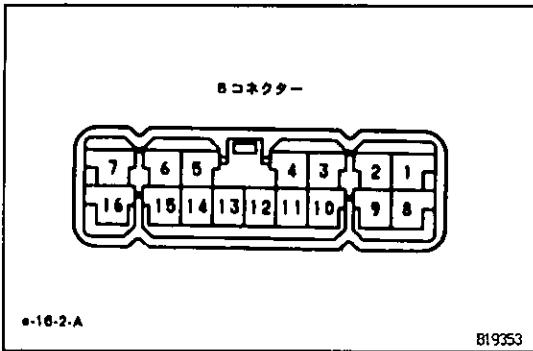
注意 パワーウィンドゥレギュレーターおよびドアガラスを車両に組み付けた状態で行う。

- (1) 遮断点検を行う。
- ① 3端子（フロント RH）、1端子または2端子（フロント RH 以外）のワイヤハーネスに、トヨタ電気カルテスターの DC400A プローブをセットする。
 - 注意** 電流の流れる方向にプローブの矢印を合わせる。
 - ② ウィンドゥガラスを全閉位置にする。
 - ③ 全閉約 60 秒後、再度（初回時）パワーウィンドゥスイッチを UP にしたときの電流が約 16~34A から 1 A 以下に変化するまでの時間を点検する。

基準 約 4~90 秒

- (2) 復帰点検を行う。
- ① 遮断点検約 60 秒後にパワーウィンドゥスイッチを UP にしたとき、ウィンドゥガラスが上昇することを点検する。

インテグレーションリレー



(1) 次の点検要領で各端子とボデーアース間の導通、電圧を点検する。なお、表中の“接続切り車両側”はコネクタの接続を切り離し、車両側のコネクタで点検することを表し、“コネクタ接続”はコネクタを接続した状態で点検することを表す。

① “接続切り車両側”の点検後、“コネクタ接続”の点検を行う。

基準

測定コネクタ 条件	端子番号		項目	測定条件	基準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター ⊕	テスター ↔ ⊖				
コネクタ 接続切り	B5 ↔ ボデーアース		導通	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→LOCK	導通あり→なし	車両側
	B7 ↔ ボデーアース		導通	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→UNLOCK	導通あり→なし	
コネクタ接続	B1 ↔ ボデーアース		電圧	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→LOCK側 (1.5秒以上)	1.5V以下 →9V以上	インテグレーションリレー
	B2 ↔ ボデーアース		電圧	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→LOCK側 (1.5秒以上)	1.5V以下 →9V以上	
	B3 ↔ ボデーアース		電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON イグニッションスイッチ ON→OFF→ 運転席カーテシランプスイッチ ON→OFF	1.5V以下 →9~14V 9~14V→1.5V以下 →9~14V →1.5V以下	

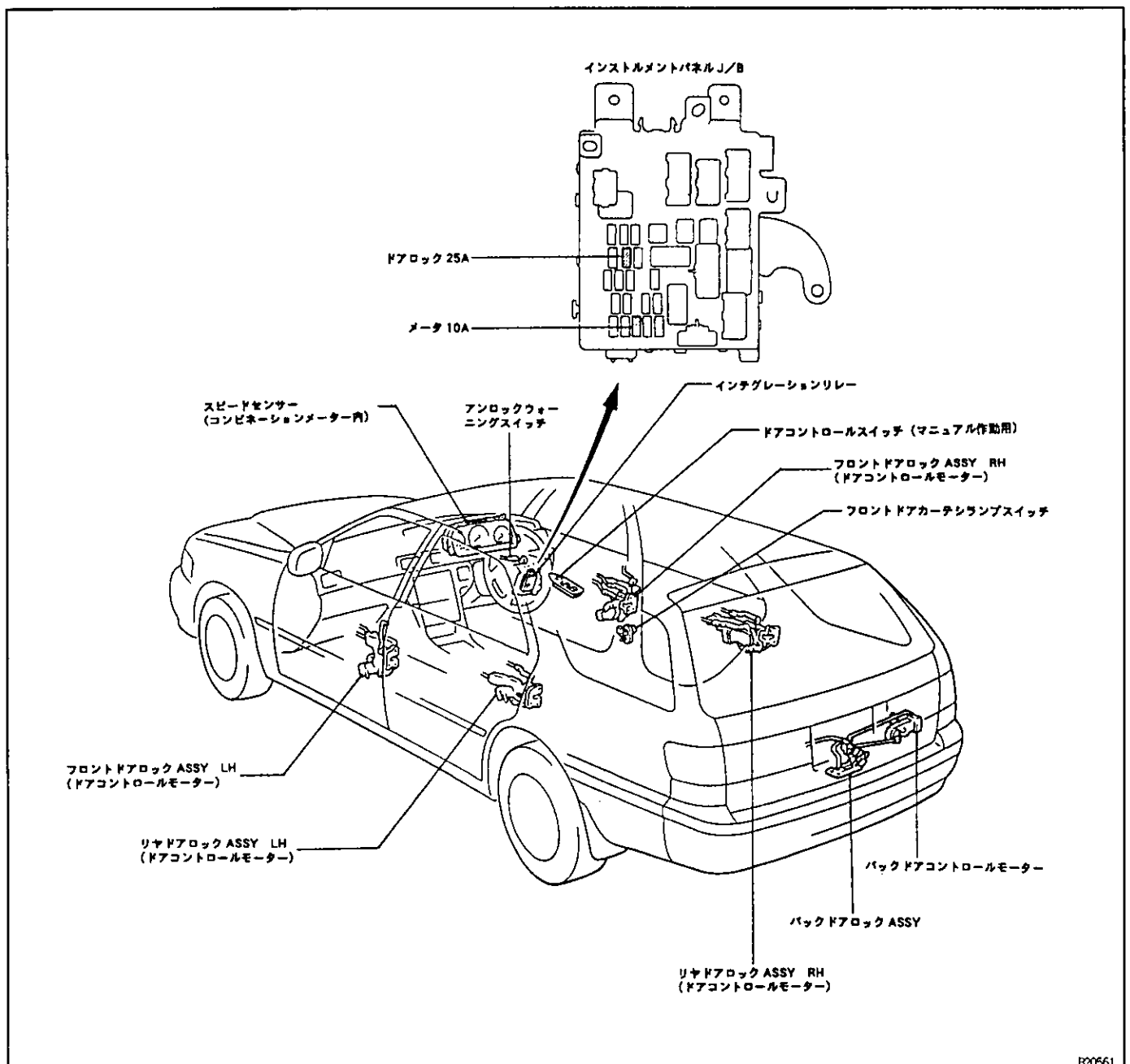
車速感応オートドアロック

準備品

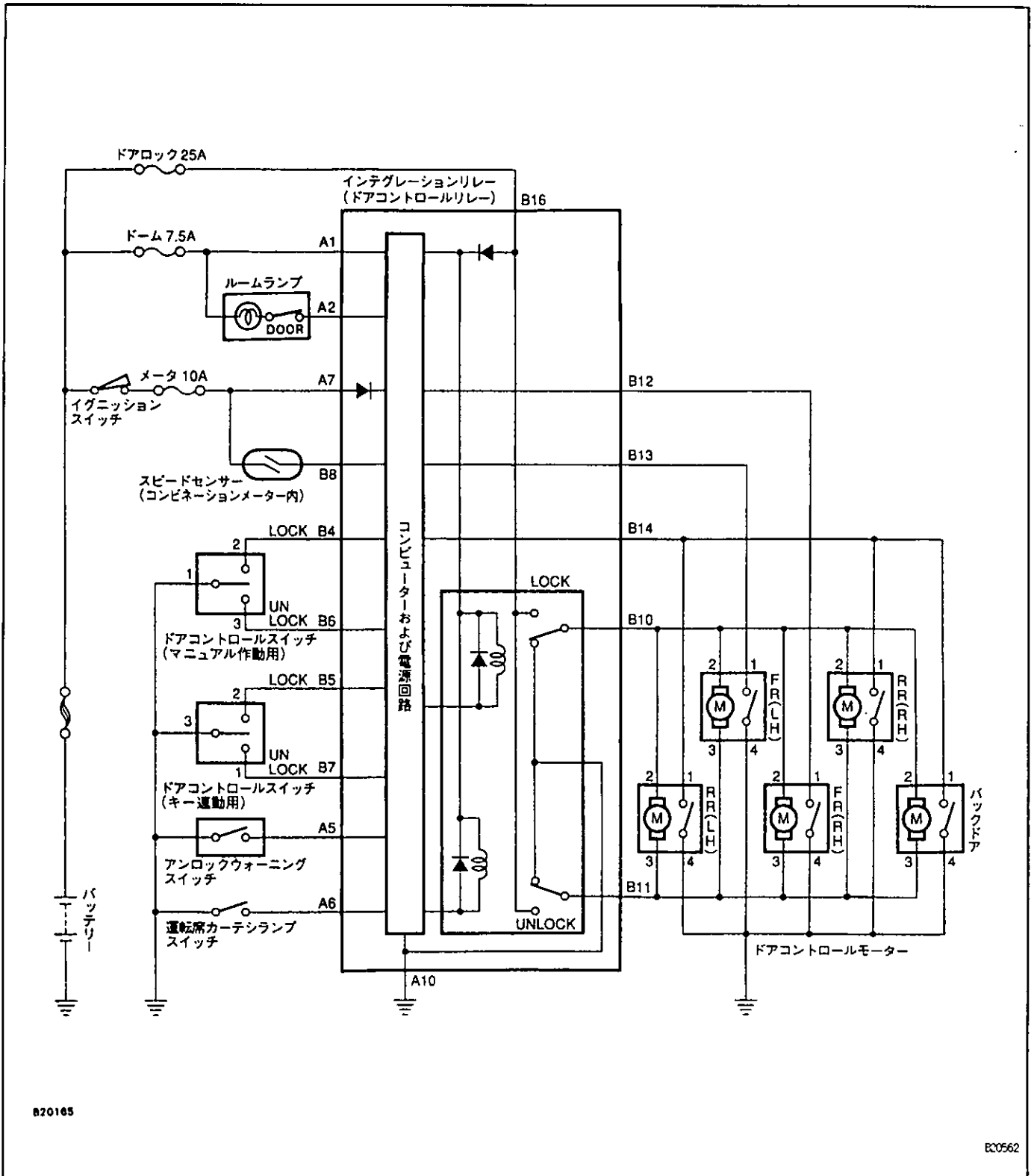
計器

トヨタエレクトリカルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用

部品配置図



回路図



B20165

EC0562

機能点検

電気式ドアロック点検

1 基本機能点検

- (1) ドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）をロック側に操作すると、全ドアがロックし、アンロック側に操作すると、全ドアがアンロックすることを点検する。
- (2) 車外から運転席ドアをキー操作によりロック側に操作すると、全ドアがロックし、アンロック側に操作すると、全ドアがアンロックすることを点検する。

2 オートドアロック作動機能点検

- (1) いずれかのドアがアンロック状態で車速が約 20km/h 以上になると、全ドアがロックすることを点検する。
- (2) 約 20km/h 以上で走行中にドアロックノブをアンロック側に操作しても、すぐにロックすることを点検する。

3 キー抜き忘れ防止機能点検

注意 イグニッションキーのとり込みを防止するため、運転席ドアガラスを開けた状態で点検を行う。

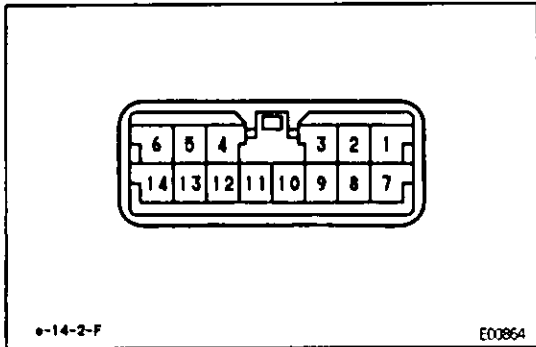
- (1) イグニッションキーがイグニッションキーシリンダーに差し込んであり、運転席ドアが開いている状態で、運転席ドアのドアロックノブをロック側に操作しても、すぐにアンロックすることを点検する。
- (2) (1)の状態、ドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用およびキー連動用）をロック側に操作しても、すぐにアンロックすることを点検する。
- (3) (1)の状態、運転席ドアのドアロックノブをロック側に2秒間以上押さえてロック状態にして、キーレスロックにより運転席ドアを閉めると、全ドアがアンロックすることを点検する。

4 セキュリティー機能点検

- (1) 車外からドアコントロールスイッチの操作ができるように、運転席ドアガラスを開いて全ドアを閉じる。
- (2) イグニッションキーを抜いて運転席のドアを閉じ、キー操作によりドアをロックした状態では、車外からドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）をアンロック側に操作しても、アンロックしないことを点検する。
- (3) イグニッションキーを抜いて運転席のドアを開け、キーレスロックによりドアを閉じた状態では、車外からドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）をアンロック側に操作しても、アンロックしないことを点検する。
- (4) イグニッションキーを抜いて運転席のドアを閉じ、ワイヤレス操作によりドアをロックした状態では、車外からドアコントロールスイッチ（マニュアル作動用）をアンロック側に操作しても、アンロックしないことを点検する。
- (5) 以下の条件のとき、セキュリティー機構が解除されることを点検する。
 - ① キー操作により、運転席のドアをアンロックしたとき。
 - ② イグニッションスイッチをONにしたとき。
 - ③ ワイヤレス操作によりアンロックしたとき。

5 イルミネーション機能点検

- (1) ルームランプスイッチを DOOR 位置にする。
- (2) 全ドアロックから運転席ドアをキー操作によりアンロック側に操作したとき、全ドアがアンロック作動と同時にルームランプが点灯することを点検する。
- (3) ドアを開けないで放置した場合約 15 秒で消灯することを点検する。



e-14-2-F

E00864

単体点検

T0063042

ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用)

1 導通点検

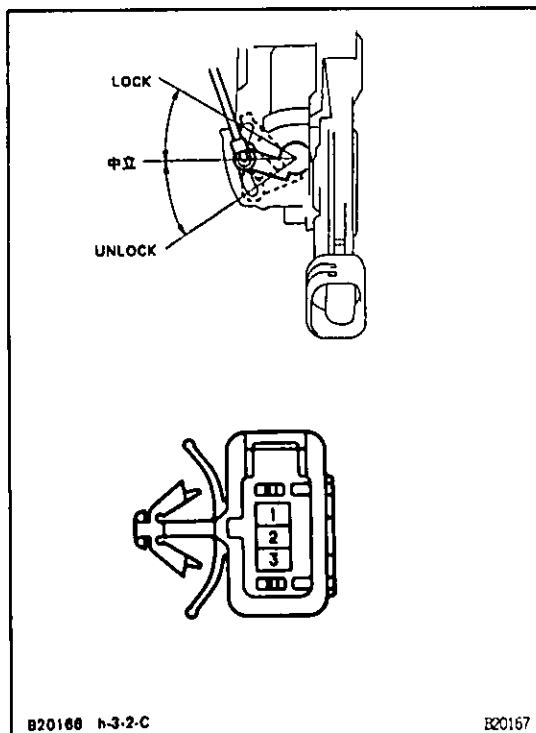
- (1) スイッチを操作しながら、コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準

○—○導通あり

端子番号 スイッチ	3	9	14
LOCK	○—○		○—○
OFF			
UNLOCK		○—○	○—○

J04142



B20168 h-3-2-C

B20167

ドアコントロールスイッチ (キー連動用)

1 導通点検

- (1) スイッチレバー各位置における各端子間の導通を点検する。

基準

○—○導通あり

端子番号 スイッチ	2	3	1
LOCK	○—○	○—○	
中立位置			
UNLOCK		○—○	○—○

J48244

ドアロック (ドアコントロールモーター)

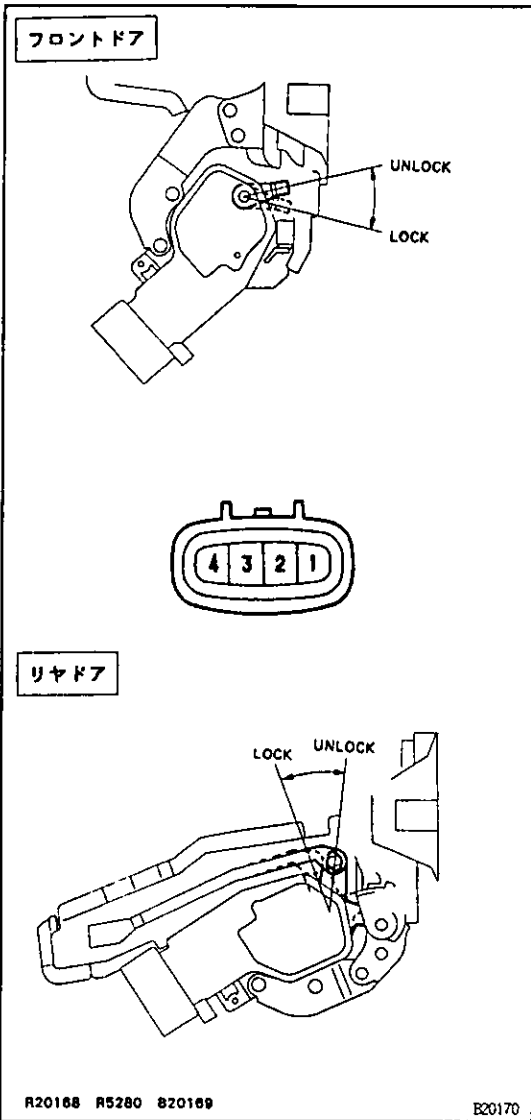
1 ドアロック作動

(1) コネクターの端子間にバッテリー電圧を加えたとき、ドアロックの作動および導通を点検する。

基準

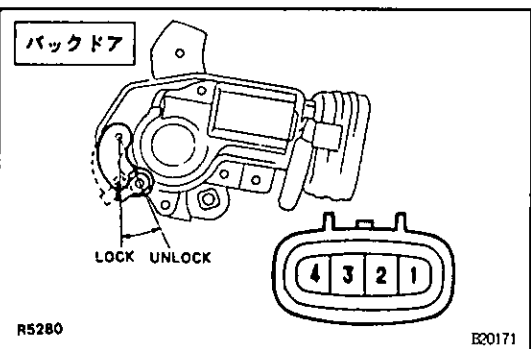
フロントドア、リヤドア

接 続	作 動
バッテリー⊕↔2端子 バッテリー⊖↔3端子	LOCK 状態 1-4端子間導通なし
バッテリー⊕↔3端子 バッテリー⊖↔2端子	UNLOCK 状態 1-4端子間導通あり



バックドア

接 続	作 動
バッテリー⊕↔2端子 バッテリー⊖↔3端子	LOCK 状態 1-4端子間導通なし
バッテリー⊕↔3端子 バッテリー⊖↔2端子	UNLOCK 状態 1-4端子間導通あり



スピードセンサー (コンビネーションメーター内)

(「電気リカル」-「メーター & ゲージ」参照)

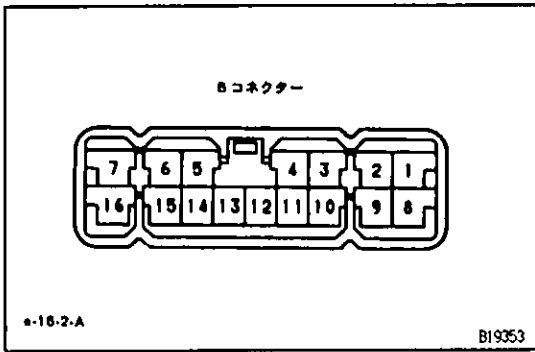
アンロックウォーニングスイッチ

(「キー抜き忘れウォーニングシステム」-「単体点検」参照)

カーテシランプスイッチ

(「キー抜き忘れウォーニングシステム」-「単体点検」参照)

インテグレーションリレー



(1) 次の点検要領で各端子とポデーアース間の導通、電圧を点検する。なお、表中の“接続切り車両側”はコネクタの接続を切り離し、車両側のコネクタで点検することを表し“コネクタ接続”はコネクタを接続した状態で点検することを表す。

●注意 ● “接続切り車両側”の点検後、“コネクタ接続”の点検を行う。

基準

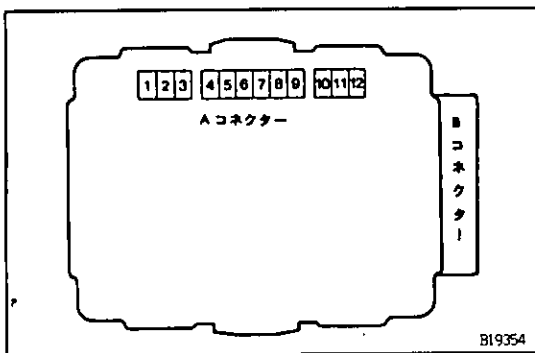
測定コネクタ 条件	端子番号		項目	測定条件	基準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター ⊕	テスター ↔ ⊖				
接続切り車両側	B4	ポデーアース	導通	ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) OFF→LOCK	導通なし→あり	車両側ドア コントロール スイッチ系
	B5	ポデーアース	導通	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→LOCK	導通なし→あり	
	B6	ポデーアース	導通	ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) OFF→UNLOCK	導通なし→あり	
	B7	ポデーアース	導通	キー操作で運転席ドアキーシリンダーを中立→UNLOCK	導通なし→あり	
	B8	ポデーアース	Hz	スピードメーター指示を 20km/h で保持する (オートロック車速)	パルス発生 (約 14Hz)	スピードセ ンサー系
	B10→B11		導通	常時	導通あり	ドアコント ロールモ ーター系
	B12	ポデーアース	導通	運転席ドアロックノブを LOCK→UNLOCK	導通なし→あり	
	B13	ポデーアース	導通	助手席ドアロックノブを LOCK→UNLOCK	導通なし→あり	
	B14	ポデーアース	導通	リヤ席ドアロック RH, LH およびバックドア (ワゴン) LOCK→片側または両側のロックノブ UNLOCK	導通なし→あり	
B16	ポデーアース	導通	常時	10~14V	電源系ドア ロックヒューズ	
コネクタ接続	B10	ポデーアース	電圧*	ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) OFF→LOCK	0V→10~14V →0V	インテグ レーション リレー
	B11	ポデーアース	電圧*	ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) OFF→UNLOCK	0V→10~14V →0V	

*: 電圧の確認はバーグラフ表示にて点検する。

JB4246

11

(2) Aコネクタ側はインストルメントパネルJ/Bに接続され点検が困難なため入力先および点検項目を示す。



端子番号	点検項目
A1	ドームヒューズ 7.5A
A4	助手席, リヤ席 カーテシランプスイッチ
A5	アンロックウォーニングスイッチ
A6	運転席カーテシランプスイッチ
A7	メータ 10A ヒューズ
A10	アース系

衝撃感知ドアロック解除

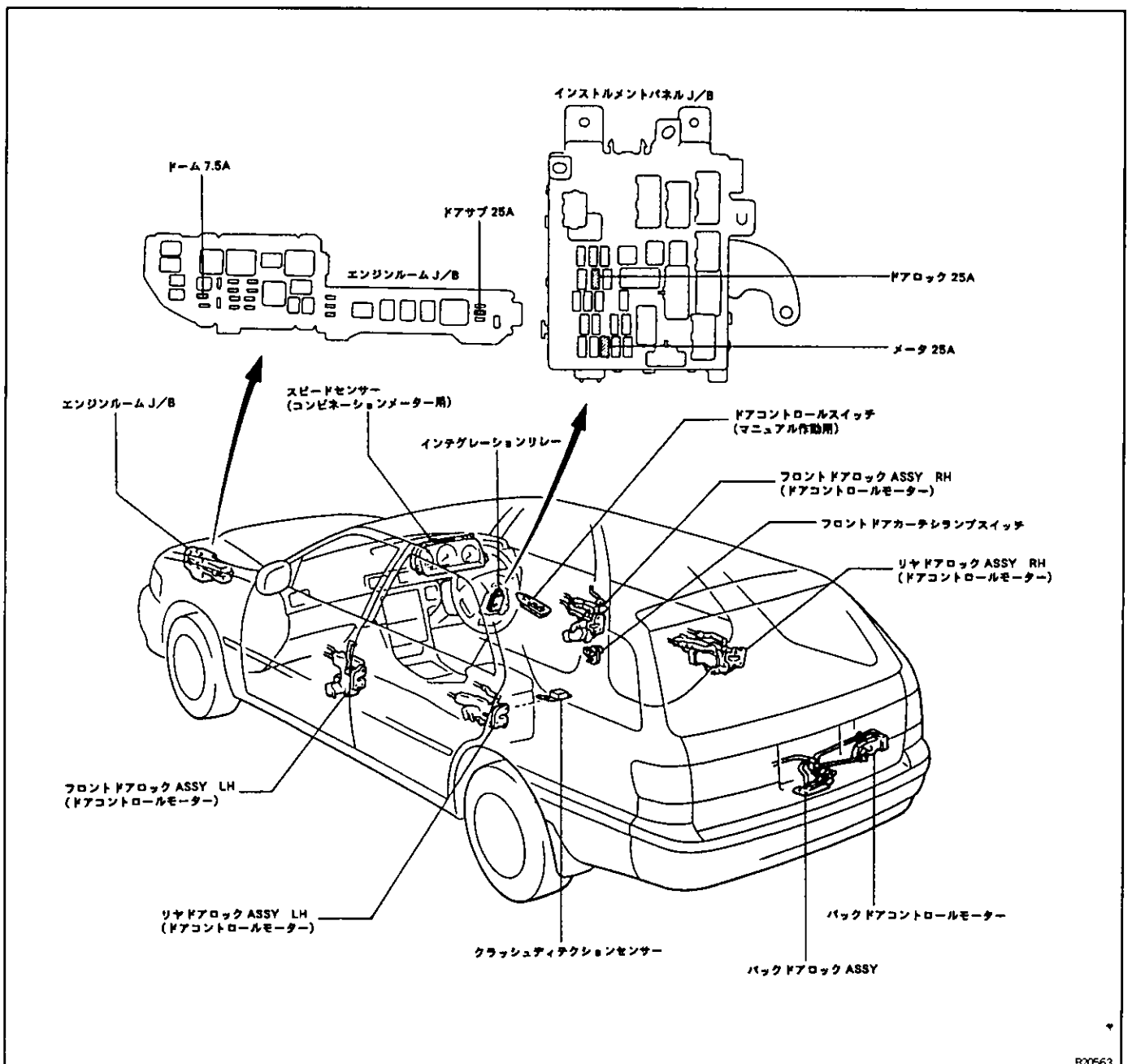
システム

準備品

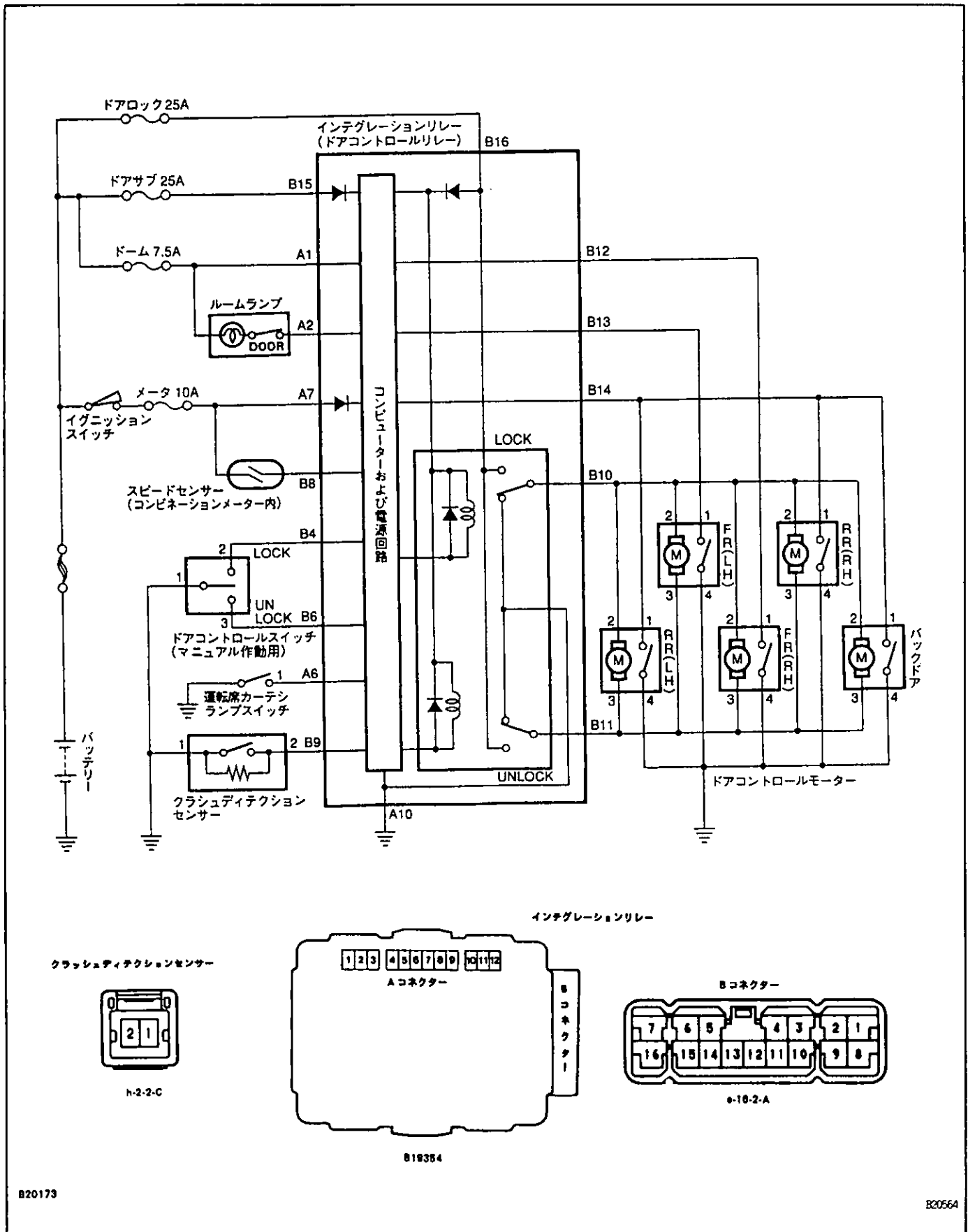
計器

トヨタ電気リカルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用

部品配置図



回路図



11

トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、衝撃感知ドアロックシステムについてのみ記載してあるため、車速感応オートドアロックの機能が正常であることを確認した後作業を行う。

トラブルシューティングの進め方

1 トラブルシューティングの進め方

- (1) 車速感応オートドアロックが正常に作動することを点検する。
- (2) 不具合現象に該当するチャートに従って点検する。

現象別チャート

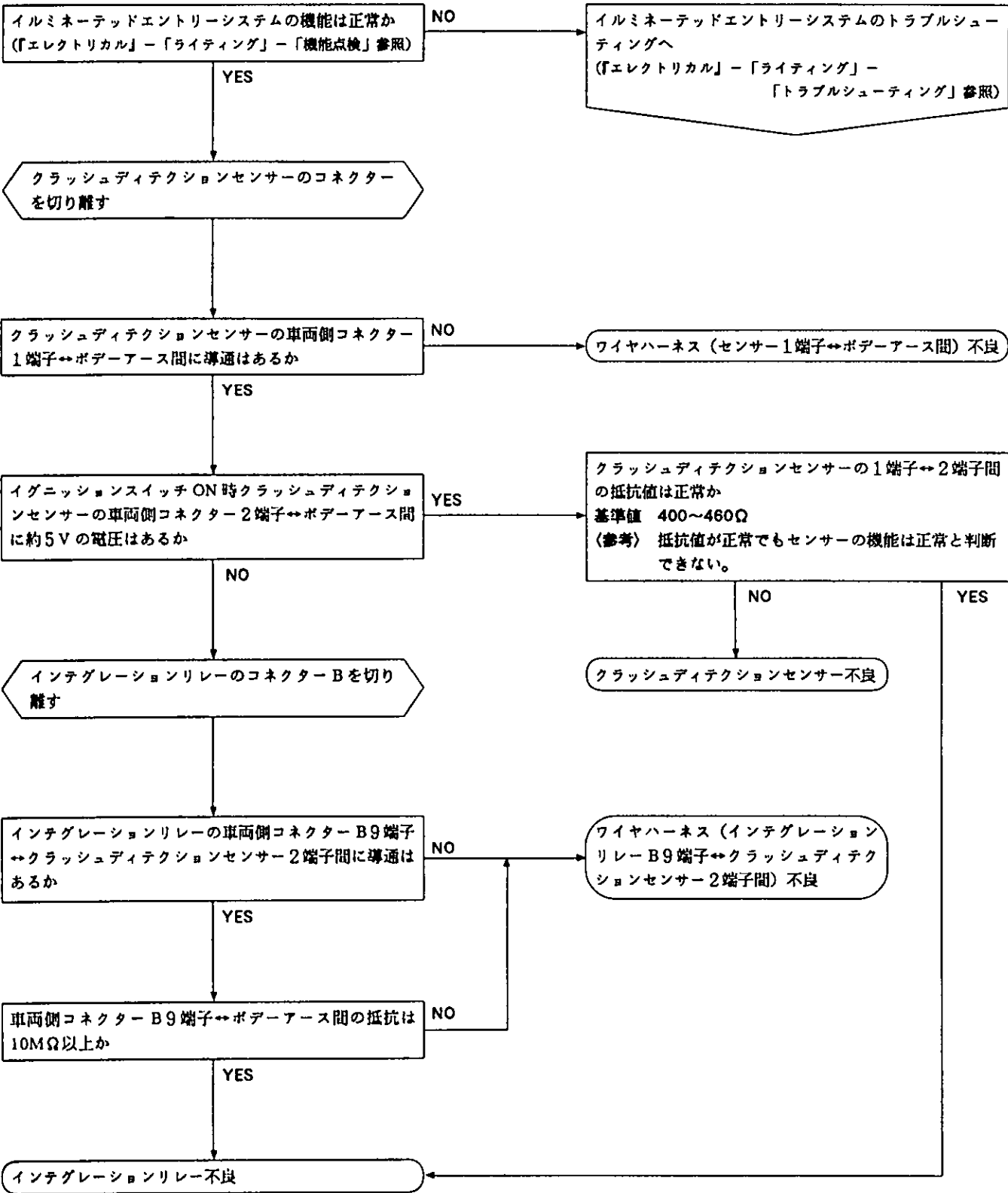
1 フローチャートの見方

- ◇ ……作業する項目
- ……点検する項目
- ……不具合要因・ワイヤハーネス系も含む。

2 不具合チャート

不 具 合 現 象	該当チャート
イグニッションスイッチ OFF→ON 時ルームランプ（イルミネーション）が点滅および車速オートロックが作動しない	1

1 イグニッションスイッチ OFF→ON時ルームランプ（イルミネーション）が点滅および車速オートロックが作動しない



クラッシュディテクションセンサー

クラッシュディテクションセンサー取りはずし

注意 クラッシュディテクションセンサーは、衝撃を感知するセンサーのため、絶対に落下させない。またセンサー、コネクタには過度の力、衝撃を与えない。

- 1 コンソールアッパーパネル取りはずし
- 2 リヤコンソールボックス取りはずし

(1~2は「インストールメントパネル」—

「インストールメントパネルセーフティーパッド取りはずし」参照)

- 3 クラッシュディテクションセンサー取りはずし

注意 ・コネクタおよびセンサーに過度の力、衝撃を加えない。
・センサーは絶対落下させない。

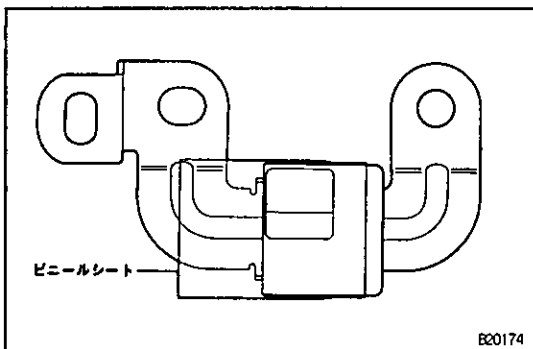
取り付け作業上の留意点

- 1 クラッシュディテクションセンサー取り付け

注意 センサーを落下させない。万一落下させた場合、外観上異常がなくても新品と交換する。またセンサーに過度の衝撃が加わってしまった場合も新品と交換する。

- (1) センサーをボルト2本で取り付ける。
 $T=9.0N\cdot m$ (90kgf \cdot cm)
- (2) コネクタを手で確実に接続する。
- (3) 取り付け後、センサー本体をゆすり、ガタのないことおよびビニールシートのめくれ、かみ込みがないことを確認する。

注意 ・センサー本体およびコネクタ部に過度の力、衝撃を加えない。
・ビニールシートがコネクタ部を確実に覆っていること。



単体点検

クラッシュディテクションセンサー

1 抵抗点検

- (1) コネクター端子間の抵抗値を測定する。

基準 400~460Ω

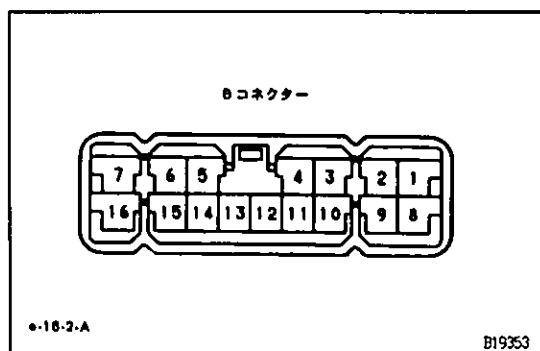
インテグレーションリレー

(参考) ここでは衝撃感知ドアロック解除システムに関する項目のみ記載してある。車速感应オートドアロックセクションの点検項目も併せて点検する。

- (1) インテグレーションリレーのコネクターBを切り離し、各端子とボデーアース間の抵抗および電圧を点検する。

基準

端子番号	項目	基準
B9	抵抗	400~460Ω
B15	電圧	常時 10~14V



ワイヤレスドアロック リモートコントロール

準備品

工具

精密⊕ドライバー	15003	ドアコントロールトランスミッターカバー脱着用
----------	-------	------------------------

計器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用

油脂・その他

新品または正常品の同型車のドアコントロールトランスミッター	58001	ドアコントロールレシーバー点検
新品または正常のバッテリー（リチウム電池・BR1216）	52510	ドアコントロールトランスミッター点検用
乾電池 1.5V 2本	52501	ドアコントロールトランスミッター点検用

注意事項

1 ワイヤレスドアロックリモートコントロール作動

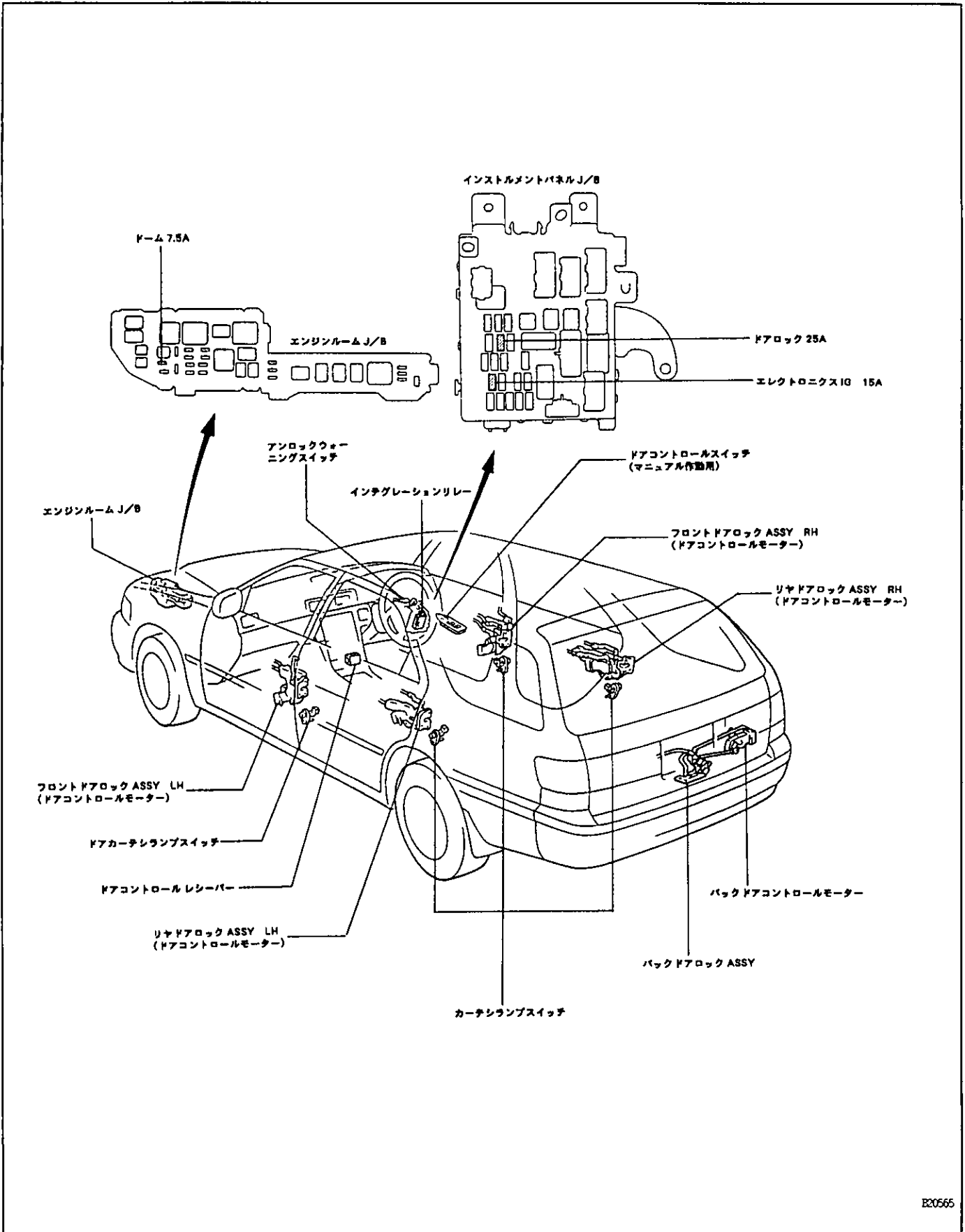
（参考） ワイヤレスドアロックリモートコントロールは以下四つの条件を満足した場合のみ作動する。

- (1) 全ドアが閉じられている。
- (2) イグニッションキーシリンダーにキープレートが差し込まれていない。
- (3) 電気式ドアロックが正常に作動する。
- (4) セキュリティ機能による受信機能停止が作動していない。

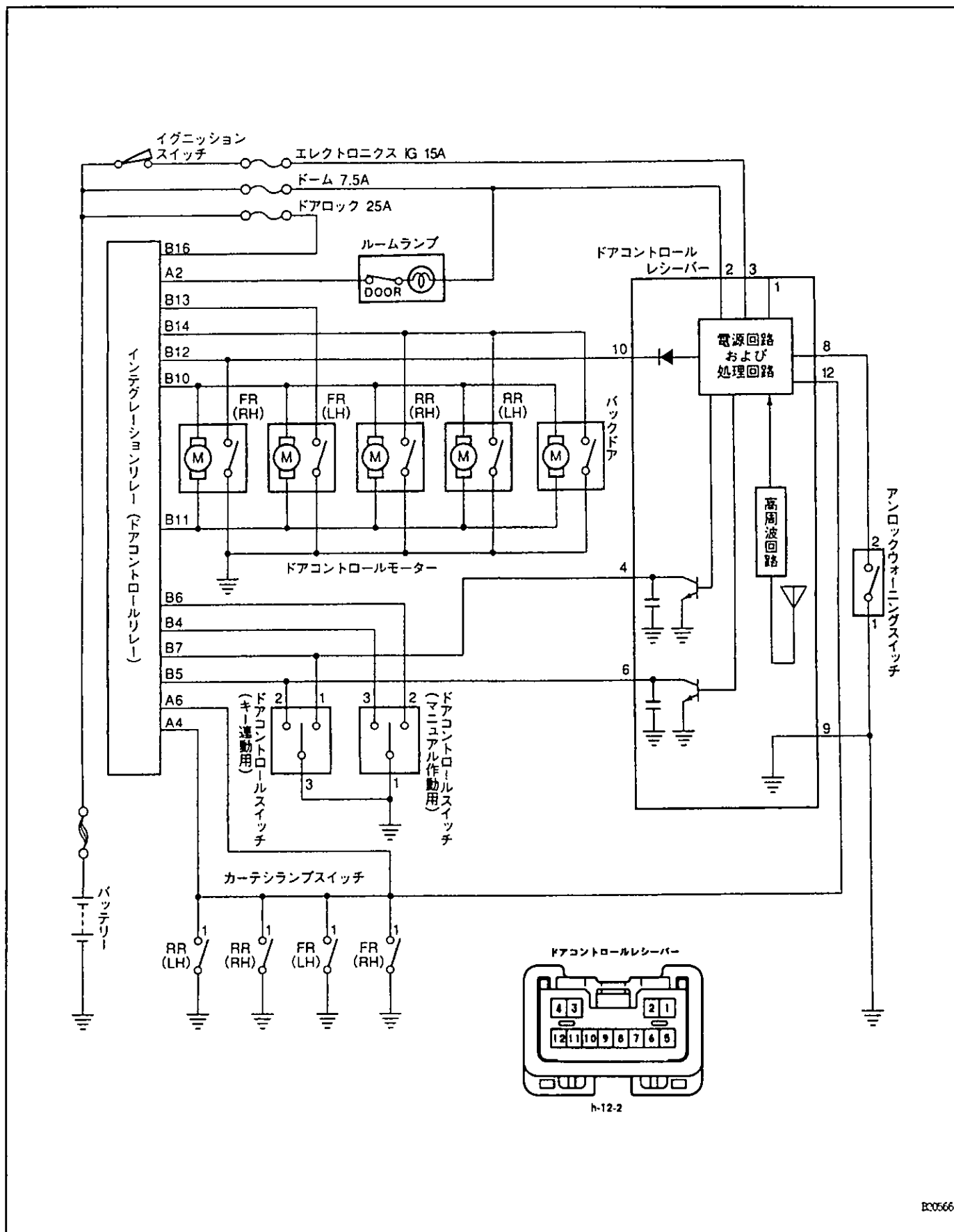
2 ワイヤレスドアロックリモートコントロール作動範囲

- (1) 操作する人、持ち方により作動範囲は変化する。
- (2) 車両のボデー形状、周囲の環境等の影響により作動範囲が狭くなったり、部分的に作動しない場所が発生することがある。
- (3) 微弱電波を使用しているため、強い電波あるいは使用周波数にノイズがある場合は、作動範囲が狭くなったり、作動しない場合がある。
- (4) 電池が消耗すると作動範囲が狭くなったり、作動しなくなる。

部品配置図



回路図



11

機能点検

(参考) 本文中に記載の“スイッチ”とは、ドアコントロールトランスミッターに内蔵された送信用のスイッチを示す。

ワイヤレスドアロックリモートコントロール点検

1 基本機能点検

- (1) リモートコントロール作動範囲内において、スイッチを約1秒押すと全ドアがロックまたはアンロック作動することを点検する。ただし、3-(1)、4-(1)、6-(1)の状態を除く。
- (2) いずれかのドアがアンロックの場合、スイッチを押すと全ドアがロック作動し、全ドアがロックの場合、スイッチを押すと全ドアがアンロック作動することを点検する。
- (3) スイッチを約1秒間隔で3回以上繰り返し押したとき、3回目以降もロックまたはアンロック作動することを点検する。

(参考) 電池残存容量が少なくなると最初の1・2回は作動するが、3回目以降は電圧が低下して作動しなくなり、しばらく放置しておくともた作動することがある。

2 オートロック機能点検

- (1) スイッチを押して全ドアのアンロックを行った後、30秒以内にいずれかのドアも開かれないか、全ドアがロックされないかまたはイグニッションキーシリンダーにキーが差し込まれないと自動的に全ドアをロック作動することを点検する。
- (2) (1)の状態、30秒以内にいずれのドアを開くか、全ドアがロックされるかまたはイグニッションキーシリンダーにキーが差し込まれると自動的にロック作動しないことを点検する。

3 キー抜き忘れ防止機能点検

- (1) イグニッションキーシリンダーにキーを差し込んだ状態では、スイッチを押してもロックまたはアンロック作動しないことを点検する。

注意 識別コード登録時は除く。

4 ドアロックチャタリング防止機能点検

- (1) スイッチを押し続けた状態では、全ドアがロックまたはアンロック作動を1回作動しか行わず、連続的にロック、アンロック作動を繰り返さないことを点検する。ただし、スイッチから指を離して再びスイッチを押すまで、約0.5秒以上の間隔をおけば、次のロックまたはアンロック作動を行うことを点検する。

5 ドアロックの繰り返し機能点検

- (1) 全ドアアンロック状態から、運転席のドアコントロールノブの動きを強制的に阻止した状態でスイッチを押したとき、全ドアのロック作動を2回繰り返すことを点検する。
- (2) オートロック機能作動時は、ドアコントロールノブの状態に関係なく、全ドアのロック作動を2秒間隔で2回繰り返すことを点検する。

6 ドア開・半ドア時作動停止機能点検

- (1) いずれかのドアが半ドアまたは開かれているときに、スイッチ操作をしても、ロックまたはアンロック作動しないことを点検する。

7 ルームランプ点灯機能点検

- (1) ルームランプスイッチを DOOR 位置にする。
- (2) 全ドアロックからスイッチを約 1 秒間押すと、アンロック作動と同時にルームランプが点灯することを点検する。
- (3) ドアを開けずに放置した場合、約 15 秒でルームランプが消灯することを点検する。

8 セキュリティー機能点検

〔参考〕 ワイヤレスドアロックリモートコントロールには、以上の 1～6 の機能の他に、セキュリティー機能①とセキュリティー機能②の 2 種類があるが、点検を行うには同機種のトランスミッターを必要とする。以下にその機能を説明します。

- (1) セキュリティー機能①の機能を下記に示す。
トランスミッターには固有の識別コード (ID) が与えられており、トランスミッターの識別コードと車両側のレシーバーに登録されている識別コード (最大 4 種類) とが一致しないトランスミッターとレシーバー間では遠隔操作はできない。
- (2) セキュリティー機能②の機能を下記に示す。
同機種のトランスミッターでレシーバーに登録されていない識別コードの電波を 10 分間に 10 種類以上レシーバーが受信するとレシーバーの受信機能を停止する。受信停止状態になった場合、運転席ドアをアンロックにするか、ドアを開けるか、イグニッションキーシリンダーにキーブレードを差し込むと受信機能停止状態を解除する。

トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、ワイヤレスドアロックコントロールのロック、アンロック（遠隔）操作の作動不良のみの点検項目を記載しています。

また、不具合現象が特定の地域にだけ発生する場合は、その発生する地域で点検を行ってください。






トラブルシューティングの進め方

1 トラブルシューティングの進め方

- (1) 電気式ドアロックが正常に作動することを点検する。
- (2) 不具合現象に該当するチャートに従って点検する。

現象別チャート

1 フローチャートの見方

-  ……作業する項目
-  ……点検する項目
-  ……不具合要因・ワイヤハーネス系も含む
-  ……点検時に点検車両のドアコントロールトランスミッターを使用する
-  ……点検時に正常なドアコントロールトランスミッターを使用する

B17040

JA9750

11

2 不具合チャート

不 具 合 現 象	該当チャート
ワイヤレス機能（遠隔操作）のみ作動しない （新品または正常品の同型車のトランスミッターを準備する）	1

JB3111

1 ワイヤレス機能（遠隔操作）のみ作動しない

車両を初期状態にする

初期状態とは、以下の条件を満たした状態をいう。


- ① イグニッションキーシリンダーにキープレートが差し込まれていない。
- ② すべてのドアが閉まっている。(ドアウォーニングが消灯)
- ③ すべてのドアが LOCK 状態。

基本機能点検

標準操作を3回以上繰り返したとき、3回目以降も UNLOCK-LOCK 作動するか

標準操作とは、以下の手順をいう。

- ① 運転席アウトサイドハンドルから右方向に約1m 離れる。
- ② トランスミッターのキープレートを車両に向け、送信スイッチを約1秒間押す。



正常

〔参考〕・操作する人、持ち方、場所により最低作動距離は変化する。
・微弱電波を使用しているため、強い電波あるいは使用周波数にノイズがある場合は、作動距離が短くなることもある。

11

トランスミッター接触不良点検


カバー取り付け用スクリューの緩みを確認し、標準操作で UNLOCK 作動するか
(「ドアコントロールレシーバー & トランスミッター」-「トランスミッター電池交換」参照)

スクリューの締め付け不良

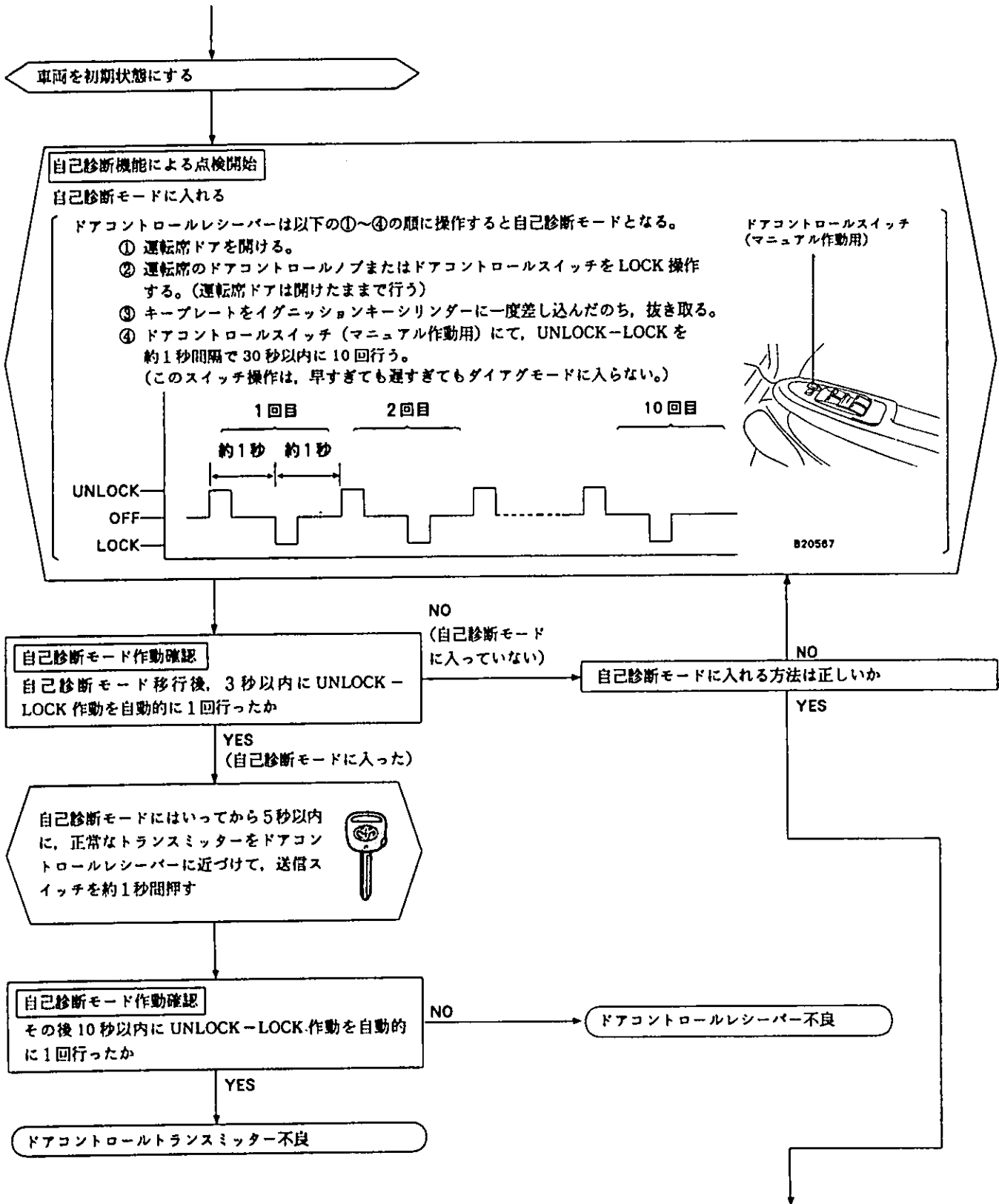
トランスミッター電池点検

トランスミッターの電池を新品又は正常品に交換し、標準操作で UNLOCK 作動するか
(「ドアコントロールレシーバー & トランスミッター」-「トランスミッター電池交換」参照)

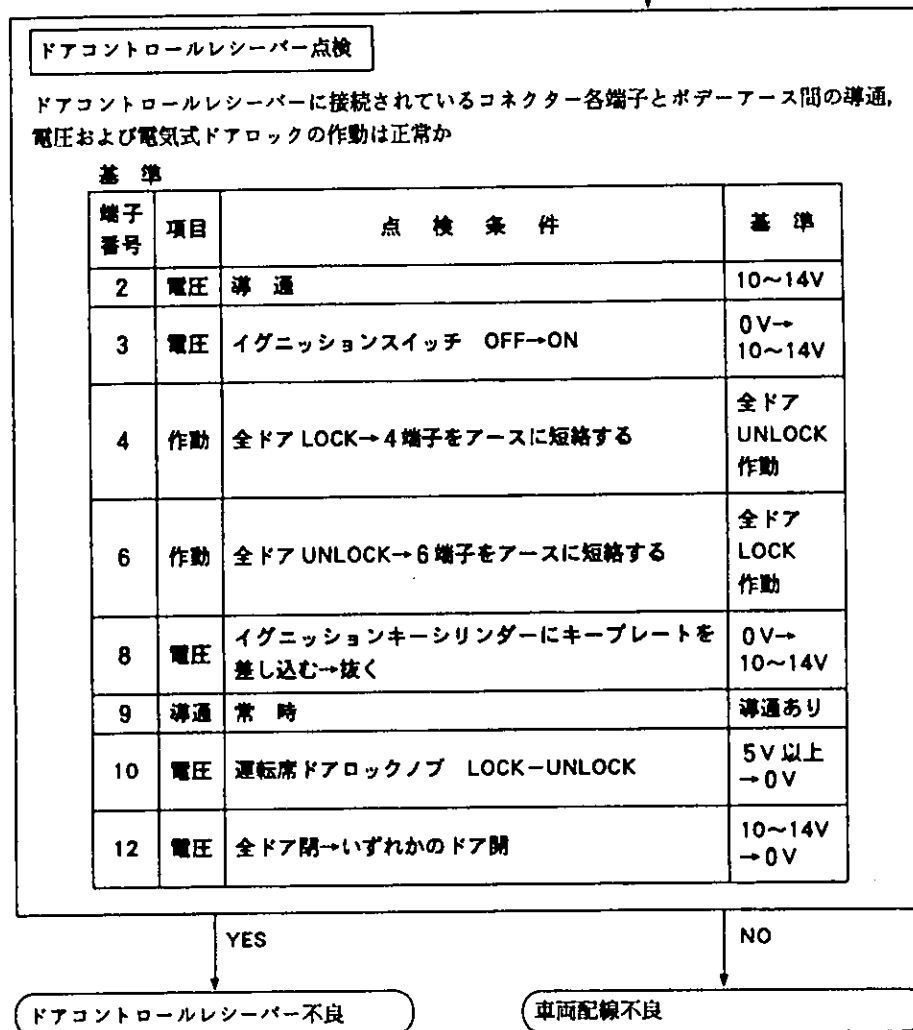
〔参考〕電池残存容量点検により電池の良否判定を行ってもよい。
(「単体点検」-「ドアコントロールトランスミッター」参照)



電池不良



11



ドアコントロールレシーバー & トランスミッター

注意 各部品は精密な電子部品のため、取り扱いには十分に気をつける。

トランスミッターバッテリー（リチウム電池）交換

1 トランスミッターバッテリー（リチウム電池）交換

- (1) 精密 \oplus ドライバーを使用してスクリューをはずし、カバーを取りはずす。

注意 カバーを無理にこじらない。

(参考) カバーは図の位置を指で押さえると、キープレート側にすき間ができるので、その位置をこじる。

- (2) 図の位置を指先で軽く押し、バッテリー（リチウム電池）を取りはずす。

注意 ・ターミナル部を指で押さえない。

・バッテリー（リチウム電池）を無理にこじてははずすと、ターミナル部が変形する。

- (3) Oリングを取りはずす。

- (4) 新品のOリングをトランスミッター内にセットする。

(参考) Oリング、スクリューおよびバッテリーはセットで補給されている。

- (5) バッテリー（リチウム電池）を図のように取り付ける。

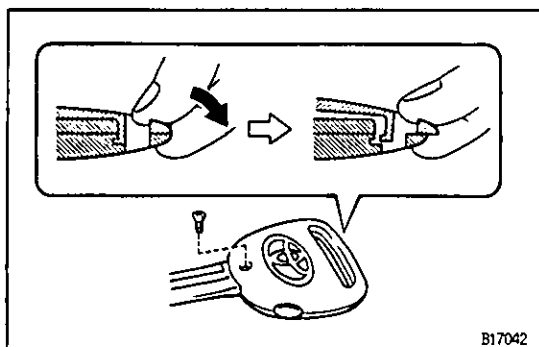
注意 ・バッテリー \oplus を上側にする。

・ターミナルを変形させない。

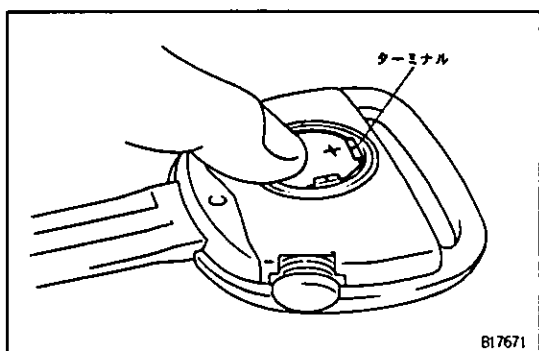
- (6) Oリングがねじれたり、ずれたりしないようにカバーを取り付ける。

- (7) 精密 \oplus ドライバーを使用して、スクリューを締め付ける。

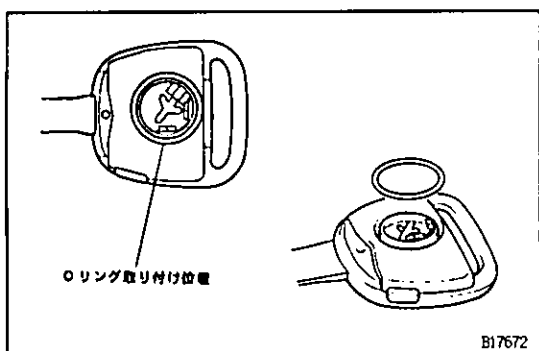
注意 スクリューに緩みがあると、バッテリー（リチウム電池）とターミナルの接触不良の原因になる。



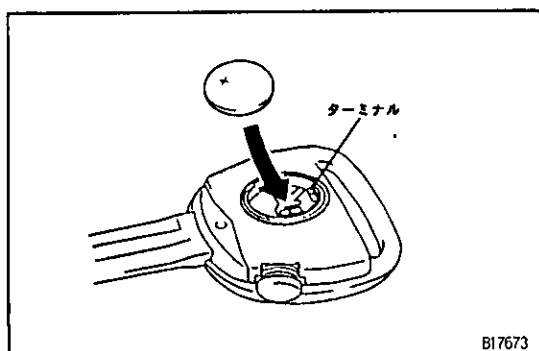
B17042



B17671



B17672



B17673

ドアコントロールレシーバー & トランスミッター 交換

注意 トランスミッターおよびドアコントロールレシーバーは単品で補給されるため、交換時は識別コードの登録が必要となる。

1 識別コードの登録の作業モード選択

(1) ①～④の作業モードから、どのモードを実施するか選択する。

- ①追加モード
- ②書き換えモード
- ③禁止モード
- ④確認モード

参考

- ・追加モードは、登録済コードは残置し、新しく受信した識別コードを追加登録するモードであり、トランスミッター追加時に使用する。なお、登録コード数が4種類を超えた場合は最初に登録したコードを消去する。
- ・書き換えモードは登録済コードをすべて消去し、新しく受信した識別コードのみを登録するモードであり、トランスミッターまたはドアコントロールレシーバー交換時に使用する。
- ・禁止モードは、登録済コードをすべて消去し、ワイヤレスドアロック機能を禁止するモードで、トランスミッター紛失等に使用する。
- ・確認モードは、識別コードが何種類登録されてるかを確認するモードであり、追加登録時の登録済コード数の確認などに使用する。

2 識別コードの登録

(1) 次ページのフローチャートに従って、ドアコントロールレシーバーにトランスミッターの識別コードを登録する。

注意

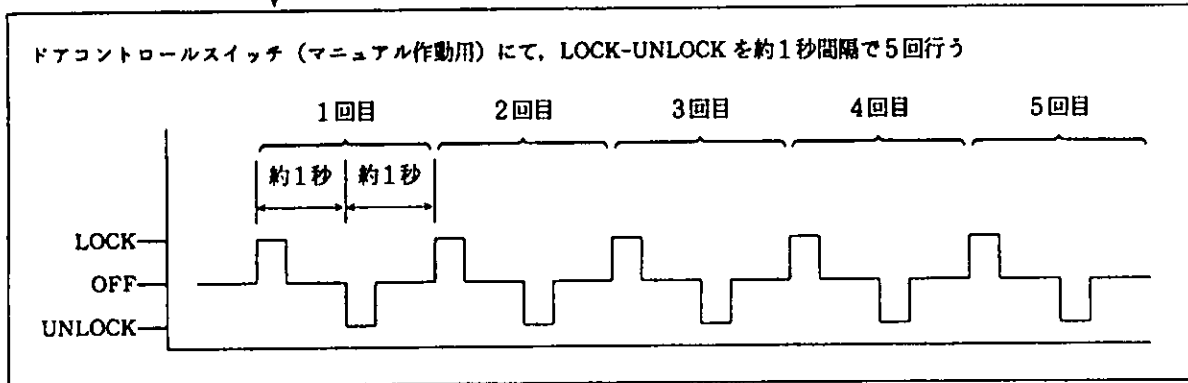
- ・登録操作中で規定条件をはずれた場合は、通常作動にもどる。
- ・識別コードは最大4種類まで登録することができる。

識別コードの登録開始

車両を以下の状態にする
① イグニッションキーシリンダーにキープレートが差し込まれていない
② 運転席ドアが開いている (他のドアは閉まっている)
③ 運転席ドアが UNLOCK 状態 (他のドアは LOCK 状態)

キープレートをイグニッションキーシリンダーに差し込んだのち、抜き取る

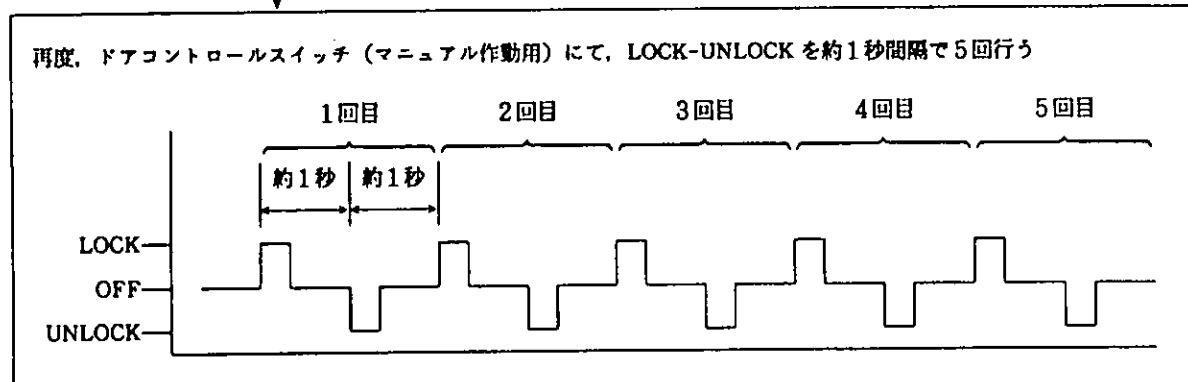
20 秒以内



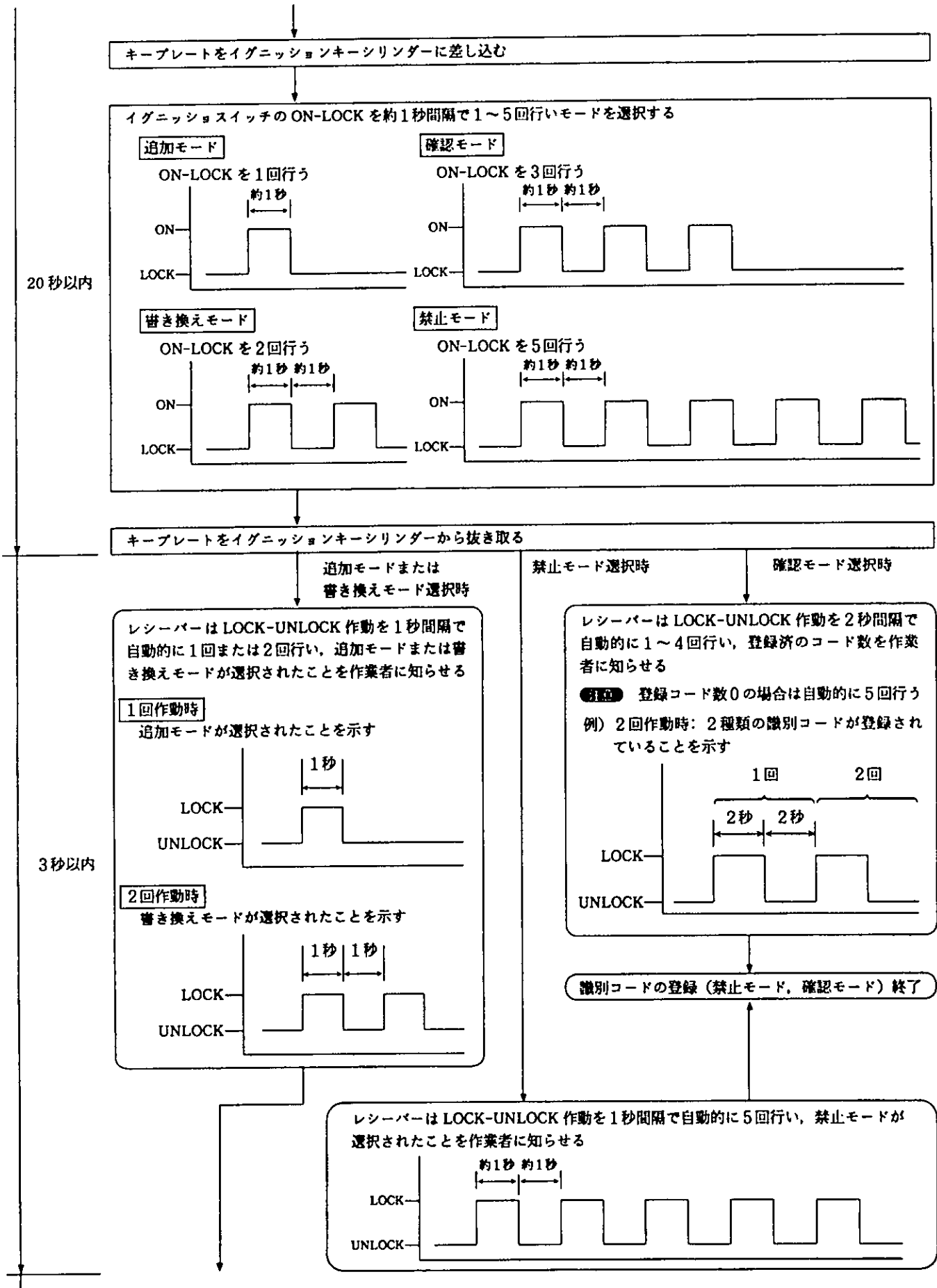
20 秒以内

運転席ドアを一度閉じたのち、開ける

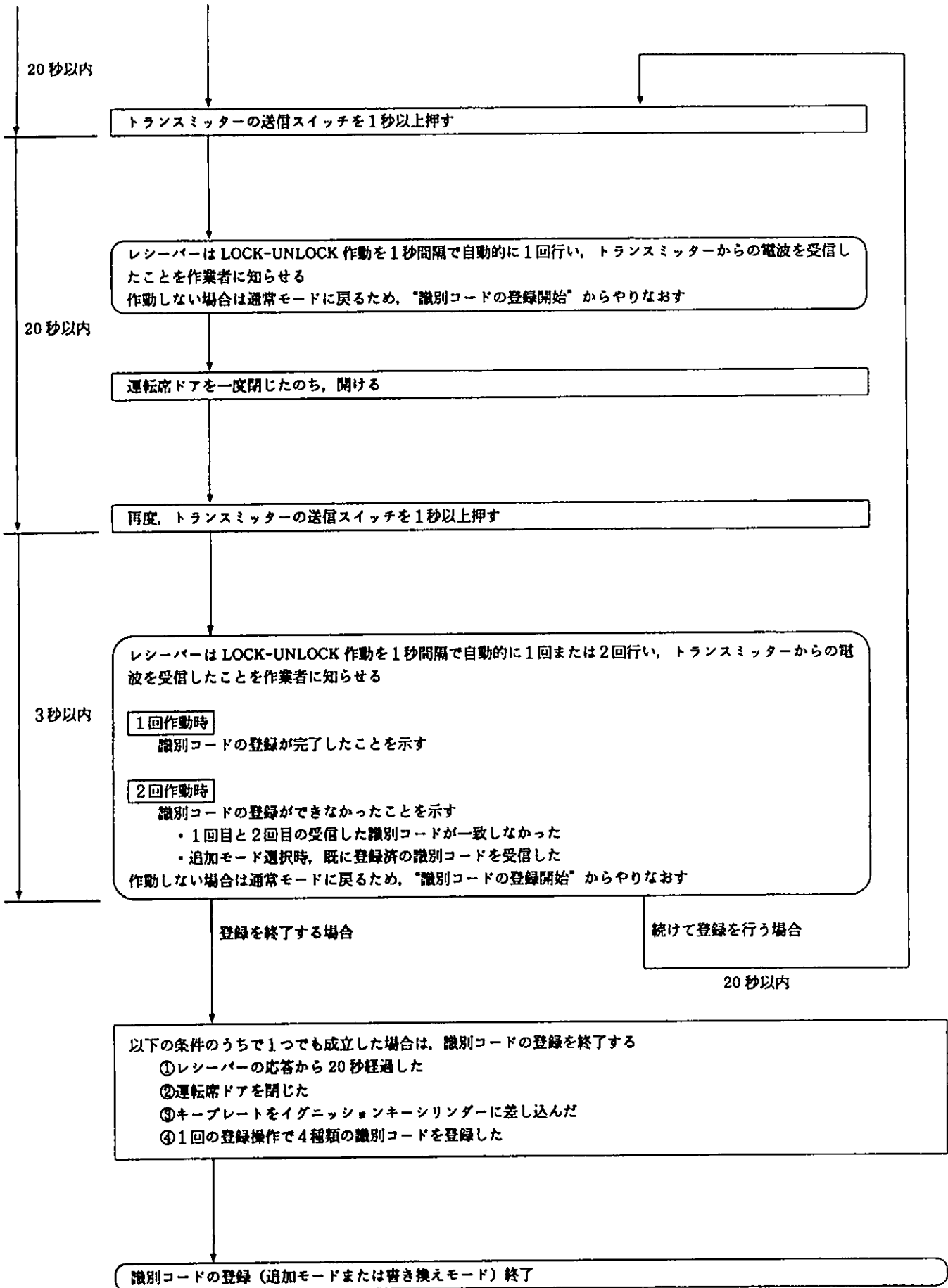
20 秒以内



11



11



単体点検

ドアコントロールトランスミッター

注意 バッテリーの脱着は、「ドアコントロールレシーバー & トランスミッター」を参照して行う。

1 作動点検

- (1) 精密⊕ドライバーを使用してスクリューをはずし、カバーを取りはずす。
- (2) バッテリー（リチウム電池）を取りはずす。
- (3) 新品または正常品のバッテリー（リチウム電池）を取り付ける。
〈参考〉 新品または正常品のバッテリーが入手できない場合は、新品の1.5V乾電池を2本直列に接続し、電池の⊕をバッテリー収納部側面端子に、電池の⊖を底面端子に接続してトランスミッターに3Vの電圧を加える。

- (4) 運転席アウトサイドハンドルから右方向に約1m離れた位置において、トランスミッターのキープレートを車両に向け、トランスミッター本体側面の送信スイッチを押したときの作動を点検する。

基準 車両ドアロックの遠隔操作が行えること。

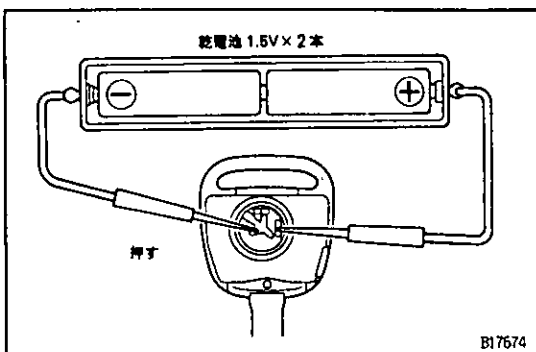
〈参考〉 ・操作する人、持ち方、場所により最低作動距離は変化する。
 ・微弱電波を使用しているため、強い電波あるいは使用周波数にノイズがある場合は、作動距離が短くなることがある。

- (5) バッテリー（リチウム電池）を取り付ける。
- (6) Oリングがねじれたり、ずれたりしないようにカバーを取り付ける。
〈参考〉 点検時には、Oリングを交換する必要はない。
- (7) 精密⊕ドライバーを使用して、スクリューを締め付ける。

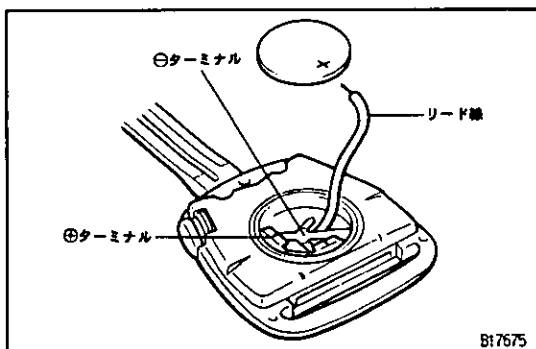
2 電池残存容量点検

注意 ・必ずトヨタエレクトリカルテスターを使用する。
 ・無負荷状態では、電圧によるリチウム電池の良否判定はできない。
 ・トランスミッターが不良の場合は、電池残存容量の点検ができない場合がある。

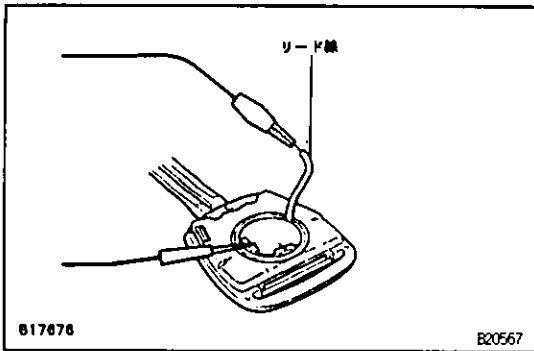
〈参考〉 トランスミッターに使用しているリチウム電池は、電池容量が完全になくなるまで、無負荷では2.5V以上の電圧をテスター表示する。したがって、電池残存容量点検時には、負荷（1.2kΩ）をかけた状態で電圧測定する必要がある。



11



- (1) 精密⊕ドライバーを使用してスクリューをはずし、カバーを取りはずす。
- (2) バッテリー（リチウム電池）を取りはずす。
- (3) リード線をトランスミッターの⊖ターミナルに接続し、バッテリー（リチウム電池）を取り付ける。

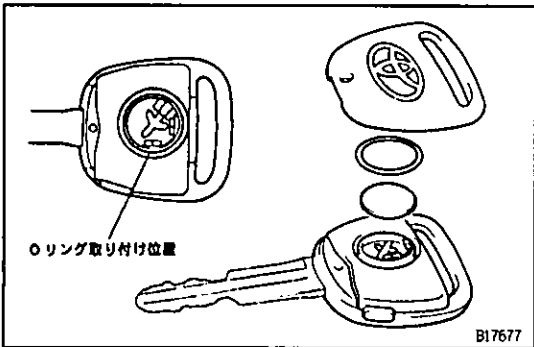


- (4) バッテリー（リチウム電池）の⊕にテスターの⊕，リード線にテスターの⊖を接続する。
- (5) トランスミッター本体側面の送信スイッチを約1秒間押す。
- (6) 再度，トランスミッター本体側面の送信スイッチを押し，電圧を点検する。

基準 2.1V 以上

- **注意** ・電池の温度が低いと正確な良否判定ができないため，点検結果が2.1V以下の場合には，18℃以上の場所に30分以上放置後，再度点検する。
- ・オートパワーオフ機能によりスイッチを押してから0.8秒後に無負荷電圧（2.5V以上）となるため，その前に電圧を読み取る。
- ・放置後の1～2回は，高い電圧を示すことがあるため，3回目以降の電圧で判定する。

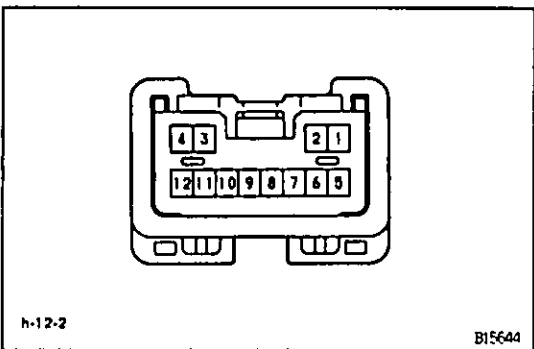
- (7) リード線を取りはずす。
 - (8) バッテリー（リチウム電池）をトランスミッターにセットする。
 - (9) Oリングにねじれ，ずれがないようにカバーを取り付ける。
- （参考） 点検時には，Oリングを交換する必要はない。
- (10) 精密⊕ドライバーを使用して，スクリューを締め付ける。



ドアコントロールレシーバー

- (1) 以下の点検要領で各端子とポデーアース間の導通，電圧を点検する。なお，表中の“接続切り車両側”はコネクターの接続を切り離し車両側のコネクタで点検することを表し“コネクタ接続”はコネクタを接続した状態で点検することを表す。

● **注意** “接続切り車両側”の点検後，“コネクタ接続”の点検を行う。



基準

測定 コネクタ 条件	端子番号		項目	点検条件	基準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター ⊕	テスター ⊖				
接続切り車両側	2	ポデーアース	電圧	常時	10～14V	車両側
	3	ポデーアース	電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON	0V→10～14V	
	8	ポデーアース	電圧	イグニッションキーシリンダーにキープレートを差し込む→抜く	0V→10～14V	
	9	ポデーアース	導通	常時	導通あり	
	10	ポデーアース	電圧	運転席ドアロックノブ LOCK→UNLOCK	5V以上→0V	
	12	ポデーアース	電圧	全ドア閉→いずれかのドアを開	10V以上→0V	
コネクタ接続	4	ポデーアース	電圧*	全ドア閉→トランスミッターのアンロックスイッチ ON	10V以上 →0V→10V以上	ドアコントロールレシーバー またはトランスミッター
	6	ポデーアース	電圧*	全ドア閉→トランスミッターのロックスイッチ ON	10V以上 →0V→10V以上	

*：電圧出力の確認はバーグラフ表示にて点検する

フードサポート

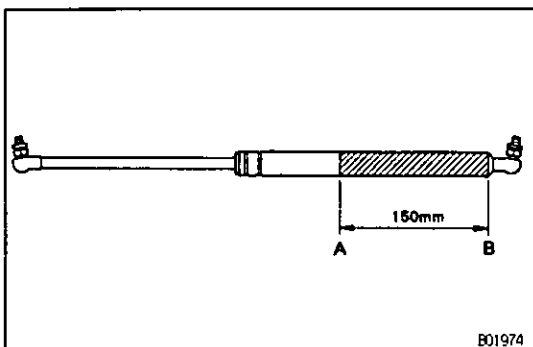
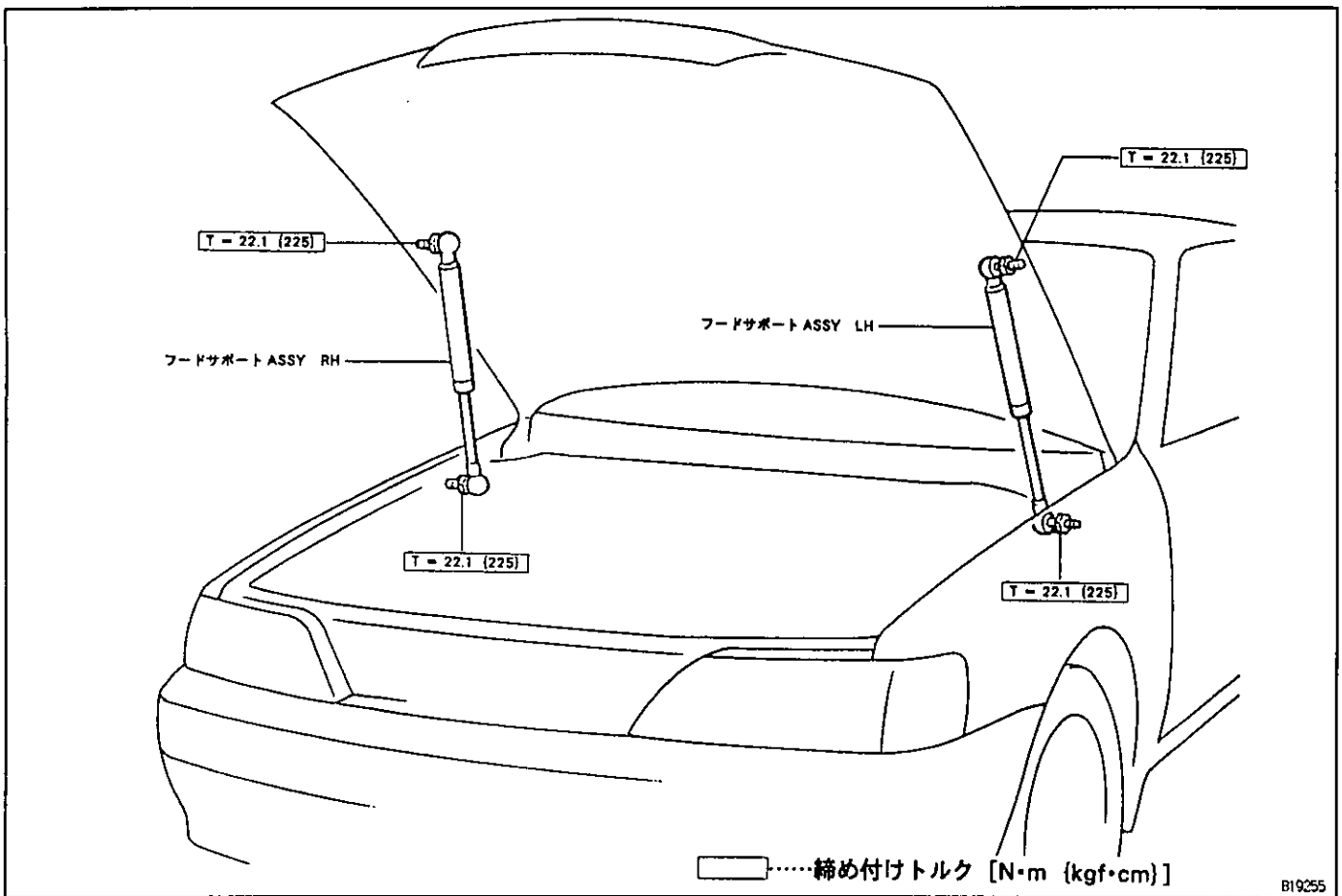
準備品

工具

金ノコ	50803	サポート切断用
-----	-------	---------

フードサポート

脱着構成図



フードサポート廃却方法

- (1) ピストンロッドを伸ばした状態でバイスタ台に固定する。
- (2) 図の A-B 間を、金ノコで切りガスを抜く。

注意 封入されているガスは、無色、無臭、無害であるが、金ノコの切り粉が飛ぶおそれがあるためウエスなどかぶせる。

ネームプレート

TO094813

準備品

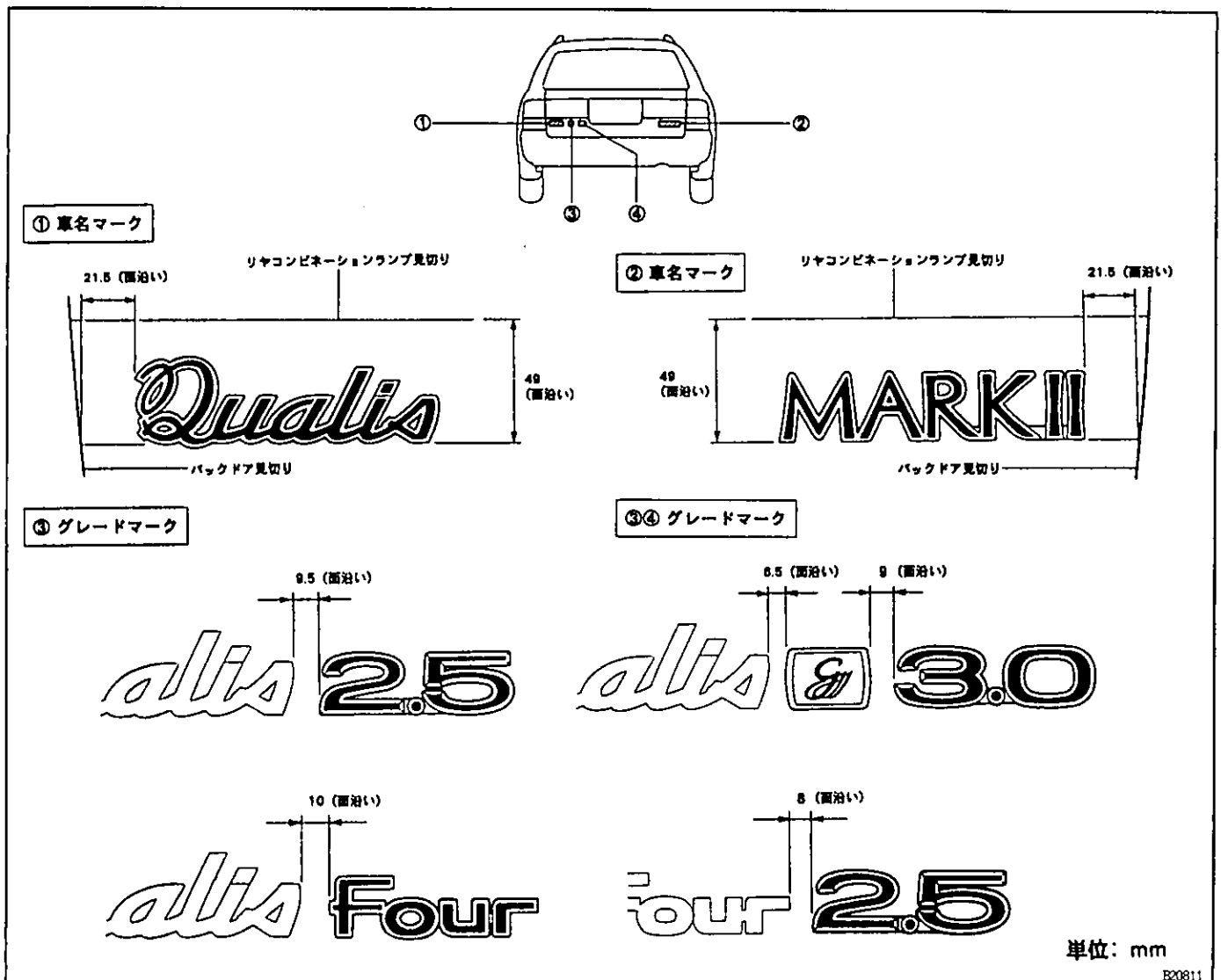
油脂・その他

テープストライプはがし剤	住友スリーエム㈱	ネームプレート取りはずし用
	51201	
白ガソリン		ネームプレート接着部清掃用
	32701	

ネームプレート

TO094814

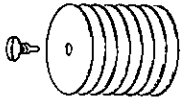
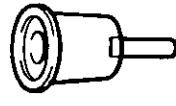

貼り付け基準位置



モールディング

準備品

工具

	OS030-00010	テープリムーバブルディスク	アウトサイドモールディング脱着用
	(OK090-00030)	ホルダー	アウトサイドモールディング脱着用
エアリベッター 09050-20010	70245		ドアアッパーフレームモールディング取り付け用
	09050-02050	ノーズピース№4	ドアアッパーフレームモールディング取り付け用
電気ドリルまたはエアドリル (09050-00032)	11219		ドアアッパーフレームモールディングおよびアウトサイドモールディング脱着用
ドリル 4mm	11206		ドアアッパーフレームモールディング取り付けはざし用
サイドモール用脱着工具セット	10901		アウトサイドモールディング脱着用 *
マイティブラー	53901		アウトサイドモールディング脱着用
ポリベラ (幅75mm)	11801		アウトサイドモールディング脱着用
ピアノ線 (φ0.6mm×50cm)	52002		アウトサイドモールディング脱着用
プラスチックテープ (50m 巻)	11401		アウトサイドモールディング脱着用
P.P. カップ	10601		アウトサイドモールディング脱着用
リムーバーボンド7 (0.5L)	11601		アウトサイドモールディング脱着用
S/K スクレーパー	10701		アウトサイドモールディング脱着用
ハケ	53402		アウトサイドモールディング清掃用

油脂・その他

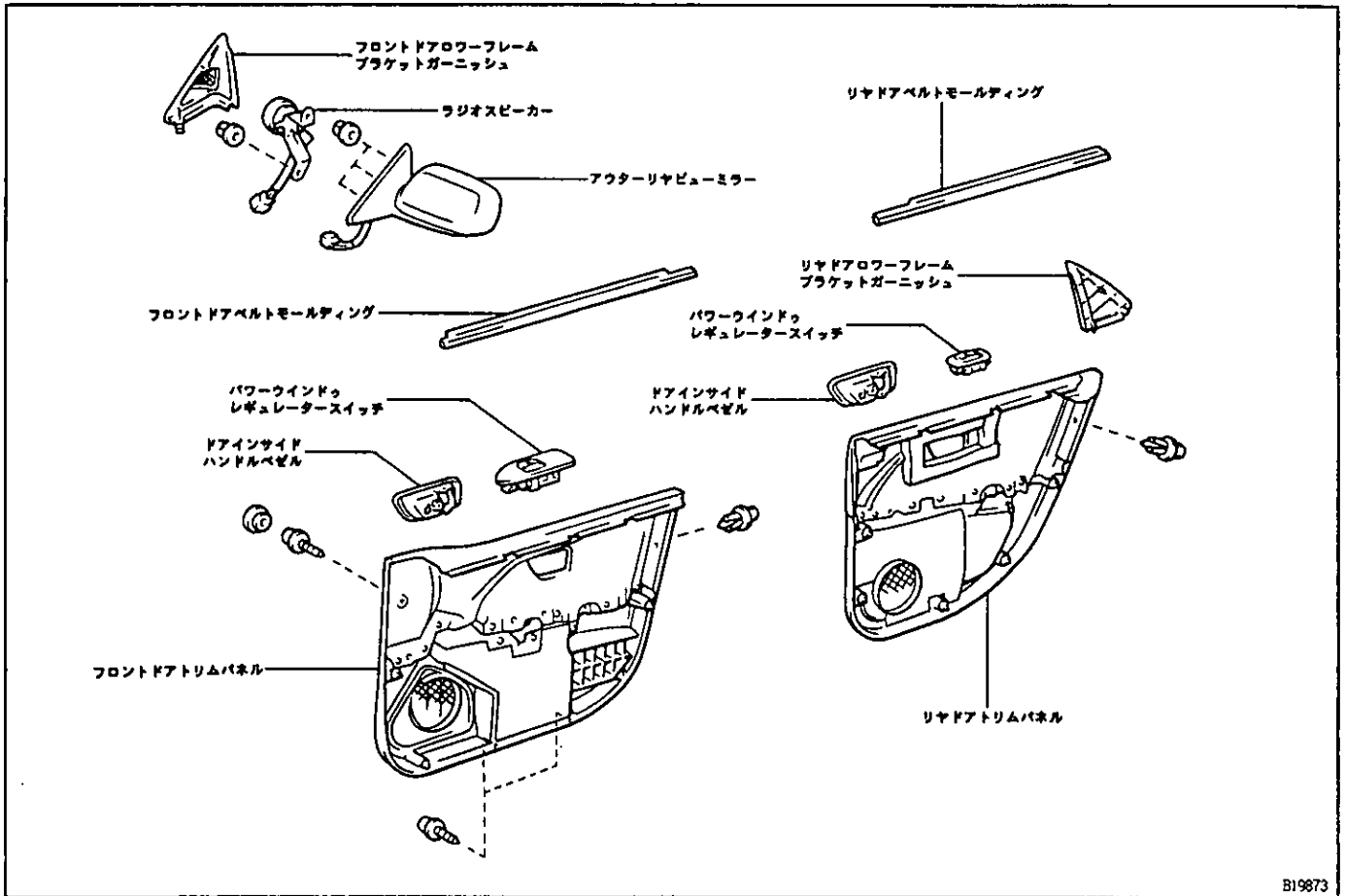
保護テープ	53501	傷つき防止用
白ガソリン	32701	各部清掃用
赤外線ランプ	53201	アウトサイドモールディング脱着用
カッターナイフ	50601	アウトサイドモールディング取り付けはざし用

*……株式会社 末岡商店 自動車補修製品課 名古屋市昭和区御器所町二丁目5番地1号 TEL (062) 884-9266 (代)

11

ドアベルトモールドィング

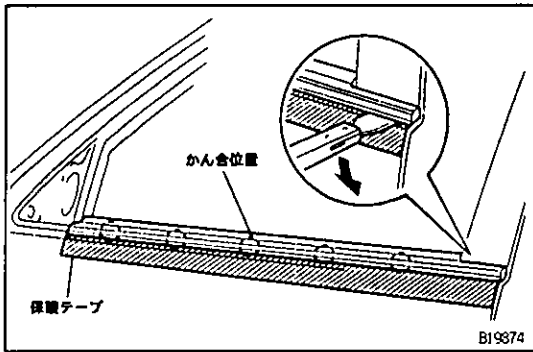
脱着構成図



ドアベルトモールドィング取りはずし

フロント

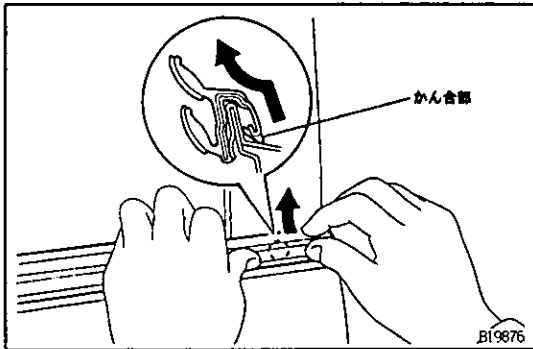
- 1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし
 - 2 フロントドアローフレームブラケットガーニッシュ取りはずし
 - 3 パワーウィンドウレギュレータースイッチ取りはずし
 - 4 フロントドアトリムパネル取りはずし
- (1~4は、「フロント & リヤドア」-「フロントドア分解」参照)
- 5 アウターリヤビューミラー取りはずし
- (「アウターリヤビューミラー」-「アウターリヤビューミラー取りはずし」参照)



6 フロントドアベルトモールディング取りはずし

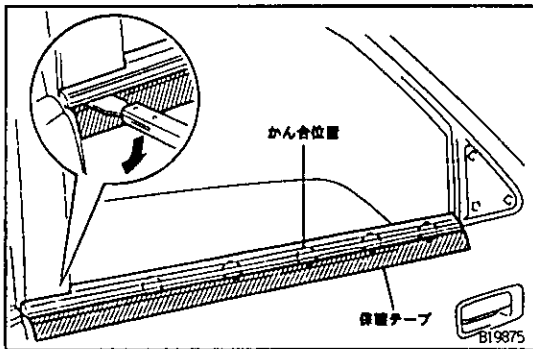
- (1) モールディング下部に保護テープを貼る。
- (2) スクレーパーを使用して、モールディング後部をこじてすこし浮かせる。

注意 無理にこじらない。



- (3) かん合位置を手で押し上げるようにしてかん合をはずし、ドアベルトモールディングを取りはずす。

注意 ベルトモールディングに波うちや変形および損傷がある場合は新品に取り替える。



リヤ

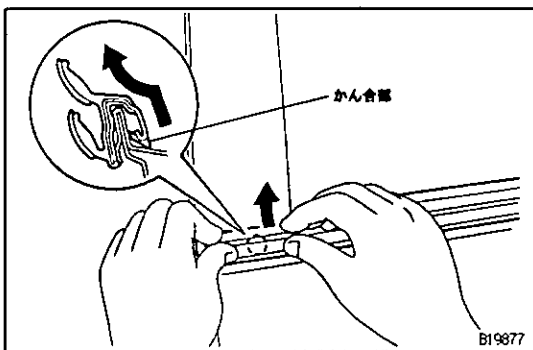
- 1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし
- 2 リヤドアロワーフレームブラケットガーニッシュ取りはずし
- 3 パワーウィンドゥレギュレータースイッチ取りはずし
- 4 リヤドアトリムパネル取りはずし
- 5 リヤドアベルトモールディング取りはずし

- (1) モールディング下部に保護テープを貼る。
- (2) スクレーパーを使用して、モールディング後部をこじてすこし浮かせる。

注意 無理にこじらない。

- (3) かん合位置を手で押し上げるようにしてかん合をはずし、ドアベルトモールディングを取りはずす。

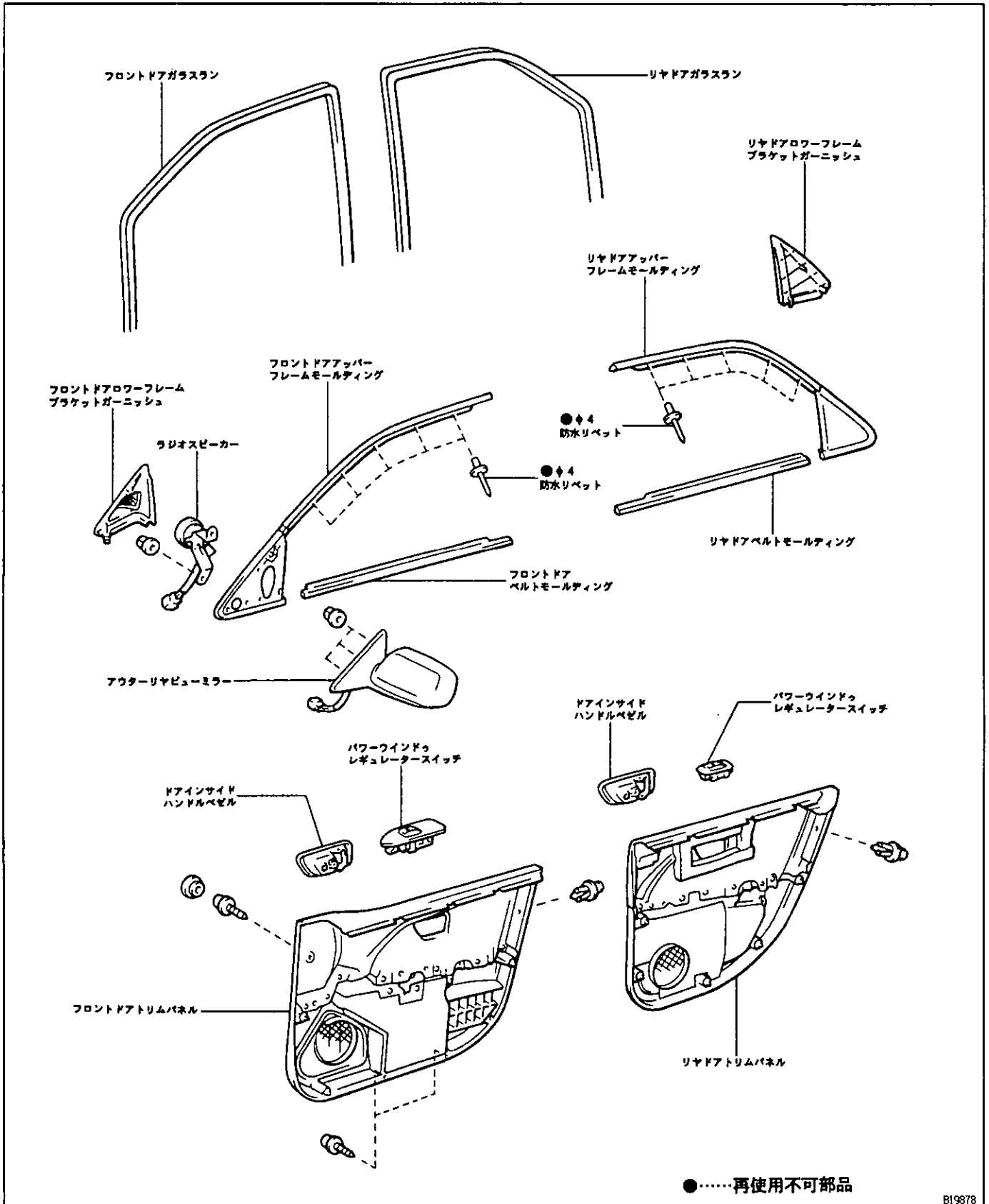
注意 ベルトモールディングに波うちや変形および損傷がある場合は新品に取り替える。



ドアウィンドゥフレームモールディング

脱着構成図

TO06817



ドアウインドゥフレームモールドィング取りはずし

フロント

- 1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし
- 2 フロントドアローフレームブラケットガーニッシュ取りはずし
- 3 パワーウインドゥレギュレータースイッチ取りはずし
- 4 フロントドアトリムパネル取りはずし
- 5 アウターリヤビューミラー取りはずし

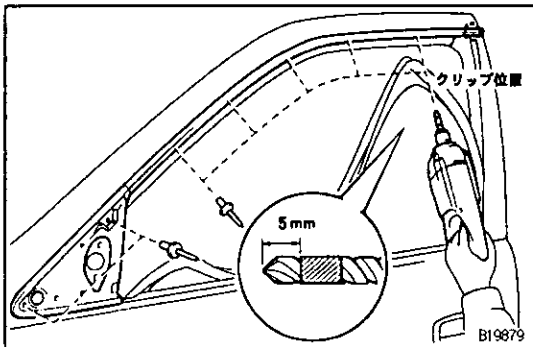
(1~5は、「フロント & リヤドア」-「フロントドア分解」参照)

- 6 フロントドアベルトモールドィング取りはずし
(「ドアベルトモールドィング」-「ドアベルトモールドィング取りはずし」参照)

- 7 フロントドアガラスラン取りはずし

(1) ドアフレーム部のガラスランを取りはずす。

注意 ドアパネル内の部分は取りはずさない。



- 8 フロントドアアッパーフレームモールドィング取りはずし

(1) ドリルの刃が先端から5mmできるように、ドリルの刃にテープを巻く。

〈参考〉 テープを巻くのは、深く削りすぎないため。

(2) リベットにドリルを軽く押し当て、リベットのフランジ部を削る。

注意 ・ドリルを強く押し当てると、リベットが共回りして削れない。

・ドリルをこじながら削ると、リベット取り付け穴を削ったり、ドリルの刃を破損するおそれがある。

・削ったリベットは、熱くなってるので注意する。

(3) リベット7本を取りはずす。

(4) クリップのかん合をはずし、ドアアッパーフレームモールドィングを取りはずす。

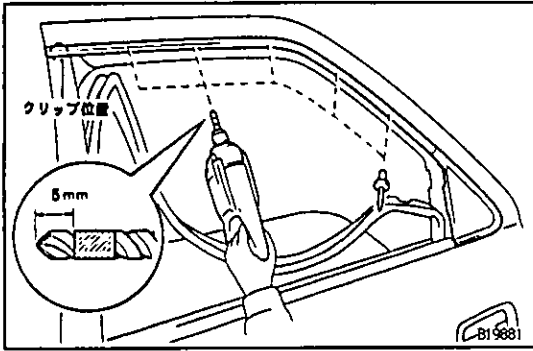
リヤ

- 1 ドアインサイドハンドルベゼル取りはずし
- 2 リヤドアローフレームブラケットガーニッシュ取りはずし
- 3 パワーウインドゥレギュレータースイッチ取りはずし
- 4 リヤドアトリムパネル取りはずし
- 5 リヤドアガラスラン取りはずし

(1) ドアフレーム部のガラスランを取りはずす。

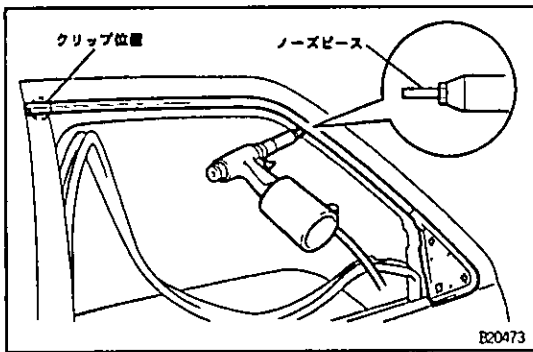
注意 ドアパネル内の部分は取りはずさない。

- 6 リヤドアベルトモールドィング取りはずし
(「ドアベルトモールドィング」-「ドアベルトモールドィング取りはずし」)



7 リヤドアアッパーフレームモールディング取りはずし

- (1) ドリルの刃が先端から5mmできるように、ドリルの刃にテープを巻く。
(参考) テープを巻くのは、深く削りすぎないため。
- (2) リベットにドリルを軽く押し当て、リベットのフランジ部を削る。
注意
 - ・ドリルを強く押し当てると、リベットが共回りして削れない。
 - ・ドリルをこじながら削ると、リベット取り付け穴を削ったり、ドリルの刃を破損するおそれがある。
 - ・削ったリベットは、熱くなっているので注意する。
- (3) リベット5本を取りはずす。
- (4) クリップのかん合をはずし、ドアアッパーフレームモールディングを取りはずす。



取り付け作業上の留意点

1 ドアアウトサイドモールディング取り付け

- (1) 上部のクリップをかん合させ、アッパーフレームモールディングをドアフレームにセットする。
- (2) ノーズピースNo.4をリベッターに装着し、新品のリベットのマンドレル部をノーズピースに挿入する。
- (3) リベットを取り付け穴に垂直に強く押し当てた状態で、リベッターを操作してリベットを取り付ける。

アウトサイドモールディング

アウトサイドモールディング取りはずし

1 アウトサイドモールディング取りはずし

- (1) モールディングの外周に保護テープ（プラスチックテープ）を貼る。
- (2) 赤外線ランプなどでモールディングを暖める。
 〈参考〉 40～60℃で3～5分間
- (3) マイティプラーにピアノ線をセットする。
- (4) ピانو線で接着部を切断し、モールディングを取りはずす。

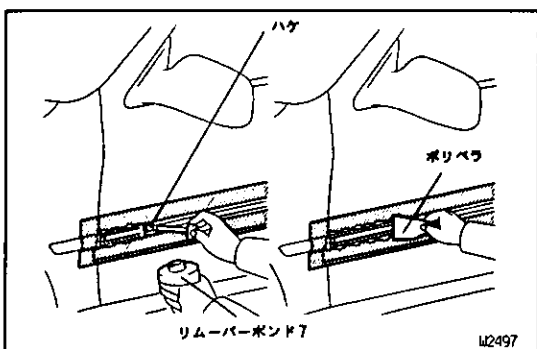
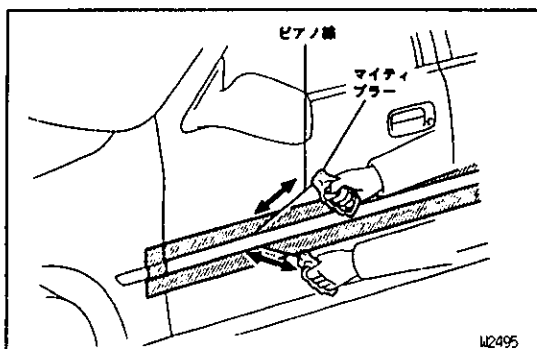
注意 モールディングを再使用する場合には、マイティプラーを極力ボデーに沿わせ、モールディング端部を傷つけない。

アウトサイドモールディング取り付け

溶剤を使用する場合

1 車両側取り付け面清掃

- (1) ボデーに残ったアクリルフォームテープの際いっばいに、保護テープ（プラスチックテープ）を貼る。
 〈参考〉 ボデー保護のため、プラスチックテープの周囲にもマスキングペーパーなどを貼るとよい。
- (2) リムーバーボンド7を必要量P、P、カップに入れ、ポリベラまたはハケを使用して、ボデーに残ったアクリルフォームテープにできるだけ厚く塗布する。
注意 ・リムーバーボンド7は、使用前に缶をよく振ってかく拌する。
 ・リムーバーボンド7は、常乾塗膜には使用しない。
 ・リムーバーボンド7が直接塗装面に付着すると、塗膜にふくれが生じるおそれがあるので、すみやかに拭き取る。
 ・塗膜にふくれが生じた場合は、不具合部分を赤外線ランプなどで80℃に加熱し、4～5分毎にシンナーを含ませたウエスで押さえるようにして、浸透させる作業を数回繰り返す。
- (3) 赤外線ランプなどでボデーに残ったアクリルフォームテープを暖める。
注意 表面が白く乾燥するまで暖めると、次工程でアクリルフォームテープがはがしにくくなるので、その前に中止する。
 〈参考〉 40～60℃で3～5分間。
- (4) ボデーに残ったアクリルフォームテープをポリベラを使用して削り取る。
注意 アクリルフォームテープの肉厚を十分に薄くしてから次工程に移る。
- (5) ボデーに残ったアクリルフォームテープに、再度リムーバーボンド7を塗布する。
- (6) 赤外線ランプなどでボデーに残ったアクリルフォームテープを暖める。
注意 アクリルフォームテープの内部まで乾燥させる。
 （表面が白く乾燥する。）
 〈参考〉 40～60℃で10～15分間。



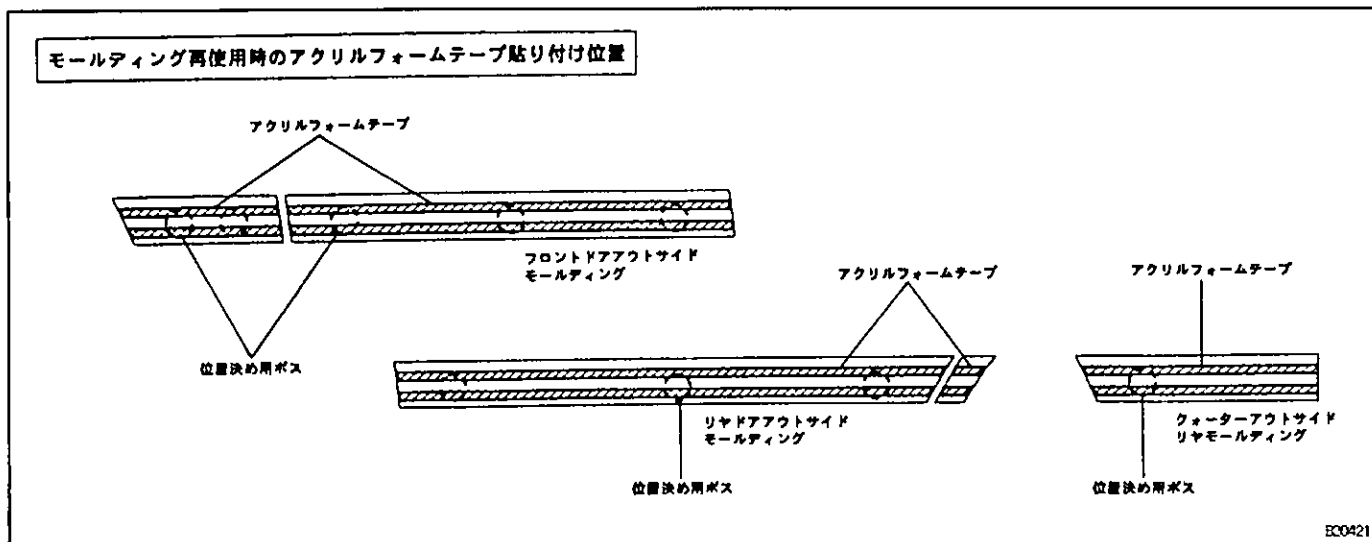
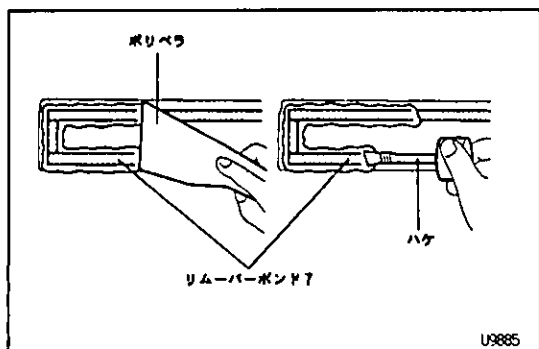
- (7) ポデーに残ったアクリルフォームテープをウェスなどでこすり取る。
- (8) (7)の作業後にアクリルフォームテープが残った場合は、リムーバーボンド7を塗布し、ポリベラでこすり取る。
- (9) プラスチックテープをはがし、ポデーを白ガソリンで清掃する。

2 アウトサイドモールディング清掃
(モールディング再使用時)

- (1) リムーバーボンド7を必要量P. P. カップに入れ、ポリベラまたはハケを使用して、モールディングに残ったアクリルフォームテープにできるだけ厚く塗布する。
- (2) 赤外線ランプでモールディングを暖める。
注意 表面が白く乾燥するまで暖めると、次工程でアクリルフォームテープがはがしにくくなるので、その前に中止する。
- (3) モールディングに残ったアクリルフォームテープを、S/Kスクレーパーで削り取る。
- (4) モールディングを白ガソリンで清掃する。

3 アウトサイドモールディング取り付け

- (1) モールディングの表面に、アクリルフォームテープを取り付ける。(モールディング再使用時)
- (2) モールディングおよびポデー面を暖める。
参考 ポデー 40~60℃
 モールディング 20~30℃
- (3) アクリルフォームテープの離型紙を、直接面に触れないようにしてはがす。
- (4) モールディングを車両にセットし、手で押して圧着する。
- (5) モールディングをローラで十分に圧着する。



テープリムーバブルディスクを使用する場合

1 車両側取り付け面清掃

- (1) ボデーに残ったアクリルフォームテープの際いっばいに保護テープ（プラスチックテープ）を貼る。

〔参考〕 ボデー保護のため、プラスチックテープの周囲にもマスキングペーパーなどを貼る。

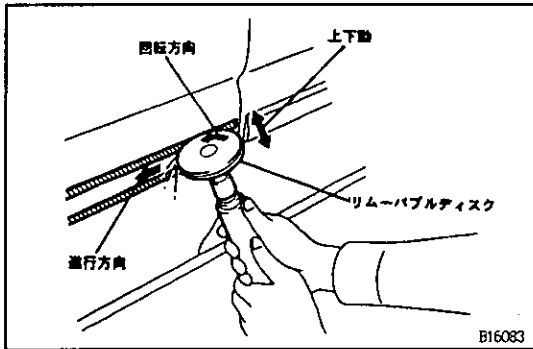
- (2) ディスク8枚をホルダーにセットし、リムーバブルディスクをエアドリルまたは電気ドリルに取り付ける。

〔注意〕 電気ドリルは無負荷回転数2000~3000r/minのものを使用する。

- (3) 保護メガネをつけ、アクリルフォームテープを削り取る。

〔注意〕 ・ディスクの回転方向と作業進行方向に気をつける。
・削り過ぎてボデーを損傷しないよう、切削部を目視で確認しながら行う。

- (4) プラスチックテープをはがし、白ガソリンで接着面の消掃を行う。



2 アウトサイドモールドイング清掃

(モールドイング再使用時)

- (1) ウェスを当てがってモールドイングを固定する。

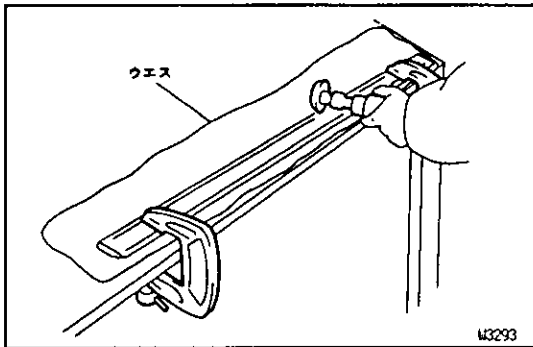
- (2) 車両側取り付け面と同様にして、アクリルフォームテープを削り取る。

〔注意〕 モールドイングを傷つけない。

- (3) モールドイングを白ガソリンで消掃する。

3 アウトサイドモールドイング取り付け

- (1) 「溶剤を使用する場合」と同様にして、モールドイングを取り付ける。





ガラス

T006610

準備品

工具

	TB-603	ウインドシールドナイフ (株)バンザイ扱い	ガラス取りはずし用 *
替え刃(ウインドシールドナイフ用)	50604		ガラス取りはずし用
エアリベッター 09050-20010	70245		モールディング取り付け用
	(09050-02030)	ノーズピース№2	モールディング取り付け用
サイドモール用脱着工具セット	10901		ガラス取りはずし用 *
マイティブラー	63901		ガラス取りはずし用
電気ドリル	11216		モールディング取りはずし用
ドリル 4mm	11206		モールディング取りはずし用
シーラントガン	11001		ガラス接着剤塗布用

油脂・その他

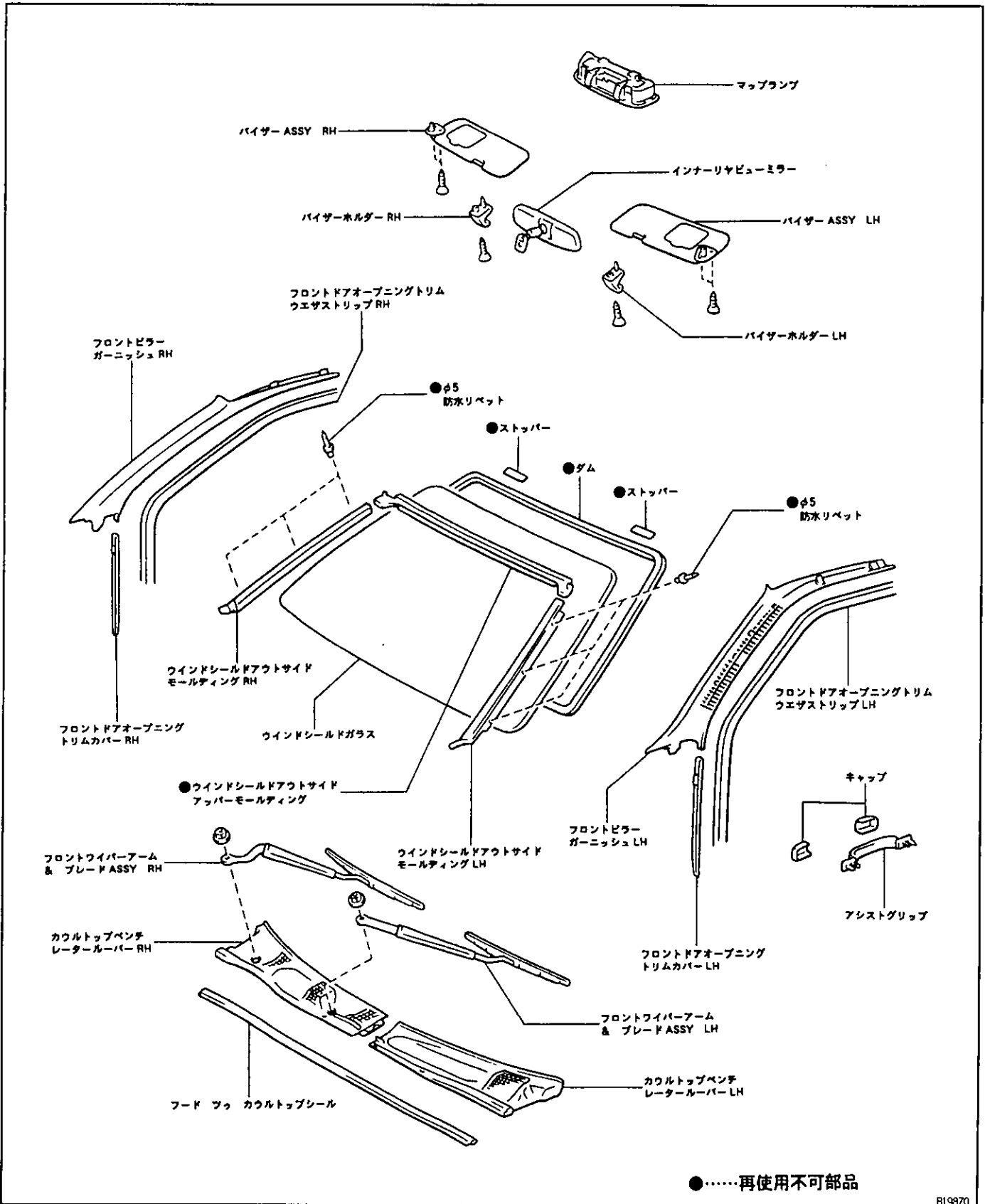
保護テープ	63501		塗装面傷つき防止用
カッターナイフ	50601		モールディング取りはずし用
ピアノ線	52001		ガラス取りはずし用
プラスチック板	52301		セーフティーパッド傷つき防止用
石けん水	32601		ガラス取りはずし用
ナイフ	51701		接着剤取りはずし用
吸引ゴム	52601		ガラス取り付け用
白ガソリン	32701		ガラスおよび塗布面清掃用
ウインドシールドガラスアドヘシブ V93500618	50415	(株)タクティー扱い	ガラス取り付け用
接着剤・または上記同等品	53301		ガラス取り付け用
スリーセメントブラック V93500108	51004	(株)タクティー扱い	水漏れ補修用

*……株式会社 末岡商店 自動車補修製品課 名古屋市昭和区御器所二丁目5番1号 TEL (052) 882-9266 (代)

11

ウインドシールドガラス & モールディング

脱着分解構成図



11

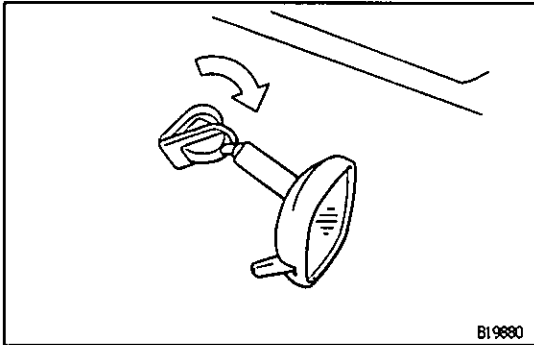
ウインドシールドガラス関連部品取りはずし

- 1 フロントドアオープニングトリムウエザーストリップ RH および LH (一部) 取りはずし
- 2 フロントドアオープニングトリムカバー RH および LH 取りはずし
- 3 フロントビラーガーニッシュ RH および LH 取りはずし
- 4 バイザー & バイザーホルダー RH および LH 取りはずし
- 5 マップランプ取りはずし
- 6 アシストグリップ (助手席側) 取りはずし

(1~6は「ルーフヘッドライニング」-「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)

- 7 インナーリヤビューミラー取りはずし
(1) インナーリヤビューミラーを90°回転させ取りはずす。
- 8 フロントワイパーアーム & ブレード ASSY RH および LH 取りはずし
- 9 フード ツウ カウルトップシール取りはずし
- 10 カウルトップベンチレータールーバー RH および LH 取りはずし

(8~10は「電気リカル」-「ワイパー & ウォッシャー」参照)



B19880

ウインドシールドガラス & モールディング 取りはずし

- 1 ウインドシールドアウトサイドモールディング RH および LH 取りはずし

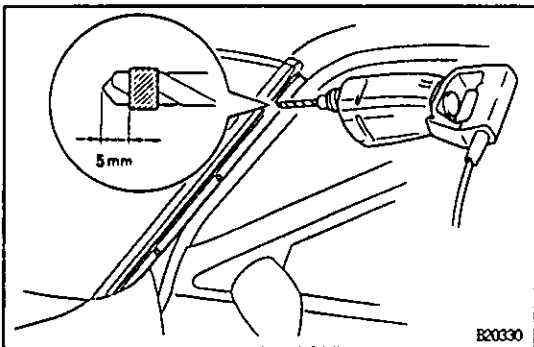
(1) ドリルの刃が先端から5mmできるように、ドリルの刃にテープを巻く。

〈参考〉テープを巻くのは、深く削りすぎないため。

(2) リベットにドリルを軽く押し当て、リベットのフランジ部を削る。

- 注意**
- ・ドリルを強く押し当てると、リベットが共回りして削れない。
 - ・ドリルをこじながら削ると、リベットと取り付け穴を削ったり、ドリルの刃を破損するおそれがある。
 - ・削ったリベットは熱くなっているので注意する。

(3) リベット左右各3個をはずしたのち、アウトサイドモールディングを取りはずす。



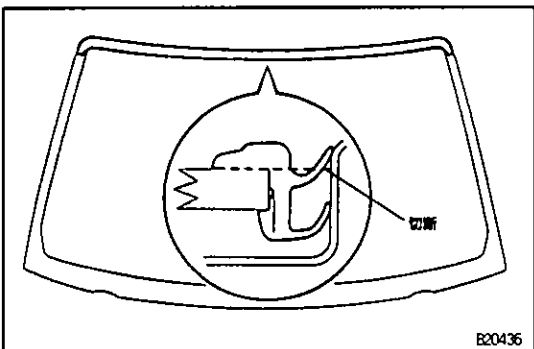
B20330

11

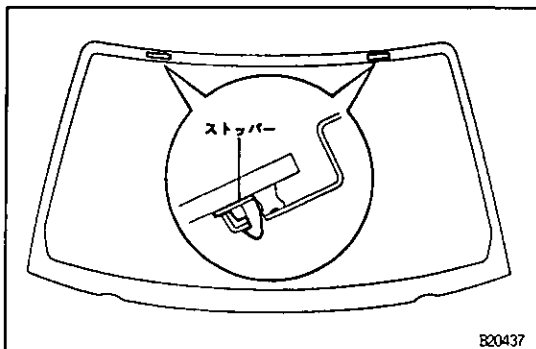
- 2 ウインドシールドアウトサイドアッパーモールディング取りはずし

(1) モールディングの両先端より手でめくり上げて、アウトサイドアッパーモールディングを取りはずす。

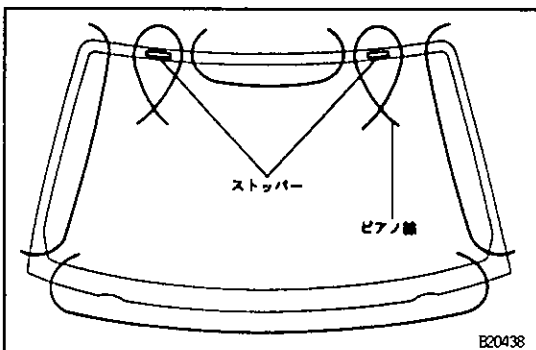
〈参考〉 接着剤によりモールディングが固定されている場合は、モールディング部をカッターナイフなどで切断する。



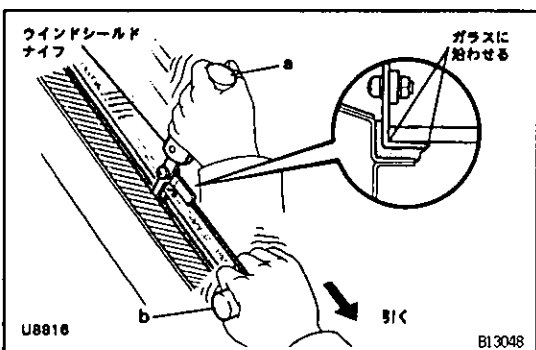
B20435



B20437

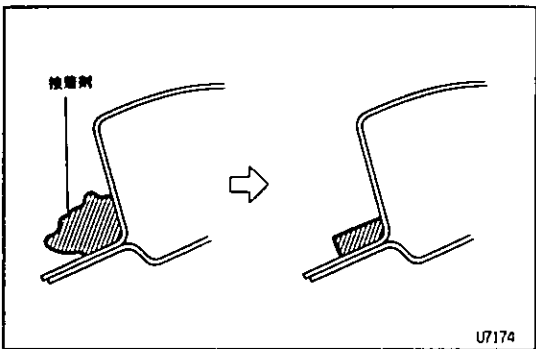


B20438

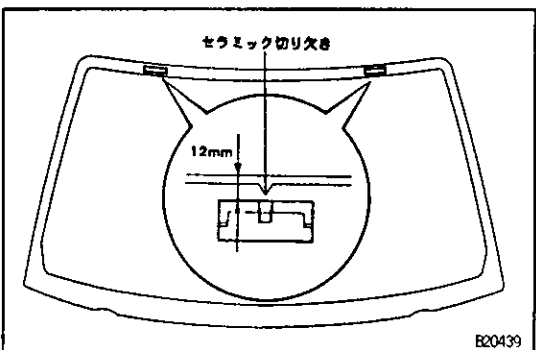


U8916

B13048



U7174



B20439

3 ウインドシールドガラス取りはずし

- 注意**
- ・ガラスを再使用する場合は、取りはずす前にガラスおよびボデーパネル部にガムテープなどを貼り、ペンで取り付け時の合わせマークを付ける。
 - ・ガラスの図の箇所には、ストッパーが取り付けられているため、ガラスを破壊させないように注意して切断する。
 - ・切断箇所および状況に応じて、ピアノ線とウインドシールドナイフを使い分けて作業を行う。

- (1) ガラス外周のボデー面に保護テープを貼る。
- (2) 図のようにピアノ線 (0.6mmが適当) を通し、両端をマイティプラーに取り付ける。
- (3) ピアノ線を交互に引いて接着部を切断する。

注意

 - ・ガラス端部にピアノ線を強く接触させない。
 - ・セーフティーパッドおよびルーフヘッドライニング付近を作業するときは、ピアノ線で傷つけないようにプラスチックの保護板をあてがう。

- (4) ウインドシールドナイフを使用する場合、接着部に石けん水を十分に塗布する。
- (5) 接着部にウインドシールドナイフを差し込む。

〈参考〉 ガラスとボデーの間が広い箇所から行う。
- (6) aの部分で刃先とガラス端部を直角に保持しながら、ウインドシールドナイフの刃をガラス面および端部に合わせるようにして、bの部分をガラス端部と平行に引いて切り離す。

注意 ウインドシールドナイフを使用する場合、ウインドシールドナイフを絶対にこじない。

取り付け作業上の留意点

1 車両取り付け前準備

- (1) 切断した車両側接着剤が著しく凸凹のある場合は、ナイフなどで平滑にする。

注意 接着剤は必ず少し残す。

2 ウインドシールドガラス取り付け前作業

- (1) 破損したストッパーを取りはずす。(ガラス再使用時)
- (2) ガラスに残っている接着剤および両面テープを削り取る。(ガラス再使用時)
- (3) ガラス外周を白ガソリンで清掃する。

注意 新品のガラスも必ず清掃する。
- (4) ストッパーの取り付け部に専用プライマーを塗布する。

注意

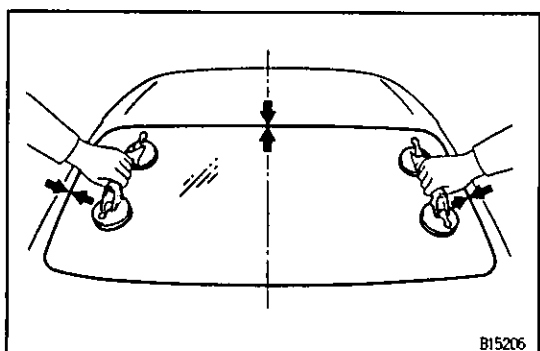
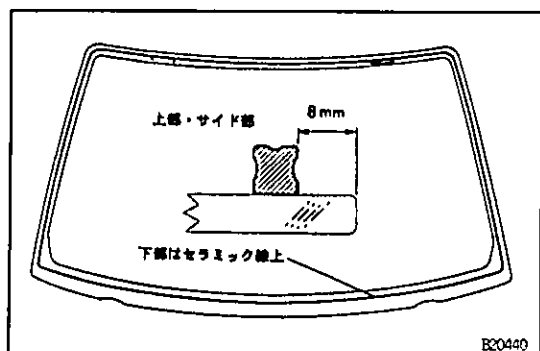
 - ・厚塗りしない。
 - ・プライマーが乾燥(約3分)後にストッパーを接着する。
- (5) ガラスの図の箇所に新品のストッパーを取り付ける。

注意 ストッパーの向きに注意する。
- (6) ガム取り付け部にプライマーを塗布する。

注意

 - ・厚塗りしない。
 - ・プライマーが乾燥(約3分)後にガムを接着する。

(7) ガラスの図の箇所に新品のダムを取り付ける。



(8) 吸引ゴムを使用してガラスをボデーに乗せ、ガラス上部およびサイド部の幅が均一（ボデーとガラス端部のすき間を均一）になる位置にセットする。

(9) モールディングを取り付けるのに支障のないことを確認する。

(10) ガラスとボデー側に合わせマークをする。

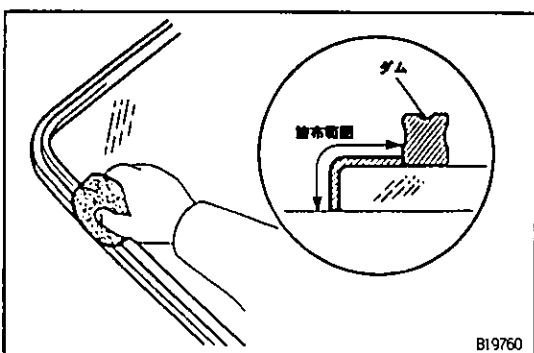
〈参考〉 ガラス再使用の場合は、合わせマーク位置の確認および修正を行う。

3. ウインドシールドガラス & モールディング取り付け

(1) 車両側接着部で、ボデー面が露出している箇所に専用プライマーを塗布する。

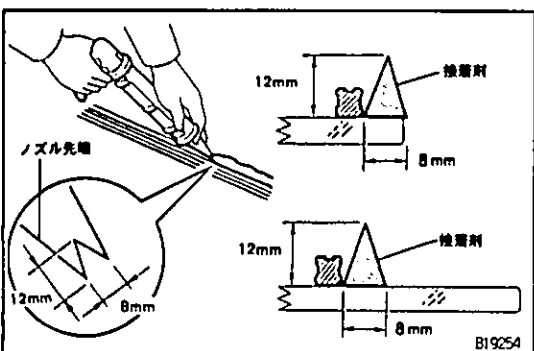
- 注意**
- ・厚塗りしない。
 - ・残った接着剤には塗布しない。
 - ・パネル継ぎ目およびスポット溶接位置は、特に注意して塗布する。
 - ・プライマーが乾燥（約3分）後にガラスを接着する。

11



(2) ガラスの接着部に専用プライマーを塗布する。

- 注意**
- ・厚塗りしない。
 - ・プライマーが乾燥（約3分）後に接着剤を塗布する。



(3) 接着剤のノズル先端を図のように切り取る。

(4) シーラントガンに接着剤をセットする。

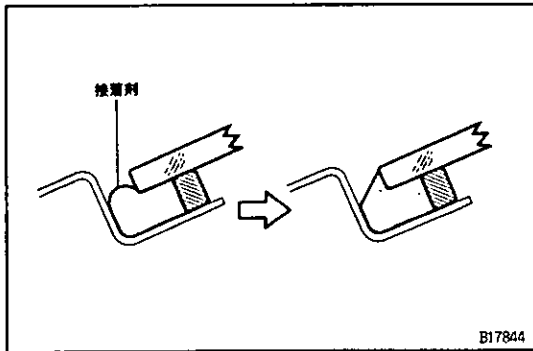
(5) 接着剤をダムに沿って図のようにビード状に塗布する。

(6) 吸引ゴムを使用して、合わせマークを一致させてガラスを取り付ける。

注意 室内よりストッパーが、ボデー側のツメに取り付いていることを確認する。

(7) ガラス前面を軽く押して、完全に密着させる。

〈参考〉 押し付け力 98N {10kgf} 以上



(8) 接着剤のはみ出し、不足をヘラで修正する。

注意 ガラス端面まで接着剤を塗布する。

(9) 接着剤が硬化する前に、新品のアウトサイドアッパーモールディングを取り付ける。

注意 アウトサイドモールディングとボデーのセンターを合わせて取り付ける。

(10) 接着剤が硬化するまで、保護テープなどでウインドシールドアウトサイドモールディングを押さえておく。

(11) 余分な接着剤は、硬化する前に消掃する。

(参考) 接着後の最低乾燥時間、走行可能時間などは、各接着剤メーカーの指示や各接着剤の取り扱い説明書などに従う。

(12) アウトサイドモールディングをボデー側にセットする。

(13) ノーズピースをリベッターに装着し、新品のリベットのマンドレル部をノーズピースに挿入する。

(14) リベットを取り付け穴に垂直に強く押し当てた状態で、リベッターを操作してリベットを取り付ける。

4 水漏れ点検および補修

(1) 接着剤硬化後、水漏れのないことを確認する。

(2) 水漏れが生じた場合は、乾燥させた後スリーセメントブラックを充てんする。

クォーターウィンドゥガラス関連部品取りはずし

1 リヤサイドシートバック ASSY RH および LH 取りはずし
 (「リヤシート」 - 「リヤシート ASSY 脱着分解構成図」参照)

2 トノーカバー ASSY 取りはずし

3 リヤフロア No.5 ボード 取りはずし

4 リヤフロア No.3 ボード 取りはずし

5 リヤフロア No.2 ボード 取りはずし

6 スペアホイールトレイカバー 取りはずし

7 スペアホイールガード 取りはずし

8 ラグゲージコンパートメントトレイ 取りはずし

9 スペアホイール No.2 ガード 取りはずし

10 ラグゲージホールドベルトストライカー 取りはずし

11 リヤフロア No.4 ボード 取りはずし

12 リヤフロア No.1 ボード 取りはずし

13 トノーサイドカバー 取りはずし

14 リヤフロアフィニッシュプレート 取りはずし

15 リヤスピーカーグリル RH 取りはずし

(リヤスピーカー付き車)

16 パワーポイントソケット ASSY 取りはずし (RH のみ)

17 ラグゲージホールドベルトストライカー 取りはずし

18 デッキトリムサイドパネル 取りはずし

19 ルーフヘッドライニングリヤトリム 取りはずし

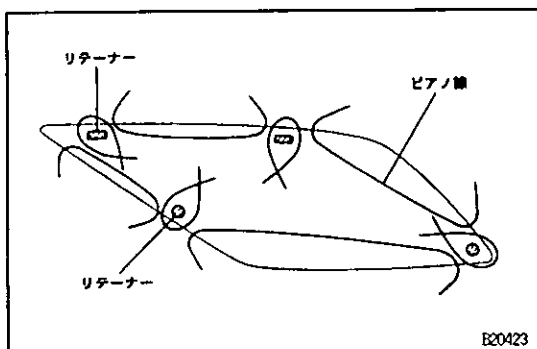
20 トノーカバーフック 取りはずし

21 ルーフサイドインナーガーニッシュ 取りはずし

(1~21 は「ルーフヘッドライニング」 -

「ルーフヘッドライニング 取りはずし」参照)

11



クォーターウィンドゥガラス取りはずし

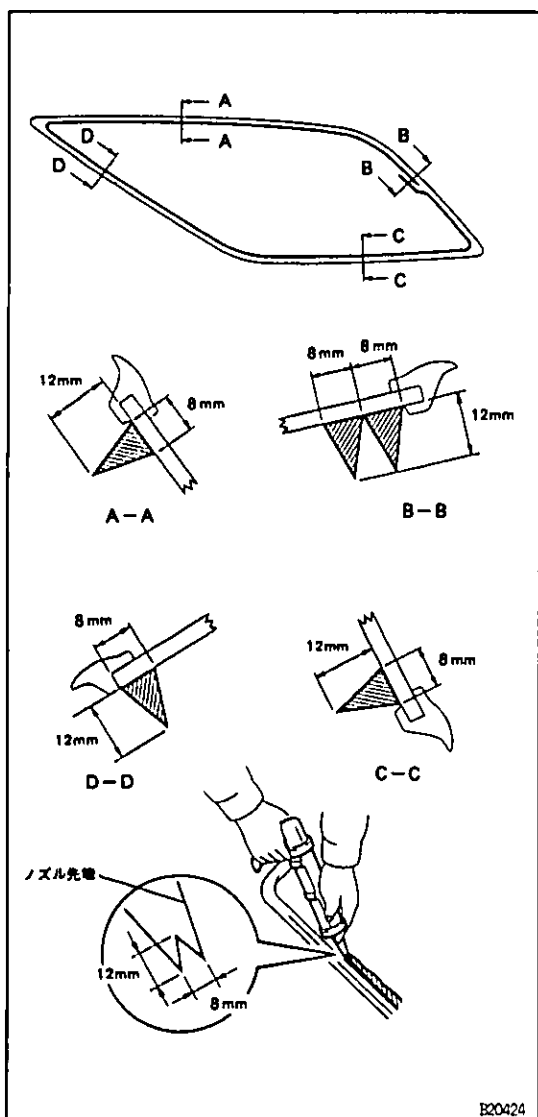
1 クォーターウィンドゥガラス ASSY 取りはずし

(1) クォーターウィンドゥガラス外周のボデー面に保護テープを貼る。

(2) 図のようにピアノ線 (0.6mm が適当) を通し、両端をマイティプラーに取り付ける。

(3) ピアノ線を交互に引いて、リテーナーを残し接合部を切断する。

取り付け作業上の留意点



注意 新品のガラスを取り付ける。

1 車両側取り付け前準備

- ・切断した車両側接着剤が著しく凸凹のある場合、ナイフで平滑にする。

注意 接着剤は必ず少し残す。

2 クォーターウィンドウガラス取り付け前準備

- ・ガラスは白ガソリンで清掃する。

3 クォーターウィンドウガラス取り付け

- (1) 車両側接着部でポデー面が露出している箇所に専用プライマーを塗布する。

- ・厚塗りしない。
- ・残った接着剤には塗布しない。
- ・パネル継ぎ目およびスポット接着位置は、特に注意して塗布する。
- ・プライマーが乾燥（約3分）後にガラスを接着する。

- (2) ガラスの接着部に専用プライマーを塗布する。

- ・厚塗りしない。
- ・プライマーが乾燥（約3分）後に接着剤を塗布する。

- (3) 接着剤のノズル先端を図のように切り取る。

- (4) シーラントガンに接着剤をセットする。

- (5) 接着剤をモールディングに沿って図のようにビード状に塗布する。

注意 接着剤塗布後ただちにガラスを取り付ける。

- (6) 吸引ゴムなどを使用して、クリップ部を一致させてガラスを取り付ける。

- (7) 接着剤が硬化するまで、テープなどでクォーターウィンドウガラスを押さえておく。

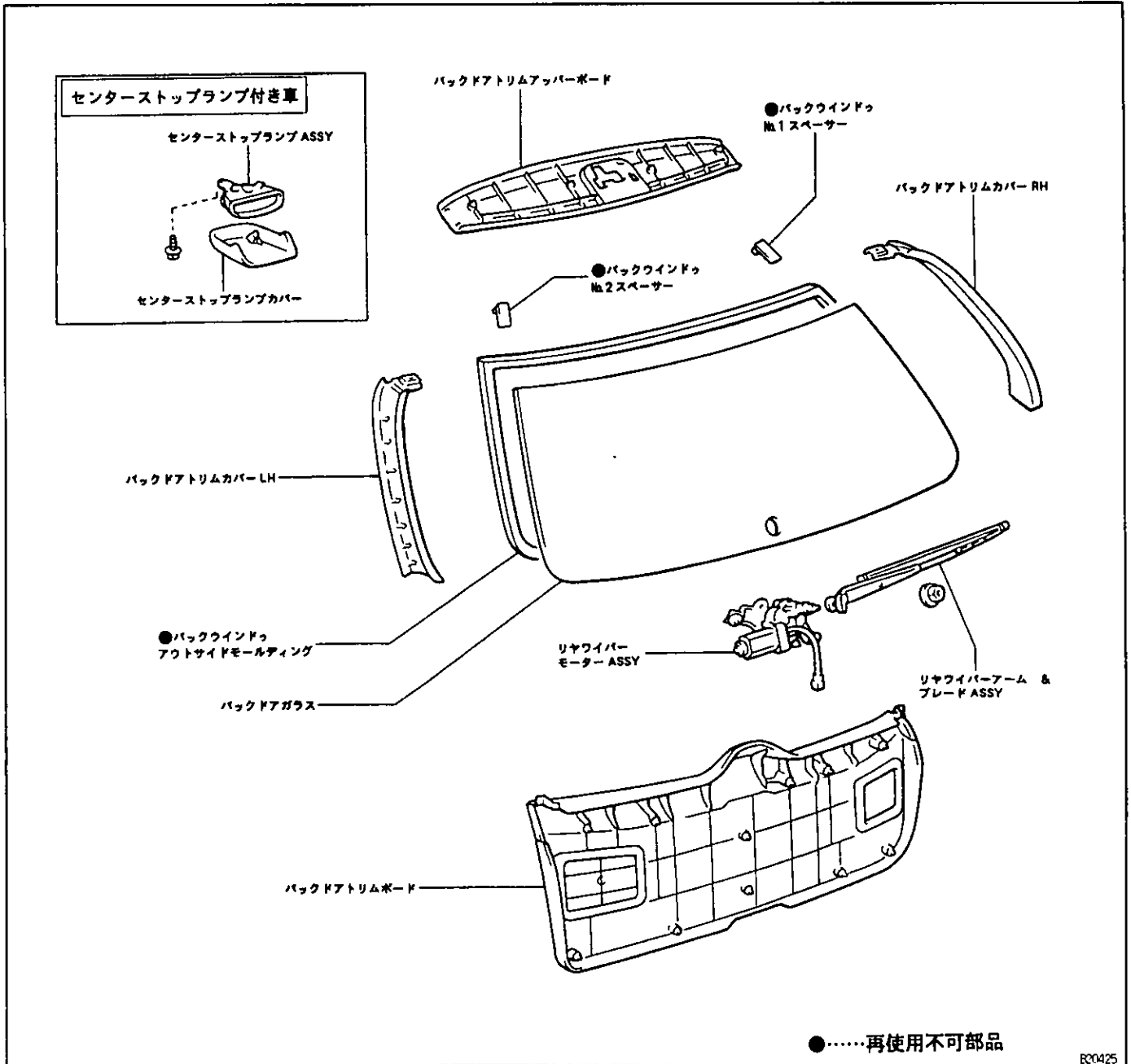
〈参考〉 接着後の最低乾燥時間、走行可能時間などは、各接着剤メーカーの指示や各接着剤の取り扱い説明書に従う。

4 水漏れ点検および補修

- (1) 接着剤硬化後、水漏れのないことを確認する。
- (2) 水漏れが生じた場合は、乾燥させた後スリーセメントブラックを充てんする。

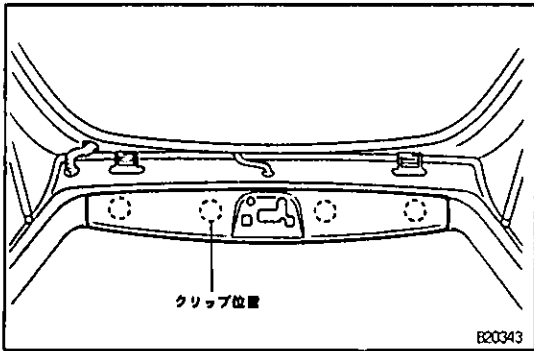
バックドアガラス

脱着構成図



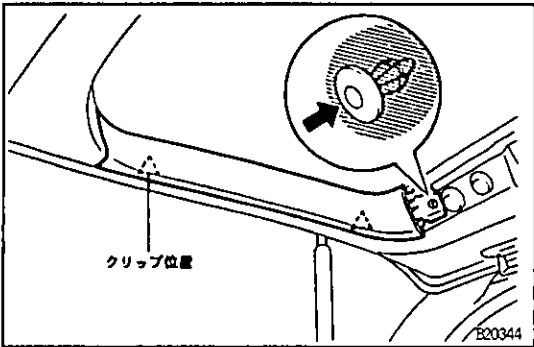
バックドアガラス関連部品取りはずし

- 1 センターストップランプ ASSY 取りはずし
(「電気トリカル」-「ライティング」参照)
- 2 リヤワイパーアーム & ブレード ASSY 取りはずし
(「電気トリカル」-「ワイパー & ウォッシャー」参照)
- 3 バックドアトリムボード取りはずし
(「バックドア」-「バックドア分解」参照)



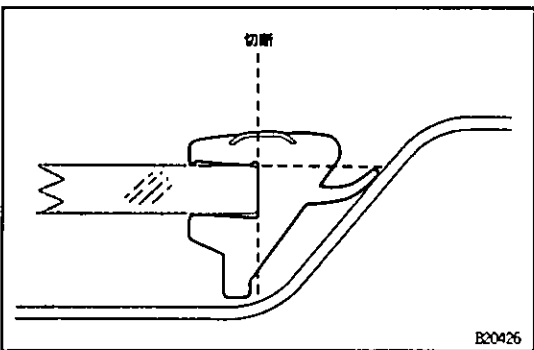
4 バックドアトリムアップパーボード取りはずし

- (1) クリップのかん合をはずし、バックドアトリムアップパーボードを取りはずす。



5 バックドアトリムカバー RHおよび LH 取りはずし

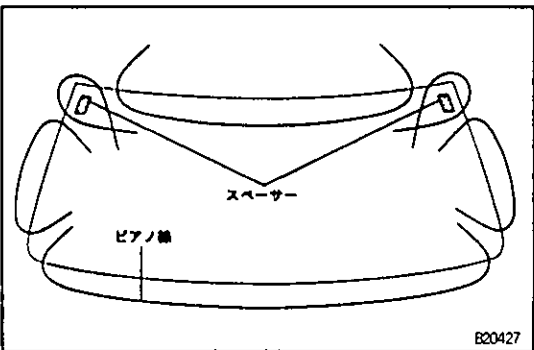
- (1) クリップ2個を取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、バックドアトリムカバーを取りはずす。



バックドアガラス & モールディング取りはずし

1 バックウィンドウアウトサイドモールディング取りはずし

- (1) デフォグガーおよびアンテナコードのコンネクターを切り離す。
 - (2) バックウィンドウアウトサイドモールディングをカッターナイフなどで切断する。
- 〈参考〉 部分的に切断したのち、手で引っばって取りはずすとよい。



2 バックドアガラス取りはずし

- 注意** ・ガラスを再使用する場合は、取りはずす前にガラスおよびバックウィンドウパネル部にガムテープなどを貼り、ベンで取り付け時の合わせマークを付ける。
- ・ガラスの図の箇所にはストッパーが取り付けられているためガラスを破損させないように注意して切断する。

- (1) バックドアガラス外周のボデー面に保護テープを貼る。
- (2) 図のようにピアノ線 (0.6mmが適当) を通し、両端をマイティプラーに取り付ける。
- (3) ピアノ線を交互に引いて、スペーサーを残し接着部を切断する。

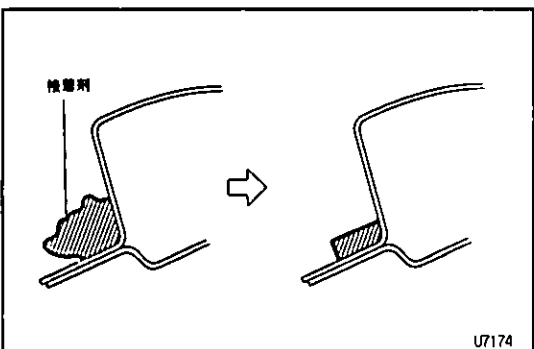
- 注意** ガラス端部にピアノ線を強く接触させない。

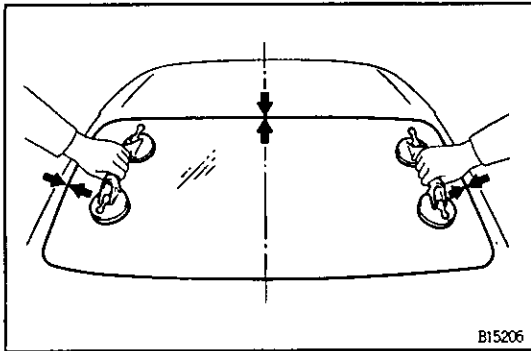
バックドアガラス取り付け

1 車両側取り付け前準備

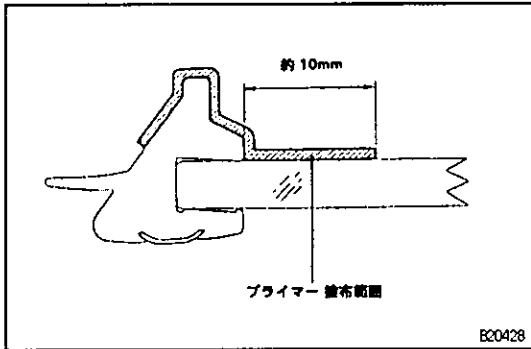
- (1) 切断した車両側接着剤が著しく凸凹のある場合、ナイフなどで平滑にする。

- 注意** 接着剤は必ず少し残す。





B15206



B20428

2 バックドアガラス取り付け前準備

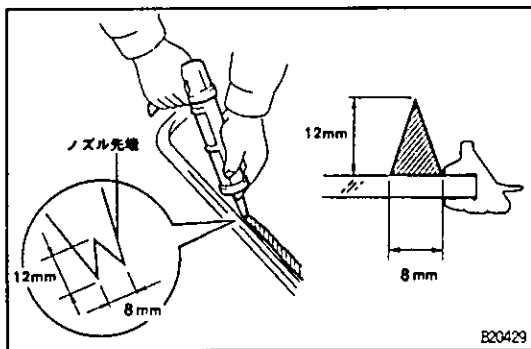
- (1) 破損したストッパーを取りはずす。(ガラス再使用时)
- (2) ガラスに残っている接着剤を削り取る。(ガラス再使用时)
- (3) ガラス外周を白ガソリンで清掃する。
注意 新品のガラスも清掃する。
- (4) 吸引ゴムを使用してガラスをポデーに乗せ、ガラス上部およびサイド部の幅が均一(ポデーとガラス端部のすき間を均一)になる位置にセットする。
- (5) モールディングを取り付けるのに支障のないことを確認する。
- (6) ガラスとポデー側に合わせマークをする。
参考 ガラス再使用の場合は、合わせマーク位置の確認および修正を行う。

3 バックウィンドアウトサイドモールディング取り付け

- (1) ガラス外周に新品のアウトサイドモールディングを取り付ける。

4 バックドアガラス取り付け

- (1) 車両側接着部で、ポデー面が露出している箇所に専用プライマーを塗布する。
注意
 - ・厚塗りしない。
 - ・残った接着剤には塗布しない。
 - ・パネルの継ぎ目およびスポット接着位置は、特に注意して塗布する。
 - ・プライマーが乾燥(約3分)後に、ガラスを接着する。
- (2) ガラスの接着部に専用プライマーを塗布する。
注意
 - ・厚塗りしない。
 - ・プライマーが乾燥(約3分)後に、接着剤を塗布する。



B20429

- (3) 接着剤のノズル先端を図のように切り取る。
- (4) シーラントガンに接着剤をセットする。
- (5) 接着剤をモールディングに沿って図のようにビード状に塗布する。
注意
 - ・接着剤はモールディングと重なるように塗布すること。
 - ・接着剤塗布後ただちにガラスを取り付ける。
- (6) 吸引ゴム盤などを使用し、合わせマークを一致させてガラスを取り付ける。
注意 スペースをポデー孔にかん合させる。
- (7) ガラス前面を軽く押して完全に密着させる。
参考
 - ・押し付け力 98N {10kgf} 以上
 - ・接着後の最低乾燥時間、走行可能時間などは、各接着剤メーカーの指示や各接着剤の取り扱い説明書などに従う。

5 水漏れ点検および補修

- (1) 接着剤硬化後、水漏れのないことを確認する。
- (2) 水漏れが生じた場合は乾燥させた後スリーセメントブラックを充てんする。

TOOLS110

スライディングルーフ

準備品

工具

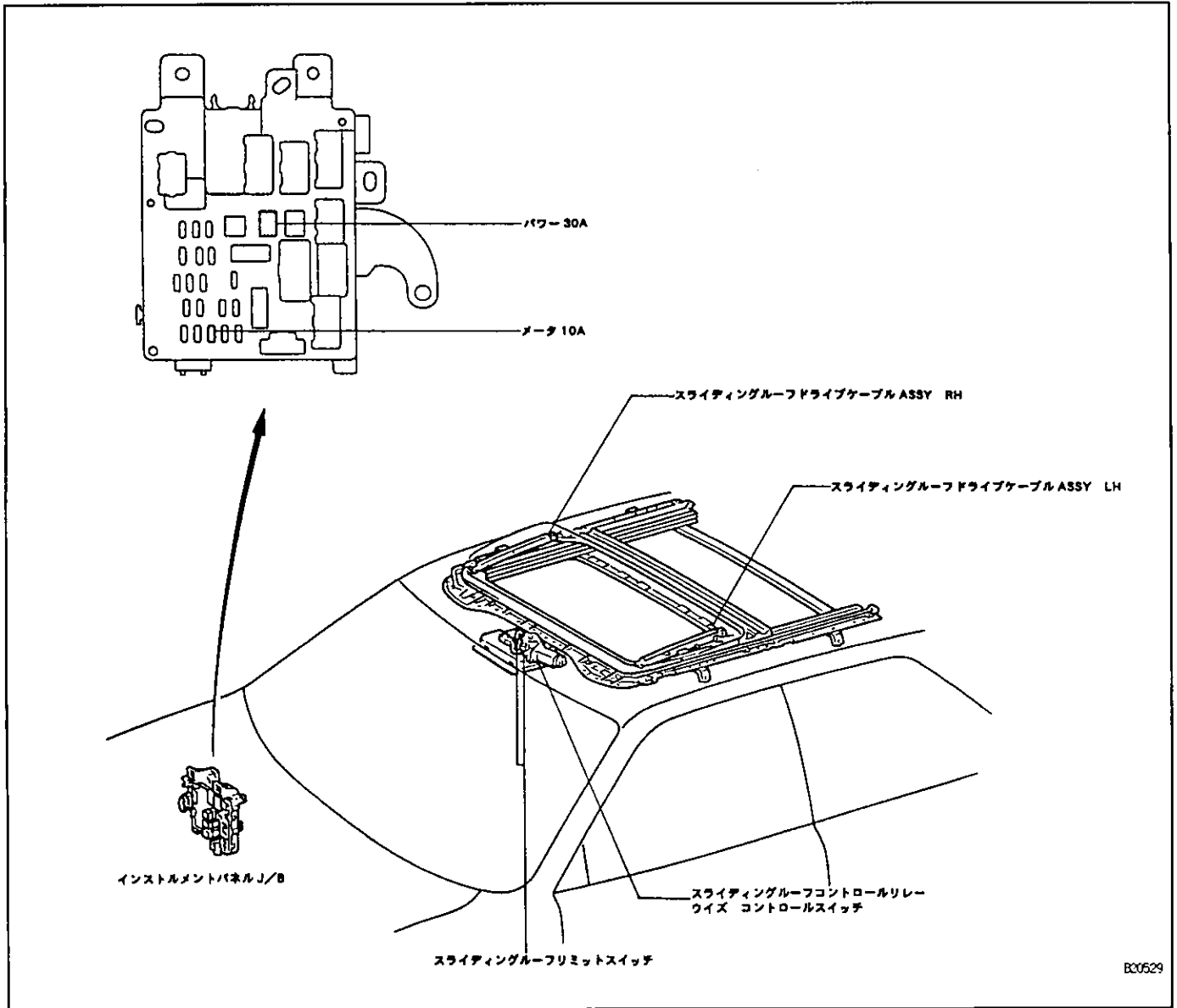
トルクスドライバー (T25) 09041-00020	70016	スライディングルーフガラス調整用
--------------------------------	-------	------------------

計器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
ミニテストリード 09083-00060	70240	単体点検用

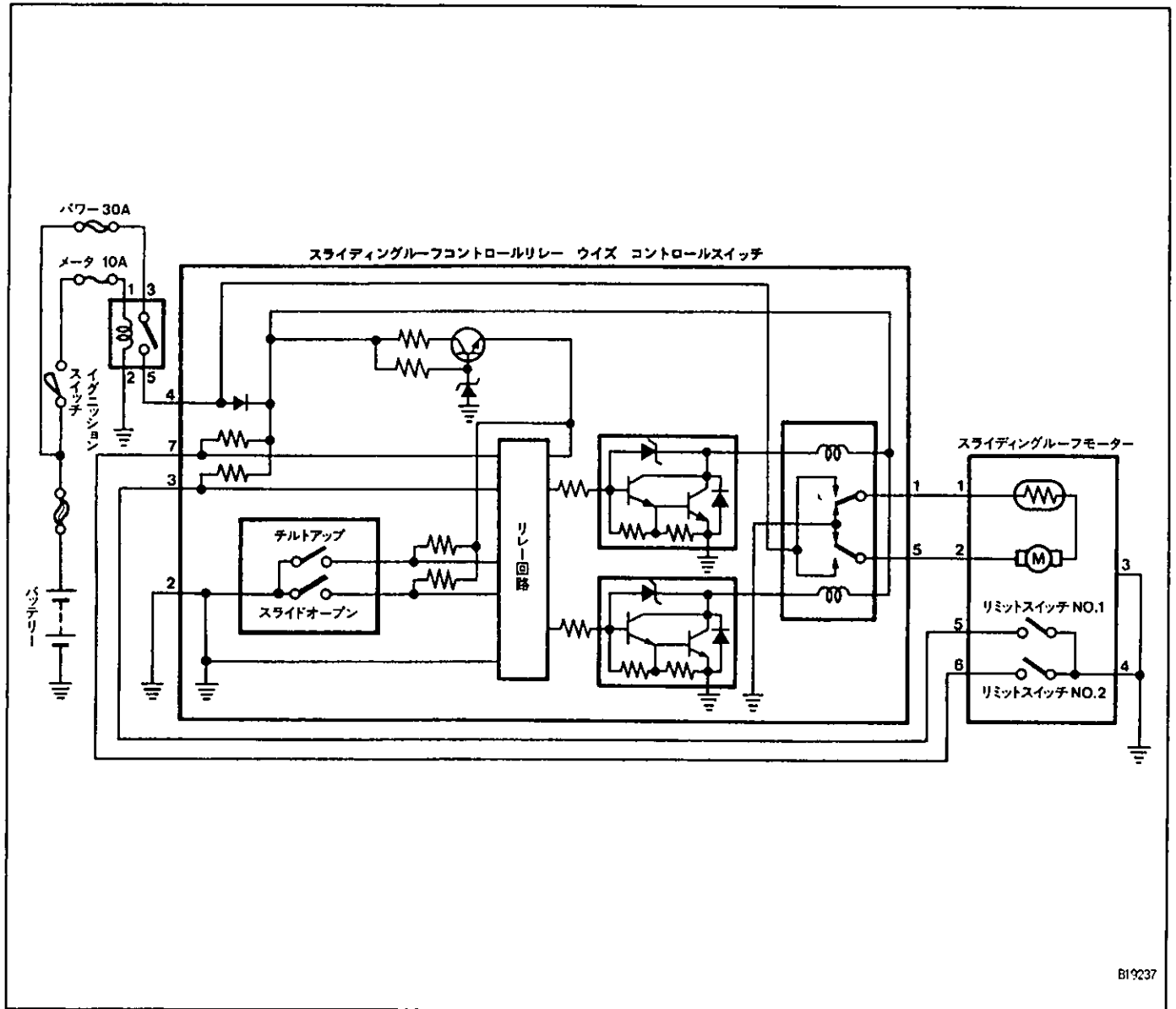
部品配置図

TOOLS2020



BC0529

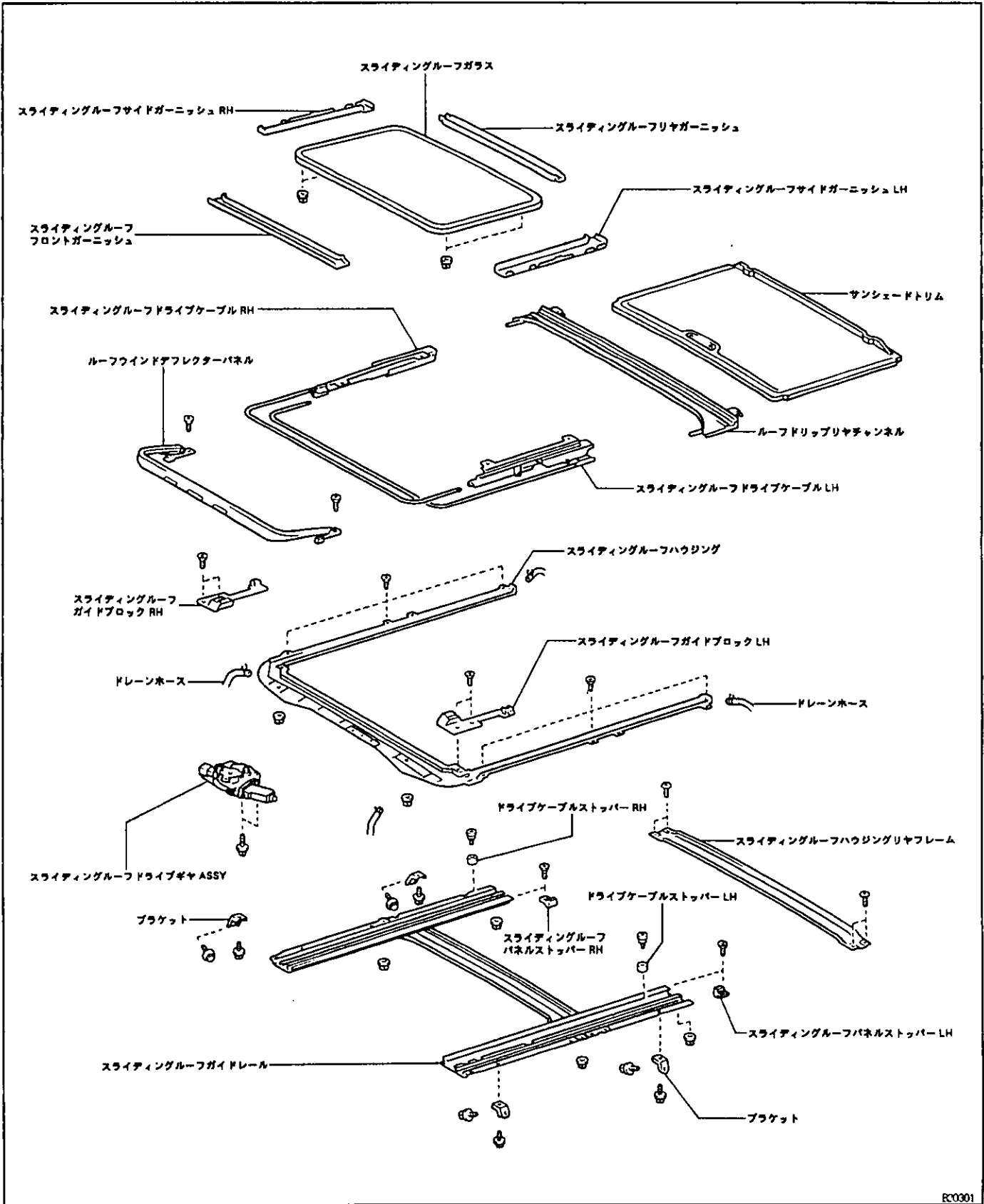
回路図



11

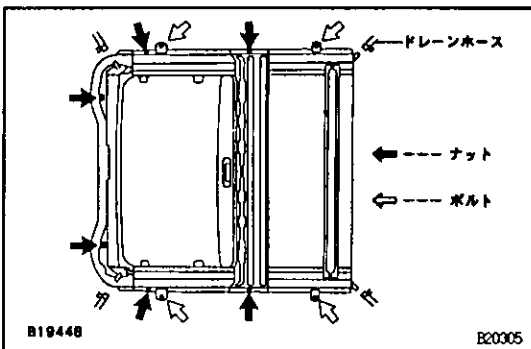
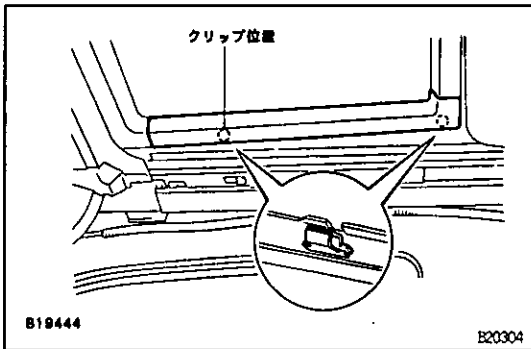
スライディングルーフ

脱着分解構成図



スライディングルーフハウジング取りはずし

注意 スライディングルーフ位置とドライブギヤ全閉位置の対応がずれると、各機能部品が正常でもスライディングルーフは正常な作動を行わない。ドライブギヤ ASSY を取りはずす場合は、必ずスライディングルーフをチルト全閉状態にしてから行う。



1 ルーフヘッドライニング取りはずし

(「ルーフヘッドライニング」-「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)

2 スライディングルーフサイドガーニッシュ RH および LH 取りはずし

(1) クリップのかん合をはずし、サイドガーニッシュを取りはずす。

3 スライディングルーフガラス ASSY 取りはずし

(1) ナット 4 個をはずし、ルーフガラス ASSY を取りはずす。

4 スライディングルーフドライブギヤ ASSY 取りはずし

(1) ボルト 3 本を取りはずす。

(2) コネクターを切り離し、ドライブギヤ ASSY を取りはずす。

注意 ドライブギヤモーターは点検時以外は作動させない。

5 スライディングルーフハウジング ASSY 取りはずし

(1) ワイヤハーネスのクランプをはずす。

(2) ドレインホース 4 本を切り離す。

(3) ボルト 4 本およびナット 6 個をはずし、ハウジング ASSY をバックドアより車外に取り出す。

11

スライディングルーフハウジング分解

1 スライディングルーフパネルストッパー RH および LH 取りはずし

2 サンシェードトリム取りはずし

3 ルーフドリップチャンネル取りはずし

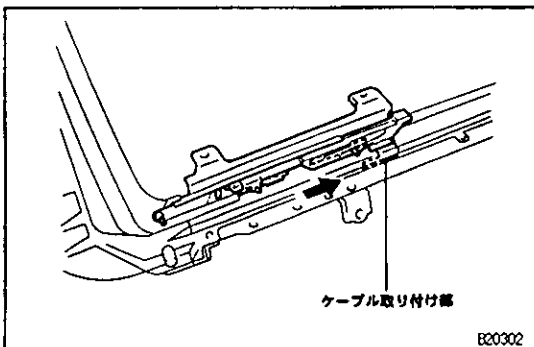
(1) ドライブケーブル部のピンとのかん合をはずし、後方へ引き抜いて、リヤチャンネルを取りはずす。

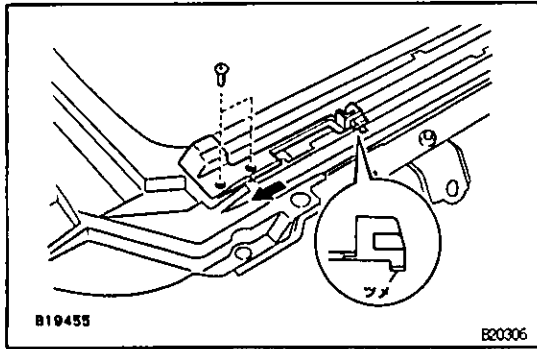
4 ルーフウインドウデフレクターパネル取りはずし

(1) ケーブル取り付け部を後方へずらし、ドライブケーブルを後方へ動かす。

(2) スクリュー 2 本をはずし、デフレクターパネルを取りはずす。

5 ドライブケーブルストッパー RH および LH 取りはずし





6 スライディングルーフガイドブロック RH および LH 取りはずし

- (1) スクリュー 2 本をはずす。
- (2) ツメのかん合をはずし、図のように引き抜いてガイドブロックを取りはずす。

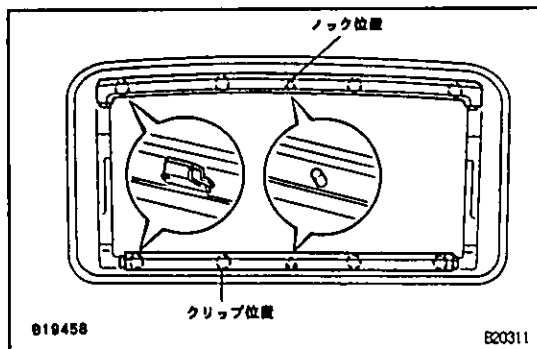
7 スライディングルーフハウジングリヤフレーム取りはずし

- (1) スクリュー 4 本をはずし、リヤフレームを取りはずす。

8 スライディングルーフドライブケーブル RH および LH 取りはずし

9 スライディングルーフハウジング取りはずし

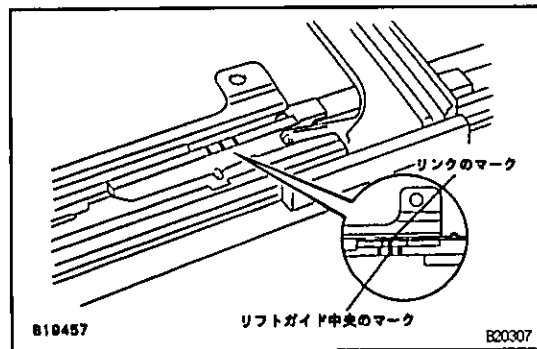
- (1) スクリュー 6 本をはずし、ハウジングを取りはずす。



スライディングルーフガラス ASSY 分解

1 スライディングルーフフロントおよびリヤガーニッシュ取りはずし

- (1) クリップのかん合をはずし、ガーニッシュを取りはずす。



組み付け作業上の留意点

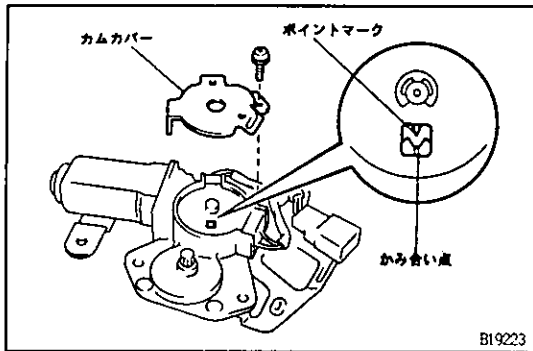
注意 スライディングルーフ位置とドライブギヤ全閉の対応がずれると、各機能部品が正常でもスライディングルーフは正常な作動を行わない。

1 スライディングルーフドライブケーブル全閉位置セット

- (1) ケーブル取り付け部を前方へずらし、ドライブケーブルを前方へ動かす。
- (2) ケーブル取り付け部を動かして、リンクのマークとリフトガイドの中央のマークを一致させる。

2 スライディングルーフガラス取り付け

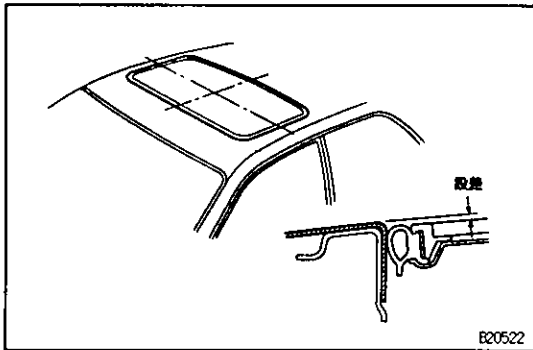
注意 ウェザーストリップフロント側のリップ部が、めくれていることを確認する。



B19223

3 スライドルーフドライブギヤ ASSY 取り付け

- (1) スクリューをはずし、カムカバーを取りはずす。
- (2) カムの位置が図に示す全閉位置になっていることを確認する。
- (3) (2)の状態以外の場合は、カムを回転させて、ハウジングのかみ合い点とギヤのポイントマークを合わせる。



B20522

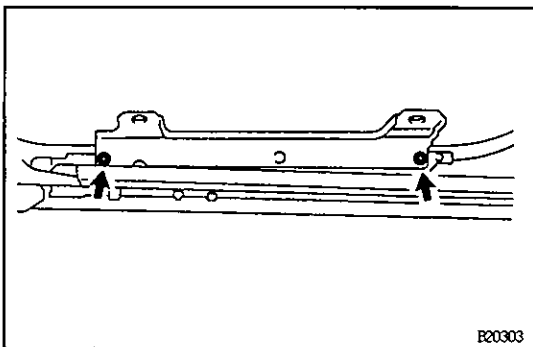
スライディングルーフ調整

1 段差点検

- (1) 全閉時ルーフパネルとルーフガラス（モールディング部）との段差を点検する。

基準 前側: 0 +1.0mm
-2.0mm

後側: 0 +2.0mm
-1.0mm

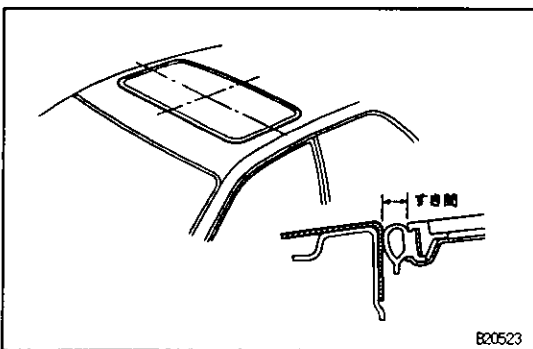


B20303

2 スライディングルーフ段差調整

- (1) トルクドライバー T25 を使用して固定用スクリューをゆるめ、スライディングルーフブラケットを上下調整し、位置が決まったところで固定用スクリューを締め付ける。

$T=5.5\text{N}\cdot\text{m}$ {55kgf·cm}

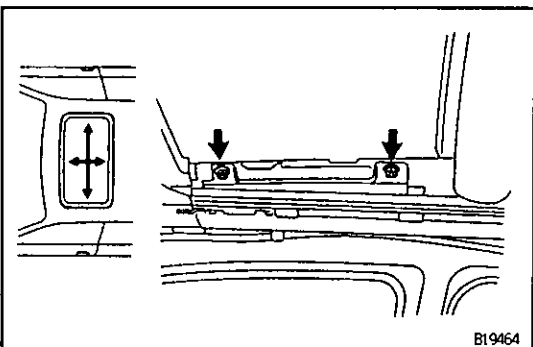


B20523

3 すき間点検

- (1) 全閉時ルーフパネルとルーフガラスのすき間を点検する。

基準 全周にわたり均一であること



B19464

4 スライディングルーフすき間調整

- (1) ナット4個をゆるめ、ガラスを動かして調整する。

単体点検

スライディングルーフドライブギヤ ASSY

1 スライディングルーフモーター点検

- (1) 図のようにモーター側コネクター1および2端子にバッテリー電圧を加え、それぞれの場合のドライブギヤの回転方向を点検する。
- (2) モーター回転中異音のないことを点検する。

2 スライディングルーフモーターアース回路点検

(参考) ラジオの雑音防止用であり、モーターの作動とは関係しない。

- (1) モーター側コネクターの3端子とモーターポデー間に導通があることを確認する。

3 スライディングルーフモーターサーキットブレーカー点検 (スライディングルーフモーター内)

注意 スライディングルーフを車両に組み付けた状態で行う。

- (1) 遮断点検を行う。
 - ① コネクターの2端子にバッテリーの⊕を接続し、トヨタエレクトリカルテスターのDC400Aプローブをセットする。
 - ② コネクターの1端子にバッテリーの⊖を接続し、スライディングルーフガラスを全開位置にした後、1端子を切り離す。
 - ③ 全開約1分後、再度(初回時)1端子にバッテリーの⊖を接続したときの電流が約16~23Aから0Aに変化する時間を点検する。

基準値 10~60秒

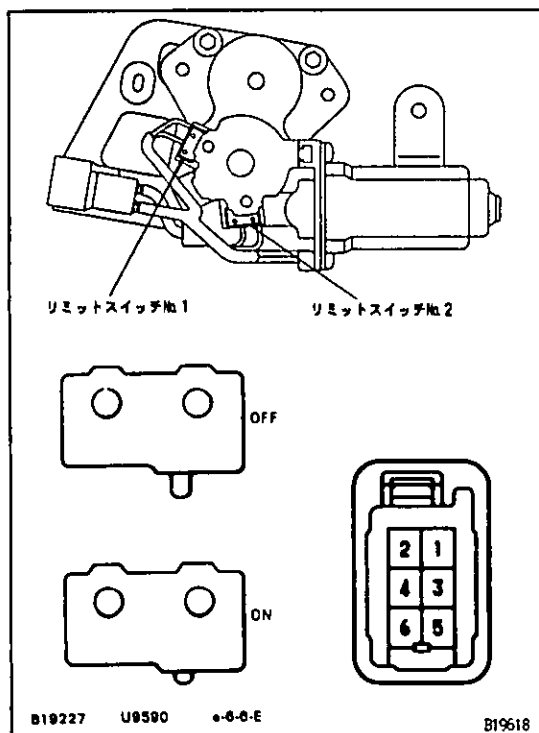
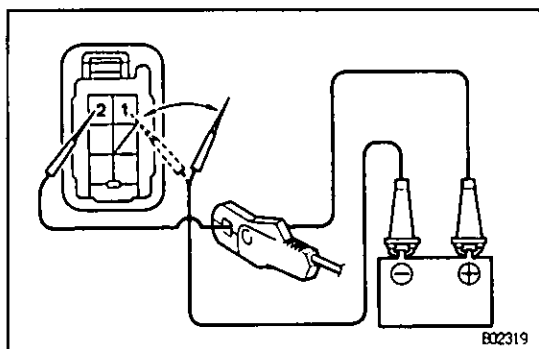
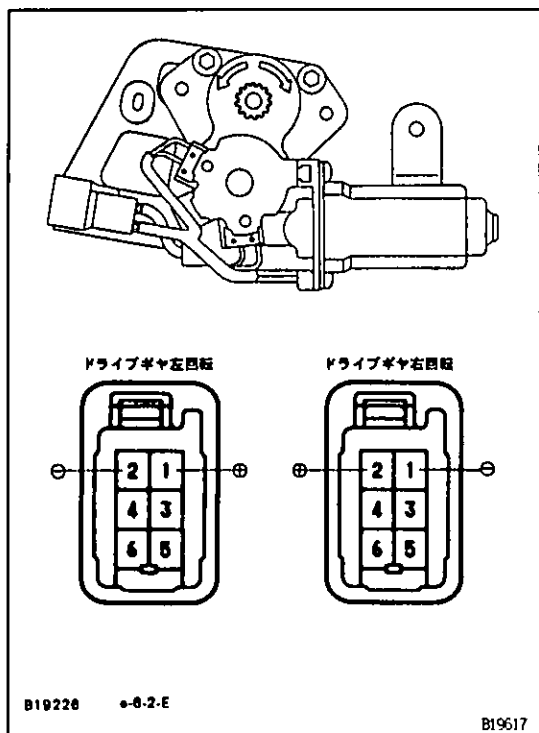
- (2) 復帰点検を行う。
 - ① 遮断点検約60秒後に、コネクターの1端子にバッテリーの⊕、2端子にバッテリーの⊖を接続し、モーターがクローズ側に回転することを点検する。

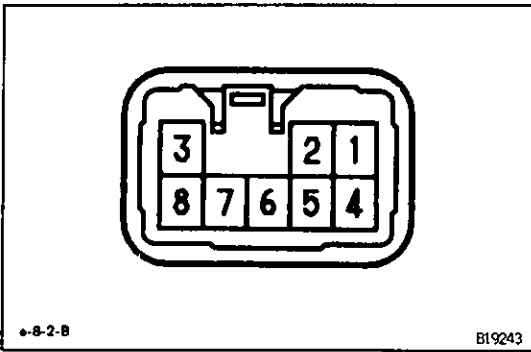
スライディングルーフリミットスイッチ

1 導通点検

- (1) 各端子間の導通を点検する。

- 基準
- ・リミットスイッチ№1をONしたとき、4端子→5端子間に導通あり
 - ・リミットスイッチ№1をOFFしたとき、4端子→5端子間に導通なし
 - ・リミットスイッチ№2をONしたとき、4端子→6端子間に導通あり
 - ・リミットスイッチ№2をOFFしたとき、4端子→6端子間に導通なし





スライディングルーフコントロールリレー

1 コントロールリレー点検

(1) ドライブギヤ ASSY からスクリュー 4 本をはずし、スライディングルーフリミットスイッチ 2 個を取りはずす。

注意 リミットスイッチの№1 と№2 を間違えないようにマークをつけておく。

(2) 車両側ワイヤハーネスにリミットスイッチを接続する。

(3) スライディングルーフモーターのコネクターを切り離す。

(4) 次の点検順序、指示に従って各端子とボデーアース間の導通、電圧を点検する。なお、表中の“接続切り車両側”はコネクターの接続を切り離し車両側のコネクターで点検することを表し、“コネクター接続”はコネクターを接続した状態で点検することを表す。

注意 “接続切り車両側”の点検後、“コネクター接続”の点検を行う。

基準

コネクター 条件	端子番号		項目	点 検 条 件	基 準	基準外の場合 の不具合箇所
	テスター ⊕	テスター ⊖				
接続切り 車両側	2	ボデーアース	導通	常 時	導通あり	車 両 側
	4	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ OFF→ON	0V→10~14V	
	3	ボデーアース	導通	リミットスイッチ№1 OFF→ON	導通なし→あり	
	7	ボデーアース	導通	リミットスイッチ№2 OFF→ON	導通なし→あり	
コネクター 接 続	1	ボデーアース	導通	各スイッチ OFF	導通あり	リレー
	5	ボデーアース	導通	各スイッチ OFF	導通あり	
	1	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, スライディングルーフ全閉状態, リミットスイッチ№1 ON, リミットスイッチ№2 ON, スライドオープンスイッチ OFF→ON (スライド OPEN 側)	0V→10~14V	
	5	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, スライディングルーフ全閉状態, リミットスイッチ№1 ON, リミットスイッチ№2 ON, チルトアップスイッチ OFF→ON (スライド CLOSE 側)	0V→10~14V	
	1	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, チルトアップ状態, リミットスイッチ№1 OFF, リミットスイッチ№2 OFF, スライドオープンスイッチ OFF→ON (チルト DOWN 側)	0V→10~14V	
	5	ボデーアース	電圧	イグニッションスイッチ ON, チルト全閉状態, リミットスイッチ№1 ON, リミットスイッチ№2 OFF, チルトアップスイッチ OFF→ON (チルト UP 側)	0V→10~14V	

11

★インストルメントパネル

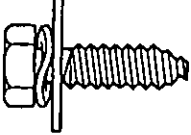
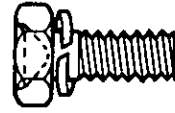


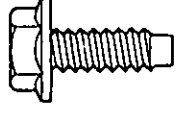




準備品

油脂・その他

保護テープ	53501	傷つき防止用
-------	-------	--------

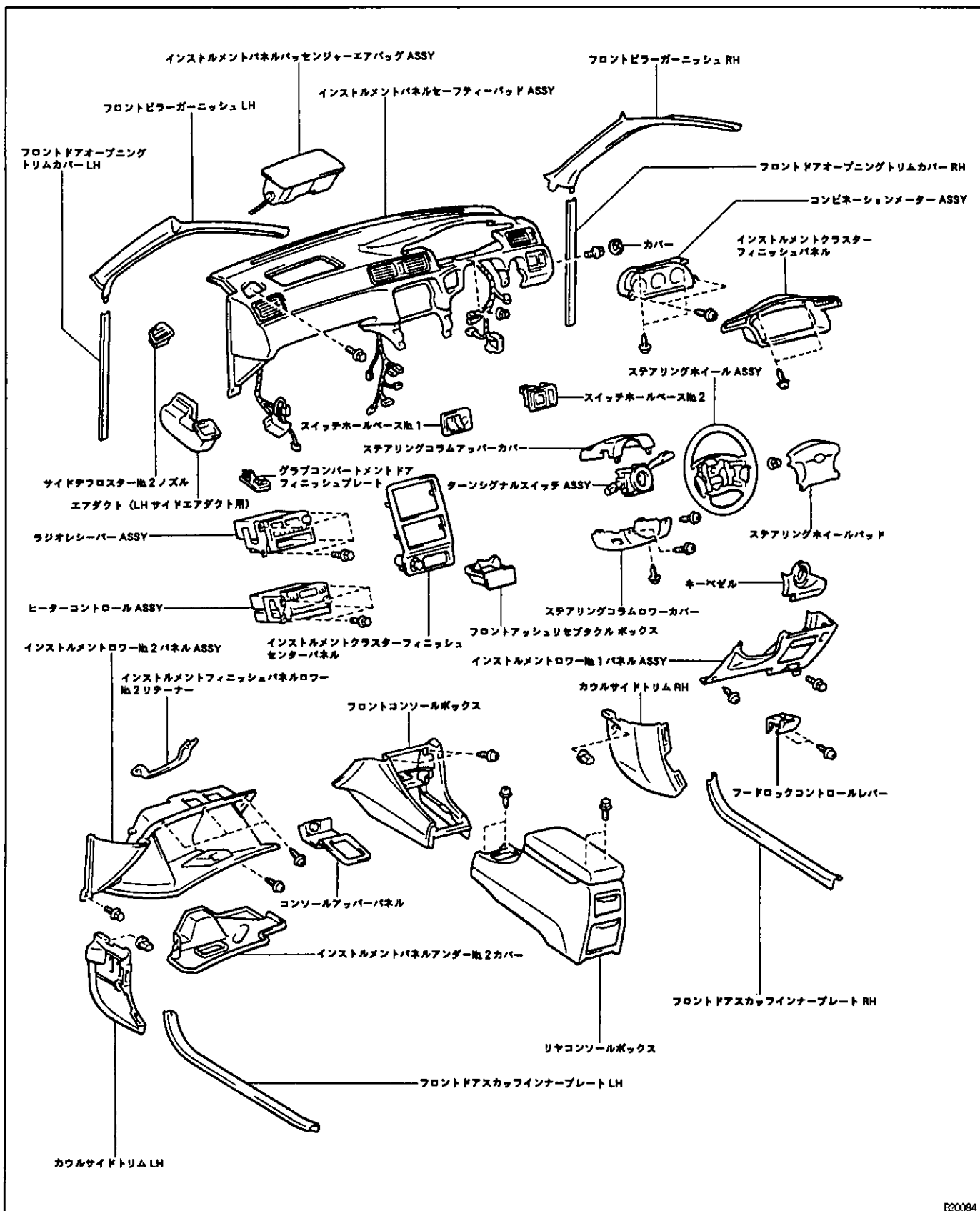
使用ボルト、スクリュー、ナット一覧表

- (参考) ・インストルメントパネル脱着分解に必要なボルト、スクリュー、ナットを符号で本文および図中に示す。
 ・図中のDは呼び径(mm)、Lは首下長さ(mm)を示す。

符号	形状	符号	形状	符号	形状
Ⓐ	 <p>D=6 L=20 9011908144</p>	Ⓑ	 <p>D=6 L=16 9011906220</p>	Ⓒ	 <p>D=6 L=12 9011904492</p>
Ⓓ	 <p>D=6 L=18 9011906428</p>	Ⓔ	 <p>D=6 L=16 9181280818</p>	Ⓕ	 <p>D=6 L=20 9018960200</p>
Ⓖ	 <p>D=5.22 L=18 9358795018</p>	Ⓖ	 <p>D=5.22 L=20 9358795020</p>	Ⓖ	 <p>D=6 9017906087</p>

★インストルメントパネル

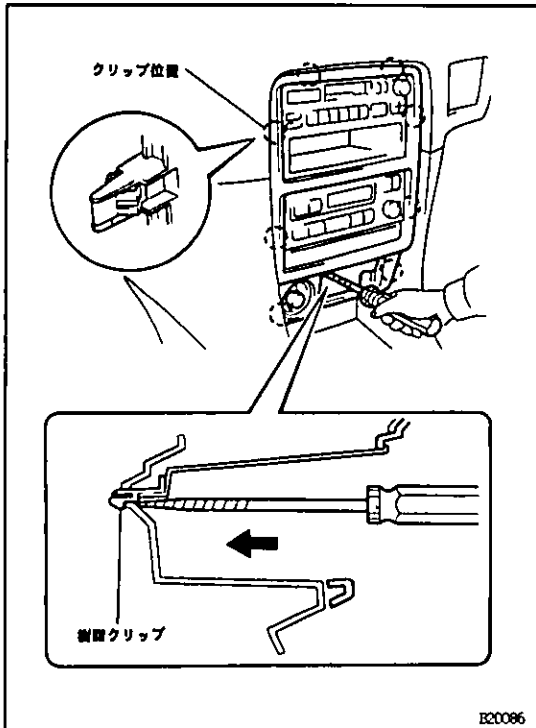
★脱着構成図



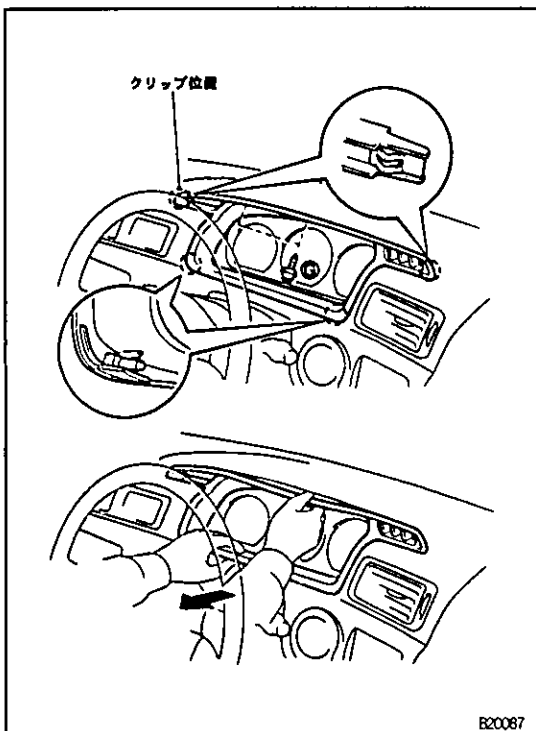
11

★インストルメントパネルセーフティーパッド
ASSY 取りはずし

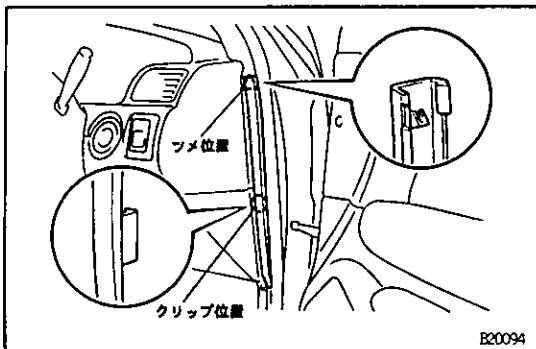
注意 ⊖ドライバーおよびガセットスクレーパーを使用してクリップ位置およびツメ位置をこじてかん合をはずす場合、必ず保護テープを貼って傷つきを防止する。



- 1 インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネル取りはずし
 - (1) フロントアッシュリセプタクルボックスを取りはずす。
 - (2) 図のように樹脂クリップのかん合をはずす。
 - (3) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用してクリップのかん合をはずし、センターパネルを取りはずす。
- 2 ラジオレシーバー ASSY 取りはずし
 - (1) ボルト⑥4本を取りはずす。
 - (2) コネクターを切り離し、ラジオレシーバーを取りはずす。
- 3 ヒーターコントロール ASSY 取りはずし
 - (1) スクリュー⑦4本を取りはずす。
 - (2) コネクターを切り離し、ヒーターコントロールを取りはずす。

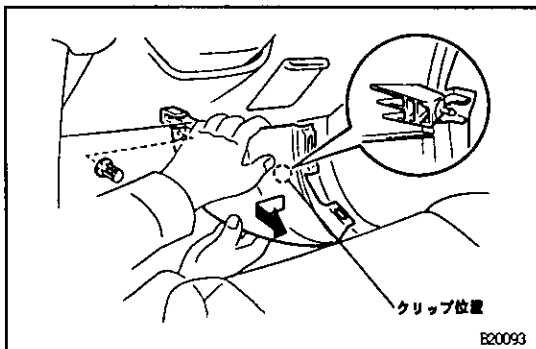


- 4 インストルメントクラスターフィニッシュパネル取りはずし
 - (1) スクリュー2本を取りはずす。
 - (2) コラムカバー上にウェスを敷く。
 - (3) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、クリップ位置4箇所をこじてかん合をはずす。
 - (4) フィニッシュパネル開口部の上面を下にたわませながら、手前に引き出して取りはずす。
- 5 コンビネーションメーター ASSY 取りはずし
 - (1) スクリュー⑧4本を取りはずす。
 - (2) コネクターを切り離し、メーター ASSY を取りはずす。
- 6 フロントドアスカッフインナープレート RH および LH 取りはずし
(「ルーフヘッドライニング」 - 「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)



7 フロントドアオープニングトリムカバー RH および LH 取りはずし

- (1) クリップおよびツメのかん合をはずし、トリムカバーを取りはずす。

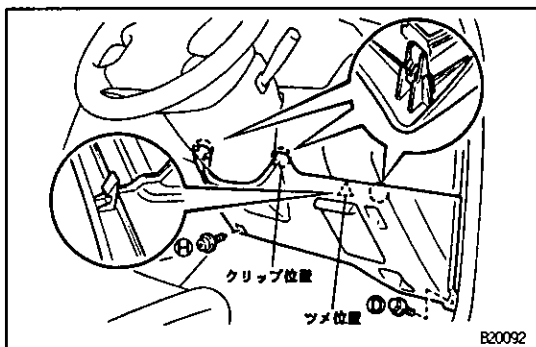


8 カウルサイドトリム RH および LH 取りはずし

- (1) 樹脂クリップを取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、トリムボードを取りはずす。

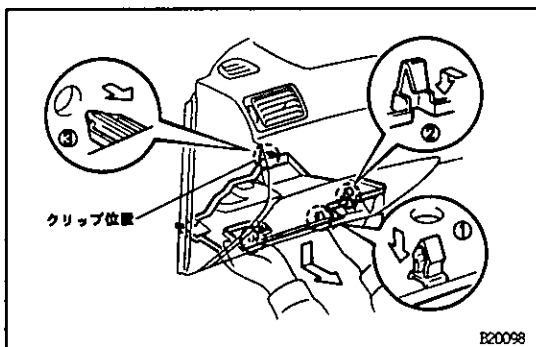
9 フードロックコントロールレバー取りはずし

- (1) スクリュー②2本をはずし、コントロールレバーを取りはずす。



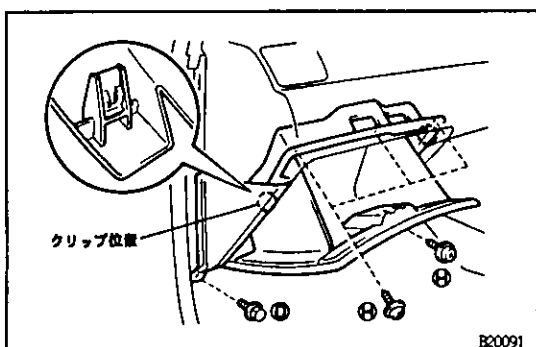
10 インストルメントローNo.1 パネル ASSY 取りはずし

- (1) ボルトおよびスクリューを取りはずす。
- (2) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用してクリップおよびツメのかん合をはずし、ローNo.1 パネルを取りはずす。



11 インストルメントパネルアンダーNo.2 カバー取りはずし

- (1) 図の順序でクリップのかん合をはずし、アンダーNo.2 カバーを取りはずす。



12 インストルメントローパネルNo.2 ASSY 取りはずし

- (1) ボルトおよびスクリュー3本を取りはずす。
- (2) 手前に引いてクリップのかん合をはずし、ローパネルを取りはずす。

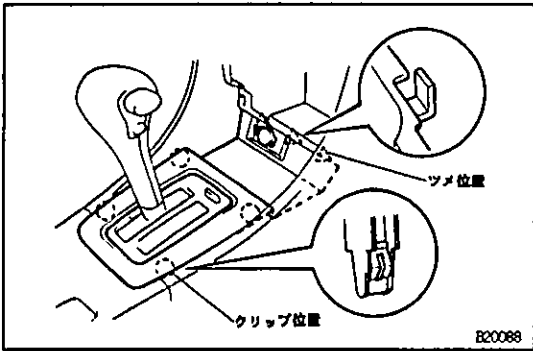
13 エアダクト (LH サイドエアダクト用) 取りはずし

14 グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし

- (1) コネクターを切り離し、プレートを取りはずす。

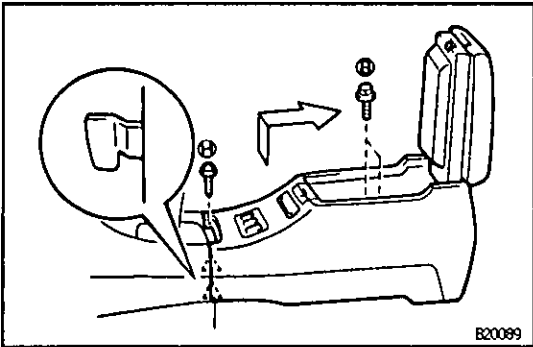
15 インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグ ASSY 取りはずし

(14, 15 は「SRS エアバッグ」-「パッセンジャーエアバッグ ASSY」参照)



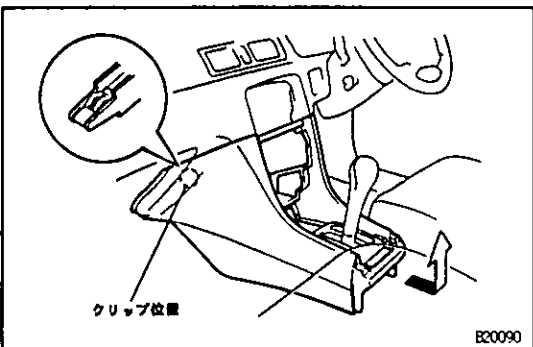
16 コンソールアッパーパネル取りはずし

- (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用してクリップおよびツメのかん合をはずす。
- (2) コネクターを切り離し、アッパーパネルを取りはずす。



17 リヤコンソールボックス取りはずし

- (1) ボルト2本およびスクリュー2本を取りはずす。
- (2) ツメのかん合をはずし、コンソールボックスを取りはずす。



18 フロントコンソールボックス取りはずし

- (1) スクリュー2本を取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、コンソールボックスを取りはずす。

19 ステアリングホイールパッド取りはずし

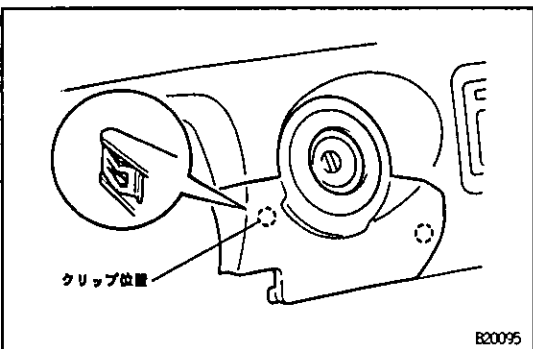
(「SRSエアバッグ」-「ステアリングホイールパッド」参照)

20 ステアリングホイール ASSY 取りはずし

21 ステアリングコラムアッパーおよびローカバー取りはずし

22 ターンシグナルスイッチ ASSY 取りはずし

(20~22は「ステアリング」-「チルトステアリングコラム」参照)



23 キーベゼル取りはずし

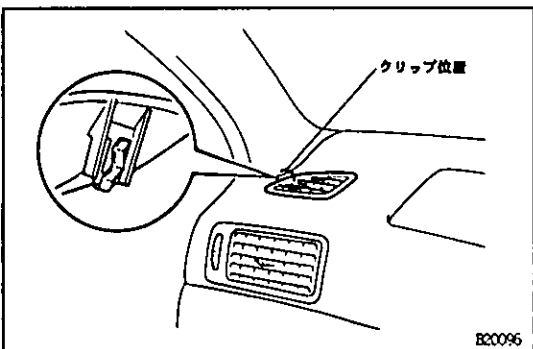
- (1) クリップのかん合をはずし、キーベゼルを取りはずす。

24 インストルメントフィニッシュパネルローNo.2リテーナー取りはずし

- (1) ボルトⒺ2本をはずしNo.2リテーナーを取りはずす。

25 フロントビラーガーニッシュ RHおよびLH取りはずし

(「ルーフヘッドライニング」-「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)



26 サイドデフロスターNo.2ノズル取りはずし

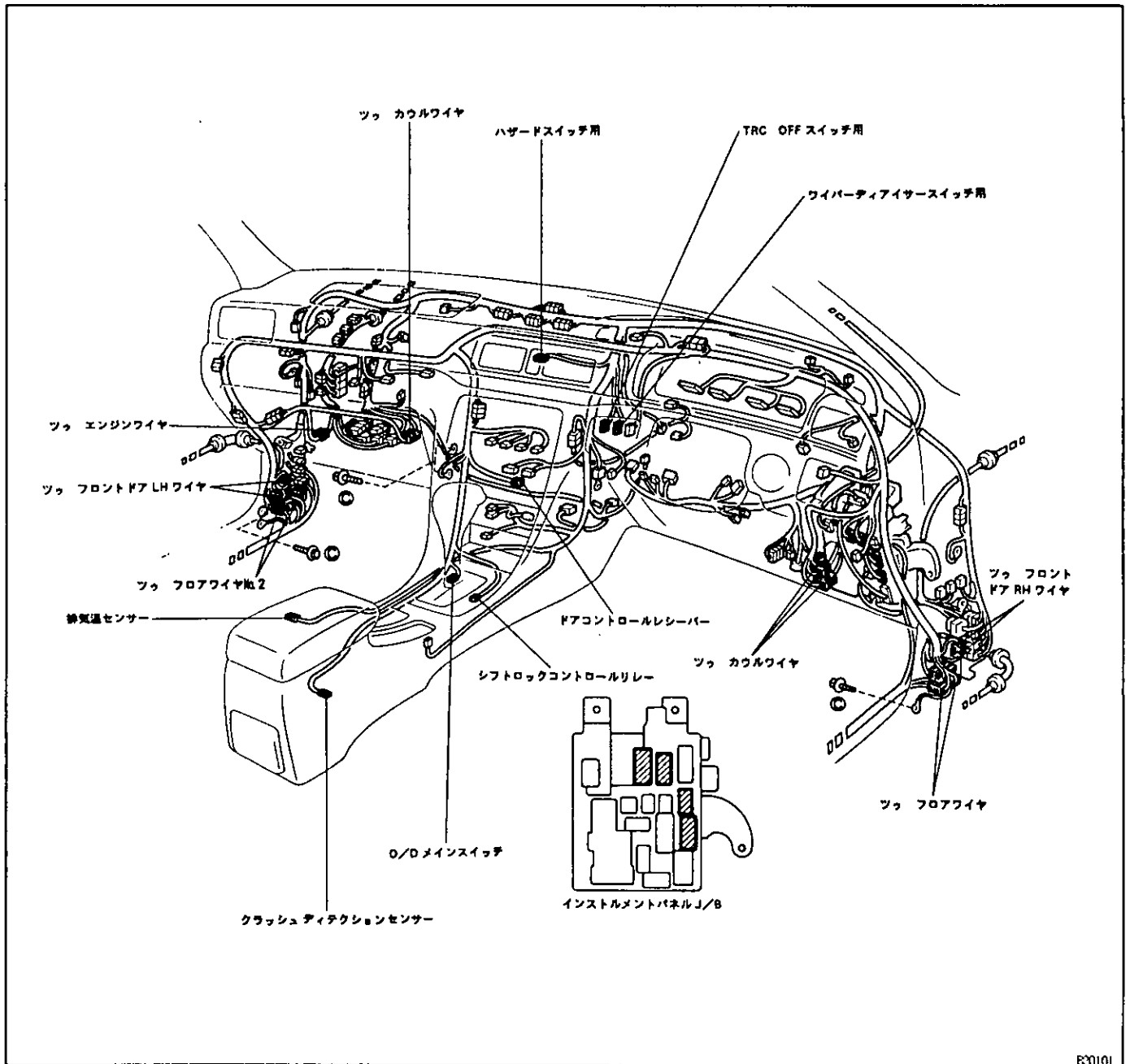
- (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用してクリップのかん合をはずし、No.2ノズルを取りはずす。

27 スイッチホールベースNo.1取りはずし

28 スイッチホールベースNo.2取りはずし

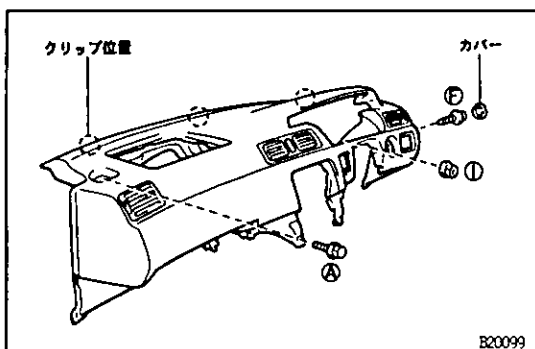
29 インストルメントパネルセーフティーパッド ASSY 取りはずし

- (1) ボルト（アース用）4本を取りはずす。
- (2) ワイヤハーネスの各コネクタを取りはずす。



E20101

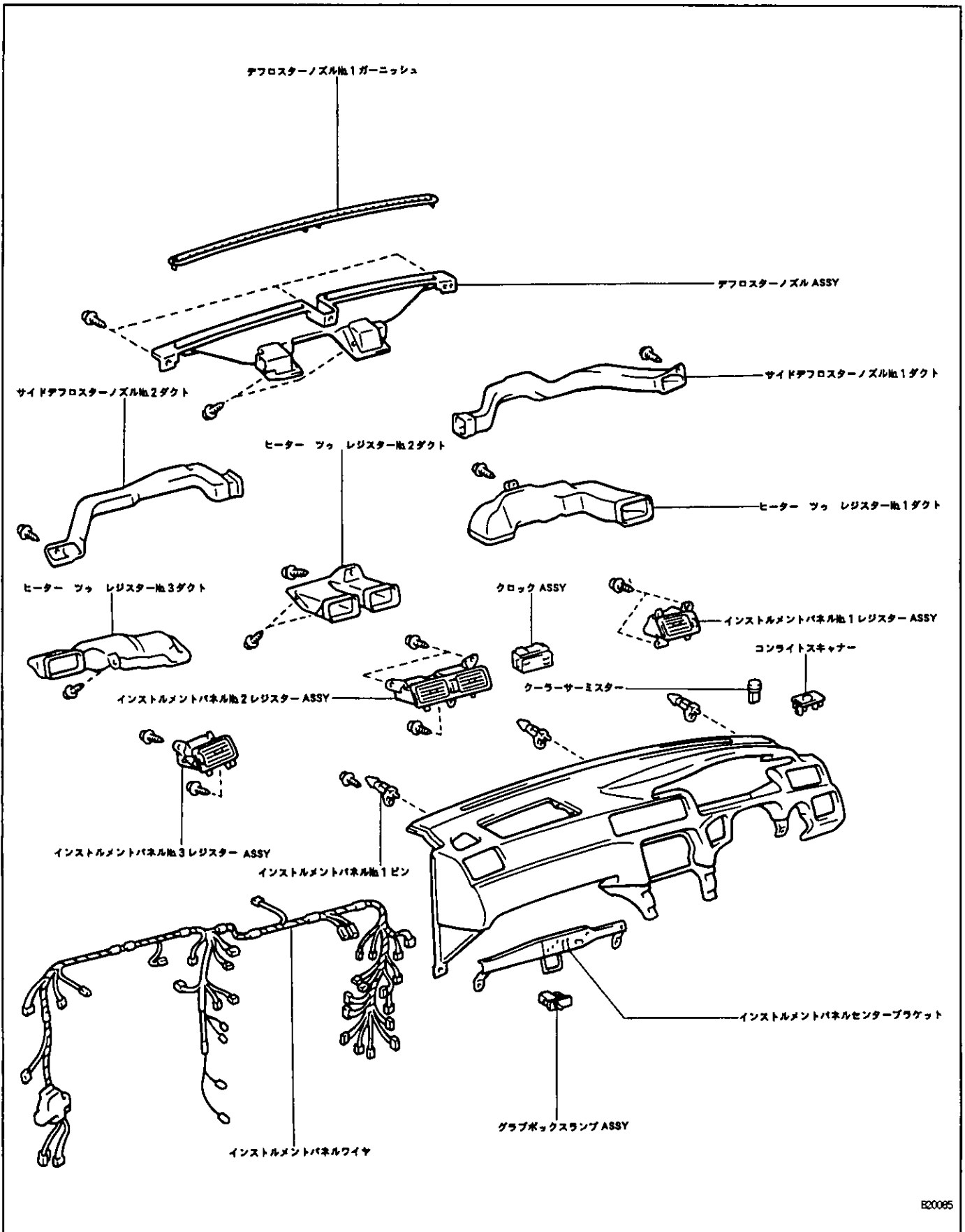
11



B20099

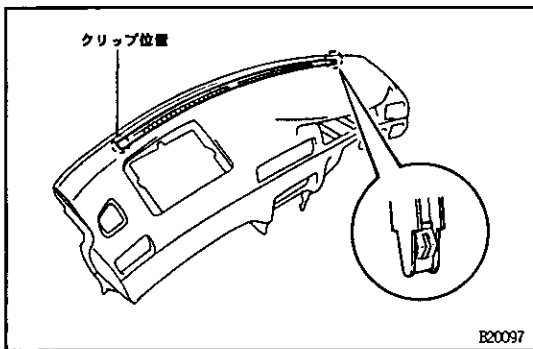
- (3) ボルト、カバー、スクリューおよびナットを取りはずす。
- (4) パネルを水平に引き出して、クリップのかん合をはずし、セーフティーパッド ASSY を取りはずす。

分解構成図



インストルメントセーフティーパッド分解

- 1 グラブボックスランプ ASSY 取りはずし
- 2 デフロスターノズル ASSY 取りはずし
 - (1) スクリュー⑥5本をはずしノズル ASSY を取りはずす。
- 3 ヒーター ツゥ レジスターNo.2ダクト取りはずし
 - (1) スクリュー⑥2本をはずしNo.2ダクトを取りはずす。
- 4 サイドデフロスターノズルNo.1およびNo.2ダクト取りはずし
 - (1) スクリュー⑥をはずしNo.1およびNo.2ダクトを取りはずす。
- 5 ヒーター ツゥ レジスターNo.1ダクト取りはずし
 - (1) スクリュー⑥をはずしNo.1ダクトを取りはずす。
- 6 ヒーター ツゥ レジスターNo.3ダクト取りはずし
 - (1) スクリュー⑥2本をはずしNo.3ダクトを取りはずす。



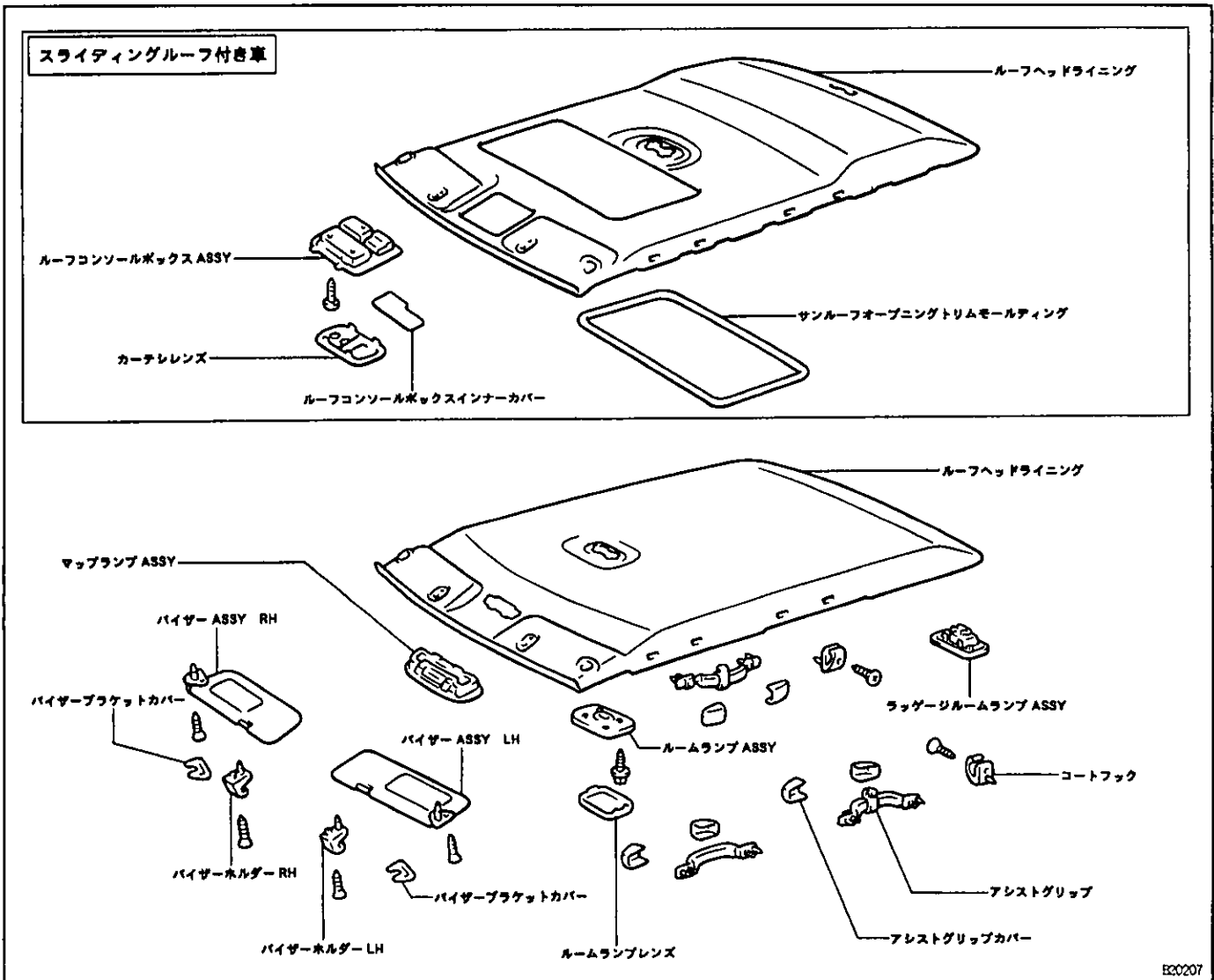
- 7 デフロスターノズルNo.1 ガーニッシュ取りはずし
 - (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用してクリップのかん合をはずし、No.1 ガーニッシュを取りはずす。
- 8 クーラーサーミスター（日射センサー）取りはずし
- 9 コンライトスキャナー取りはずし
- 10 インストルメントパネルセンターブラケット取りはずし
 - (1) スクリュー⑥3本をはずし、ブラケットを取りはずす。
- 11 インストルメントパネルNo.2レジスター ASSY 取りはずし
 - (1) スクリュー⑥3本をはずし、No.2レジスター ASSY を取りはずす。
- 12 インストルメントパネルNo.1およびNo.3レジスター ASSY 取りはずし
 - (1) スクリュー⑥2本をはずし、No.1およびNo.3レジスター ASSY を取りはずす。
- 13 クロック ASSY 取りはずし
- 14 インストルメントパネルNo.1ピン取りはずし
 - (1) スクリュー⑥をはずしNo.1ピンを取りはずす。
- 15 インストルメントパネルワイヤ取りはずし
 - (1) クランプをはずし、インストルメントパネルワイヤを取りはずす。

ルーフヘッドライニング

準備品

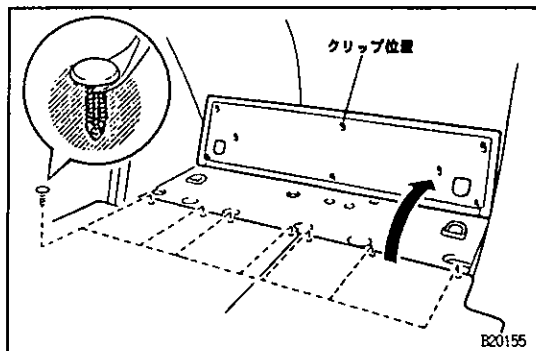
工具

ルーフモールディングリムーバー 09070-20010	70028	各部取りはずし用
油脂・その他		
保護テープ	53501	傷つき防止用
両面テープ	53701	ルーフコンソールボックスインナーカバー取り 付け用



ルーフヘッドライニング取りはずし

- 1 リヤサイドシートバック ASSY RH および LH 取りはずし
(「リヤシート」 - 「リヤシート ASSY 脱着分解構成図」参照)
- 2 トノーカバー ASSY 取りはずし
- 3 リヤフロア No.5 ボード 取りはずし
- 4 リヤフロア No.3 ボード 取りはずし
- 5 リヤフロア No.2 ボード 取りはずし
- 6 スペアホイールトレイカバー 取りはずし
- 7 スペアホイールガード 取りはずし
- 8 ラグゲージコンパートメントトレイ 取りはずし
- 9 スペアホイール No.2 ガード 取りはずし
(1) スクリュー 3本をはずし, No.2 ガードを取りはずす。
- 10 ラグゲージホールドベルトストライカー 取りはずし
(1) スクリューをはずし, ストライカーを取りはずす。

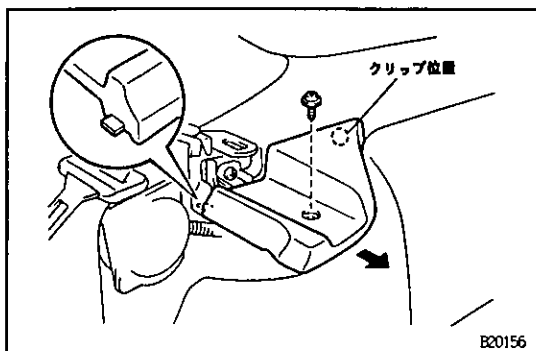


11 リヤフロアNo.4 ボード取りはずし

- (1) フロアボードのクリップのかん合をはずし、No.4 ボードを取りはずす。

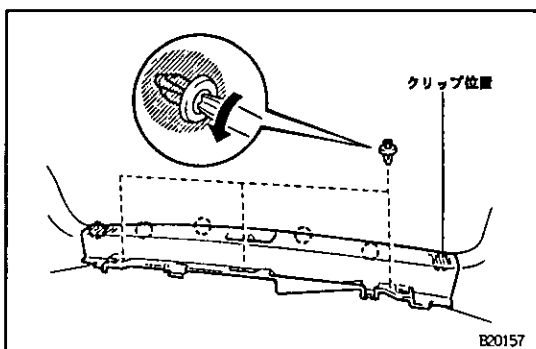
12 リヤフロアNo.1 ボード取りはずし

- (1) クリップリムーバーを使用して、クリップ7個をはずし、リヤシートバックボードカーベットをボードから取りはずす。
 (2) スクリューおよびナット2個を取りはずし、No.1 ボードを取りはずす。



13 トノーサイドカバー RH および LH 取りはずし

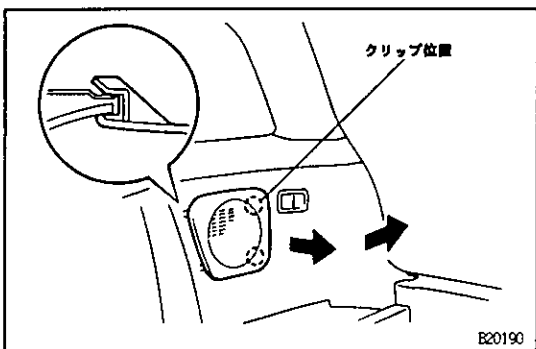
- (1) スクリューを取りはずす。
 (2) 後側からクリップのかん合をはずし、図のように引き抜いてサイドカバーを取りはずす。



14 リヤフロアフィニッシュプレート取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用して、クリップ中央部を回してクリップ3個を取りはずす。
 (2) クリップのかん合をはずし、フィニッシュプレートを取りはずす。

11



15 リヤスピーカーグリル RH 取りはずし (リヤスピーカー付き車)

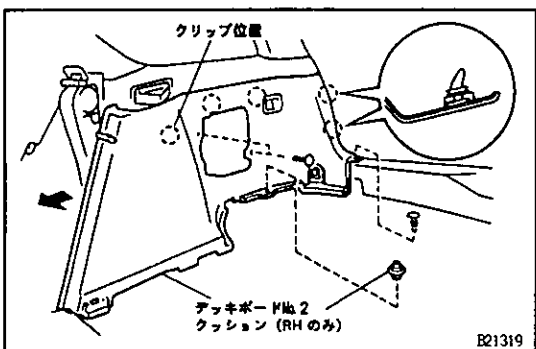
- (1) クリップのかん合をはずし、図のように引き抜いてスピーカーグリルを取りはずす。

16 パワーポイントソケット ASSY 取りはずし (RH のみ)

- (1) ツメのかん合をはずし、ソケット ASSY を引き抜く。
 (2) コネクターを切り離し、ソケット ASSY を取りはずす。

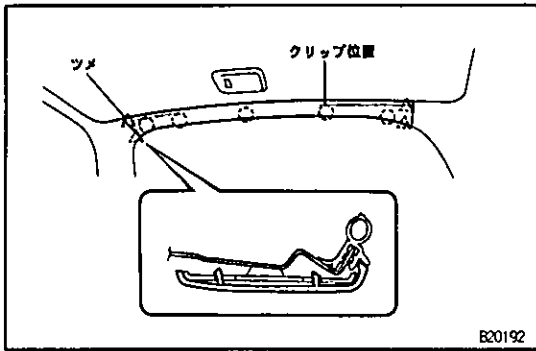
17 ラグージョールドベルトストライカー取りはずし

- (1) スクリューをはずし、ストライカーを取りはずす。



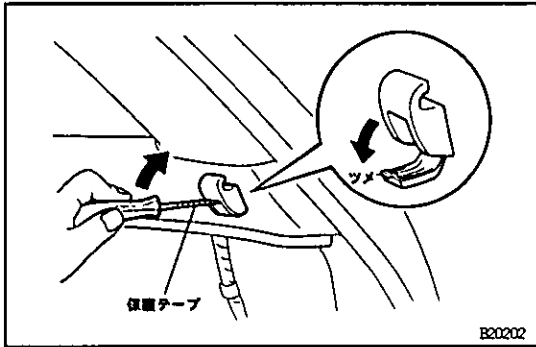
18 デッキトリムサイドパネル RH および LH 取りはずし

- (1) デッキボードNo.2 クッションを取りはずす。(RH のみ)
 (2) クリップリムーバーを使用して、クリップ2個〔スピーカー付き車は4個 (RH 側のみ)〕を取りはずす。
 (3) トリムパネル後端部、クリップ2箇所のかん合を車両前方向へ引き出しながら、取りはずす。
 (4) クリップのかん合をはずし、車両前方へ引き抜いて取りはずす。



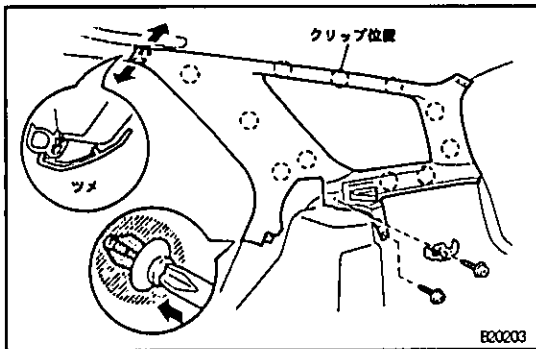
19 ルーフヘッドライニングリヤトリム取りはずし

- (1) クリップおよびツメのかん合をはずし、リヤトリムを取りはずす。



20 トノーカバーフック取りはずし

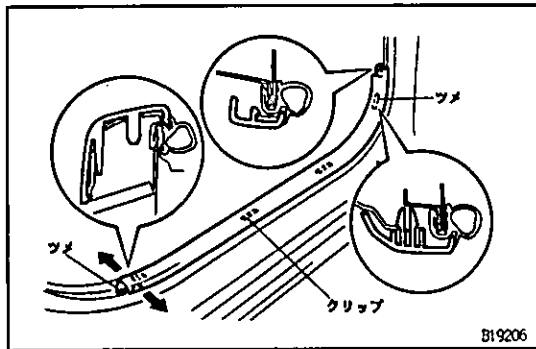
- (1) 保護テープを貼った薄刃 \ominus ドライバーを使用して、ツメのかん合をはずし、カバーを開ける。
- (2) スクリューをはずし、フックを取りはずす。



21 ルーフサイドインナーガーニッシュ RH および LH 取りはずし

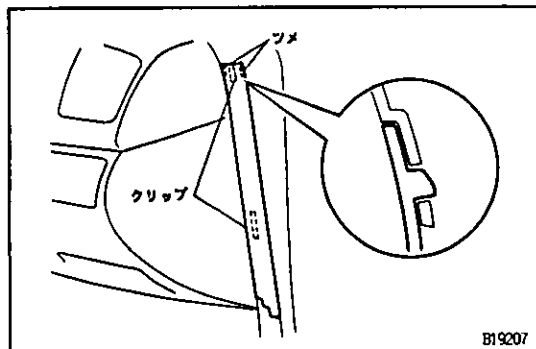
- (1) スクリューをはずし、トノーカバーランプを取りはずす。
- (2) スクリューを取りはずす。
- (3) ガーニッシュ前端部ツメのかん合を取りはずす。
- (4) クリップのかん合をはずし、ガーニッシュを取りはずす。

11



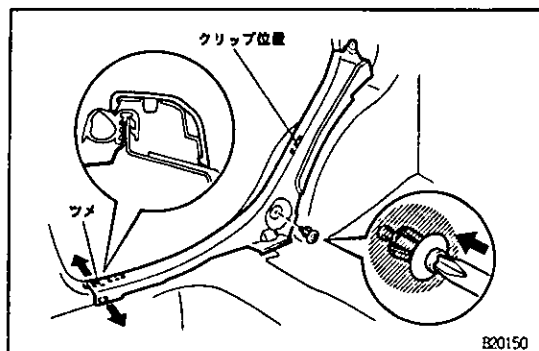
22 フロントドアスカッフインサイドプレート RH および LH 取りはずし

- (1) スカッフプレート前端部および後端部のツメのかん合をはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、インサイドプレートを取りはずす。



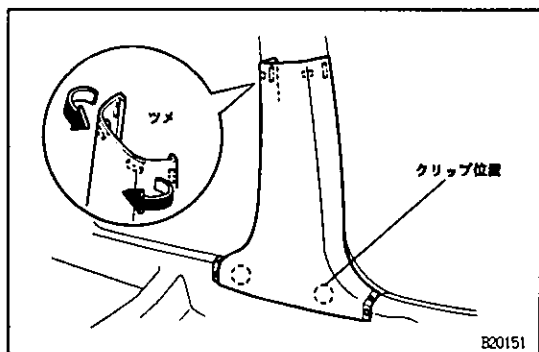
23 フロントドアオープニングトリムカバー RH および LH 取りはずし

- (1) オープニングトリムカバー上端部からツメおよびクリップのかん合をはずして取りはずす。



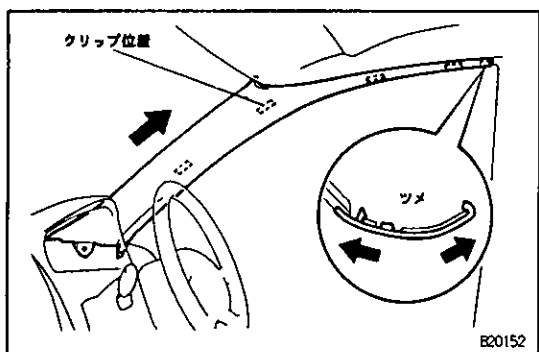
24 リヤドアスカッフインサイドプレート RH および LH 取りはずし

- (1) ⊕ドライバーを使用してクリップ中央部を押して、クリップを取りはずす。
- (2) ガーニッシュ前端部、ツメのかん合をはずす。
- (3) クリップのかん合をはずし、インサイドプレートを取りはずす。



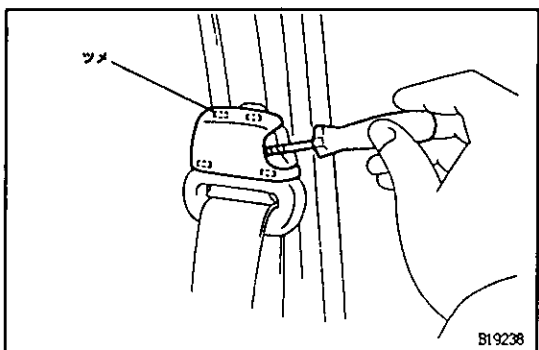
25 センターピラーローガーニッシュ RH および LH 取りはずし

- (1) ローガーニッシュを手で広げ、ツメのかん合をはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、ローガーニッシュを取りはずす。



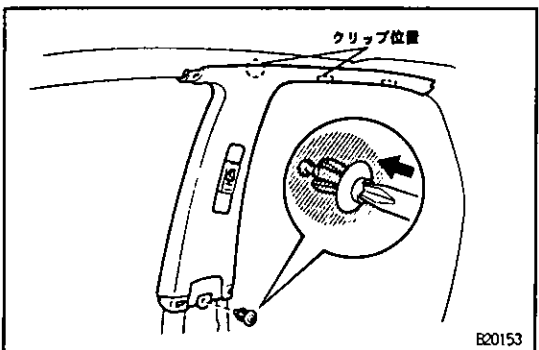
26 フロントピラーガーニッシュ RH および LH 取りはずし

- (1) ピラーガーニッシュ後端部を手で広げ、ツメのかん合をはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、セーフティーパッドより引き抜いてピラーガーニッシュを取りはずす。



27 センターピラーガーニッシュ RH および LH 取りはずし

- (1) 保護テープを貼った⊖薄刃ドライバーを使用し、図のようにこじってツメのかん合をはずし、シートベルトアンカーカバーキャップを取りはずす。
- (2) ボルトをはずし、ショルダーアンカーを取りはずす。



- (3) ⊕ドライバーを使用してクリップ中央部を押して、クリップを取りはずす。

- (4) ガーニッシュ後端からクリップのかん合をはずし、ピラーガーニッシュを取りはずす。

28 アシストグリップ取りはずし

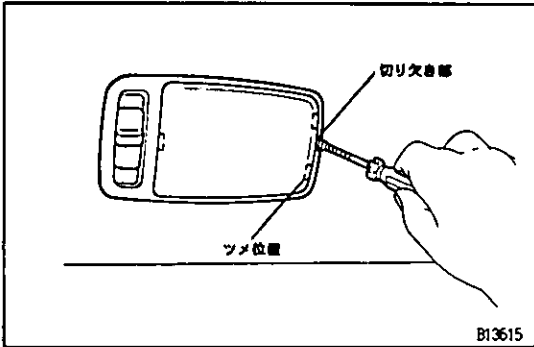
- (1) アシストグリップカバーを取りはずす。
- (2) スクリュー2本をはずし、アシストグリップを取りはずす。

29 バイザー ASSY RH および LH 取りはずし

- (1) モールディングリムーバーを使用して、バイザーブラケットカバーを取りはずす。
- (2) スクリュー2本を取りはずす。
- (3) コネクターを切り離し、バイザー ASSY を取りはずす。

30 ルームランプ ASSY 取りはずし

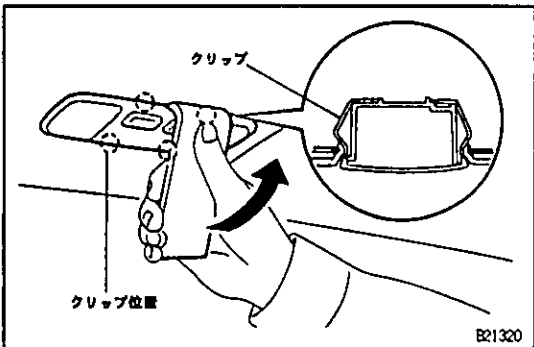
- (1) 保護テープを貼った薄刃ドライバーを使用して切り欠き部をこじてツメのかん合をはずし、レンズを取りはずす。
- (2) スクリュー4本を取りはずす。
- (3) コネクターを切り離し、ルームランプ ASSY を取りはずす。



31 マップランプ ASSY 取りはずし

(スライディングルーフなし車)

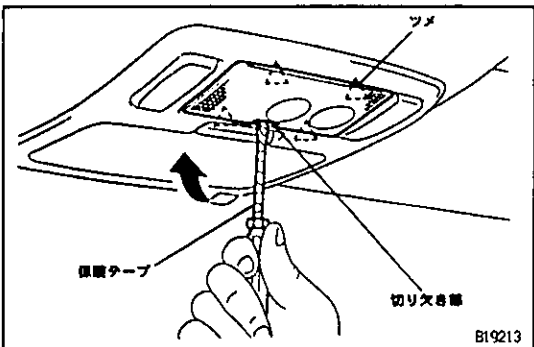
- (1) モールディングリムーバーを使用して、クリップのかん合をはずす。
- (2) コネクターを切り離し、ランプ ASSY を取りはずす。



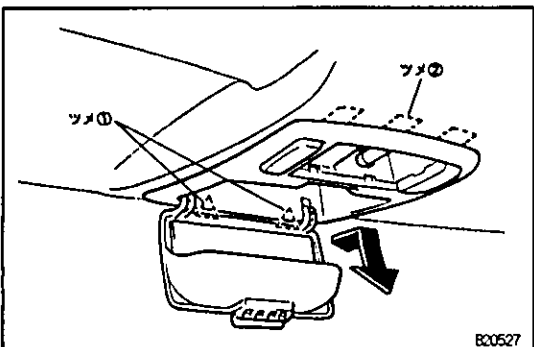
32 ルーフコンソールボックス ASSY 取りはずし

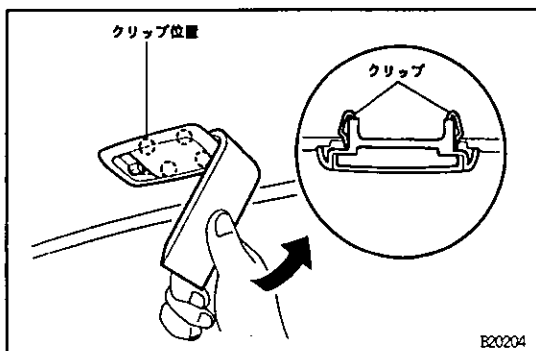
(スライディングルーフ付き車)

- (1) 保護テープを貼った薄刃ドライバーを使用して、切り欠き部をこじてツメのかん合をはずし、レンズを取りはずす。



- (2) ルーフコンソールボックスインナーカバーを取りはずす。
- (3) スクリュー3本を取りはずす。
- (4) ボックス ASSY を車両後方へ押し付けながら、ツメ①のかん合をはずす。
- (5) 前方へスライドさせて、ツメ②のかん合をはずす。
- (6) コネクターを切り離し、ボックス ASSY を取りはずす。





33 ラグゼージュルームランプ ASSY 取りはずし

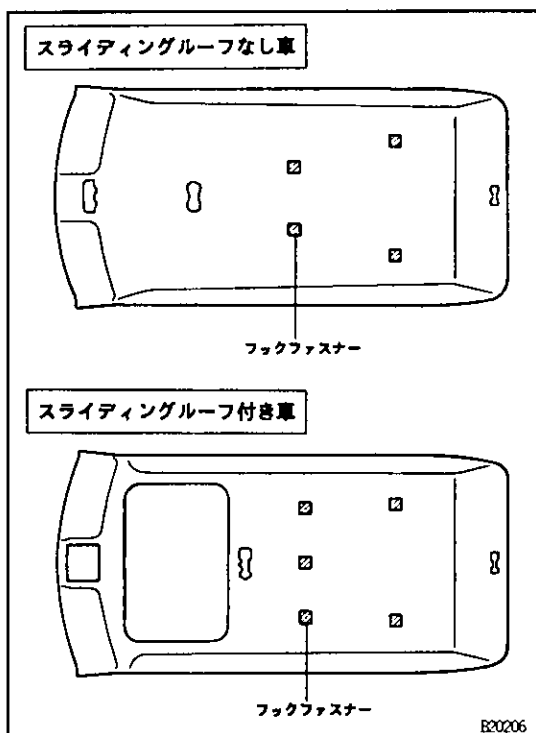
- (1) モールディングリムーバーを使用して、クリップのかん合をはずす。
- (2) コネクターを切り離し、ラグゼージュルームランプを取りはずす。

34 コートフック取りはずし

- (1) スクリューをはずし、ヘッドライニング後端部左右のコートフックを取りはずす。

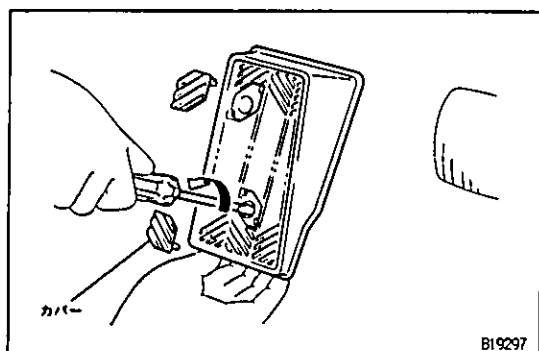
35 バイザーホルダー RH および LH 取りはずし

- (1) スクリューを取りはずす。
 - (2) モールディングリムーバーを使用してクリップのかん合をはずし、ホルダーを取りはずす。
- (参考) モールディングリムーバーがかからないときは、ホルダーを左右に動かして少し浮かせる。

36 サンルーフオープニングトリムモールディング取りはずし
(スライディングルーフ付き車)

37 ルーフヘッドライニング取りはずし

- (1) フックファスナーのかん合をはずし、ヘッドライニングをバックドアより車外に取り出す。



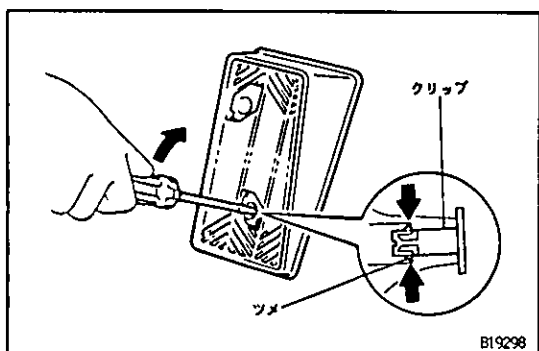
フットレスト

フットレスト取りはずし

- 1 フットレスト取りはずし
 - (1) カバーを取りはずす。
 - (2) ⊖ドライバーを使用してクリップ2個を左に回して取りはずす。
注意 フットレストを無理にこじるとクリップを破損する。

2 クリップ取りはずし（クリップ交換時）

- (1) フットレスト上側の穴からツメ2個のかん合をはずし、クリップをフットレスト下側より取りはずす。



取り付け上の留意点

- 1 フットレスト取り付け
 - ・フットレストを軽くゆすり、確実にかん合していることを確認する。またツメのかん合がゆるい場合は脱落の恐れがあるため、必ずクリップを新品に交換する。

★シート

準備品

工 具

ホグリングブライヤー 09130-00160	70031	ホグリング取り付け用
クリップリムーバー	10801	クリップ取りはずし用

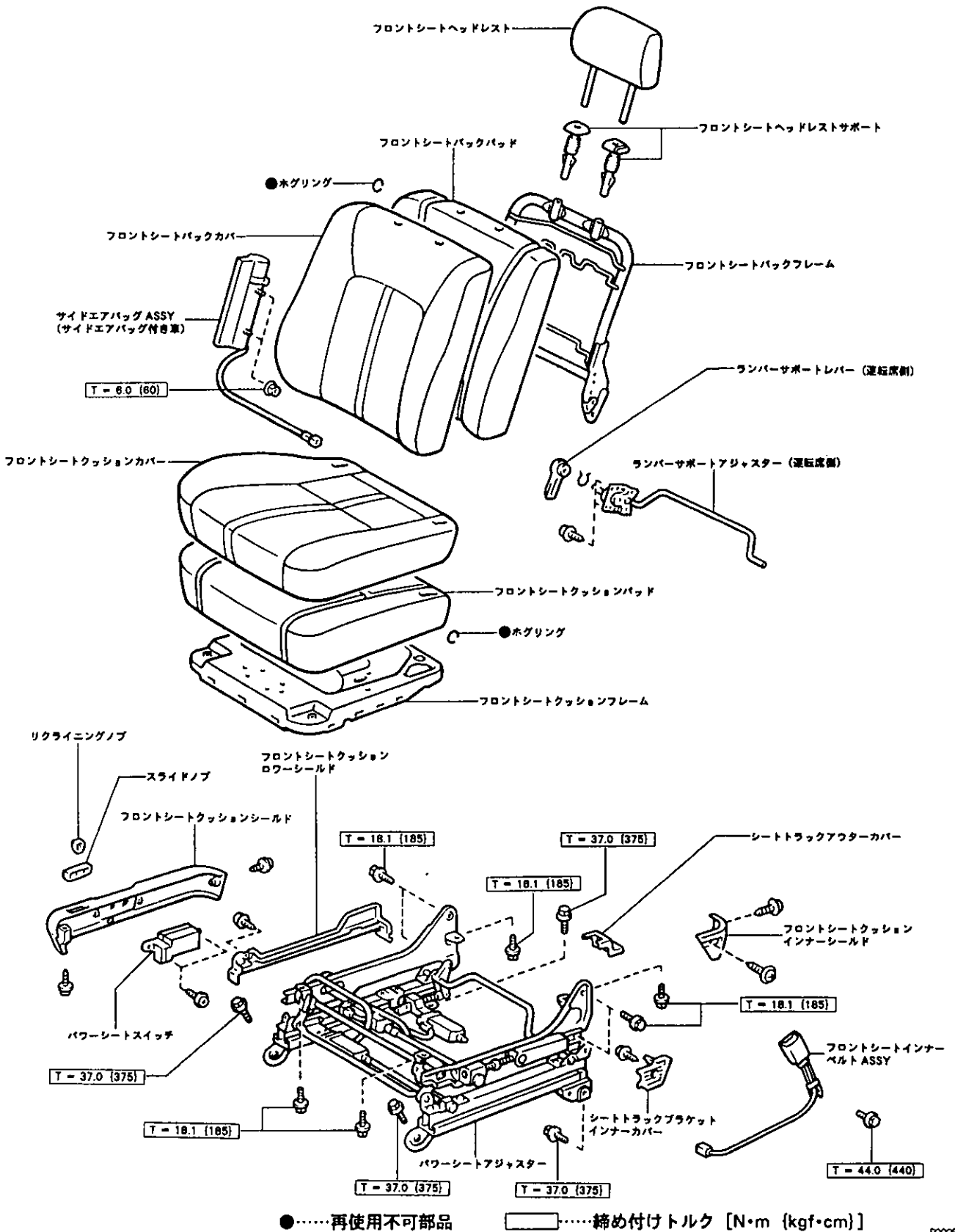
計 器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用

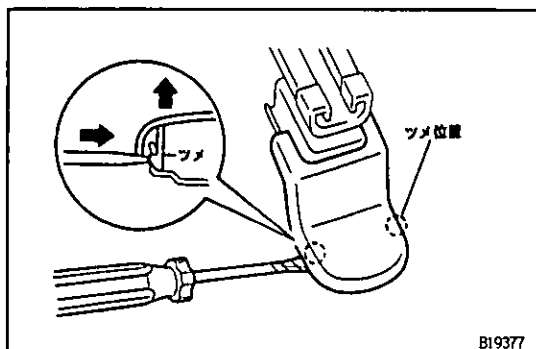
油脂・その他

保護テープ	63501	傷つき防止用
-------	-------	--------

パワーシート



11



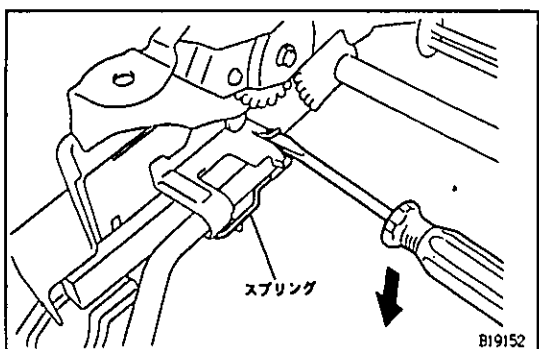
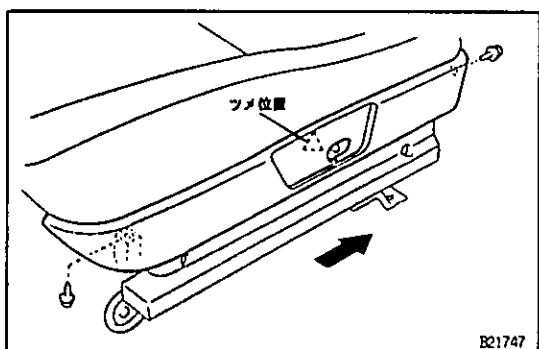
★フロントシート ASSY 取りはずし

注意 サイドエアバックのコネクターの脱着は、必ずバッテリーの
⊖ターミナルをはずした後、90秒以上経過してから行う。
(サイドエアバック付き車)

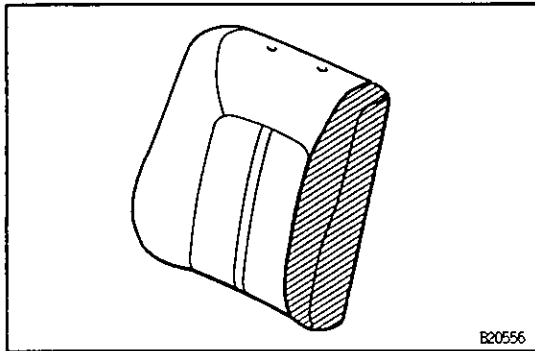
- 1 シートトラックアウターカバー取りはずし
 - (1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、ツメのかん合をはずしシートトラックアウターカバーを取りはずす。
- 2 フロントシート ASSY 取りはずし

フロントシート分解

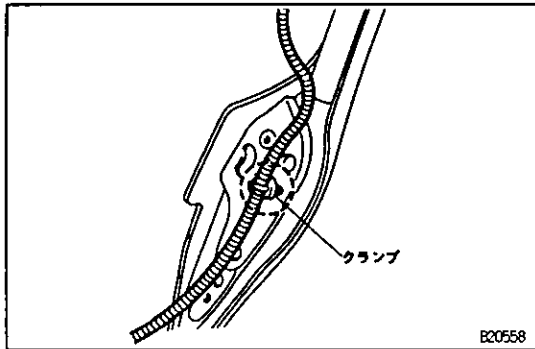
- 1 フロントシートヘッドレスト取りはずし
- 2 フロントシートインナーベルト ASSY 取りはずし
- 3 リクライニングアジャスターリリースハンドル取りはずし
(マニュアルシート)
- 4 スライドノブおよびリクライニングノブ取りはずし
(パワーシート)
- 5 フロントシートクッションシールド取りはずし
 - (1) スクリュー2本をはずし後方へ押しながらツメのかん合をはずし、フロントシートクッションシールドを取りはずす。
- 6 フロントシートクッションインナーシールド取りはずし
- 7 フロントシートバック ASSY 取りはずし
- 8 フロントシートクッション ASSY 取りはずし
- 9 フロントシートクッションローシールド取りはずし
- 10 シートトラックアジャスティングハンドル取りはずし
(マニュアルシート)
 - (1) ⊖ドライバーを使用して、左右のスプリングのかん合をはずしシートトラックアジャスティングハンドルを取りはずす。
注意 レールと平行に取りはずす。
- 11 フロントシートアウターアジャスター取りはずし
(マニュアルシート)
- 12 シートトラックブラケットインナーカバー取りはずし
- 13 フロントシートクッションカバー取りはずし
 - (1) ホグリングをはずし、シートクッションカバーおよびパッドを取りはずす。
- 14 ランバーサポートレバー取りはずし (運転席側)
- 15 フロントシートバックカバー取りはずし
 - (1) ホグリングをはずし、ヘッドレストサポート、シートバックカバーおよびパッドを取りはずす。
- 16 サイドエアバッグ ASSY 取りはずし
(サイドエアバッグ付き車)
(FSRS エアバッグ) - 「サイドエアバッグ ASSY」参照)
- 17 ランバーサポートアジャスター取りはずし (運転席側)



★組み付け作業上の留意点

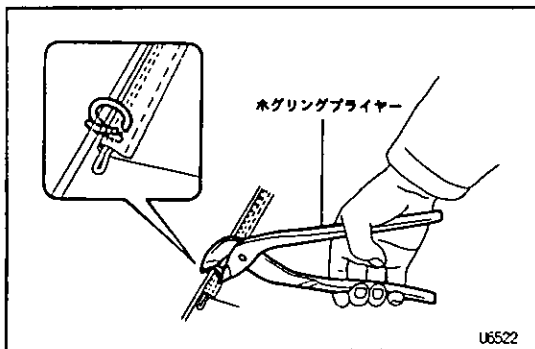


- **注意** ・シートバックカバーの車両外側（図は助手席側を示す）に破れ、ほつれ等がある場合、サイドエアバッグが正常に展開しない恐れがあるため、シートバックカバーを交換する。
（サイドエアバッグ付き車）
- ・サイドエアバッグが展開した場合、シートバックカバー、パッドおよびフレームを交換する。
（サイドエアバッグ付き車）



1 サイドエアバッグ ASSY 取り付け
（サイドエアバッグ付き車）

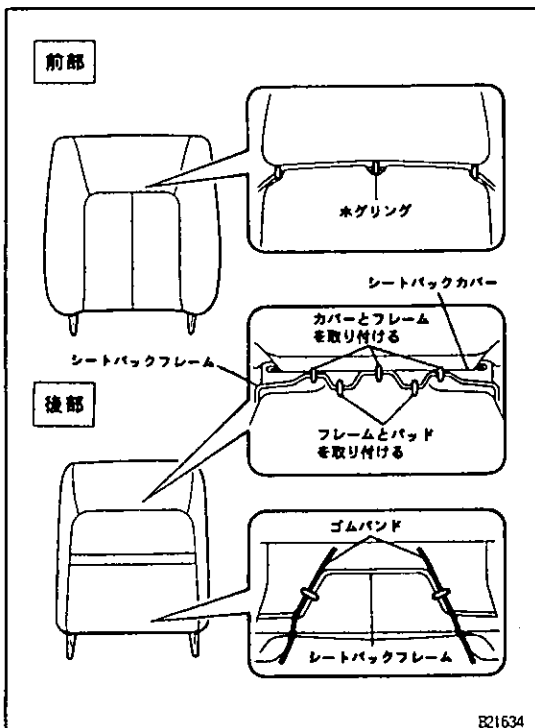
- ・サイドエアバッグ取り付け時、シートバックフレームにワイヤハーネスのクランプを確実に取り付ける。

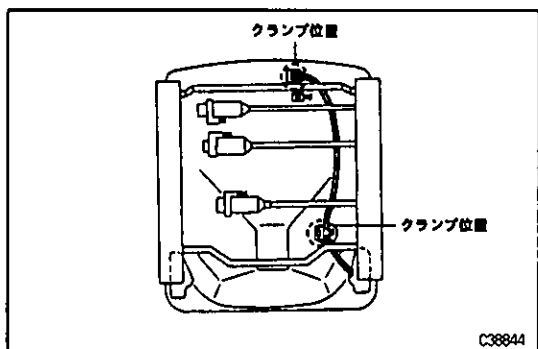
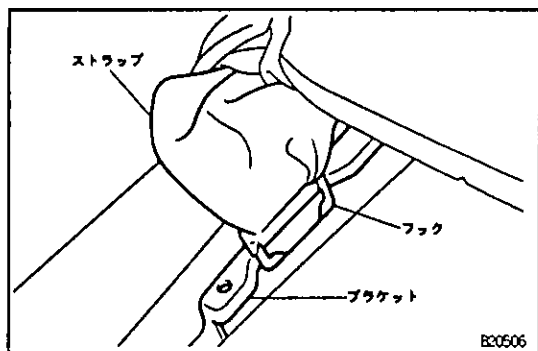


2 フロントシートクッションカバーおよびフロントシートバックカバー組み付け

- **注意** ・シートバックカバーを確実に取り付けないとサイドエアバッグが正常に展開しない恐れがあるため、以下の作業を厳守する。（サイドエアバッグ付き車）
- ・組み付け時、シートカバーを汚したり傷つけない。
- ・ホグリングは、ホグリングプライヤーを使用して取り付ける。
- ・出来るだけシワが発生しないようにホグリングを取り付ける。

- ・シートバック部のホグリングは図の位置に取り付ける。





- ・エアバック取り付けブラケットにシートバックカバーのフックを取り付ける。(サイドエアバック付き車)

- 注意** ・ブラケットにフックを確実に取り付けないとサイドエアバッグが正常に展開しない恐れがあるため、確実に取り付けであることを確認する。
- ・カバー取り付け後、ストラップにねじれがないことを確認する。

3 フロントシートクッション ASSY 取り付け

- ・ボルト4本を仮締めし、リヤ側から本締めする。

4 フロントシートバック ASSY 取り付け

- ・フロントシートバック ASSY 取り付け時、サイドエアバッグのワイヤハーネスをシートクッション孔へ通す。

- 注意** かみ込み等ないこと。

- ・サイドエアバッグ用ワイヤハーネスのクランプをシートクッションフレームに取り付ける。
- ・サイドエアバッグ用コネクターのクランプをブラケットに取り付ける。

取り付け作業上の留意点

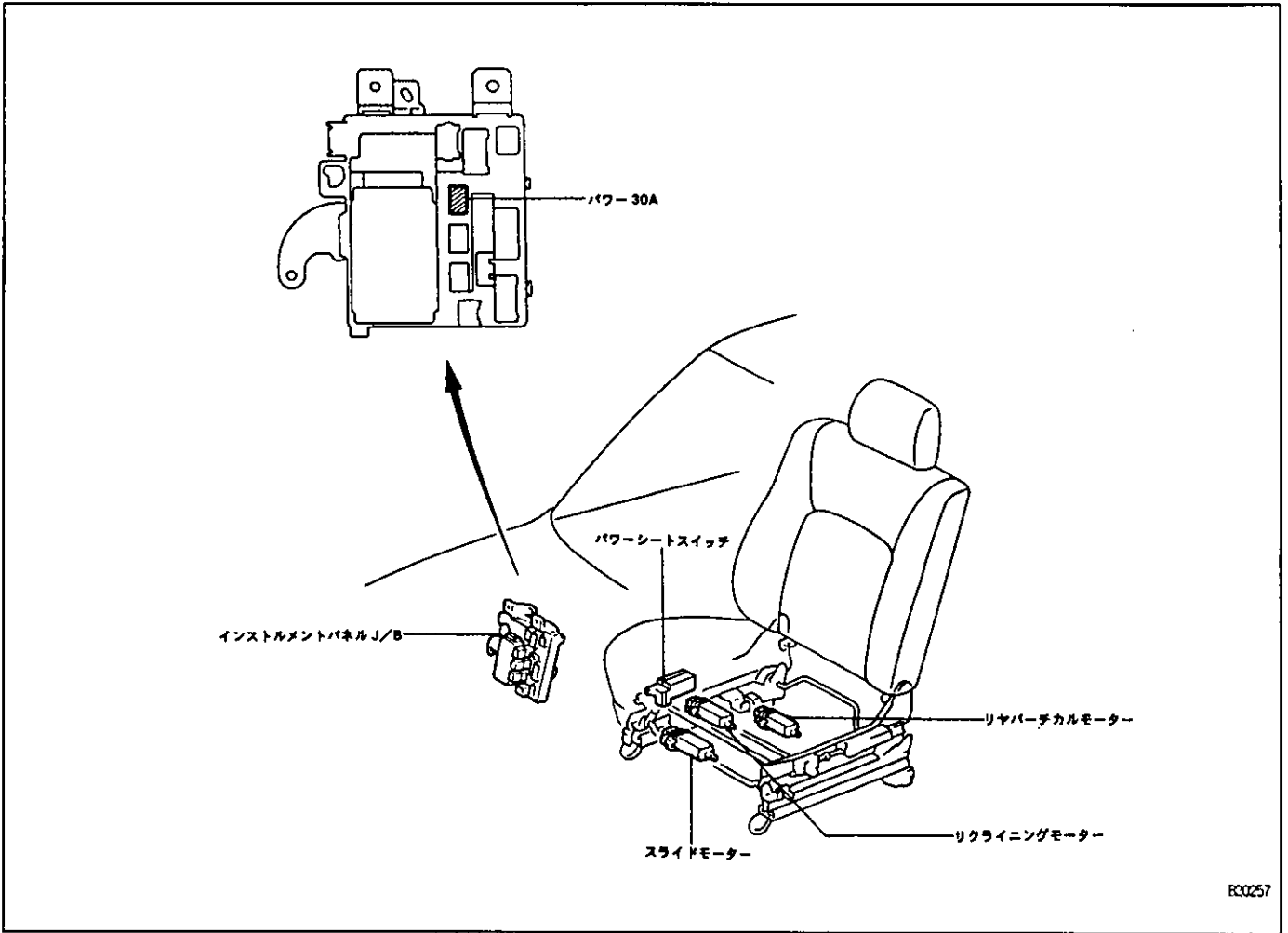
1 フロントシート ASSY 取り付け

- (1) シートをリヤモースト位置にする。
 - 注意** ロックしていることを確認する。(マニュアルシート)
- (2) フロントシートを車両にセットする。
 - 注意** シートトラックアジャスティングハンドルを持ちながら車両にセットするとスライド同期位置がずれる恐れがあるため、ハンドルを持たずにセットする。(マニュアルシート)
- (3) サイドエアバッグ用コネク터를接続する。
(サイドエアバッグ付き車)
- (4) フロント側のボルトを仮締めする。
- (5) シートをフロントモースト位置に操作し、リヤ側のボルトを仮締めする。
 - 注意** ロックしていることを確認する。(マニュアルシート)
- (6) リヤのインナー側から本締めする。

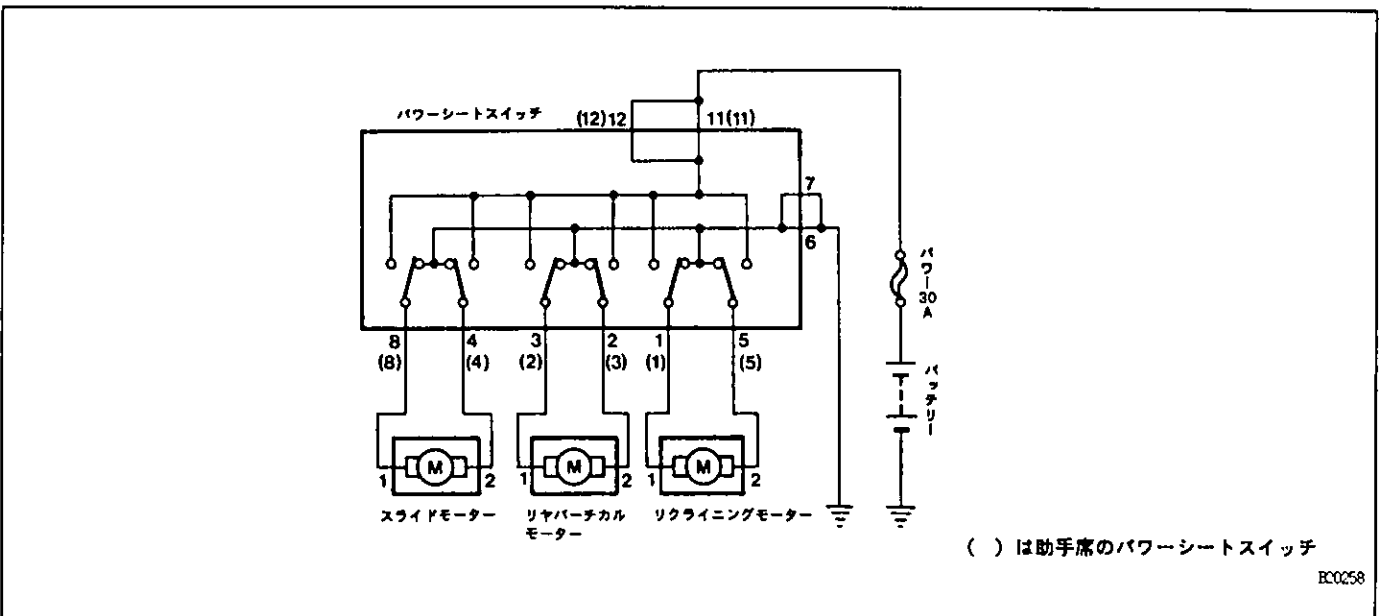
2 スライド同期ずれ点検 (マニュアルシート)

- (1) スライドを操作したとき、左右のアジャスターが同時にロックすることを点検する。
- (2) スライドの同期ずれがある場合は、シート固定ボルトをゆるめて調整する。

部品配置図



回路図



T0062944

単体点検

パワーシートスイッチ

1 導通点検

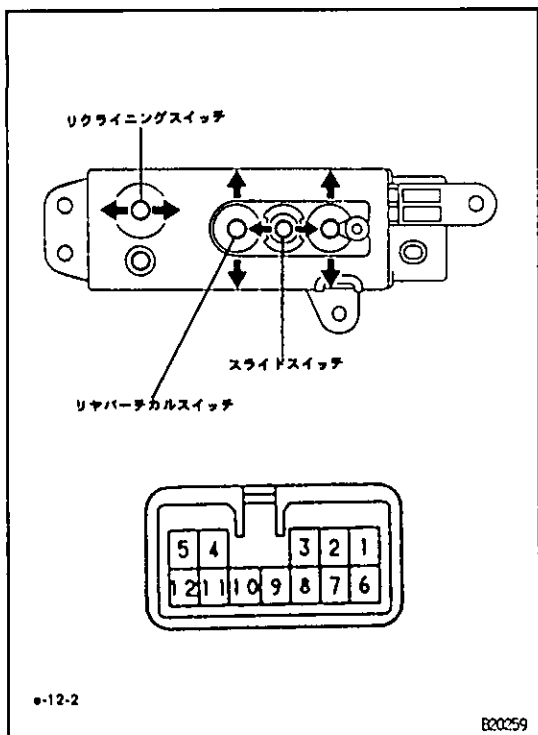
(1) 各スイッチを操作しながら各端子間の導通の有無を点検する。

基準

○—○導通あり

端子番号 切り替え	運転席	1	2	3	4	5	6	7	8	11	12
	助手席	1	3	2	4	5	6	7	8	11	12
スライド スイッチ	FR				○	—	○	○		○	○
	OFF				○	—	○	○			
	RR				○	—			○	○	
RR パーチカル スイッチ	UP		○	—	○	—	○	○		○	○
	OFF		○	—	○	—	○	○			
	DOWN		○	—	○	—	○	○		○	○
リクライニング スイッチ	FR	○					○	○		○	○
	OFF	○					○	○			
	RR	○					○	○		○	○

JB4095



パワーシートモーター

1 作動点検

●注意 アジャスターに組み付いている状態で点検する。

- (1) コネクターの端子に図のようにバッテリーを接続したとき、矢印の方向に駆動軸がスムーズに回転することを点検する。
- (2) バッテリーの極性をかえたとき、(1)とは逆の方向へ回転することを点検する。

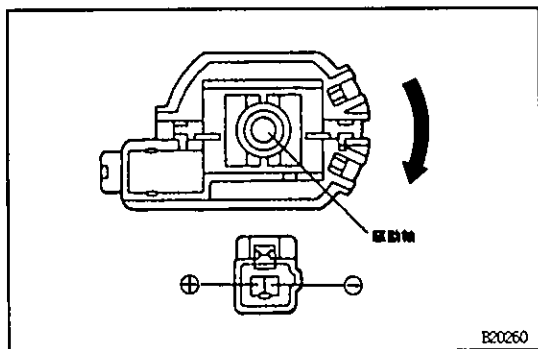
2 パワーシートモーター内 PTC 作動点検

●注意 車両に組み付いている状態で点検する。

(1) 作動点検

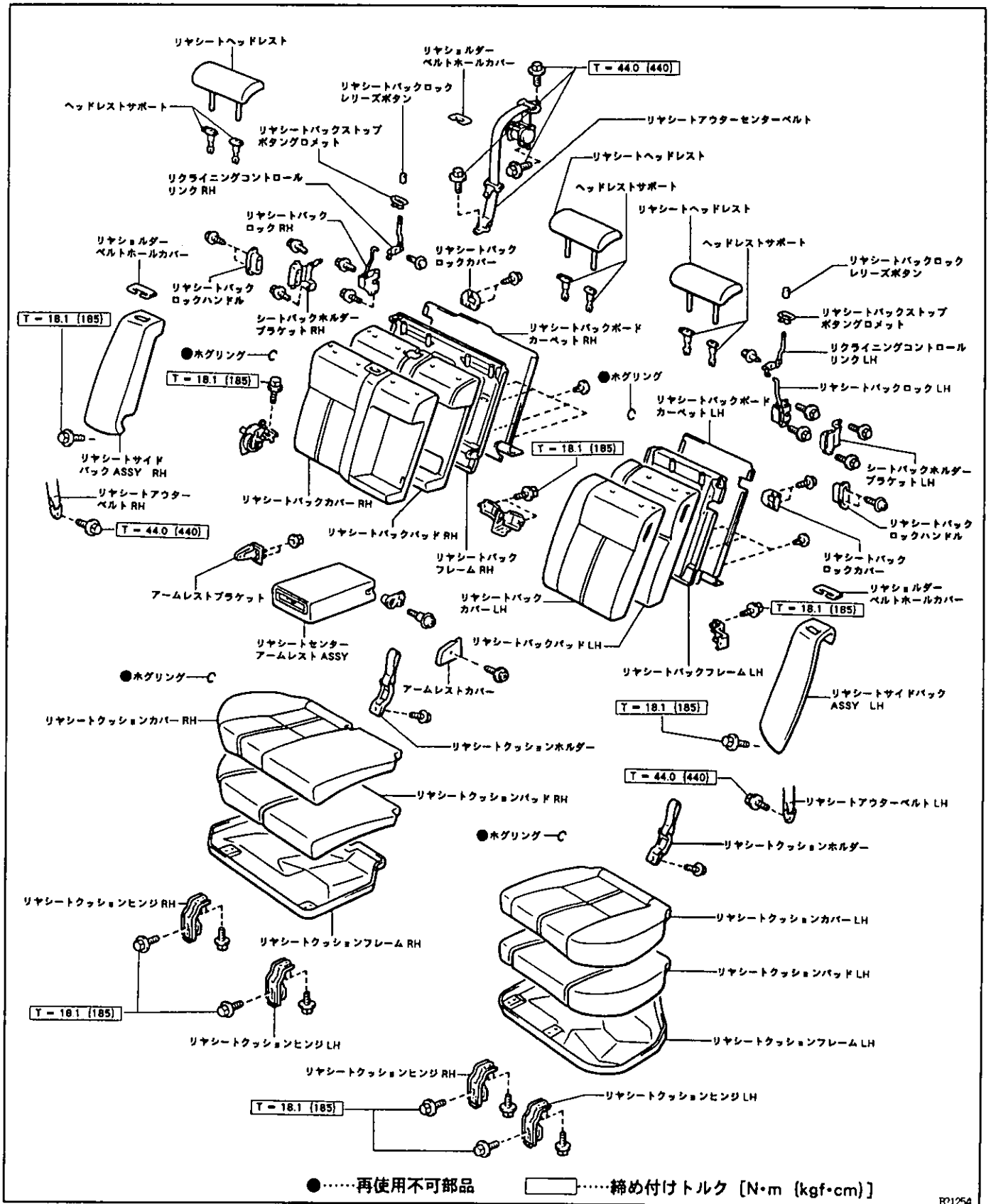
- ① シート位置を前後（リクライニング、スライド）、上下（パーチカル）どちらかっぱいの状態にし、約1分間待機する。
- ② パワーシートスイッチをさらに①と同方向に90秒以上操作し、その後パワーシートスイッチを逆方向へ操作したときモーターの作動が停止することを確認し、再び作動し始めるまでの時間を点検する。

基準 約60秒以内で作動



リヤシート

脱着分解構成図



11

リヤシート取りはずし

1 リヤシートサイドバック ASSY 取りはずし

- (1) ボルトをはずし、リヤシートアウターベルトフロアアンカーを取りはずす。
- (2) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、ツメのかん合をはずしリヤシートショルダーベルトホルダーを取りはずす。
- (3) ボルトをはずし、リヤシートサイドバックを上方へ持ち上げて取りはずす。

2 リヤフロアNo.4 ボード取りはずし

- (1) スクリューをはずし、ラゲージホールドベルトストライカーを取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、リヤフロアNo.4 ボードを取りはずす。

3 リヤシートバック ASSY 取りはずし

RH 側

注意 ブラケットにスプリングの力がかかっているため、以下の作業手順を必ず守って作業を進める。

〈参考〉 図の番号は取りはずし順序を表す。

- (1) ボルトをはずし、リヤシートアウターセンターベルトフロアアンカーを取りはずす。
- (2) クリップリムーバーを使用してクリップ4個を取りはずす。
- (3) ①のボルトを取りはずす。
- (4) ①でははずしたボルトを②のブラケット固定部に取り付ける。
- 注意** 確実に取り付けないとケガをする恐れがある。
- (5) ③のボルトをはずし、リヤシートバック ASSY を取りはずす。

LH 側

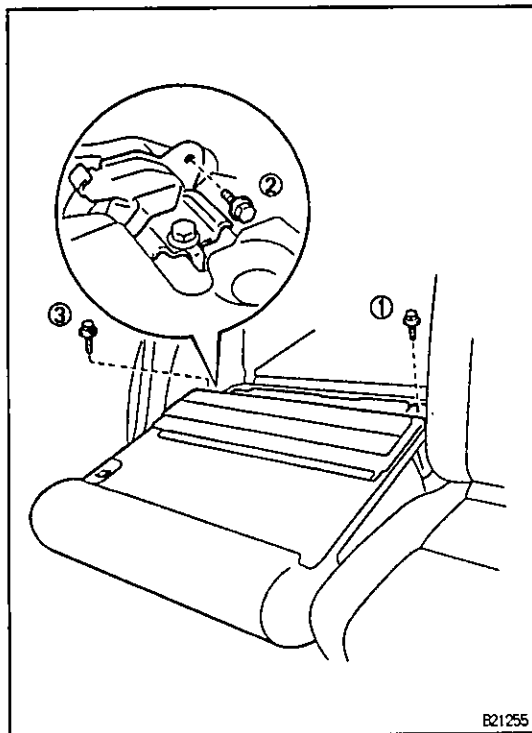
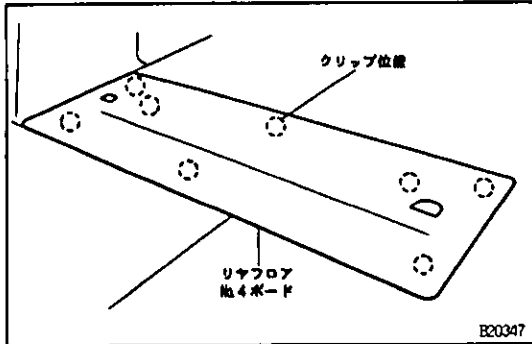
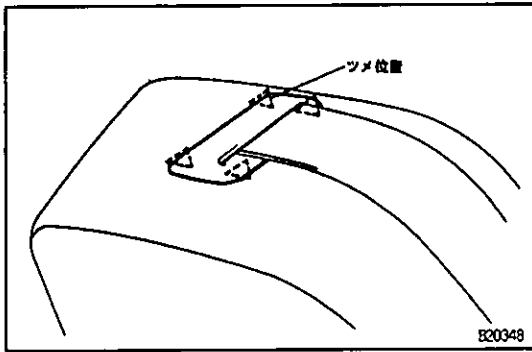
- (1) クリップリムーバーを使用してクリップ3個を取りはずす。
- (5) ボルト2本をはずし、リヤシートバック ASSY を取りはずす。

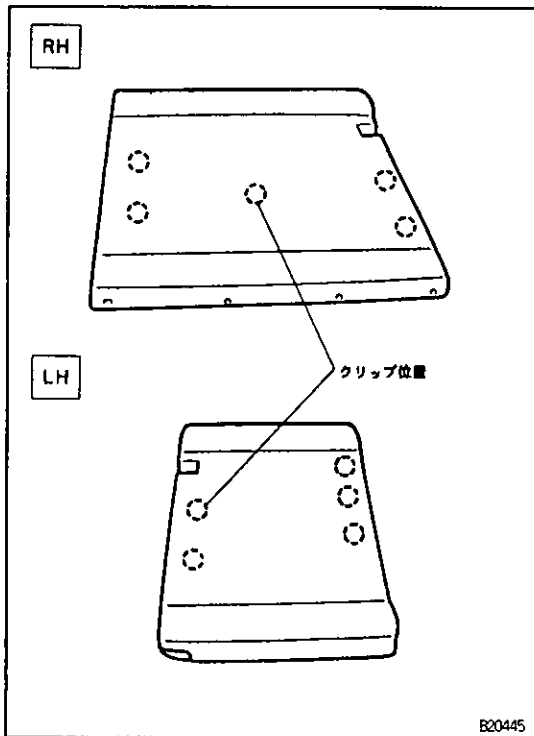
4 リヤシートクッション ASSY 取りはずし

リヤシートクッション ASSY 分解

- 1 リヤシートクッションホルダー取りはずし
- 2 リヤシートクッションヒンジ RH および LH 取りはずし
- 3 リヤシートクッションフレーム取りはずし
- 4 リヤシートクッションカバー取りはずし

- (1) ホグリングをはずし、リヤシートクッションカバーおよびパッドを取りはずす。





B20445

リヤシートバック ASSY 分解

- 1 リヤシートヘッドレスト取りはずし
- 2 リヤシートバックロックカバー取りはずし
- 3 リヤシートバックボードカーベット取りはずし
(1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して、クリップのかん合をはずしリヤシートバックボードカーベットを取りはずす。
- 4 リヤシートセンターアームレスト ASSY 取りはずし (RH 側)
- 5 リヤシートバックフレーム取りはずし
(1) リヤシートバックロックハンドル, リヤシートバックストップボタングロメットおよびヘッドレストサポートをはずし, リヤシートバックフレームを取りはずす。
- 6 シートバックホルダーブラケット取りはずし
- 7 リヤシートバックロック取りはずし
- 8 リクライニングコントロールリンク取りはずし
- 9 リヤシートバックロックリリースボタン取りはずし
- 10 リヤシートアウターセンターベルト取りはずし (RH 側)
- 11 リヤシートバックカバー取りはずし
(1) ホグリングをはずし, リヤシートバックカバーおよびパッドを取りはずす。

組み付け作業上の留意点

- 1 リヤシートアウターセンターベルト取り付け
(「フロント & リヤシートベルト」 - 「組み付け作業上の留意点 (リヤシートベルト)」参照)
- 2 リヤシートクッションカバーおよびリヤシートバックカバー組み付け
 - ・組み付け時, シートカバーを汚したり傷つけない。
 - ・ホグリングは, ホグリングプライヤーを使用して取り付ける。
 - ・出来るだけシワが発生しないようにホグリングを取り付ける。

取り付け作業上の留意点

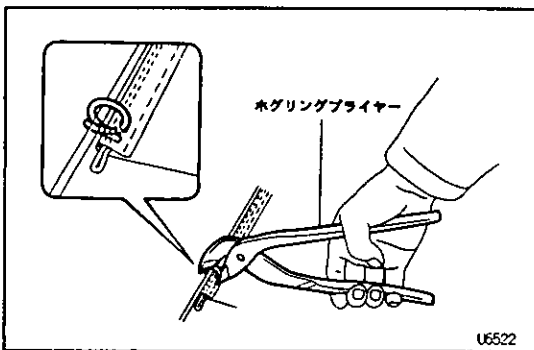
- 1 リヤシートクッション ASSY 取り付け
 - ・リヤシートクッション取り付け時, リヤシートインナーベルト, センターベルトをシートクッションの上に出す。
- 2 リヤシートバック ASSY 取り付け

RH 側

注意 ブラケットにスプリングの力がかかっているため, 以下の作業手順を必ず守って作業を進める。

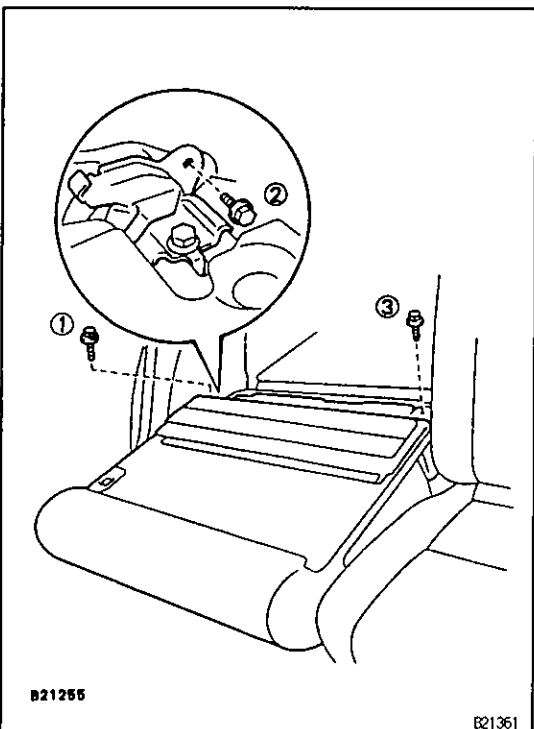
〈参考〉 図の番号は取り付け順序を表す。

- (1) リヤシートバックを車両にセットする。
 - (2) ①のボルトを取り付ける。
- 注意** 確実に取り付けないとケガをする恐れがある。
- (3) ブラケット固定部から②のボルトを取りはずす。
 - (4) ②ではずしたボルトを③に取り付ける。



U6522

11



B21255

B21361

T0082626

★シートベルト

準備品

工具

クリップリムーバー

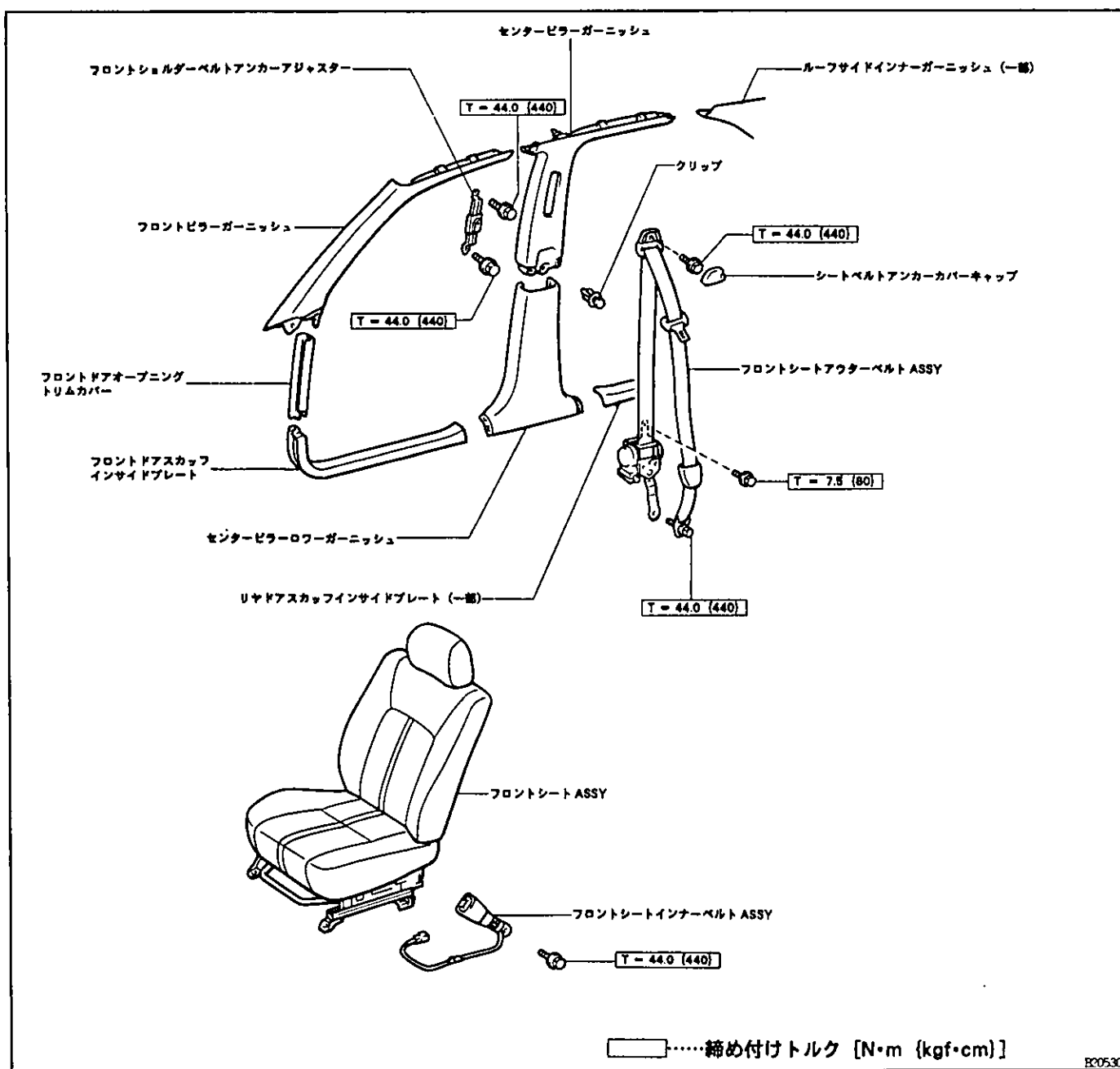
10801

クリップ取りはずし用

★フロントシートベルト

T0082627

★脱着構成図



★フロントシートアウターベルト取りはずし

- 注意** ・プリテンショナー付きシートベルト取りはずしは、イグニッションスイッチを OFF しバッテリー⊖ターミナルをはずした後、90 秒経過してから作業を始める。
 ・SRS エアバッグ・プリテンショナーの注意事項をよく読み作業を行う。

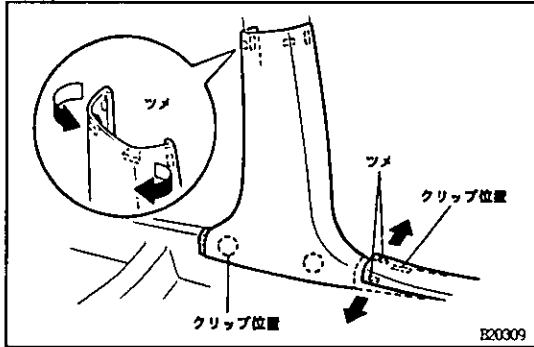
- 1 フロントドアスカッフインサイドプレート取りはずし
- 2 フロントピラーガーニッシュ取りはずし

(1, 2 は「ルーフヘッドライニング」)

－「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照

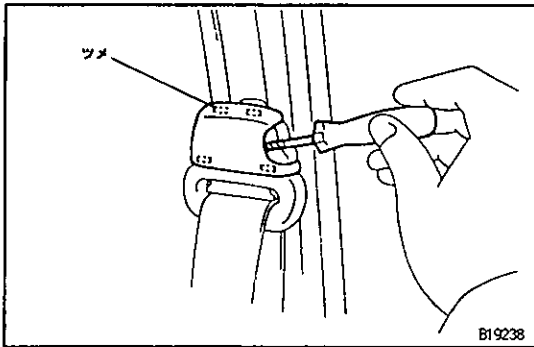
- 3 センターピラーローガーニッシュ取りはずし

- (1) リヤシートサイドガーニッシュ前端部のツメおよび、クリップのかん合をはずし、前端部を浮かす。
- (2) ローガーニッシュを手で広げ、ツメのかん合をはずす。
- (3) クリップのかん合をはずし、ローガーニッシュを取りはずす。

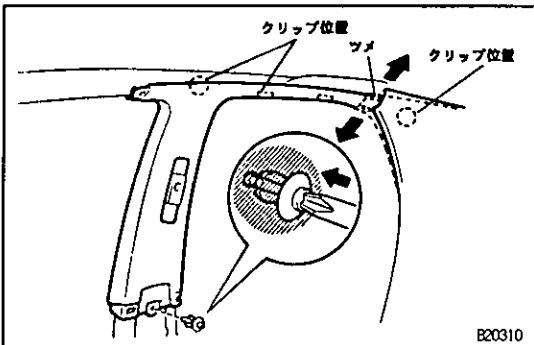


- 4 センターピラーガーニッシュ取りはずし

- (1) 保護テープを貼った薄刃ドライバーを使用し、図のようにこじてツメのかん合をはずし、シートベルトアンカーカバーキャップを取りはずす。



- (2) ルーフサイドインナーガーニッシュ前端部のツメおよびクリップのかん合をはずし、前端部を浮かす。
- (3) ガーニッシュ後端からクリップのかん合をはずし、ピラーガーニッシュを取りはずす。



- 5 フロントシートアウターベルト ASSY 取りはずし

- (1) コネクターを切り離す。
- (2) アンカーカバーをずらしてボルトをはずし、フロアアンカー部を取りはずす。
- (3) ボルトをはずし、アウターベルト ASSY を取りはずす。

- 6 フロントショルダerbeltアンカーアジャスター取りはずし

- (1) ボルト 2 本をはずし、アンカーアジャスターを取りはずす。

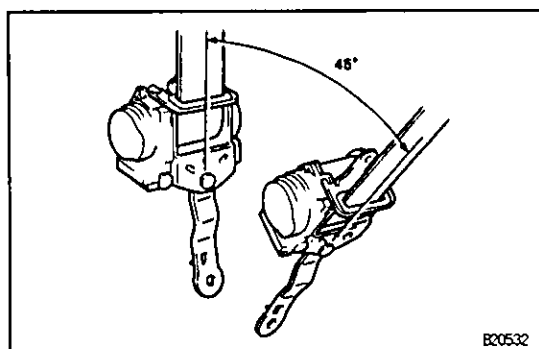
フロントシートインナーベルト取りはずし

1 フロントシート ASSY 取りはずし

(「フロントシート」-「フロントシート脱着分解構成図」参照)

2 フロントシートインナーベルト ASSY 取りはずし

- (1) コネクターおよびワイヤハーネスのクランプを切り離す。
- (2) ボルトをはずし、インナーベルト ASSY を取りはずす。



リトラクター点検

1 ELR ロック開始の傾斜角度点検

- (1) リトラクターを取り付け状態から静かに動かしたとき、全方向に対してベルトのロックが15°以内でロックしないことを点検し、45°以上でロック状態を保持することを点検する。

注意 リトラクターは分解しない。

2 ELR ロック点検

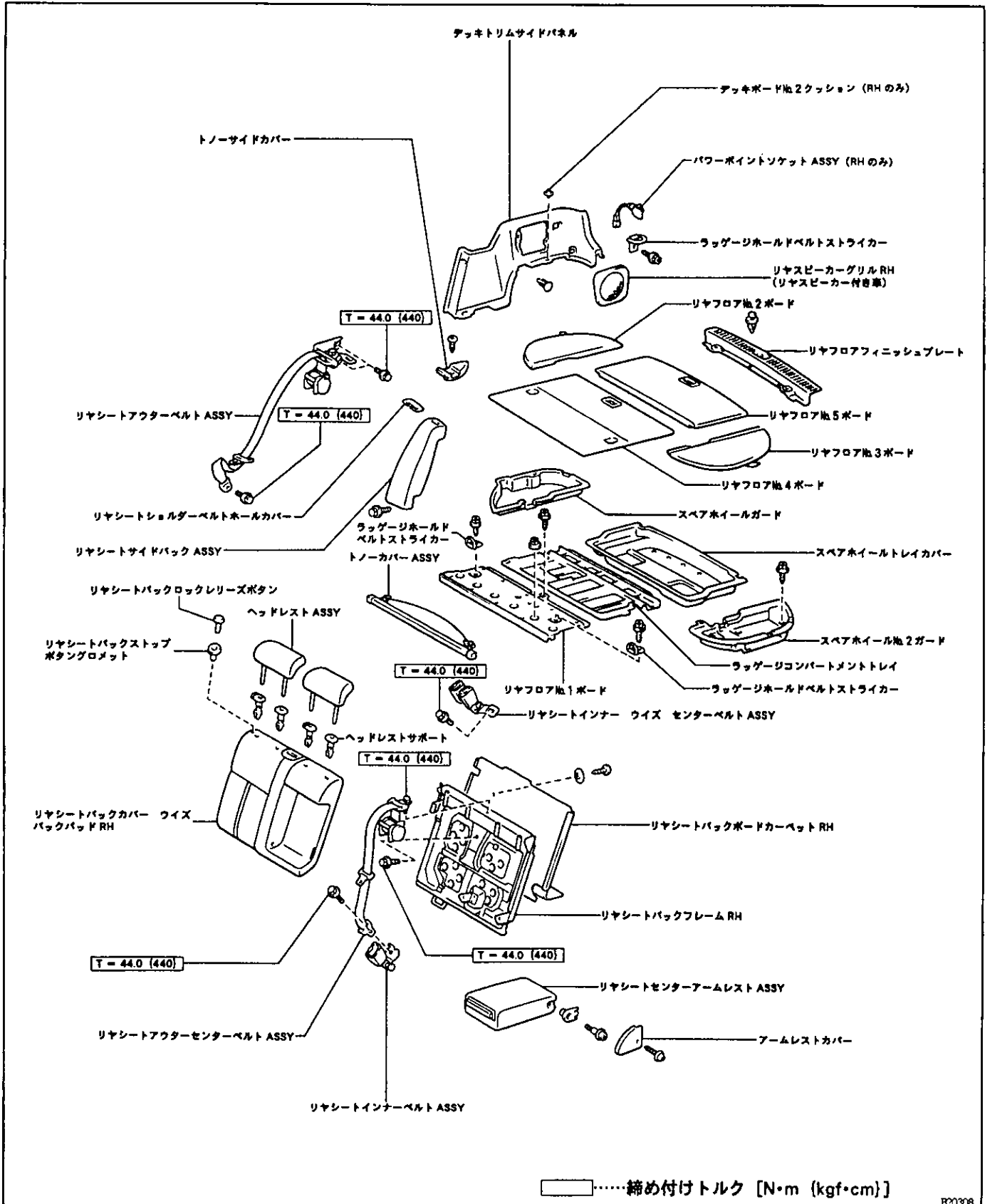
- (1) 車両組み付け状態において、すばやくベルトを引きだしたとき、ベルトがロックすることを点検する。

組み付け作業上の留意点

- ・各アンカーがスムーズに動き、ベルトがスムーズに引き出せ、かつスムーズに戻ることを確認する。

リヤシートベルト

脱着構成図



11

リヤシートアウターベルト取りはずし

- 1 リヤシートサイドバック ASSY 取りはずし
- 2 リヤシートバック ASSY RH 取りはずし
(1, 2は「リヤシート」-「リヤシート取りはずし」参照)
- 3 リヤフロアNo.5 ボード取りはずし
- 4 リヤフロアNo.4 ボード取りはずし
- 5 リヤフロアNo.3 ボード取りはずし
- 6 リヤフロアNo.2 ボード取りはずし
- 7 スペアホイールトレイカバー取りはずし
- 8 スペアホイールガード取りはずし
- 9 ラグゲージコンパートメントトレイ取りはずし
- 10 スペアホイールNo.2 ガード取りはずし
- 11 ラグゲージホルドベルトストライカー取りはずし
- 12 リヤフロアNo.1 ボード取りはずし
- 13 デッキサイドトリム取りはずし
- 14 リヤスピーカーグリル RH 取りはずし (リヤスピーカー付き車)
(3~14は「ルーフヘッドライニング」
-「ルーフヘッドライニング取りはずし」参照)
- 15 リヤシートアウターベルト ASSY 取りはずし
(1) ボルト2本をはずし、アウターベルト ASSY を取りはずす。
- 16 リヤシートアウターセンターベルト ASSY 取りはずし
(「リヤシート」-「リヤシートバック ASSY 分解」参照)

リヤシートインナーベルト取りはずし

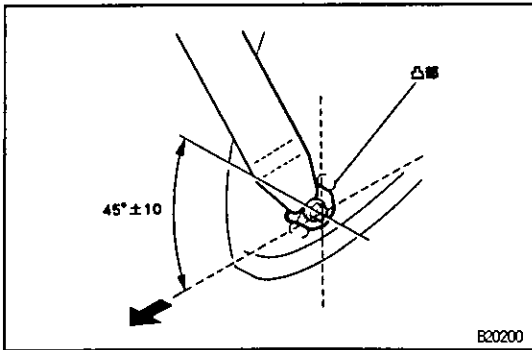
- 1 リヤシートインナーベルト ASSY 取りはずし
(「リヤシート」-「リヤシート脱着分解構成図」参照)
- 2 リヤシートインナー ウィズ センターベルト ASSY 取りはずし
(1) ボルトをはずし、インナーベルト ASSY を取りはずす。

リトラクター点検

(「フロントシートベルト」-「リトラクター点検」参照)

組み付け作業上の留意点

- 1 リヤシートインナーベルト ASSY 取り付け
(「リヤシート」-「リヤシート組み付け作業上の留意点」参照)
- 2 リヤシートインナー ウィズ センターベルト ASSY 取り付け
注意 アンカー部をパネル凸部に乗り上げない。



3 リヤシートアウターベルト ASSY 取り付け

(1) 図の角度で、アンカー部を取り付ける。

- 注意**
- ・アンカー部をパネル凸部に乗り上げない。
 - ・取り付け状態において各ベルトがスムーズに引き出せ、かつ戻ることを確認する。

電気式テンションリデューサー

T0082821

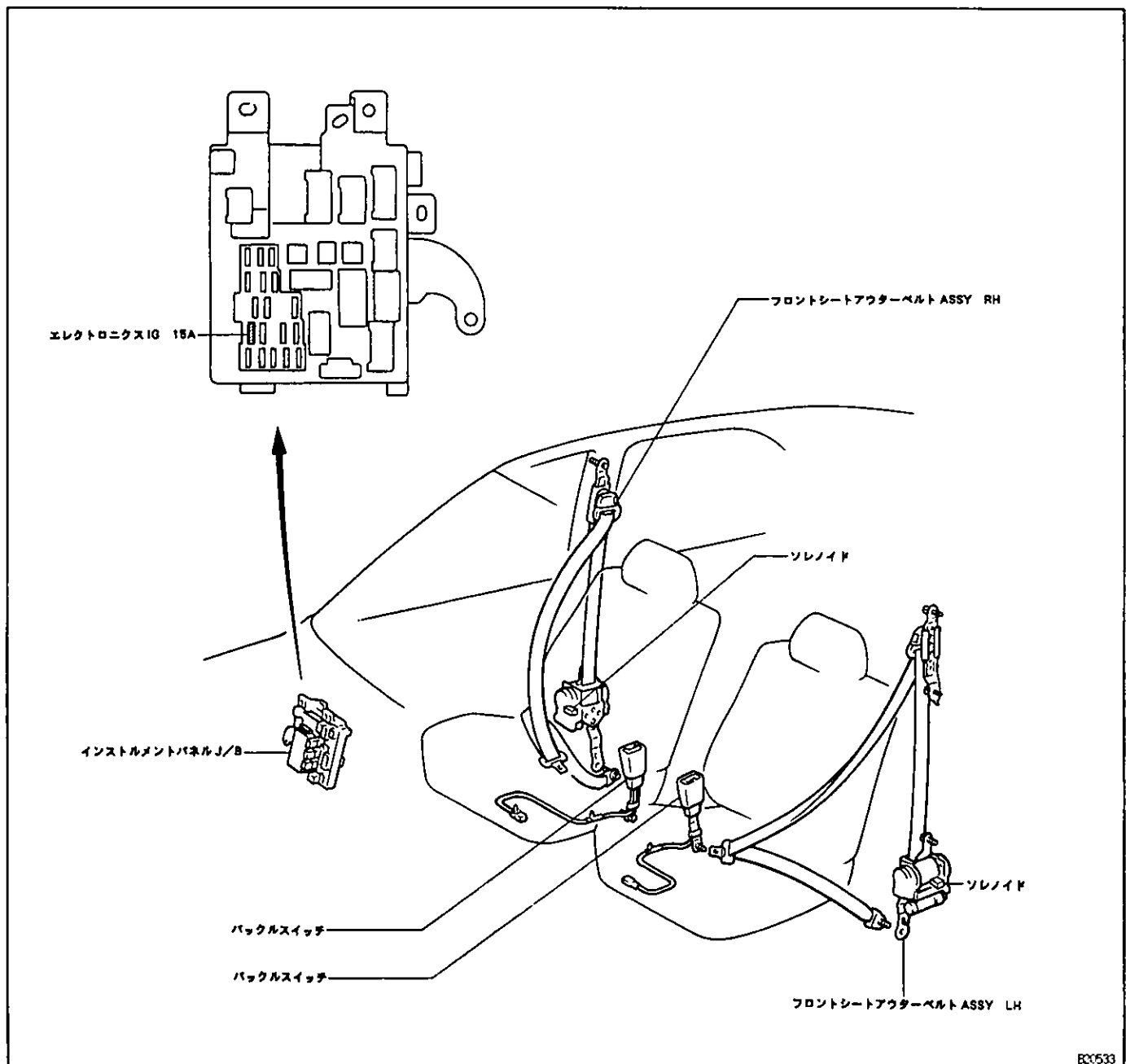
準備品

計器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
ミニテストリード 09083-00060	70240	単体点検用

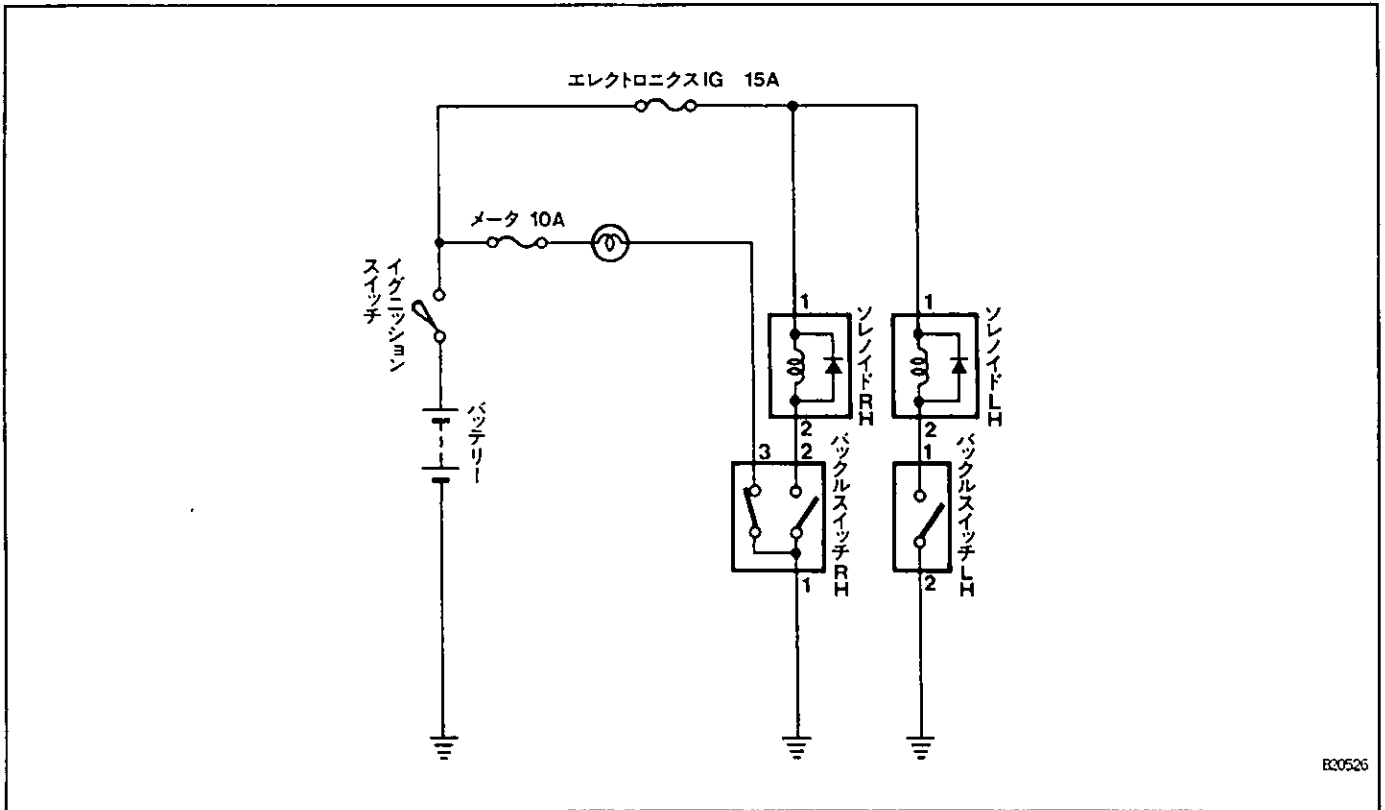
部品配置図

T0082829



EC533

回路図



E20526

単体点検

T0082831

フロントシートインナーベルト

1 バックルスイッチ導通点検

- (1) アウターベルトのプレートをバックルに差し込んだとき各端子間の導通を点検する。

基準

RH

接続時	1 → 2 端子	導通あり
切り離し時	1 → 3 端子	導通あり

LH

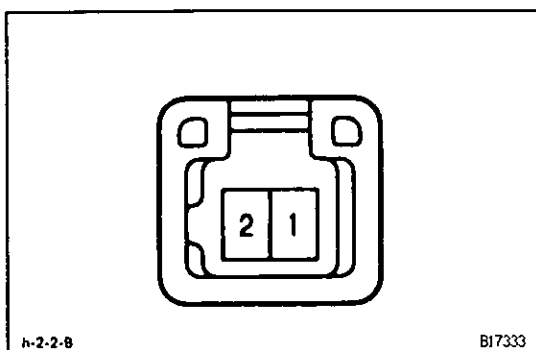
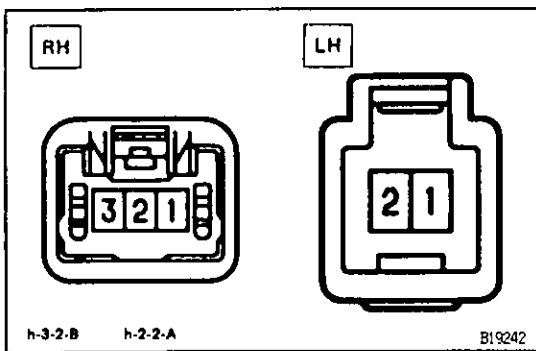
接続時	1 → 2 端子	導通あり
-----	----------	------

フロントシートアウターベルト

1 電気式テンションリデューサー作動点検

- (1) コネクターの1端子にバッテリーの⊕、2端子にバッテリーの⊖を接続したとき、ソレノイドが磁化して、プランジャーが吸引される作動音を点検する。
- (2) シートベルトを引き出してバッテリー⊖端子を切り離したとき、巻き取りスプリング力が増加することを点検する。

11



アウターリヤビューミラー

準備品

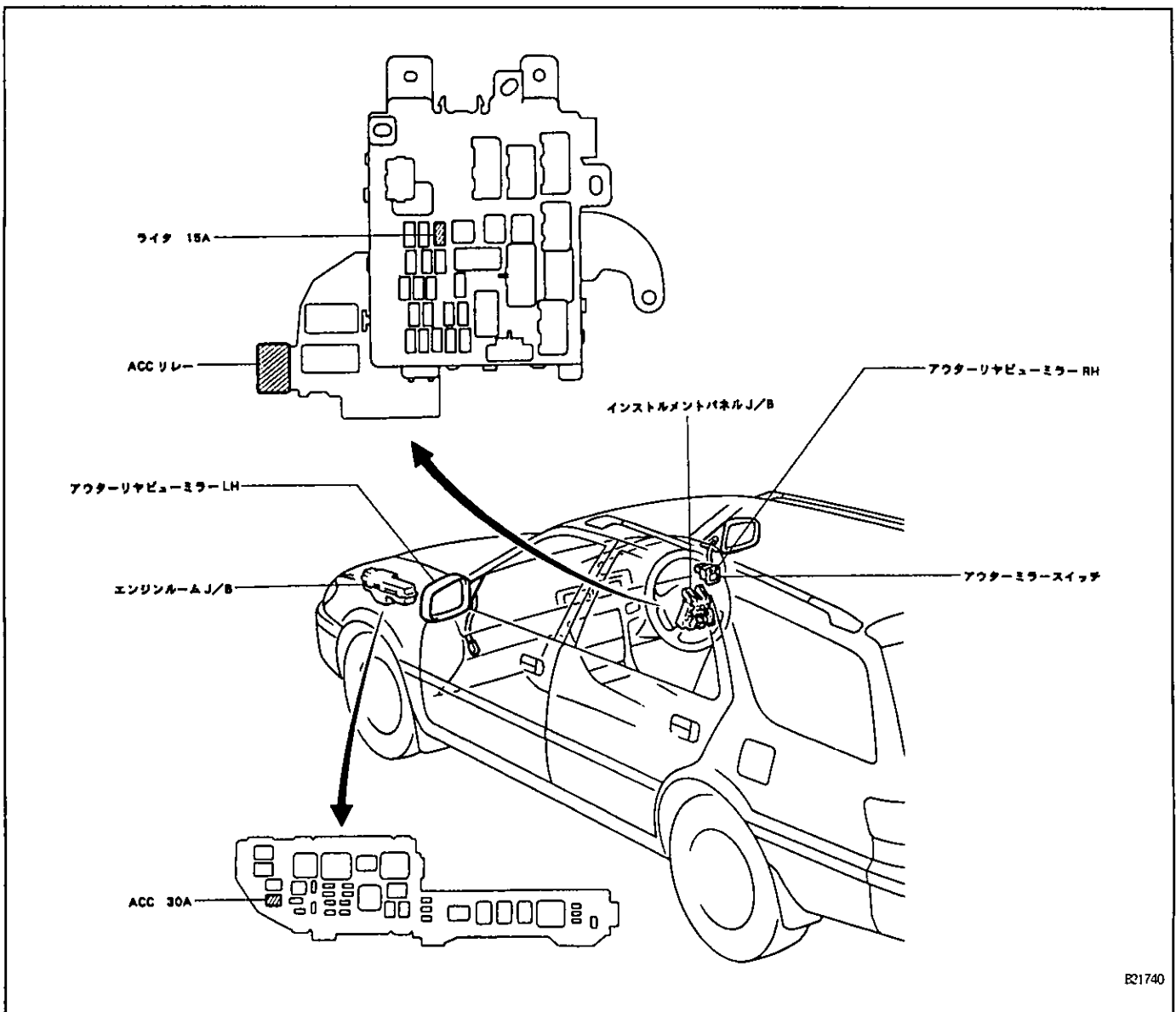
計器

トヨタエレクトリカルテスター 09082-00030	70030	各部点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	各部点検用

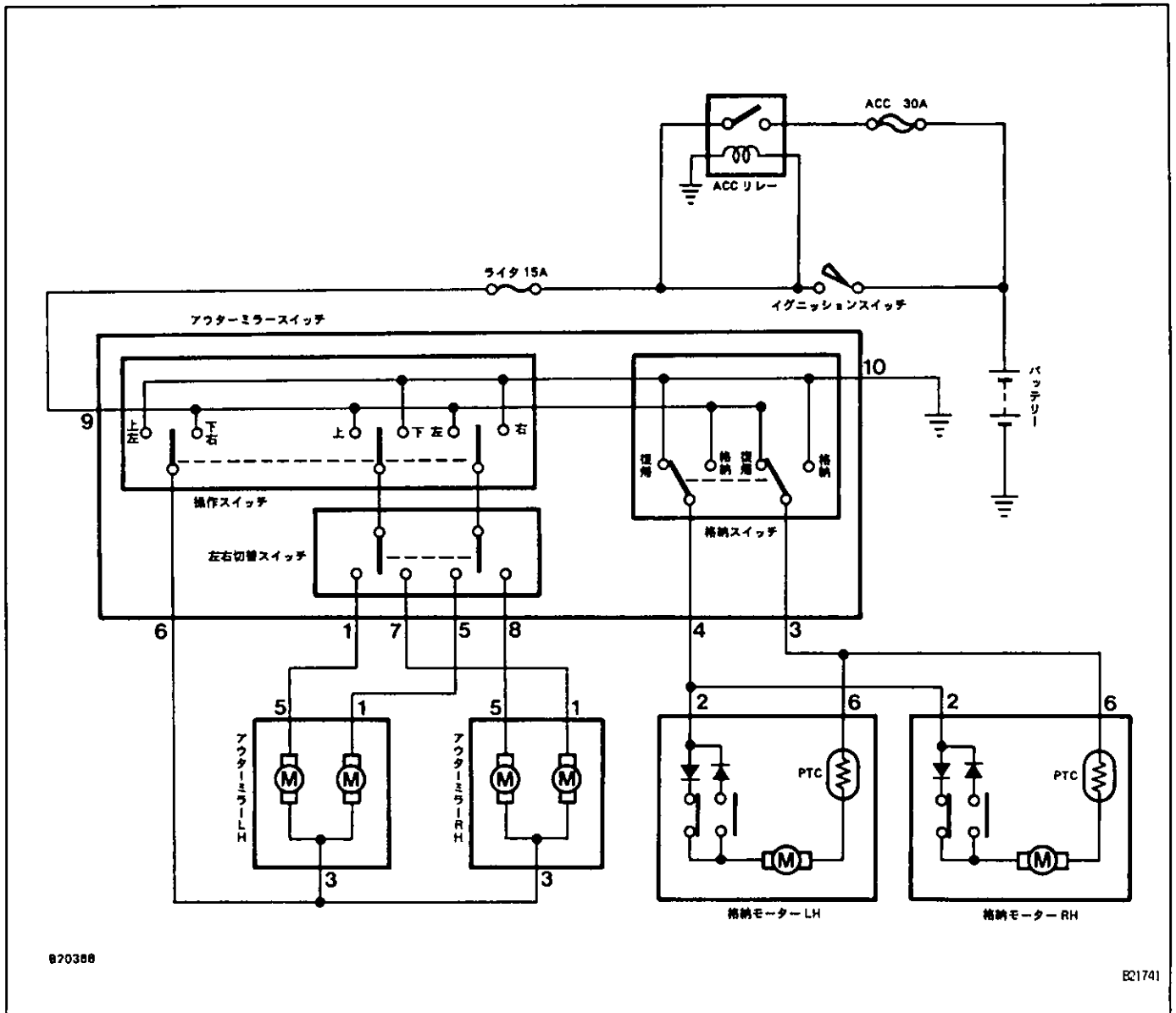
油脂・その他

保護テープ	53501	傷つき防止用
-------	-------	--------

部品配置図



回路図



11

820388

E21741

機能点検

電動格納ドアミラー機能点検

1 作動点検

- (1) イグニッションスイッチを ACC にする。
- (2) アウターミラーボデーが各位置において、アウターミラースイッチの格納スイッチを操作したときの作動を点検する。

① 格納スイッチが走行位置でボデーが左右とも走行位置のとき、格納スイッチを押して格納位置にするとボデーが左右とも走行位置から格納位置まで作動し、格納位置で停止することを点検する。

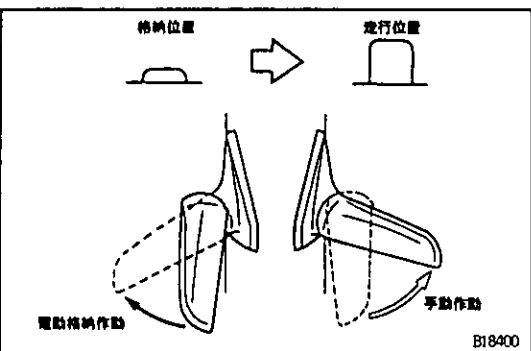
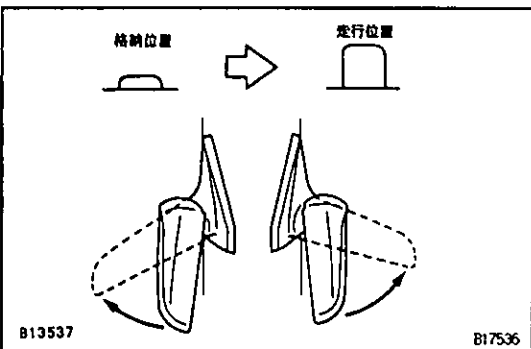
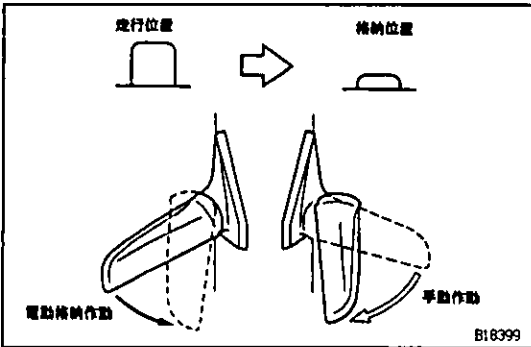
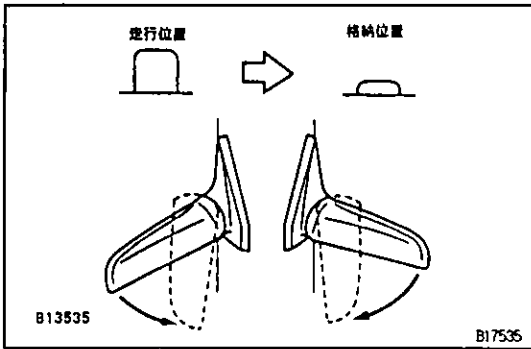
② 格納スイッチが走行位置でボデーが左右とも走行位置のとき、片側のボデーを手で格納位置にしたとき、その状態を保持し、格納スイッチを押して格納位置にすると走行位置にあるボデーのみ格納位置まで作動し、格納位置で停止することを点検する。

③ 格納スイッチが格納位置でボデーが左右とも格納位置のとき、格納スイッチを押して走行位置にするとボデーが左右とも格納位置から走行位置まで作動し、走行位置で停止することを点検する。

④ 格納スイッチが格納位置でボデーが左右とも格納位置のとき、片側のボデーを手で走行位置にしたとき、その状態を保持し、格納スイッチを押して走行位置にすると格納位置にあるボデーのみ走行位置まで作動し、走行位置で停止することを点検する。

- (3) アウターミラーボデーが各位置においてイグニッションスイッチを OFF にすると、OFF した時点の状態でもミラーの作動を停止し、イグニッションスイッチを再度 ACC にするとミラーが作動を継続することを点検する。

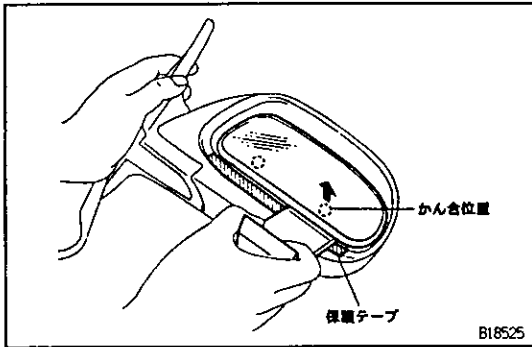
(参考) イグニッションスイッチ OFF 時に格納スイッチを切り替え再度 ACC にすると、反対方向に作動する。



アウターリヤビューミラー

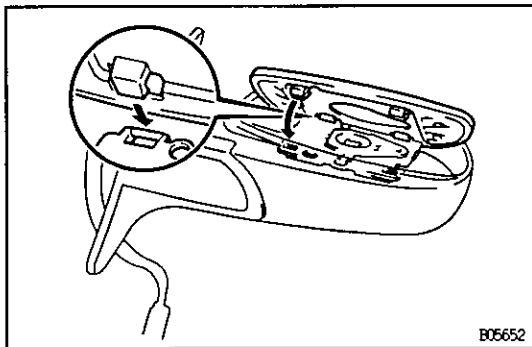
脱着作業上の留意点

- 1 アウターリヤビューミラー取りはずし
 - ・ドアトリムの取りはずしが必要。
 - (「フロント & リヤドア」-「フロントドア」参照)

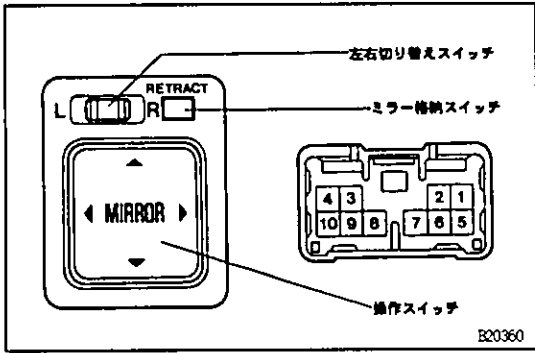


分解組み付け作業上の留意点

- 1 アウターリヤビューミラー取りはずし
 - (1) ミラーボデーに保護テープを貼る。
 - (2) モールディングリムーバーを使用して、ミラー下部のかん合をはずす。
 - (3) ミラーを引き抜いて取りはずす。



- 2 アウターリヤビューミラー取り付け
 - (1) ミラー裏側の上部のツメをアクチュエーター穴に差し込む。
 - (2) ミラーをアクチュエーター部にセットする。
 - (3) ミラー下部を押し込んで、クリップ2箇所を確実にかん合させる。



単体点検

アウターミラースイッチ

1 導通点検

(1) スイッチ操作をしながら、各端子間の導通を点検する。

左右切り替え & 操作スイッチ部

○—○導通あり

端子番号		9	6	10	7	8	1	5
左側	切り替え 上	○	○	○			○	
	下	○	○	○			○	
	OFF							
	左	○	○	○				○
	右	○	○	○				○
OFF	上		○	○				
	下	○	○					
	OFF							
	左		○	○				
右側	右	○	○					
	切り替え 上	○	○	○	○			
	下	○	○	○	○			
	OFF							
	左	○	○	○			○	
右	○	○	○			○		

ミラー格納スイッチ部

○—○導通あり

端子番号		4	9	10	3
切り替え	走行位置	○	○	○	○
	格納位置	○	○	○	○

11

JB1346

2 イルミネーション点検

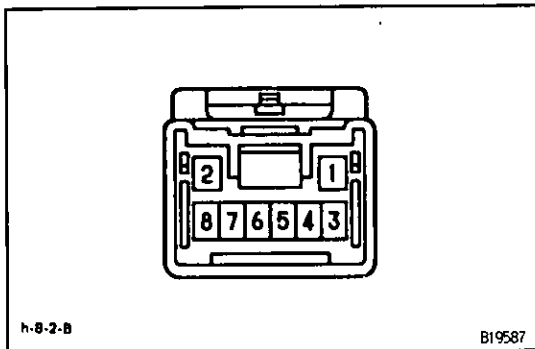
(1) 操作スイッチのコネクターの5端子にバッテリー⊕、6端子にバッテリー⊖を接続したとき、イルミネーション（夜間照明）が点灯することを点検する。

アウターリヤビューミラー

1 アクチュエーター部作動点検

(1) 各端子にバッテリー電圧を加えたときの作動を点検する。

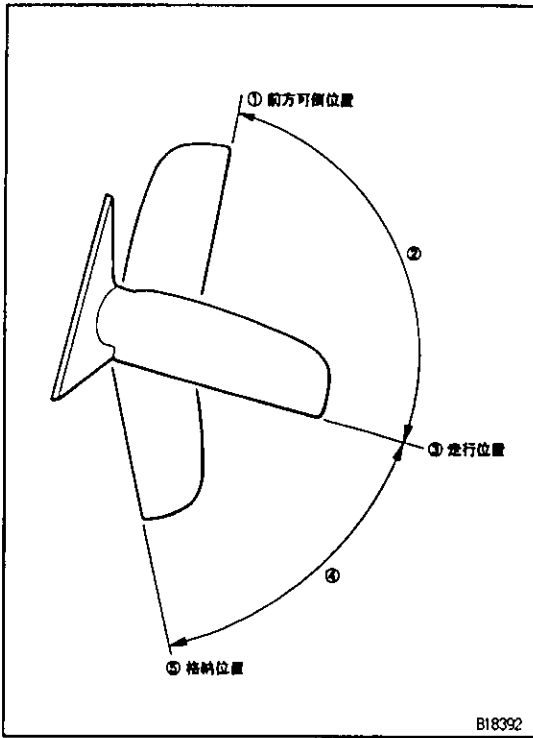
基準



h-8-2-B

B19587

接続	作動方向
バッテリー⊕↔4端子 バッテリー⊖↔5端子	上方向
バッテリー⊕↔5端子 バッテリー⊖↔4端子	下方向
バッテリー⊕↔6端子 バッテリー⊖↔5端子	左方向
バッテリー⊕↔5端子 バッテリー⊖↔6端子	右方向



2 格納用モーター作動点検

(1) 各端子間にバッテリー電圧を加えたときの作動を点検する。

- 注意 ・ 同じ点検を繰り返し行うときは、バッテリー電圧を一度切ってから同じ要領で行う。
- ・ バッテリー電圧を加えたまま、ミラーポデーのみを動かしても作動しない。

基準

① 前方可倒位置

接 続	作動方向
バッテリー⊕↔8端子	格納方向
バッテリー⊖↔7端子	(格納位置で停止)
バッテリー⊕↔7端子	作動しない
バッテリー⊖↔8端子	

② 前方可倒位置と走行位置の間

接 続	作動方向
バッテリー⊕↔8端子	格納方向
バッテリー⊖↔7端子	(格納位置で停止)
バッテリー⊕↔7端子	前方可倒方向
バッテリー⊖↔8端子	(前方可倒位置で停止)

③ 走行位置

接 続	作動方向
バッテリー⊕↔8端子	格納方向
バッテリー⊖↔7端子	(格納位置で停止)
バッテリー⊕↔7端子	作動しない
バッテリー⊖↔8端子	

④ 走行位置と格納位置の間

接 続	作動方向
バッテリー⊕↔8端子	格納方向
バッテリー⊖↔7端子	(格納位置で停止)
バッテリー⊕↔7端子	復帰方向
バッテリー⊖↔8端子	(走行位置で停止)

⑤ 格納位置

接 続	作動方向
バッテリー⊕↔8端子	作動しない
バッテリー⊖↔7端子	
バッテリー⊕↔7端子	復帰方向
バッテリー⊖↔8端子	(走行位置で停止)

3 ミラーヒーター点検

(1) コネクター1↔2端子間の抵抗を点検する。

基準値 4.5~7.0Ω (25℃)

リヤウインドゥデフォグスイッチ

(「ヒーター & エアコンディショナー」 - 「単体点検」 -

「エアコンディショナーコントロール ASSY」参照)

T0086150

キー抜き忘れウォーニングシステム

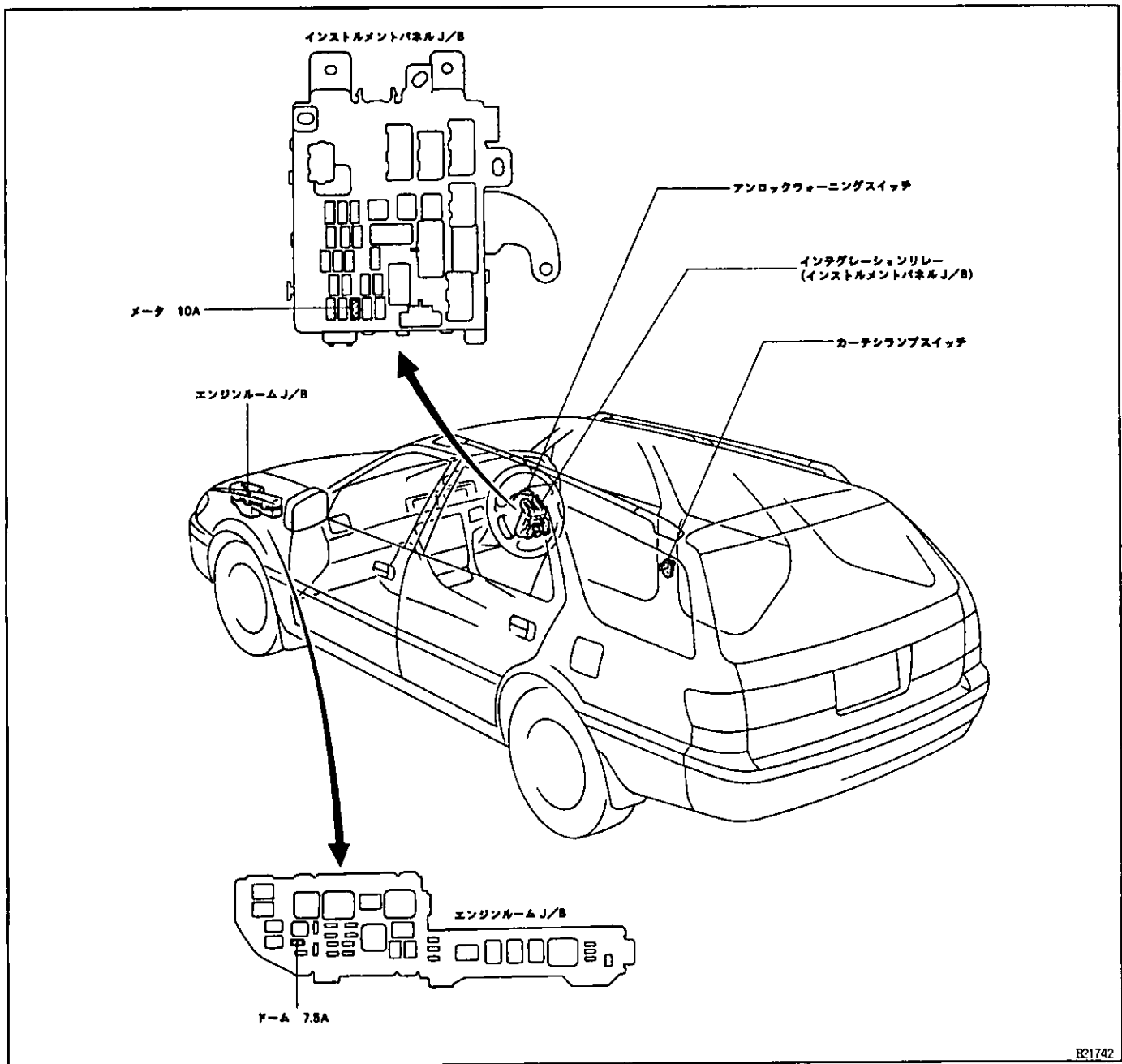
準備品

計器

トヨタ電気カルテスター 09082-00030	70030	単体点検用
テストリードセット 09083-00150	70203	単体点検用

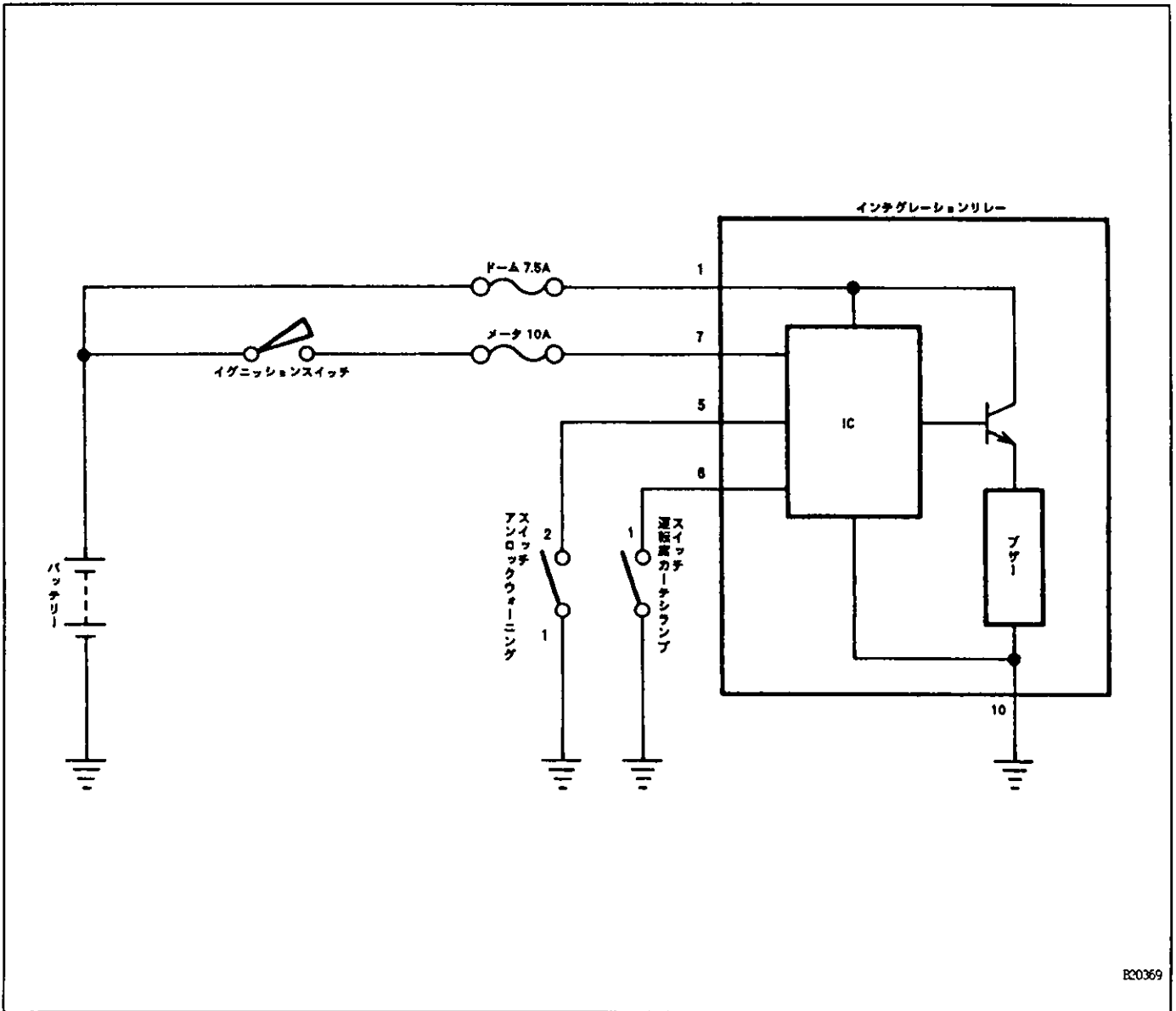
部品配置図

T0086151



B21742

回路図



11

R20369

単体点検

アンロックウォーニングスイッチ

1 導通点検

- (1) コネクター1端子↔2端子間の導通を点検する。

基準 ピンを押し込まないとき……導通なし
 ピンを押し込んだとき……導通あり

カーテシランプスイッチ

1 導通点検

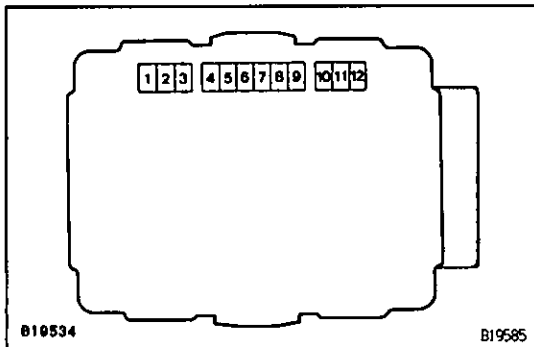
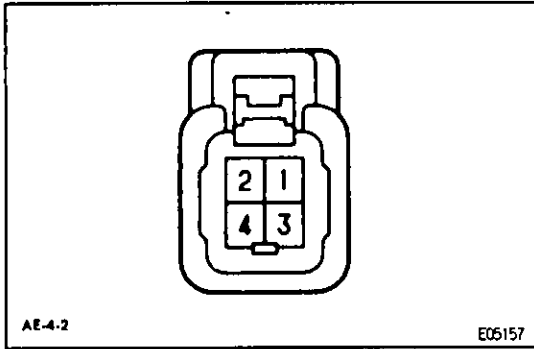
- (1) コネクター端子とブラケット間の導通を点検する。

基準 シャフトを押し込まないとき……導通あり
 シャフトを押し込んだとき……導通なし

インテグレーションリレー

1 作動点検


- (1) コネクターの1端子にバッテリー⊕, 10端子にバッテリー⊖を接続する。
- (2) (1)の状態から, コネクター5端子および6端子にバッテリー⊖を接続したとき, ブザー音が断続的に鳴ることを点検する。
- (3) (2)の状態から, コネクター5端子のバッテリー⊖を切り離したとき, ブザー音が止まることを点検する。
- (4) (2)の状態から, コネクター6端子のバッテリー⊖を切り離したとき, ブザー音が止まることを点検する。
- (5) (2)の状態に, コネクター7端子のバッテリー⊕を接続したとき, ブザー音が止まることを点検する。



建付け調整

準備品

S S T

	09812-00010 ドアヒンジセットボルトレンチ	フロントドア建付け調整用
---	----------------------------	--------------

工 具

トルクスsocketレンチ (T30) 09042-00010	70019	ドアロックストライカー建付け調整用
------------------------------------	-------	-------------------

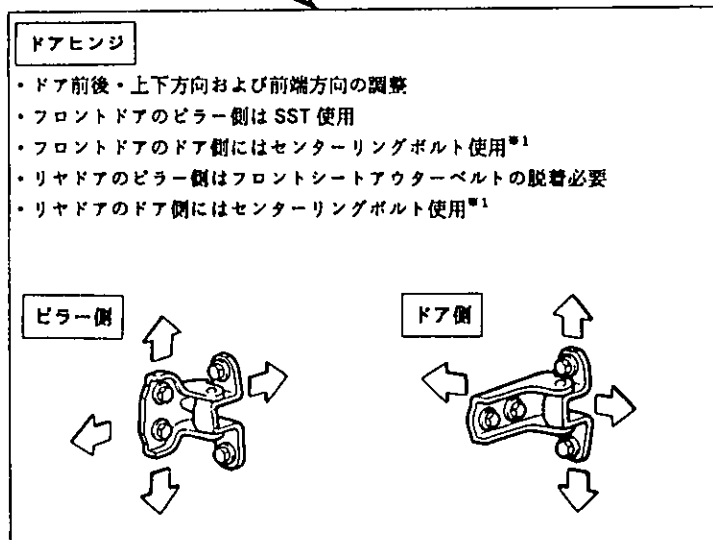
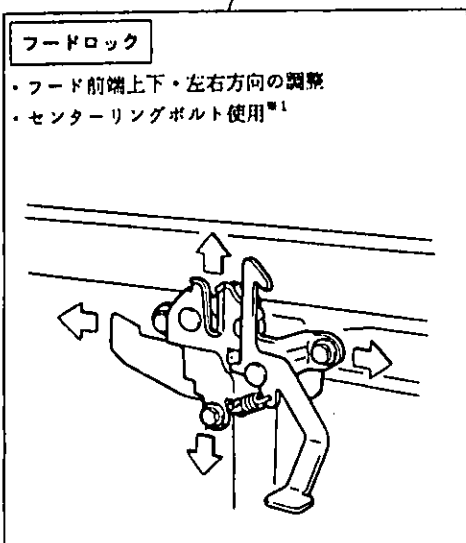
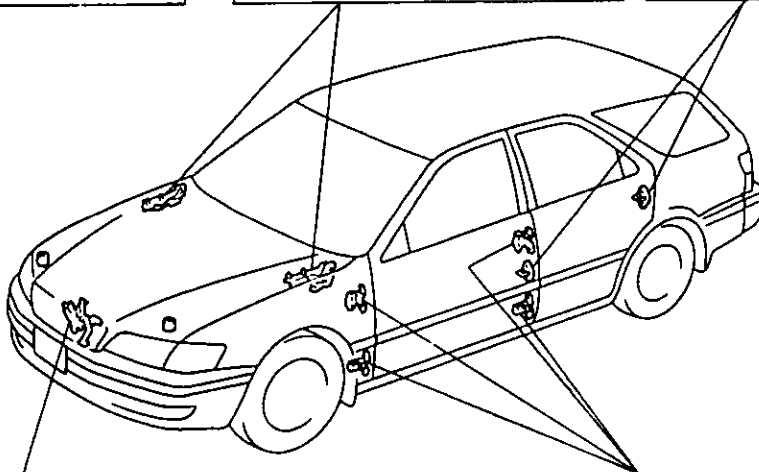
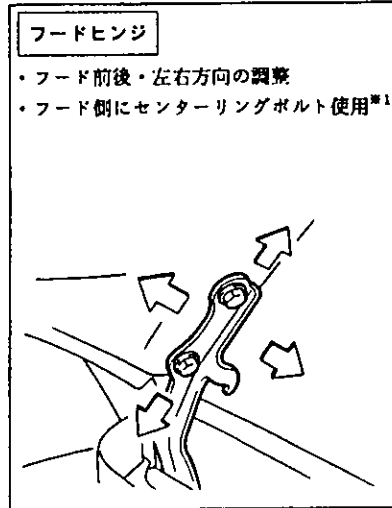
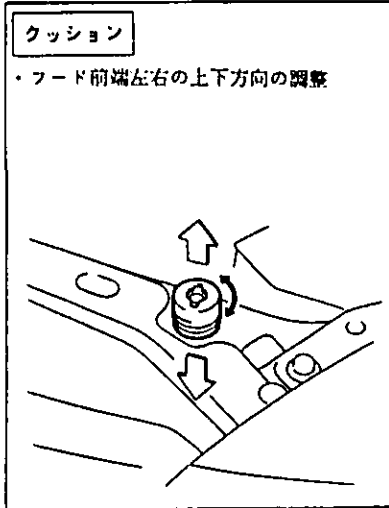
油脂・その他

ボデーシーラー	52401	ボデーシーラー亀裂補修用
タッチアップペイント (ボデー色)	51101	塗装はがれ部補修用

ボデー建付け調整

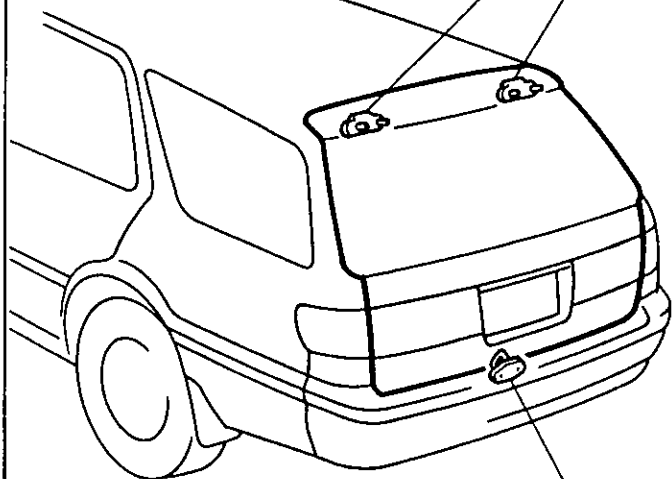
フード・ドアとボデーの段差, すき間, 見切りおよび閉まり具合について点検する。

不具合のある場合は, 下記指示位置にて調整する。



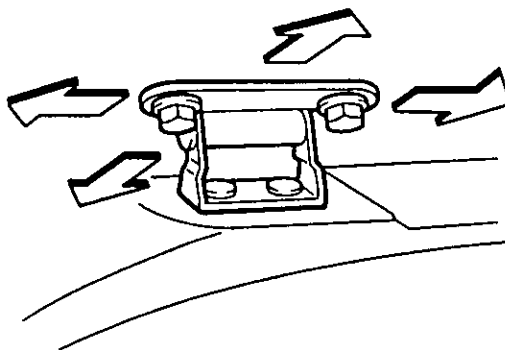
※1: 調整時は補給されているボルトを使用し, センターリングボルトを使用しない。(センターリングボルトでは調整不可)

※2: 調整は, ストライカー取り付けボルトをストライカーがガタ付くまでゆるめ, プラスチックハンマーでストライカーを軽く叩いて調整する。



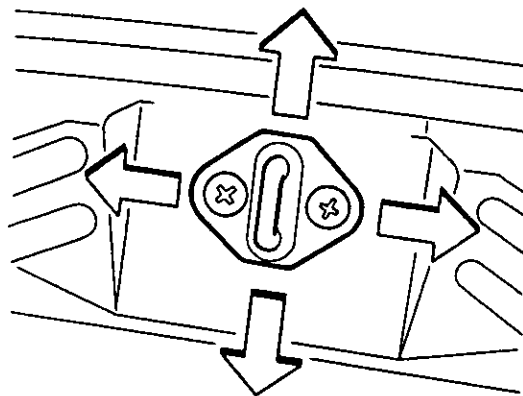
バックドアヒンジ

- ドア上端前後・左右方向の調整



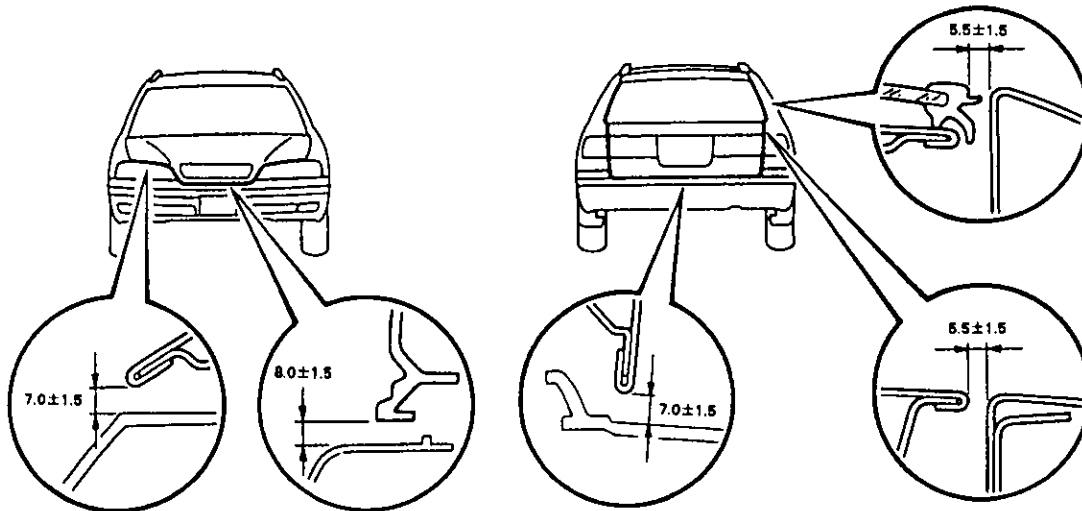
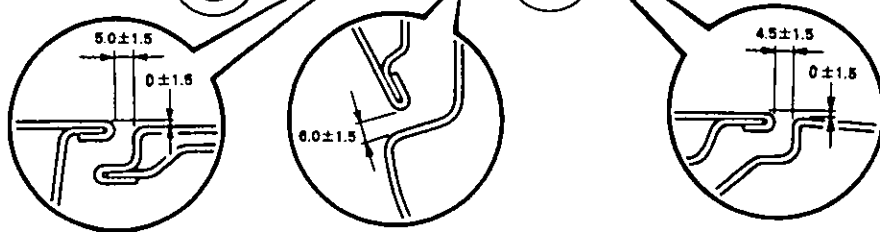
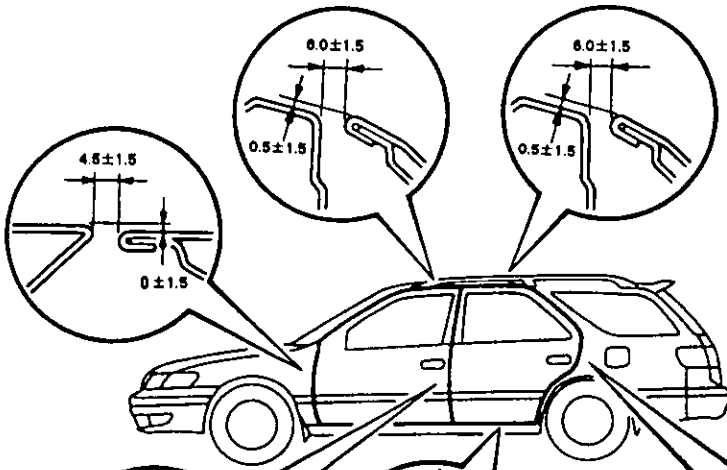
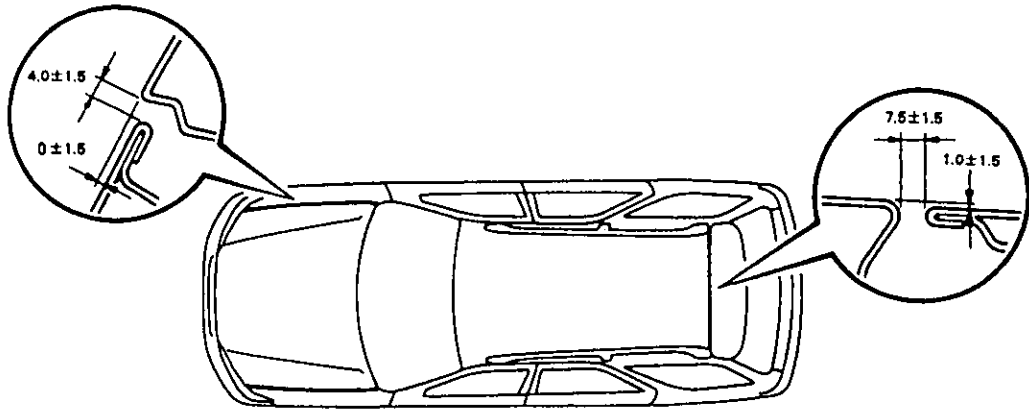
バックドアロックストライカー

- ドア後端左右方向およびストライカー調整
- リインホースメント溶接タイプ*
- リヤフロアフィニッシュプレートの脱着必要



※：調整は、ストライカー取り付けボルトをストライカーがガタ付くまでゆるめ、プラスチックハンマーでストライカーを軽く叩いて調整する。

建付け参考値



単位: mm

MEMO